

# 令和7年度 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

2.02-1 別添1 改修工事設計図(差替え一式)  
【差替え内容】  
(今回)  
A-43 建具記号の修正  
A-65 ~ 67 建具記号の修正  
A-68 ~ 77 建具表記載内容の修正

(4月24日分)  
A-29 A棟カーテンボックス寸法修正  
A-30 ~ 31 B棟カーテンボックス既設利用へ訂正

(4月13日分)  
S-01 ~ S-11 構造図追加  
A-12 追記 (赤枠部分)  
A-71 建具表SD姿図の不要な点線削除(赤枠部分)

図 面 リ ス ト

0	A- 0	図面リスト		41	A- 41	C棟3階 宿泊室 平面詳細図 (改修後)	1/50	82	A- 82	E L V改修図 (1)	1/20
1	A- 1	改修工事特記仕様書 (その1)	—	42	A- 42	B棟2階 宿泊室 (A) 平面詳細図 (改修前)	1/50	83	A- 83	E L V改修図 (2)	1/20
2	A- 2	改修工事特記仕様書 (その2)	—	43	A- 43	A棟2階 宿泊室 (B) 平面詳細図 (改修前)	1/50	84	A- 84	E L V改修図 (3)	1/20
3	A- 3	改修工事特記仕様書 (その3)	—	44	A- 44	B棟3階 宿泊室 (A) 平面詳細図 (改修前)	1/50	85	A- 85	改修仕様リスト	1/30
4	A- 4	改修工事特記仕様書 (その4)	—	45	A- 45	A棟3階 宿泊室 (B) 平面詳細図 (改修前)	1/50	86	A- 86	【防水改修】屋根伏図 (改修前)	1/200
5	A- 5	改修工事特記仕様書 (その5)	—	46	A- 46	展開図 (1) B棟1階オープンワークショップスペース廻り (改修前)	1/50	87	A- 87	【防水改修】屋根伏図 (改修後)	1/200
6	A- 6	改修工事特記仕様書 (その6)	—	47	A- 47	展開図 (2) B棟1階オープンワークショップスペース廻り (改修後)	1/50	88	A- 88	【防水改修】2階平面図 (改修前)	1/200
7	A- 7	改修工事特記仕様書 (その7)	—	48	A- 48	展開図 (3) B棟1階ワークショップスペース廻り (改修前)	1/50	89	A- 89	【防水改修】3階平面図 (改修前)	1/200
8	A- 8	改修工事特記仕様書 (その8)	—	49	A- 49	展開図 (4) B棟1階サポーターオフィス廻り (改修前)	1/50	90	A- 90	【防水改修】A棟B棟C棟 断面図 (改修前)	1/200
9	A- 9	改修工事特記仕様書 (その9)	—	50	A- 50	展開図 (5) C棟1階管理入廻り (改修前)	1/50	91	A- 91	【外構改修】1階平面図 (改修前)	1/200
10	A- 10	工事区分表・材料・機材等の品質及び性能	—	51	A- 51	展開図 (6) A棟1階キッズルーム (改修前)	1/50	92	A- 92	【外構改修】B棟テラス回廊詳細図1 (改修前)	1/50
11	A- 11	建築材料等品質性能表 (改修) (その1)	—	52	A- 52	展開図 (7) A棟1階 宿泊室A-1- (H) (改修後)	1/50	93	A- 93	【外構改修】B棟テラス回廊詳細図2 (改修前)	1/50
12	A- 12	建築材料等品質性能表 (改修) (その2)	—	53	A- 53	展開図 (8) A棟1階キッズルーム (改修前)	1/50	94	A- 94	【外構改修】B棟車寄せ詳細図 (改修前)	1/50
13	A- 13	付近見取図、配置図	1/100	54	A- 54	展開図 (9) A棟1階 宿泊室1- (B2) (B2C) (改修後)	1/50	95	A- 95	【サイン改修】1階平面図 (改修前)	1/200
14	A- 14	仕上表1	—	55	A- 55	展開図 (10) A棟1階 キッズルーム (改修前)	1/50	96	A- 96	【サイン改修】2階平面図 (改修前)	1/200
15	A- 15	仕上表2	—	56	A- 56	展開図 (11) A棟1階 宿泊室 (D) -1 (改修後)	1/50	97	A- 97	【サイン改修】3階平面図 (改修前)	1/200
16	A- 16	仕上表3	—	57	A- 57	展開図 (12) C棟2階 ラウンジ (改修前)	1/50	98	A- 98	【サイン改修】屋外平面図 (改修前)	1/200
17	A- 17	仕上表4	—	58	A- 58	展開図 (13) C棟2階 宿泊室 (改修後)	1/50				
18	A- 18	1階平面図 (改修前)	1/200	59	A- 59	展開図 (14) C棟3階 ちゅらホール (改修前)	1/50				
19	A- 19	2階平面図 (改修前)	1/200	60	A- 60	展開図 (15) C棟3階 宿泊室 (改修後)	1/50				
20	A- 20	3階平面図 (改修前)	1/200	61	A- 61	1階天井伏図 (改修前)	1/200	99	S- 01	A棟 基礎伏図 (既存・改修)	1/100
21	A- 21	1階平面図 (改修後)	1/200	62	A- 62	1階天井伏図 (改修後)	1/200	100	S- 02	A棟 Y0-1,600通り増設壁詳細図	1/30
22	A- 22	2階平面図 (改修後)	1/200	63	A- 63	2階天井伏図 (改修前) (改修後)	1/200	101	S- 03	A棟 Y1通りコンクリート増設壁詳細図	1/30
23	A- 23	3階平面図 (改修後)	1/200	64	A- 64	3階天井伏図 (改修前) (改修後)	1/200	102	S- 04	A棟 X5通り増設袖壁詳細図	1/30
24	A- 24	立面図 (改修前)	1/200	65	A- 65	1階建具キープラン (改修前) (改修後)	1/200	103	S- 05	A棟 Y1+1,600通り増設壁詳細図	1/30
25	A- 25	立面図 (改修後)	1/200	66	A- 66	2階建具キープラン (改修前) (改修後)	1/200	104	S- 06	C棟 3階柱壁・R階梁床伏図 (既存・改修) X24通り袖壁図 (既存・改修)	1/100
26	A- 26	A棟 断面図 (改修前) (改修後)	1/100	67	A- 67	3階建具キープラン (改修前) (改修後)	1/200	105	S- 07	C棟 X24通り開口閉塞詳細図	1/30
27	A- 27	B棟 断面図 (改修前) (改修後)	1/100	68	A- 68	建具表 (1)	1/50	106	S- 08	C棟 X24通り補強詳細図	1/30
28	A- 28	C棟 断面図 (改修前) (改修後)	1/100	69	A- 69	建具表 (2)	1/50	107	S- 09	B棟 ポンプ室改修床スラブ配筋詳細図	1/30
29	A- 29	A棟 断面詳細図 (改修前) (改修後)	1/50	70	A- 70	建具表 (3)	1/50	108	S- 10	C棟 2,3階スラブ開口閉塞 (既存・改修)	1/10,30,50
30	A- 30	B棟 断面詳細図 (改修前)	1/50	71	A- 71	建具表 (4)	1/50	109	S- 11	デッキ合成スラブ設計・施工標準仕様書 (1)	—
31	A- 31	B棟 断面詳細図 (改修後)	1/50	72	A- 72	建具表 (5)	1/50				
32	A- 32	C棟 断面詳細図 (改修前) (改修後)	1/50	73	A- 73	建具表 (6)	1/50				
33	A- 33	A棟1階 キッズルーム平面詳細図 (改修前)	1/50	74	A- 74	建具表 (7)	1/50	110	参考1	総合仮設計画図	1/200
34	A- 34	A棟1階 H C室平面詳細図 (改修後)	1/50	75	A- 75	建具表 (8)	1/50	111	参考2	概略工事工程表	—
35	A- 35	B棟1階 コンビニ廻り平面詳細図 (改修前)	1/50	76	A- 76	建具表 (9)	1/50				
36	A- 36	B棟1階 コンビニ廻り平面詳細図 (改修後)	1/50	77	A- 77	建具表 (10) 法チェック表	1/50				
37	A- 37	C棟1階 セミナー室廻り平面詳細図 (改修前)	1/50	78	A- 78	部分詳細図 (1)	1/5, 10, 30				
38	A- 38	C棟2階 ラウンジ平面詳細図 (改修前)	1/50	79	A- 79	部分詳細図 (2)	1/5, 10, 20, 30				
39	A- 39	C棟2階 宿泊室 平面詳細図 (改修後)	1/50	80	A- 80	階段詳細図1 (改修前)	1/50				
40	A- 40	C棟3階 ちゅらホール平面詳細図 (改修前)	1/50	81	A- 81	階段詳細図1 (改修前)	1/50				

<b>沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事仕様書</b>		
<b>I 工事概要</b>		
1. 工事場所	沖縄県国頭郡恩納町字恩納17542	
2. 敷地面積	73,580㎡	
3. 工事種目		
(1) 研修・宿泊施設	鉄筋コンクリート建3階建 建築面積 1,341.70㎡ 延べ面積 2,999.63㎡	改修一式
(2) 電気設備		改設一式
(3) 機械設備		改設一式
<b>II 施業改修工事仕様</b>		
1. 共通仕様		
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁審判部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」(以下、「改修標準仕様書」という)により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁審判部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という)による		
(2) 本工事に電気設備、機械設備工事を含む場合の工事特記仕様は、別図による		
(3) 受注者等は完了検査(中間検査を含む)の検査には、特定行政庁(建築士事)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること		
2. 特記仕様		
(1) 項目は、●印の付いたものを適用する		
(2) 特記事項は、●印の付いたものを適用する		
(3) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す		
(4) 図印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(以下、「グリーン購入法」という)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和5年12月22日変更閣議決定)」に定める特定調達品目における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものとする		
(5) 関係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること		
(6) 形状寸法の単位は特記なきかぎりミリメートルとする		

1 各章共通事項(統括)	
-----------------	--

工程ごとの作業内容			
工程ごとの作業内容			
① 造形等	造形等の工事 ●有 ●無		
② 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 ●有 ●無		
③ 上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 ●有 ●無		
④ 屋根	屋根の工事 ●有 ●無		
⑤ 建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 ●有 ●無		
⑥ その他(外構)	その他の工事 ●有 ●無		
特定建設資材			
建設資材の種類	施設名称	所在地	搬出距離
●コナクリート			
●7x7x6・コナクリート			
●建設発生木材			
○			
特定建設資材以外			
建設資材の種類	施設名称	所在地	搬出距離
●黒7x7x6			
●防カ7x7x6			
●黒くず			
●陶磁器くず			
○繊維くず			
●木くず			
○非放射性石綿含有建材(黒7x7x6)			
○非放射性石綿含有建材(防カ)			
○非放射性石綿含有建材(汚泥)			
●黒石こうボード			
上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする			
なお、処分決定に当たっては監督職員と協議する			
施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算			
基準風速(W0) (46) m/s			
地表面粗糙度区分 ○ I ● II ○ III ○ IV			
●上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する			
●上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する			
適用工種			
○ ALG <sup>®</sup> 外(外壁、屋根)	● 押出成形セメント(外壁)		
○ 外壁石張(乾式)	● 外装材(外断熱工法)		
○ 長尺金属板葺	● 折板葺		
○ 7x5塗木	● 木下り材		
○ シート防水(機械式)	● 屋上緑化用リフト		
○ (シート防水常温粘着)			
同等以上の材料・機材等の使用			
本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する			
ただし、製造業者が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける			
材料・機材等の品質及び性能			
本工事に於いて別表-2に示す材料を使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員に承認を受ける			
(1) 品質及び性能に関する試験データを確保していること			
(2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること			
(3) 安定的な供給が可能であること			
(4) 法令等定める許可、認可、認定又は免許を取得していること			
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること			
(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること			

1 各章共通事項(統括)	
●環境への配慮	
○室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9)[1.7.9]	
●特別な材料の工法	
●施工調査 (1.5.2)	
●設備工事との取り合い	
2 仮設工事	
○騒音・粉じん等の対策	
●足場等 (2.2.1)[表2.2.1]	

●環境への配慮	
本工事に建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする	
1) 合板、木質系70-リグ、構造用パネ、集成材、単板積層材、MDF、パネ(パネ)、その他の木質建材、3.07樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、繊維材、断熱材、仕上塗材は、7x7x6 <sup>®</sup> 及び7x7x6 <sup>®</sup> を発売しない又は発売が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「8x4.7x6 <sup>®</sup> 」の放散量の区分に応じた材料を使用する	
2) 接着剤及び塗料は、VOC、ホルムアルデヒドの含有量が少ない材料を使用する	
3) 接着剤は可塑剤(フタル酸エステル類及びビスフェノール系化合物等)を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する	
4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の仕器等は、8x4.7x6 <sup>®</sup> 、7x7x6 <sup>®</sup> 及び7x7x6 <sup>®</sup> を発売しないか、発売を極めて少ない材料を使用したものとする	
また、設計図書に規定する「8x4.7x6 <sup>®</sup> 」の放散量は、次の通りとする	
規制対象外	
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種8x4.7x6 <sup>®</sup> 「発売建築材料以外の材料	
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	
第三種品	
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種8x4.7x6 <sup>®</sup> 「発売建築材料	
② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	
7x6 <sup>®</sup> 含有建材 (1.5.9)[1.7.9]	
本工事に使用する材料については、7x6 <sup>®</sup> を含有しないものとする	
1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、想定結果を監督職員に報告する。	
2) 測定対象室及び測定箇所数等は仕上表による。	
着工前の測定	
○行方 ○行わない	
3) 測定は、A'ラップ型採取機器により行う。	
注) 測定「ラップ」は8x4.7x6 <sup>®</sup> 「用」とし、ホルムアルデヒド、スチレン用2種類を用いる	
改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による	
施工数量調査 (1.5.2)	
調査項目 ● 防水改修 ● 外壁改修 ○ ( )	
調査範囲 ○ 図示 ○ ( )	
調査方法 ● 打診及び目視による ○ ( )	
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ○ 図示	
施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による	
施工図 設備機器の設置、取り合い等が検討のできる施工図を提出し監督職員の承認を受ける	
2 仮設工事	
○騒音・粉じん等の対策	
●足場等 (2.2.1)[表2.2.1]	
施工数量調査	
調査項目 ● 防水改修 ● 外壁改修 ○ ( )	
調査範囲 ○ 図示 ○ ( )	
調査方法 ● 打診及び目視による ○ ( )	
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ○ 図示	
施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による	
施工図 設備機器の設置、取り合い等が検討のできる施工図を提出し監督職員の承認を受ける	
2 仮設工事	
○騒音・粉じん等の対策	
●足場等 (2.2.1)[表2.2.1]	

2 仮設工事(続き)	
●既存部分の養生	
●仮設間仕切り	
●監督職員事務所 (2.4.1)	
●工事用水	
●工事用電力	
●埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)	
●建設発生土の処理 (3.2.5)	

屋根面に設ける足場と設備機材の組合せ	
○別途 ○図示 ○D種 ○E種	
既存部分の養生 ●行方 ○行わない 養生方法 ●ビニシート、合板等による ○	
既存部分の特別養生 ○行方 ○図示 ○	
既設範囲及び養生方法 ●行方 ○行わない 養生方法 ●合板張りによる ○図示 ○	
既設範囲 ○図示 ○	
固定された備品、机、ロッカー等の移動 ●行方 ○行わない ○	
開口部の養生 ○行方 ●行わない 養生方法 ●合板張りによる ○図示 ○	
設置範囲 ○図示 ○	
固定された備品、机、ロッカー等の移動 ●行方 ○行わない ○	
仮設間仕切り等の種別	
種別 材質 仕上げ	
○A種 ●セッコウボード(厚9.5mm)張り	○内面塗装
●7x7x6 <sup>®</sup> 化粧板 ( )	
○B種 ●化粧板(厚9.5mm)張り	○内面塗装
○化粧板(厚9.5mm)張り	
○セッコウボード(厚9.5mm)張り	
○セッコウボード(厚9.5mm)張り+合板張り(内装面)	
○C種 ●セッコウボード	
○仮設間仕切り ●化粧板(厚9.5mm)張り	
○仮設間仕切り ●化粧板(厚9.5mm)張り	
●監督職員事務所 (2.4.1)	
○設けない ●設ける 面積規模 ( 20 )㎡程度	
監督職員事務所と工事監理業務の職員事務所は同じ切り壁等で仕切る	
監督職員事務所の仕上げ	
部位等 仕上げ	
床 合板張り又はセッコウボード張り	
内壁、天井 合板又はセッコウボード張り、合板張り(厚9.5mm)張り	
屋根 建築用断熱材のつき合板張り、又は鉄板張り、鋼合板張り	
構内既存の施設 ●利用できる ( ●有償 ○無償 ) ○利用できない	
構内既存の施設 ○利用できる ( ○有償 ○無償 ) ●利用できない	
●埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)	
種別 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種	
C種の場合 (発生場所 ( ) (連絡先 ( ) (運搬 ●発生原因者側 ○本工事 km)	
●構内指示の場所 (3.2.5)	
受け入れ施設 ( )	
受け入れ場所 ( )	
受け入れ場所での処理 ( ○敷きならし ○たい積 )	
搬出距離 ( ) km	
処分費 ●有償 ○無償	
上記に示す受入れ施設等は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議の上決定する。	
●構内指示の場所	
処理の場所 ●図示 ○ ( )	
処理の方法 ( ●敷きならし ○たい積 )	

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	●適用基準等	●建築工事標準仕様書(令和4年版)(以下「標準仕様書」という) ●建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
	●発生材の処理 (1.3.12)	○発注者に引き渡しを要するもの ( ●金属類 ○PCB含有物 ) ( ) 引渡し場所 ○構内 ○ ( )
	●建設資材の分別解体等及び再資源化等	本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号、以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事に該当する場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずる。また、建設リサイクル法施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事に該当しない場合についても分別解体等及び特定建設資材の再資源化等については適切な措置を講ずる。
	●工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により異なる場合は、監督職員と協議するものとする	

●材料の品質等 (1.4.2)	
-----------------	--

2 仮設工事	
○騒音・粉じん等の対策	
●足場等 (2.2.1)[表2.2.1]	
施工数量調査	
調査項目 ● 防水改修 ● 外壁改修 ○ ( )	
調査範囲 ○ 図示 ○ ( )	
調査方法 ● 打診及び目視による ○ ( )	
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ○ 図示	
施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による	
施工図 設備機器の設置、取り合い等が検討のできる施工図を提出し監督職員の承認を受ける	
2 仮設工事	
○騒音・粉じん等の対策	
●足場等 (2.2.1)[表2.2.1]	

2 仮設工事	
○騒音・粉じん等の対策	
●足場等 (2.2.1)[表2.2.1]	
施工数量調査	
調査項目 ● 防水改修 ● 外壁改修 ○ ( )	
調査範囲 ○ 図示 ○ ( )	
調査方法 ● 打診及び目視による ○ ( )	
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ○ 図示	
施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による	
施工図 設備機器の設置、取り合い等が検討のできる施工図を提出し監督職員の承認を受ける	
2 仮設工事	
○騒音・粉じん等の対策	
●足場等 (2.2.1)[表2.2.1]	



3 防水改修工事(続)(他)
● とい
● アルミニウム製笠木
● 常温737材塗膜防水

Table with columns: 種別, 材質, 規格, 施工箇所, 備考. Includes sections for 防水材の貼付量, 鋼管製の防露巻き, and 既存笠木の撤去.

4 外壁改修工事
○ ポリマーセメントモルタル
○ ポリマーセメントスラリー
○ 既調合モルタル
○ 外壁改修数量表

Table for material specifications: (性能・試験方法) 材料等品質性能表による. Includes tables for 珪砂り仕上げ面 and ひび割れ部改修.

Table for repair methods: ひび割れ部改修方法, 樹脂注入工法, 欠損部改修工法, 既存モルタル塗りの撤去, ひび割れ部改修工法.

4-2 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁)(続)(他)
○ 欠損部改修工法
○ 浮き部改修工法

Table for material specifications: 工法の種類, アパビックの仕様 (床/m2), アパビックの仕様 (箇所/m2), アパビックの仕様 (㎡/箇所).



5 ●改修工法 [5. 1. 3]

建具の種類	かぶせ工法	嵌め込工法	適用箇所
●7&12&13建具	○	○	●建具表による ○
○樹脂製建具	—	○	●建具表による ○
●鋼製建具	●外部 ○内部	○	●建具表による ○
●鋼製軽量建具	○	○	●建具表による ○
●27&14製建具	○	○	●建具表による ○
●木製建具	○	○	●建具表による ○

新規に建具を設ける場合  
壁部分の開口の開け方  
●隠示 ○  
新規建具周囲の補修工法及び範囲  
●隠示 ○

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修による

○防火戸 [5. 1. 4]

防火戸の指定  
○指定する 適用箇所 (○建具表による ○)  
○指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動  
○連動させる (○建具表による ○)  
○連動させない

○防犯建物部品 [5. 1. 7]

○適用する (○建具表による ○)  
○適用しない

●アルミニウム製建具 [5. 2. 2~5][表5. 2. 1, 2]

性能等級  
○外部に面する建具の種類 (コクリト系下地及び鉄骨下地)  
○A種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○B種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○C種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○外部に面する建具の種類 (木下地)  
○D種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○E種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

●上記によらない場合  
耐風圧性の等級 (S-7)  
気密性の等級 (A-4)  
水密性の等級 (W-5)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

防音ド7、防音カ7  
○適音性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

断熱ド7、断熱カ7  
○断熱性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

耐震ド7  
○面内変形追随性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○

表面処理の種類  
外部に面する建具  
(種別) ○BB-1種 ●BB-2 (改修標準仕様書[表5. 2. 2])  
(着色) ●標準色 ( ) ●特注色 ( )  
屋内に使用する建具  
(種別) ○BB-1種 ●BB-2 (改修標準仕様書[表5. 2. 2])  
(着色) ●標準色 ( ) ●特注色 ( )

材料  
スチール鋼板  
○SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
スチール製のくつずりの仕上げ  
○HL程度 ○No.2B ○

結露水の処理方法  
処理方式 ○水貯め式 ○排水式  
設置箇所 ○建具表による ○ 隠示

水切り、ぜん板 ○ 建具表による ○ 隠示

5 ●網戸等 [5. 2. 3][5. 3. 3]

種類	材 種	線 径	網 戸
○防虫網	○合成樹脂製	○0.25mm以上	○16~18Fits
○防虫網	○ステンレス入り合成樹脂製	○0.25mm以上	○16~18Fits
○防虫網	○ステンレス(SUS316)製	1.5mm	網目寸法15mm

[5. 2. 2][5. 3. 2~5][表5. 3. 1]

性能等級  
○外部に面する建具の種類 (コクリト系下地及び鉄骨下地)  
○A種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○B種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○C種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○外部に面する建具の種類 (木下地)  
○D種 (建具符号 ○ 建具表による ○)  
○E種 (建具符号 ○ 建具表による ○)

○上記によらない場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

防音ド7、防音カ7  
○適音性の等級 (○T-1 ○T-2)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

断熱ド7、断熱カ7  
○断熱性の等級 (○H-4 ○H-5 ○H-6 ○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

外部に面する建具の日射取得性の等級  
○

材料  
ガラス  
○ 建具表による ○複層ガラス ○  
スチール製のくつずりの仕上げ  
○HL程度 ○No.2B ○

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○  
表面色 ○標準色 ( ) ●特注色 ( )

工法 水切り板、ぜん板 ○ 隠示 ○

性能値等  
簡易気密型ド7わ7  
○適用する (建具符号: ○ 建具表による ○)  
○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性  
○S-4  
(建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○)  
○S-5  
(建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○)  
○S-6  
(建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○ ●SD-4)

防音ド7、防音カ7  
○適音性の等級 (● 宿泊室T-2)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

断熱ド7、断熱カ7  
○断熱性の等級 (○H-4 ○H-5 ○H-6 ○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

耐震性能  
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料  
スチール鋼板  
○SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
スチール製のくつずりの仕上げ  
○HL程度 ○No.2B ○

形状及び仕上げ  
鋼板類の厚さ ●改修標準仕様書[表5. 4. 2]による  
○ mm 使用箇所 ( )

標準型鋼製建具の形式及び寸法  
● 建具表による ○

5 ●鋼製軽量建具 [5. 2. 2][5. 5. 2~4]

性能値等  
簡易気密型ド7わ7  
○適用する (建具符号: ○ 建具表による ○)  
○適用しない

防音ド7、防音カ7  
○適音性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

断熱ド7、断熱カ7  
○断熱性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

耐震性能  
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料  
鋼板  
●亜鉛めっき鋼板 ○ビニル皮膜鋼板 ○チタン鋼板 ○ステンレス鋼板  
スチール鋼板  
○SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
召合せ、軽小口包み板の材質  
●鋼板  
スチール製のくつずりの仕上げ  
●HL程度 ○No.2B ○

形状及び仕上げ  
鋼板類の厚さ ○改修標準仕様書[表5. 5. 1]による  
○ mm 使用箇所 ( )

標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法  
○ 建具表による ○

性能値等  
簡易気密型ド7わ7  
○適用する (建具符号: ○ 建具表による ○)  
○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性  
○S-4  
(建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○)  
○S-5  
(建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○)  
○S-6  
(建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○)

防音ド7、防音カ7  
○適音性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

断熱ド7、断熱カ7  
○断熱性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

耐震ド7  
○面内変形追随性の等級 (○)  
(建具符号: ○ 建具表による ○)

材料  
スチール鋼板  
●SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1  
スチール製のくつずりの仕上げ  
●HL程度 ○No.2B ○

形状及び仕上げ  
表面仕上げ ●HL ○鏡面仕上げ ○

工法  
スチール鋼板の曲げ加工  
●普通曲げ ○角出し曲げ (○a角 ○b角 ○c角 )

5 ●木製建具 [5. 7. 2~4]

建具材の加工、組立時の含水率 ●A種 ○B種

建物内部の木材建具に使用する表面材及び接着剤のAA7&F'LD'放散量  
●F☆☆☆☆

●7&12&13 表面材のAA7&F'LD'放散量  
●改修標準仕様書[5. 7. 2](2)(f)(a)による ○

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
●普通合板	表裏の樹種 生地、透明塗料塗り (○F7程度 ○) 不透明塗料塗り (●しな程度 ○) 板厚の品質 ( ) 接合の程度 (○1種 ○2種)	
○天然木	樹種 ( )	
化粧合板	接合の程度 (○1種 ○2種)	
○特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (○F7~F4 ○F3) ○塗装 表面性能 ( ) 接合の程度 (○1種 ○2種)	

表面板の厚さ ●改修標準仕様書[表16. 7. 6]による ○

●かまろ戸  
かまろ樹種 (メラピー)  
鏡板樹種 (メラピー)  
見込み寸法 ●36mm ○建具表による ○

○ふすま  
張り枠種別 (○I型 ○II型)  
上張り (押入等の裏側以外)  
○鳥の子 ○鳥の子又はビニル程度  
縁仕上げ  
○塗り縁 ○生地縁(素地) ○生地縁(ウレタン塗料)  
見込み寸法  
○19.5mm ○ 建具表による ○

○戸ふすま  
表面板の仕上  
○ 建具表による ○  
見込み寸法  
○30mm ○ 建具表による ○  
○30mm ○ 建具表による ○

枠、くつずりの材料 ○ 建具表による ○

設計者  
株式会社 m3部建築事務所  
管理技術者: 川本 雅史  
構造一般建築士: 6037 号  
主任技術者: 本山 治英  
一級建築士: 271307 号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
改修工事特記仕様書(その5) (A3) S=1/200  
国土交通省 九州地方整備局 資料部 令和6年度 <2024.08.30>

5  
A-5

5 建築改修工事(続)(色)

● 建具用金物 [5. 8. 2~4][表5. 8. 1~5]

● マスナー ● 製作する ( ● 新規 ○ 既存に合わせる )  
その他の鍵の製作本数 ○

● シリンダー錠  
● In1-ハンド # 材質 ● 7&M316合金 ○ ステンレス ○ 黄銅  
● 座金 ● 丸座 ● 長座  
● 握り玉 材質 ● ステンレス

○ 本締り錠 (品質、性能) 建築材料等品質性能表による

● 錠錠  
● In1-ハンド # 材質 ● 7&M316合金 ○ ステンレス ○ 黄銅  
● 座金 ● 丸座 ○ 長座  
● 握り玉 材質 ● ステンレス

○ グレイト錠  
In1-ハンド #の材質 ○ 亜鉛合金 ○ ステンレス  
製造所 ○ 明示

● ビギッティング  
加へ部の材質 ● ステンレス ○ 亜鉛合金

○ グレード錠  
Grade1 ○ Grade2  
加へ部の材質 ○ ステンレス ○

○ ヒンジ加へ部(丁番型)  
材質 ○ 鋼(焼付け塗装) ○

○ ヒンジ加へ部(レボタイプ型)  
材質 ○ 鋼(焼付け塗装) ○

● ドアローザ ○ Grade1 ● Grade2  
材質 ● 7&M316合金 ○

○ 押棒、押板  
材質 ○ ステンレス ○ 黄銅 ○ 合成樹脂

○ アーレストバー  
材質 ○ 鋼(カラムめっき) ○ ステンレス

● クレジット  
材質 ● 建具製造所の仕様による

● 排煙ダクト ( ● 埋込 ○ 露出 )

握り玉、In1-ハンド #、押板類、クレジットの取付け位置  
○ 建具表による ○

金物の種類及び見え掛り部の材質等  
● 改修標準仕様書[表5. 8. 1]により適用は建具表による  
○

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ  
● 改修標準仕様書[表5. 8. 2]による ○ 建具表による

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ  
○ 改修標準仕様書[表5. 8. 3]による ○ 建具表による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ  
● 改修標準仕様書[表5. 8. 4]による ○ 建具表による

木製建具に使用する戸車及びレール  
○ 改修標準仕様書[表5. 8. 5]による ○ 建具表による

● 自動ドア開閉装置 [5. 9. 2, 3]

5 建築改修工事(続)(色)

● 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置

性能値  
● 標準仕様書[表5. 9. 2]による  
( 防錆 ○ 適用する ● 適用しない )  
○ 以下による  
耐電圧 ( )  
温度上昇 ( )  
耐久性(サイクル) ( )  
防錆 ( )  
電源 ( )

○ 引き戸用検出装置  
性能値  
● 標準仕様書[表5. 9. 3]による  
( 防錆 ○ 適用する ● 適用しない )  
○ 以下による  
耐電圧 ( )  
防錆 ( )  
防滴 ( )  
電源 ( )

引き戸用検出装置の種類  
○ 光線(反射)センサー ○ 熱線センサー ○ 音波センサー  
○ 光電センサー ○ 電波センサー ○ 押しボタンスイッチ  
○ ナイスセンサー ( ● 無線式 ○ 光線式 )  
○ 車椅子使用者用便所スイッチ  
( ● 大形押しボタンスイッチ ○ 非接触スイッチ )

凍結防止措置 ○ 行わない ○ 行う

駆動力 ○ 電気式又は電動油圧式 ○

電源 ○ 単相100V(過電流保護装置付) ○

補助センサー ○ 安全光線スイッチ1組 ○  
各開閉装置毎に補助センサーを設ける

性能値等 [5. 10. 3]  
● 改修標準仕様書[表5. 10. 1]による  
○ 以下による  
手動開き力 ( )  
手動閉じ力 ( )  
閉じ速度の調整 ( )  
制動区間 ( )  
開閉繰返し ( )  
耐衝撃性 ( )

シャッターの種類 [5. 11. 2, 3]

名 称	耐風圧強度	開閉方式の種類
○ 管理シャッター	( ) Pa	○ 電動式(手動併用) ○ 手動式
○ 外壁用防火シャッター	( ) Pa	○ 電動式(手動併用) ○ 手動式
○ 室内用防火シャッター		
○ 防煙シャッター		

安全装置  
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置  
( 設置箇所 ○ 建具表による ○ )  
電動式シャッターの障害物感知装置  
( 設置箇所 ○ 建具表による ○ )  
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危険防止装置  
( 設置箇所 ○ 建具表による ○ )

管理用シャッターのシャッターケース ○ 設ける ○ 設けない

スリット及びシャッター用鋼板  
鋼板の種類 ○ JIS G 3302(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
○ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
めっきの付着量 ○ Z12又はF12 ○

電動式の場合の電源 ○ 三相200V 0.75kw以下(過電流保護装置付)

リモコンの有無 ○ 無 ○ 有 (リモコンの個数 個)

ガードレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び履板の加へ、両掛りに用いるスイッチの材質  
○ ステンレス板 SUS304、SUS430J1又はSUS443J1  
○

5 建築改修工事(続)(色)

○ 軽量シャッター [5. 12. 2~4]

開閉形式 ○ 手動式 ○ 電動式(手動併用)

耐風圧強度 ( ) Pa

安全装置 電動シャッターの障害物感知装置  
( 設置箇所 ○ 建具表による ○ )

スリットの材質の種類  
○ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
めっき付着量 ( ) Z06又はF06 ( )  
○ JIS G 3322(塗装溶融55%Zn-5%Al-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)  
めっき付着量 ( ) AZ90 ( )

スリットの形状 ○ インナーレール形 ○ オーバーヘッド形

ガードレール・座板の材質 ○ ステンレス(SUS304) ○ 溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合の電源 ○ 単相100V(過電流保護装置付)

[5. 13. 2, 3]

材質による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガードレールの材質
○ 7&M316	○ 125	○ バック式	○ スリット形	○ 溶融亜鉛めっき鋼板
○ 7&M316	○ 100	○ バック式	○ ロック形	○ ステンレス鋼板
○ 7&M316	○ 75	○ 電動式	○ バック形	
○ 7&M316	○ 50			

電動式シャッターの障害物感知装置  
( 設置箇所 ○ 建具表による ○ )

● ガラス [3. 7][5. 14. 2~4]

● 700板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類  
● 建具表による ○

● 型板ガラスの厚さによる種類  
● 建具表による ○

○ 網入りガラス及び線入り板ガラス又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類  
○ 建具表による ○

○ 合わせガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ  
○ 建具表による ○  
形状による種類  
○ 平面合わせガラス ○ 曲面合わせガラス  
落着衝撃はく離特性並びにシフトの衝撃特性による種類  
○ I類 ○ II-1類 ○ II-2類 ○ III類

○ 強化ガラス  
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称  
○ 建具表による ○  
破片の状態及びシフトの衝撃特性による種類  
○ I類 ○ III類

○ 熱線吸収板ガラス  
板ガラスによる種類、厚さによる種類  
○ 建具表による ○  
性能による種類  
○ I種 ○ 2種

○ 複層ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ  
○ 建具表による ○  
断熱性による区分  
○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ○ T5 ○ T6  
日射取得性、日射遮蔽性による区分  
○ G ○ S  
乾燥気体の種類  
○ 空気 ○ 7&M316 ○

5 建築改修工事(続)(色)

○ 熱線反射ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類  
○ 建具表による ○  
日射熱遮蔽性による区分  
○ 1種 ○ 2種 ○ 3種  
耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)  
○ A種 ○ B種  
映像調整  
○ 行わない ○ 行う

○ 性能低下ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類  
○ 建具表による ○

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
7&M316製	○ シリンダー形(SR-I) ○ シリンダー形(SR-II) ○ シリンダー形(SR-III)	○ 建具の製造所の仕様による ○ 明示 ○
鋼板及び鋼板積層	○ シリンダー形(SR-I) ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 明示
ステンレス製	○ シリンダー形(SR-I) ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 明示
複層製	○ シリンダー形 ○ シリンダー形 ○ シリンダー形	○ 建具の製造所の仕様による ○ 明示

品質は、JIS A 5759による

形式 ○ 30本入 ( ) 個 ● 60本入 ( 1 ) 個  
○ 120本入 ( ) 個 ● 本入 ( ) 個

鋼製市販品とし、監督職員の承諾による

設計者 株式会社 m3部建築事務所  
管理技術者 川本 雅史  
構造一級建築士: 6037 号  
主任技術者: 本山 治英  
一級建築士: 271307 号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
改修工事特記仕様書(その6) (A3) S=1/200  
国土交通省 九州地方整備局 資料部 令和6年度 <2024.08.30>

6  
A-6

6 ●改修範囲 [6.1.3]

●既存切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲

- 壁面より両面100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
- 図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

- 壁面より両面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
- 図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

- 既存のまま
- 図示

6.2.2 ●既存床の撤去及び下地修繕

びん床等への除去

- 仕上材のみ（接着剤とも）
- 下地材料とも（○ 図示の範囲 ● 除去範囲全て）

合成樹脂塗料の除去工法

- 機械的除去工法 ○ 目荒し工法

既存コンクリート又は砂利面の下地処理に用いる「リ・セ・レ・シ・レ・シ」及び「レ・シ・レ・シ・レ・シ」は、改修標準仕様書 4章 外壁改修工事による。

6.3.2 ●既存壁の撤去及び下地修繕

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の修繕

- 改修標準仕様書(4.3.10)によるモルタル塗り
- （全塗り厚25mmを超える場合の処置 ○ 図示）
- 

6.5.2 ●施工一般

●材料の貯蔵方法の取扱い

- F☆☆☆☆又は改修標準仕様書[6.5.2](1)(b)による
- 

6.5.2 ●製材図

○ JAS 1083-5 製材—第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	関係材の適用
		○ 2級	○ A級		○
		○	○ B級		○
		○	○ C級		○

○ JAS 1083-2 製材—第2部に基づく造作製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	関係材の適用
見え隠り面		○ 小野	○ A級		○
		○	○ B級		○
見え隠り面以外		○ 小野以上	○ A級		○
		○	○ B級		○

○ JAS 1083-6 製材—第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	関係材の適用
		○ 1等	○ 10%以下		○

\* JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	造作材の材質の品質	防虫処理	含水率	関係材の適用
		○ (造作材の場合)	○ 適用する	○ A級	○
		○	○ 適用しない	○ B級	○
		○	○	○	○

6.5.2 ●造作用集成材図

●「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧層の厚さ(mm)	見付け材の割合	見付け材の割合	関係材の適用
					○ 1等	○	○
					○ 2等	○	○

○ 図示

6 内装改修工事(続)

6.2.2 ●造作用単板積層材図

○「集成材の日本農林規格」による化粧びり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧層の厚さ(mm)	見付け材の割合	見付け材の割合	関係材の適用
					○ 15%以下	○	○
					○ 15%以下	○	○

○ 図示

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	含水率	関係材の適用
				○ 15%以下	○
				○ 15%以下	○

○ 図示

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧層の厚さ(mm)	見付け材の割合	見付け材の割合	関係材の適用
					○ 15%以下	○	○
					○	○	○

○ 図示

○ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	関係材の適用
				○ 適用する	○
				○ 適用しない	○
				○ 適用する	○
				○ 適用しない	○

○ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	関係材の適用
			○ 10%以下	○ 適用する	○
			○ 10%以下	○ 適用しない	○
			○ 10%以下	○ 適用する	○
			○ 10%以下	○ 適用しない	○

○ JAS 3079に基づく直交集成材(DLT)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性(使用環境)	樹種	寸法(mm)	関係材の適用
							○
							○

○ 図示

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	層数の種類	接着の程度	表面の品質	防虫処理	関係材の適用
	○ 5.5	○ 3層	○ 広葉樹	○ 2等以上	○ 適用する	○
	○	○ 2層	○ 広葉樹	○ 2等以上	○ 適用しない	○

○ 図示

○「合板の日本農林規格」による構造用合板図

施工箇所	等級	層数の種類	接着の程度	表面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	関係材の適用
	○ 2級以上	○ 3層	○ 1等	○ 広葉樹	○ 2等以上	○	○ 1等	○ 適用する
	○ 1級	○ 3層	○ 1等	○ 広葉樹	○ 2等以上	○	○ 1等	○ 適用する
								○ 適用しない

○ 図示

○「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板図

施工箇所	厚さ(mm)	層数の種類	接着の程度	防虫処理	関係材の適用
			○ 1等	○ 適用する	○
			○ 1等	○ 適用しない	○

○ 図示

6 内装改修工事(続)

6.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	耐熱性による区分

6.3.3 ●接合具等

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	化粧層に使用する層数の種類	接着の程度	防虫処理
			○ 1等	○ 適用する
			○ 2等	○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板図

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1等		○ 適用する	
		○ 2等		○ 適用しない	

○「バニークレイド」図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	耐久性による区分	耐熱性による区分
	○ 15		○ 13以上	○	○

○ JAS 0360 に基づく構造用合板

施工箇所	寸法(mm)

6.3.3 ●防接合

○「合板の日本農林規格」による普通合板図

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	逃げ強さによる区分	接着による区分	
------	--------	------------	-----------	---------	--



○可動間仕切

Table with columns for construction type, material, and fire safety. Includes checkboxes for various specifications like '移動式' and '防火性能'.

パネル内に取付ける建具 ○あり (○図示 ○なし)

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

パネル材料の熱伝導係数放散量 ○JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

固定材 ○ビス ○シール剤

○移動間仕切

Table with columns for construction type, material, and fire safety. Includes checkboxes for '移動式' and '防火性能'.

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする

パネルの取付け下地の補強 ○取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する

移動間仕切の壁面当たり枠 ○適用する (製造所の仕様による)

○トイレブース

Table with columns for surface material, color, and fire safety. Includes checkboxes for '耐火' and '防火性能'.

吊り方式 ○中心吊り、戸当たり付 ○

パネル材料の熱伝導係数放散量 ○JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

○視覚障害者用床タイル

Table with columns for construction type, material, and fire safety. Includes checkboxes for '視覚障害者用' and '防火性能'.

視覚障害者用ドア等の突起の形状及びその配列は、JIS T 9251による

樹脂系点字紙 (タイプライター用) 寸法 ○300角 ○500角 色 ○黄色 ○

樹脂系点字紙の留付は、両面からの挟み込み方式又は接着式

○階段滑り止め

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '階段滑り止め' and '防火性能'.

幅(mm) ○図示 ○ 端部フラット化 ○あり ○なし

●床目地掃

床仕上げの異なる箇所には目地掃を入れる ●スリム型: □型(幅40程度、厚1.5) (標準詳細図4-31-1) ●スリム型: 6×12 (標準詳細図4-31-2) ●黄銅製: 6×12 (標準詳細図4-31-2)

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '床目地掃' and '防火性能'.

既製手すり (樹脂製) 形式 径 アサリ 仕上

点字標識板 ( ) 箇所 JIS T 9921に基づく点字の表示原則及び表示方法による

点字標識板の取付け下地の補強 ○取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する

○ブラインド

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for 'ブラインド' and '防火性能'.

再使用する ○新設する

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '再使用する' and '防火性能'.

横型ブラインドにおいて7&#247;に合金製の製品を使用する場合、図の調達基準は以下のとおりとする

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '横型ブラインド' and '防火性能'.

スリットの材質 ○7&#247;スリット 焼付け塗装仕上げ ○7&#247;スリット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工

スリット網織又は植物を原料とする合成網織を使用した製品を使用する場合は図とする

○カーテン

再使用する ○新設する

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for 'カーテン' and '防火性能'.

スリット網織又は植物を原料とする合成網織を使用した製品を使用する場合は図とする

暗幕かつの両端、上部及び引合せの重なり ○300mm以上

○カーテンレール

再使用する ○新設する

材質 ○7&#247;型合金製の押出成形材 ○スリム型 ○7&#247;型合金製の押出成形材 ○7&#247;型合金製の押出成形材 ○7&#247;型合金製の押出成形材

滑り止め材 形状 ○ひも型 ○ワイヤー型 材質 ○J&#247;又は合成樹脂

取付け工法 ●接着工法 ○埋め込み工法

●ブラインドボックス及びカーテンボックス

再使用する ●新設する 溝幅×深さ(mm) ○90×150 ○120×80 ○120×150 ○150×80 ○図示 ○

材質 ●集成材(仕上げ: 7&#247;に塗装 押出成形材(市販品)) 表面処理 ○C-1 ○C-2 皮膜等の種類 ○標準仕様書(表14.2.1)による ○鋼製(仕上げ: )

コーナーボード (壁ボード) 出隅保護金物 ●7&#247;に押し出成形材 ○ シルバー ○焼付 ○ 図示 ○

天井見切縁 材質 ●7&#247;に押し出成形材 ○強化ビ&#247;製 施工箇所 ●図示 ○

天井点検口 材質 ●7&#247;に押し出成形材 ○強化ビ&#247;製 施工箇所 ●仕上げによる ○

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '天井点検口' and '防火性能'.

(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '天井点検口' and '防火性能'.

閉閉型とは、7&#247;、7&#247;、7&#247;に加工構造に7&#247;を装着したものである (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

建物内部に使用する塗料の熱伝導係数放散量 ○F☆☆☆☆ ○

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '塗料' and '防火性能'.

仕上塗材の種類 種別 呼び名 防火材料 仕上りの状態

薄付け仕上塗材 ○内装塗装用E ○ 塗装仕上げをなく ○内装塗装用E ○ 塗装仕上げをなく ○経量仕上塗材 ○内装塗装用E ○ 塗装仕上げをなく ○内装塗装用E ○ 塗装仕上げをなく ○にて使用経量塗材 ○ 平たん状

●材料

防火材料 ●屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ○次の箇所を除き防火材料とする(箇所: )

塗替え工事の場合の既存壁紙の除去範囲 ●塗替え面積30% ○図示 ○

既存仕上げ塗料の鉛含有調査 ○行う ( ) ○行わない

下地調整 (新規) ●標準仕様書(18.2.1)素地ごしらえによる ○

下地調整 (塗替え)

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '下地調整' and '防火性能'.

●錆止め塗料塗り

Table with columns for material, material, and fire safety. Includes checkboxes for '錆止め塗料' and '防火性能'.

錆止め塗料塗りの種類 塗 装 面 塗料の種類 工程の種類

鉄鋼部材 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

塗装の種類 塗 装 面 塗 装 工 程

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

合成樹脂床板 EP-G以外 塗装面 A種 ○B種 ○ C種 ○

別表-1 工事区分表					別表-2																		
工 事 内 容			建築	電気設備	機械設備	エレベーター設備	工 事 内 容			建築	電気設備	機械設備	エレベーター設備	品 目		対 象 材 料 名							
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎		○				昇降機関連	機械室・昇降機の躯体					床型枠用鋼製F10レイト	標準仕様書、6章8節に規定する床型枠用鋼製F10レイトを対象	屋上緑化/2F&	標準仕様書、23章5節屋上緑化及び改修標準仕様書9章6節に規定する屋上緑化改修工事						
		屋内							鉄骨柱下集積線/4F&	標準仕様書、7章2節に規定する柱底均し/4F&を対象						① 屋上緑化/2F&(仮状成形品/7)		一般庁舎の屋上に構体で設置するもので、2'53等を被覆部に用いた小規模の既製金属					
		屋外							無収縮/50材	改修標準仕様書、8章2節に規定する無収縮/50材とし、主として耐震補強工事及び							② 屋上緑化/2F&		30分以上の耐火性能を有するものを対象。また、耐火性能無し、透光性の合成樹脂				
		屋上	○						乾燥保護材(防水上部)	標準仕様書、9章2節に規定する乾燥保護材を対象									100mm角または、長さ0.900m以下のものとし				
			○							既設鋼合金/9&(9&工事用)	標準仕様書、11章2節に規定する既設鋼合金/9&を対象									層材による製品(開口部は最大2,000角または、長さ0.900m以下のものとし			
	機械関係	自家発電機の基礎								既設鋼合金/9&(9&工事用)	標準仕様書、11章2節に規定する既設鋼合金/9&を対象									層材による製品(開口部は最大2,000角または、長さ0.900m以下のものとし			
		H/A'の基礎								既設鋼合金/9&(9&工事用)	標準仕様書、11章2節に規定する既設鋼合金/9&を対象									層材による製品(開口部は最大2,000角または、長さ0.900m以下のものとし			
		H/A'の基礎								既設鋼合金/9&(9&工事用)	標準仕様書、11章2節に規定する既設鋼合金/9&を対象									層材による製品(開口部は最大2,000角または、長さ0.900m以下のものとし			
		耐震計の基礎								既設鋼合金/9&(9&工事用)	標準仕様書、11章2節に規定する既設鋼合金/9&を対象									層材による製品(開口部は最大2,000角または、長さ0.900m以下のものとし			
		70kV以上の基礎								既設鋼合金/9&(9&工事用)	標準仕様書、11章2節に規定する既設鋼合金/9&を対象									層材による製品(開口部は最大2,000角または、長さ0.900m以下のものとし			
		特記した基礎		○	○					鉄鋼鋼合金/9&	標準仕様書、13章5節に規定する鉄鋼鋼合金/9&を対象										層材による製品(開口部は最大2,000角または、長さ0.900m以下のものとし		
開口部	R/C壁の貫通部	構造		○				昇降機関連	各出入口/穴あけ・肉補強	標準仕様書、15章3節に規定する取込鋼製材/9&					水工鋼製材(8&3用)	標準仕様書、15章3節に規定する取込鋼製材/9&			改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし				
		スリーブ		○	○	○			スリーブ	標準仕様書、16章2節に規定する7&10レイト製建具とし、一般的に/6用建具を対象。新たに/6材を製作するものや/6用/7材&及び防音材は対象外。但し、断熱/6については③(0層における/6-3以上)を対象								仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの					
		スリーブ		○	○	○			スリーブ	標準仕様書、16章2節に規定する7&10レイト製建具とし、一般的に/6用建具を対象。新たに/6材を製作するものや/6用/7材&及び防音材は対象外。但し、断熱/6については③(0層における/6-3以上)を対象								仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの					
	R/C柱及び梁の貫通部	構造		○					昇降機関連	昇降路がS造の時の出入口/3、三方枠及び昇降の固定用鋼材											改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし		
		スリーブ		○	○	○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの		
		スリーブ		○	○	○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの		
	デッキプレートの貫通部	構造		○						昇降機関連	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし	
		型枠		○							昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの	
		切込		○	○	○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの	
	軽質載重下地天井及び壁の開口部	構造		○							昇降機関連	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし
		切込		○	○	○						昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの
切込			○	○	○		昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇														仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの		
点検口	構造		○				昇降機関連	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇														改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし	
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇														仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの	
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇													仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの		
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇													仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの		
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇													仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの		
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの			
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの			
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの			
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	切込		○	○	○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
外部取付ガラリ	床、壁、天井		○				昇降機関連	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	ダクト、チャパンバーの接続用フランジを含む		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
換気扇	本体		○				昇降機関連	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし				
	取付枠		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	本体(排水トラップ共)		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	水栓		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	オイルサーピスタックの防油膜、タンク基礎		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	主燃料槽(自家発用)		○		○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	オイルタンク(空積用)		○		○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	タンク室(屋根、土工事)		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	屋内床下各種水栓等のマンホールふた		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	屋外排水管		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	汚水、雑排水		○		○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
雨水立管 (たてどい)		○		○		昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの						
雨水集水管 (ナイフゲート併用)		○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの						
使用内に設置する手すり		○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの					
使用内に設置する手すり(衛生器具ユニットに含まれる場合)		○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの					
ほめ込形洗面器用カウンター		○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの					
鏡		○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの					
ガスボンベ転倒防止用の鎖		○				昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの					
電気配管配線	電気配管配線	電気配管及び通電金具(配線を含む)		○			昇降機関連	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											改修標準仕様書、4章2節に規定するR'70レイト/9&を対象とし、コナリ打ちし				
	機器などから操作/1付等への2次側配管及び埋込ボックス		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	機器などから操作/1付等への2次側配線及び接続		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	自動制御と動力との配管配線		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	個別パッケージの室内機、室外機の張り配線(接地共)		○		○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	感震知照から自動制御を経て防犯ダンパーに至る配管配線		○		○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	小規模用排水装置の制御以降の2次側の配管配線		○		○			昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	フリーアクセスフロアの複合アウトレット取付及び配線		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇											仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの				
	防火扉レリーズ		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの			
	電燈		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの			
	ガス漏れ感知器		○					昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、曳昇												仕上げ外壁、/6&張り仕上げ外壁及び/6&張り仕上げ外壁に適用するもの			
電気設備	電気設備	電気配管及び通電金具(配線を含む)																					

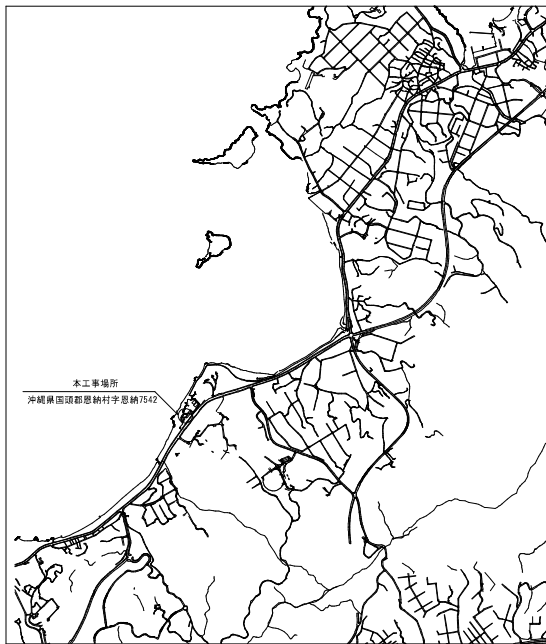


■この建築材料等品質性能表は、特記仕様書記載の材料（性能は建築材料等品質性能表による）の品質及び性能を詳細に示したものである。

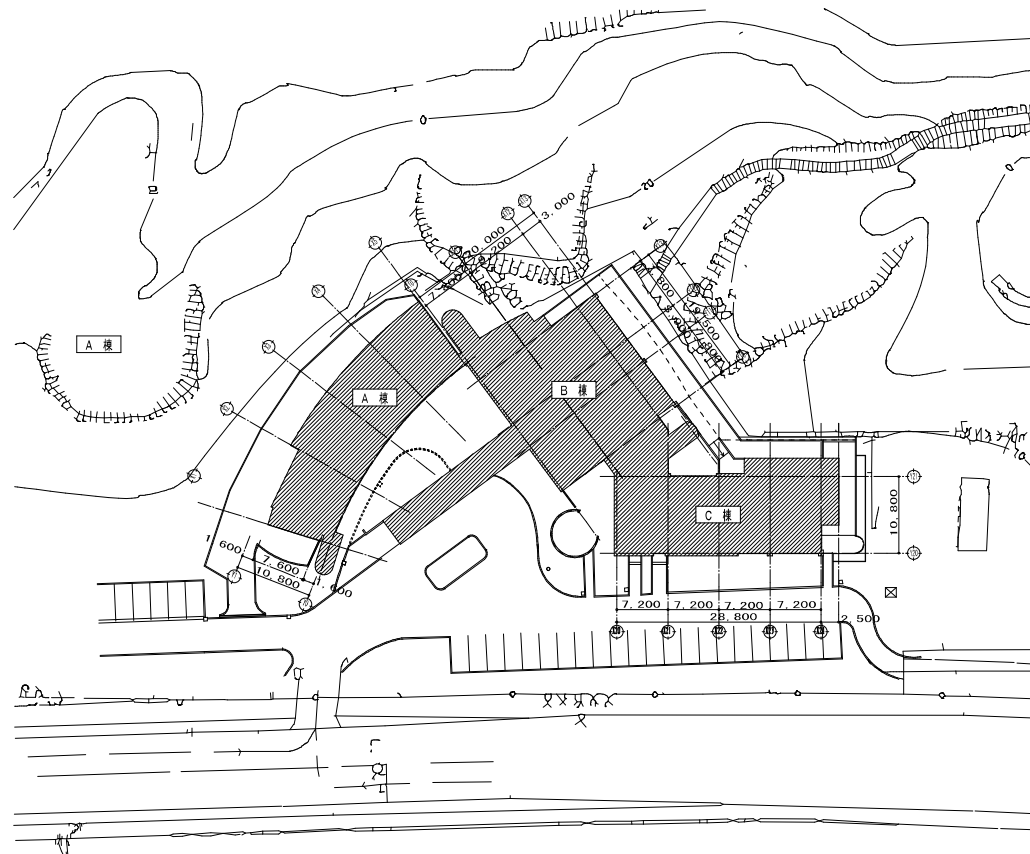
項目	品質性能
9	<p>3</p> <p>（屋上緑化特許システム）</p> <p>屋上緑化特許システム 管理方法による区分 緑化植物の質量 (kg/m<sup>2</sup>) 適用土壌の種類 青物土壌層の最大厚さ (mm) 植物土壌層の植物の根系の長さ 透気・排水層等構成材の主要材質 透気層 排水層 排水層の鉛直方向の排水性能 (L/m<sup>2</sup>・h) 耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度 (kN/m<sup>2</sup>) 耐根腐及び防水層保護層 防水層保護層 20日間重量 (kg/m<sup>2</sup>) 保水性能 (L/m<sup>2</sup>) 水平方向排水性能 (L/m<sup>2</sup>) 種数 再生材の利用 自動灌水装置</p> <p>（試験方法等）</p> <p>1) 保水層の保水性能：保水空間体積の算定値または実測値による。 （保水層を有する場合のみ） 2) 排水層の排水性能：排水量の最低値または実測値による。 3) 耐根腐の耐根性能：3年間の実績資料の確認（その他）による。 4) 排水層の耐荷重性能 a) 3×10<sup>3</sup>N/m<sup>2</sup>の等分荷重による加圧試験を行い、排水層及び耐根腐等に有害な変形・破壊の起さない事を確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。） b) 試験片は耐根腐から透水層までを通常使用状態にかけた3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。</p> <p>（その他確認事項） 実績は施工後3年経過後かつ、施工面積100㎡以上の案件を1件以上含む販売実績5年以上について下記事項を確認している。なお、種数の製品を申請している場合、材質・部材構成が異なるなど下記1)～5)の各項目について各々製品別に確認を要するときは、その実情に応じて別途確認している。 当該の案件に対し、下記に関する最近の調査報告書を提出すること 1) 植物の生育状態：旅行時と比べ継続的に生育していること 2) 耐根腐の状態：根が貫通したり、耐根腐が傷んでいないこと 3) 透気・排水状態の状態：腐敗、破壊されていないこと 4) 土壌の安定状態：風雨で土壌が吹き飛ばされていないこと 5) 排水路への土壌の流出状況：排水路はきれいに保たれていること 6) その他全般的な問題の有無</p>
4	<p><b>石積倉庫建材の除去工事</b></p> <p>高五建設</p> <p>1) 防水材（外部） 灰色 2) 外壁塗材 灰色 3) 軒裏材（外部） 灰色 4) 塗装材（内部） 灰色 5) 巾木材（内部） 灰色 6) 塗装材（外部） 灰色</p> <p>※当該部分を解体・除去等を実施する場合は、国土交通省大臣官庁審判部監督 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版 9章 環境配慮改修工事による。</p>

改 修 工 事 概 要	
工事名称	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事
建築場所	沖縄県国頭郡恩納村字恩納7542
施設用途	宿泊及びセミナー施設
構造・階数	RC造・3階建
敷地面積	73,580㎡
建築面積	1,341.70㎡
延べ面積	2,999.63㎡

改修工事項目	
1.	屋上・外壁防水改修工事 一式
2.	内装改修工事一式
3.	テラス(ウッドデッキ)改修工事一式
4.	サイン工事一式
5.	外構工事一式

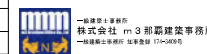


付近見取図



配置図 S=1/750

D



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 付近見取図、配置図

縮尺 A1 : 1/100  
A3 : 1/200

沖縄科学技術大学院大学学園

13

A-13

○ 外部仕上表

Table with columns: 種別, 巾木, 改修内容, 柱・梁・外壁, 改修内容, 屋根, 改修内容, 軒裏, 改修内容, 屋外階段, 改修内容, バルコニー, 改修内容, テラス, 改修内容, 車寄せ, 改修内容, その他. Rows include 改修前 and 改修後 details for various construction items.

○ 内部仕上表

Large table with columns: 階, 改修前改修後, 旧室名新室名, 改修内容, 巾木, 改修内容, 壁, 改修内容, 天井, 改修内容, 廻り縁, CH, 備考. Rows list floor levels (共通, E/Vホール, B棟1階) and room types (ホール, オープンワークショップ, 通路, etc.) with detailed renovation specifications.

Bottom section containing: 共通事項 (General items), 外部付属物通用分類番号 (External equipment classification numbers), 内部付属物通用分類番号 (Internal equipment classification numbers), 略号凡例 (Abbreviation examples), 防火認定材料 (Fire-rated materials), 注意事項 (Notes), and 改修内容凡例 (Renovation content examples).

Project information block including: 工事名 (Project Name: 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事), 図面名 (Drawing Name: 仕上表 1), 縮尺 (Scale: A1: -, A3: -), and 14 A-14 page markers.

○ 内廊仕上表

階	改修前 改修後	旧室名 新室名	改修 内容	床	改修 内容	巾 木	改修 内容	壁	改修 内容	天 井	改修 内容	廻り縁	CH	備 考
		男子便所	F	300角磁器質タイル張り(無袖)	F	---	F	300角磁器質タイル張り(落袖)	F	同上	F	同上	2,400	
		女子便所	F	300角磁器質タイル張り(無袖)	F	---	F	300角磁器質タイル張り(落袖)	F	同上	F	同上	2,400	
		車椅子用便所	F	300角磁器質タイル張り(無袖)	F	---	F	300角磁器質タイル張り(落袖)	F	同上	F	同上	2,200	
C棟 1階		セミナー室	A	OAフロアー(H=50)の上、500角制電タイルカーペット張り 鋼製床下地厚12+15杉構造合板張りの上、500角制電タイルカーペット張り	F	ソフト巾木H=75	F	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5+12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上、AEP塗装	C	LGS下地厚9.5石膏ボード張りの上、厚9ロックウール化繊吸音板張り	A	塩ビ	3,000~4,300	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
			a	500角制電タイルカーペット張【新設】					c	LGS下地GB-Rt=9.5捨張りの上GB-Rt=9.5張【新設】	a	塩ビ	3,000~3,250	
		ミーティングルーム(4)	F	鋼製床下地厚12+15杉構造合板張りの上500角制電タイルカーペット張り	F	同上	F	LGS下地厚12.5+12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装	C	LGS下地厚9.5石膏ボード張りの上、厚9ロックウール化繊吸音板張り	F	同上	2,500	
					F	同上	F	LGS下地厚12.5+12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装	c	LGS下地GB-Rt=12.5の上、EP-G塗装【新設】	F	同上	2,500	
		廊下1-(2)	A	コンクリート金コテ仕上の上、500角タイルカーペット張り	A	ソフト巾木 H=75	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装	E	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装	A	塩ビ	2,500~2,800	
			a	500角制電タイルカーペット張【新設】	a	同上【新設】	e	EP-G塗装【新設】	e	EP-G塗装【新設】	a	塩ビ【新設】		
		廊下1-(3)	A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル	A	ソフト巾木 H=75	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装	C	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装	A	同上	2,400	
			a	300角ビニル床タイルt=2.0張【新設】	a	同上【新設】	e	EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5の上、EP-G塗装【新設】	a	同上		
		厨房	F	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り(抗菌・マarmor)	F	同上	F	同上	C	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、VE塗装	F	同上	2,700	
					F	同上	F	同上	c	LGS下地GB-Rt=12.5の上、EP-G塗装【新設】	F	同上	2,500	
		サーバールーム	F	鋼製床下地厚12+15杉構造合板張りの上、300角厚2ビニル床タイル張り	F	同上	F	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5+12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 GWt=30有縁張り	C	ウレタンフォームt=25【既存のまま】	F	同上	2,500	
		管理入室(洋室)	A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル	A	ソフト巾木 H=75	E	厚25発泡断熱材打ち込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)AEP塗装 厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上、AEP塗装	C	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード	F	塩ビ	2,500	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
			a	ビニル床タイルt=2.0張【新設】	a	同上【新設】	e	EP-G塗装【新設】 (GL工法)EP-G塗装【新設】	e	LGS下地GB-Rt=12.5【新設】				
	管理入室(和室)	F	木造床組下地厚12合板張りの上、畳敷き	F	タタミ寄せ	A	コンクリート打放し(B種)の上、ビニルクロス張り	C	同上	F	同上	2,500	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】	
				A	厚25発泡断熱材打ち込みの上、厚12.5石膏ボードビニルクロス張り	A	LGS下地厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上、ビニルクロス張り	e	同上					
				a	ビニルクロス張り【新設】	a	(GL工法)の上、ビニルクロス張り【新設】							
	管理入室(洗面・脱衣室)	F	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り(抗菌・マarmor)	F	ソフト巾木 H=75	F	LGS下地厚12.5シーリングボードの上、ビニルクロス張り	C	LGS下地厚12.5シーリングボード(GL工法)の上、VE塗装	F	同上	2,500		
				F	同上	F	厚150CB積の上厚12.5シーリングボード(GL工法)の上、ビニルクロス張り	e	LGS下地0.8FK	F	同上	2,500		
	管理入室(便所)	F	同上	F	同上	F	同上	C	同上	F	同上	2,500		
	機械室1-(2)	F	コンクリート打放し	F	---	F	コンクリート打放し素地	F	コンクリート打放し素地	F	---			
A棟 1階		Play space	A	コンクリート金コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木H=75	F	厚20モルタル金コテ仕上の上、AEP塗装 LGS100形+GB-R厚12.5カラーガラス厚5貼 LGS100形+GB-R厚12.5+E	C	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り	A	塩ビ	3,000	
		宿泊室1-(C)(D)	c	ビニル床シートt=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木H=75【新設】	c	積質のf=1t=25の上、0t=9.5(捨張)の上 (0t=0t)=12.5 EP-G塗装 LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	c	塩ビ	2,700 2,350	
		Older Kids Space Library	A	コンクリート金コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木H=75	F	厚20モルタル金コテ仕上の上、AEP塗装 LGS100形+GB-R厚12.5カラーガラス厚5貼 LGS100形+GB-R厚12.5+E	C	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り	A	塩ビ	3,000	
		宿泊室1-(HC)	c	ビニル床シートt=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木H=75【新設】	c	積質のf=1t=25の上、0t=9.5(捨張)の上 (0t=0t)=12.5 EP-G塗装 LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	c	塩ビ	2,700 2,350	
		Office Pantry	A	コンクリート金コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木H=75	F	厚20モルタル金コテ仕上の上、AEP塗装 LGS100形+GB-R厚12.5カラーガラス厚5貼 LGS100形+GB-R厚12.5+E	C	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り	A	塩ビ	3,000	
		宿泊室1-(HC)	c	ビニル床シートt=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木H=75【新設】	c	積質のf=1t=25の上、0t=9.5(捨張)の上 (0t=0t)=12.5 EP-G塗装 LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	c	塩ビ	2,700 2,350	
		Craft Room	A	コンクリート金コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木H=75	F	厚20モルタル金コテ仕上の上、AEP塗装 LGS100形+GB-R厚12.5カラーガラス厚5貼 LGS100形+GB-R厚12.5+E	C	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り	A	塩ビ	3,000	
		宿泊室1-(B)	c	ビニル床シートt=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木H=75【新設】	c	積質のf=1t=25の上、0t=9.5(捨張)の上 (0t=0t)=12.5 EP-G塗装 LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	c	塩ビ	2,700 2,350	
		Sturdy Room, Strage	A	コンクリート金コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木H=75	F	厚20モルタル金コテ仕上の上、AEP塗装 LGS100形+GB-R厚12.5カラーガラス厚5貼 LGS100形+GB-R厚12.5+E	C	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り	A	塩ビ	3,000	
		宿泊室1-(B)	c	ビニル床シートt=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木H=75【新設】	c	積質のf=1t=25の上、0t=9.5(捨張)の上 (0t=0t)=12.5 EP-G塗装 LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	c	塩ビ	2,700 2,350	
		廊下1-(4)	A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木H=75	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装	E	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装	A	同上	2,700	
			a	300角ビニル床タイルt=2.0張【新設】	a	同上【新設】	e	EP-G塗装【新設】	e	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	a	同上		
		廊下1-(5)	A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木H=75	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装	E	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装	A	同上	2,500	
		c	300角ビニル床タイルt=2.0張【新設】	c	同上【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5+12.5 EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	c	同上			
	電気室		コンクリート打放し				グラスウール吸音ボード		コンクリート打放し					
	ボイラー室		コンクリート打放し				グラスウール吸音ボード		コンクリート打放し					



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所

○ 内部仕上表

室名	旧室名 新室名	改修 内容	床	改修 内容	巾木	改修 内容	壁	改修 内容	天井	改修 内容	廻り縁	CH	備考	
A棟 2階 3階	宿泊室 (B) (洋室)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	ソフト巾木 H=75	E	コンクリート打放し(B棟) AEP塗装 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法) AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード AEP塗装	E	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	塩ビ	2,700	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】	
		c	ビニル床シート t=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木 H=75【新設】	c	EP-G塗装【新設】 (GL工法) EP-G塗装【新設】	b	EP-G塗装【新設】	b	同上			
	宿泊室 (B) (廊下、洗面)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	同上	E	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード AEP塗装 LGS下地厚12.5シーリングボード張りの上、ビニルクロス張り(厚50ガラスウール充填)	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	2,350		
		c	ビニル床シート t=2.0張り【新設】	c	同上	e	EP-G塗装【新設】 (GL工法) EP-G塗装【新設】 ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地GB-R t=12.5 EP-G塗装【新設】	b	同上			
	宿泊室 (B) (便所)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	同上	A	コンクリート打放し(B棟)の上、ビニルクロス張り LGS下地厚12.5シーリングボード張りの上、ビニルクロス張り(厚50ガラスウール充填)	C	LGS下地厚6mmアスケイカル板目透かし張りの上、AEP塗装	A	同上	2,150		
		c	ビニル床シート t=2.0張り【新設】	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地FK t=6 EP-G塗装【新設】	b	同上			
	宿泊室 (B) (脱衣室)	A	同上	A	同上	A	LGS下地厚12.5シーリングボード張りの上、ビニルクロス張り	C	同上	A	同上	2,150		
		c	同上	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	同上	b	同上			
	宿泊室 (B) (浴室)		—											シャワーユニット【既存のまま】 扉【新設】
	廊下2-1(1) 廊下3-1(1)	A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床シート張り 300角ビニル床タイル t=2.0張り【新設】	A	ソフト巾木 H=75 同上	E	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法) AEP塗装 EP-G塗装【新設】	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装 LGS下地GB-R t=12.5 EP-G塗装【新設】	A	同上 a 同上	2,400		
	B棟 2階 3階	宿泊室 (A) (洋室)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	ソフト巾木 H=75	E	厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法) AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード AEP塗装	E	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	塩ビ	2,700	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
			c	ビニル床シート t=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木 H=75【新設】	c	EP-G塗装【新設】 (GL工法) EP-G塗装【新設】	b	EP-G塗装【新設】	b	同上		
宿泊室 (A) (廊下、洗面)		A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	同上	E	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード AEP塗装 LGS下地厚12.5シーリングボード張りの上、ビニルクロス張り(厚50ガラスウール充填)	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	2,350		
		c	ビニル床シート t=2.0張り【新設】	c	同上	e	EP-G塗装【新設】 (GL工法) EP-G塗装【新設】 ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地GB-R t=12.5 EP-G塗装【新設】	b	同上			
宿泊室 (A) (便所)		A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	同上	A	コンクリート打放し(B棟)の上、ビニルクロス張り LGS下地厚12.5シーリングボード張りの上、ビニルクロス張り(厚50ガラスウール充填)	C	LGS下地厚6mmアスケイカル板目透かし張りの上、AEP塗装	A	同上	2,150		
		c	ビニル床シート t=2.0張り【新設】	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地FK t=6 EP-G塗装【新設】	b	同上			
宿泊室 (A) (脱衣室)		A	同上	A	同上	A	LGS下地厚12.5シーリングボード張りの上、ビニルクロス張り	C	同上	A	同上	2,150		
		c	同上	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	同上	b	同上			
宿泊室 (A) (浴室)			—											シャワーユニット【既存のまま】 扉【新設】
廊下2-2(2) 廊下3-2(2) リフレッシュコーナー		A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床シート張り 300角ビニル床タイル t=2.0張り【新設】	A	ソフト巾木 H=75 ビニル巾木 H=75【新設】	E	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法) AEP塗装 EP-G塗装【新設】	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装 LGS下地GB-R t=12.5 EP-G塗装【新設】	A	同上 a 同上	2,400		
C棟 2階 【既存】		ラウンジ	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚15クッション材付フローリング直張り	A	木製巾木(ニヤトー) H=75 OS、CL塗装	F	厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上 AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装 コンクリート打放しの上、珪藻石瓦葺きあいた張り	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	塩ビ	3,780 2,500	
		サービスカウンター	C	コンクリート金コテ仕上の上、ビニル床シート張り	A	ソフト巾木 H=75	B	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,350	
	機械室2-(2)	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	ソフト巾木 H=60	B	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,500		
C棟 3階 【既存】	ちゅらホール	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚15クッション材付フローリング直張り	A	木製巾木(ニヤトー) H=75 OS、CL塗装	F	コンクリート打放しの上、化粧タイル張り 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上 AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	3,780 2,500	カーテンボックス(アルミ製)【撤去】	
	サービスヤード	C	コンクリート金コテ仕上の上、ビニル床シート張り	A	ソフト巾木 H=75	B	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,350		
	機械室3-(2)	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り	A	ソフト巾木 H=60	B	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装 厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,500		
	客用手洗いかウンター	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚15クッション材付フローリング直張り	A	木製巾木 H=75 OS、CL塗装	B	コンクリート打放し(B棟)の上、AEP塗装	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	塩ビ	2,350		



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 仕上表 3 縮尺 A1:1/100 A3:1/200

沖縄科学技術大学院大学学園

○ 内部仕上表

室名	新室名	改修内容	床	改修内容	巾木	改修内容	壁	改修内容	天井	改修内容	廻り縁	CH	備考
C棟 2階 3階 【新設】	宿泊室2-(C) (宿泊室)	c	ビニール床 $\tau$ t=2.0張り	c	ビニール巾木 H=75 【新設】	c	硬質ウレタン $\tau$ t=25 GB-HC $\tau$ t=12.5 (指貼 $\tau$ t=9.5) EP-G塗装 (外壁新設箇所)	c	軽鉄下地GB-R $\tau$ t=12.5 EP-G塗装	c	塩ビ	2.700	カーテンボックス (アルミ製) 【新設】
	宿泊室2-(C) (前室)	c	ビニール床 $\tau$ t=2.0張り	c	ビニール巾木 H=75 【新設】	c	GB-R $\tau$ t=12.5	c	軽鉄下地GB-R $\tau$ t=12.5 EP-G塗装	c	塩ビ	2.350	
	SW		—		—		—		—		—	—	サニタリーユニット 【新設】
	廊下2-(3)	c	300角ビニール床タイル $\tau$ t=2.0張	c	ビニール巾木 H=75 【新設】	c	硬質ウレタン $\tau$ t=25 GB-HC $\tau$ t=12.5 (指貼 $\tau$ t=9.5) EP-G塗装 (外壁新設箇所)	c	軽鉄下地GB-R $\tau$ t=12.5 EP-G塗装	c	塩ビ	2.400	
	廊下3-(3)	c	300角ビニール床タイル $\tau$ t=2.0張	c	ビニール巾木 H=75 【新設】	c	硬質ウレタン $\tau$ t=25 GB-HC $\tau$ t=12.5 (指貼 $\tau$ t=9.5) EP-G塗装 (外壁新設箇所)	c	軽鉄下地GB-R $\tau$ t=12.5 EP-G塗装	c	塩ビ	2.400	
	空調機械室	f	300角厚2ビニール床タイル張り	f	モルタル巾木 H=60 AEP塗装	f	コンクリート打放しのままAEP塗装	f	LGS下地厚9.5化能石膏ボード張り	f	同上	2.500	
2・3階 共通	リフレッシュコーナー	A a	コンクリート金コ字仕上の上、300角厚2ビニール床タイル張り 300角ビニール床タイル $\tau$ t=2.0張【新設】	A a	ソフト巾木 H=75 同上	E e	コンクリート打放し(目隠)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	C c	LGS下地厚6ケイカル板の上、AEP塗装 LGS下地0.8FK EP-G塗装【新設】	F f	同上	2.400	
	ランドリー	A a	コンクリート金コ字仕上の上、厚2ビニール床シート張り ビニール床 $\tau$ t=2.0張り	A a	ソフト巾木 H=75 同上	E e	コンクリート打放し(目隠)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	C c	LGS下地厚6ケイカル板の上、AEP塗装 LGS下地0.8FK EP-G塗装【新設】	F f	同上	2.500	
	リネン室	A a	同上	A a	ソフト巾木 H=75 同上	E e	コンクリート打放し(目隠)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	E e	LGS下地厚6ケイカル板の上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	F f	同上	2.500	
	女子便所	C	モルタル金コ字仕上の上、厚2ビニール床シート張り(抗菌・マープル)	C	同上	C	300角硬質タイル張り	C	同上	C	同上	2.500	
	男子便所	C	コンクリート金コ字仕上の上、厚2ビニール床シート張り(抗菌・マープル) モルタル金コ字仕上の上、厚2ビニール床シート張り(抗菌・マープル)	C	同上	C	同上	C	同上	C	同上	2.500	汚垂石：花崗岩 (t=25) 木膚き【撤去】
	倉庫2-(1)	F	コンクリート金コ字仕上の上、300角厚2ビニール床タイル張り	F	ソフト巾木H=75	F	同上	F	LGS下地厚9.5化能石膏ボード張り EP-G塗装【新設】	F	同上	2.500	
	倉庫3-(1)	F	同上	F	同上	F	同上	F	同上	F	同上	2.500	

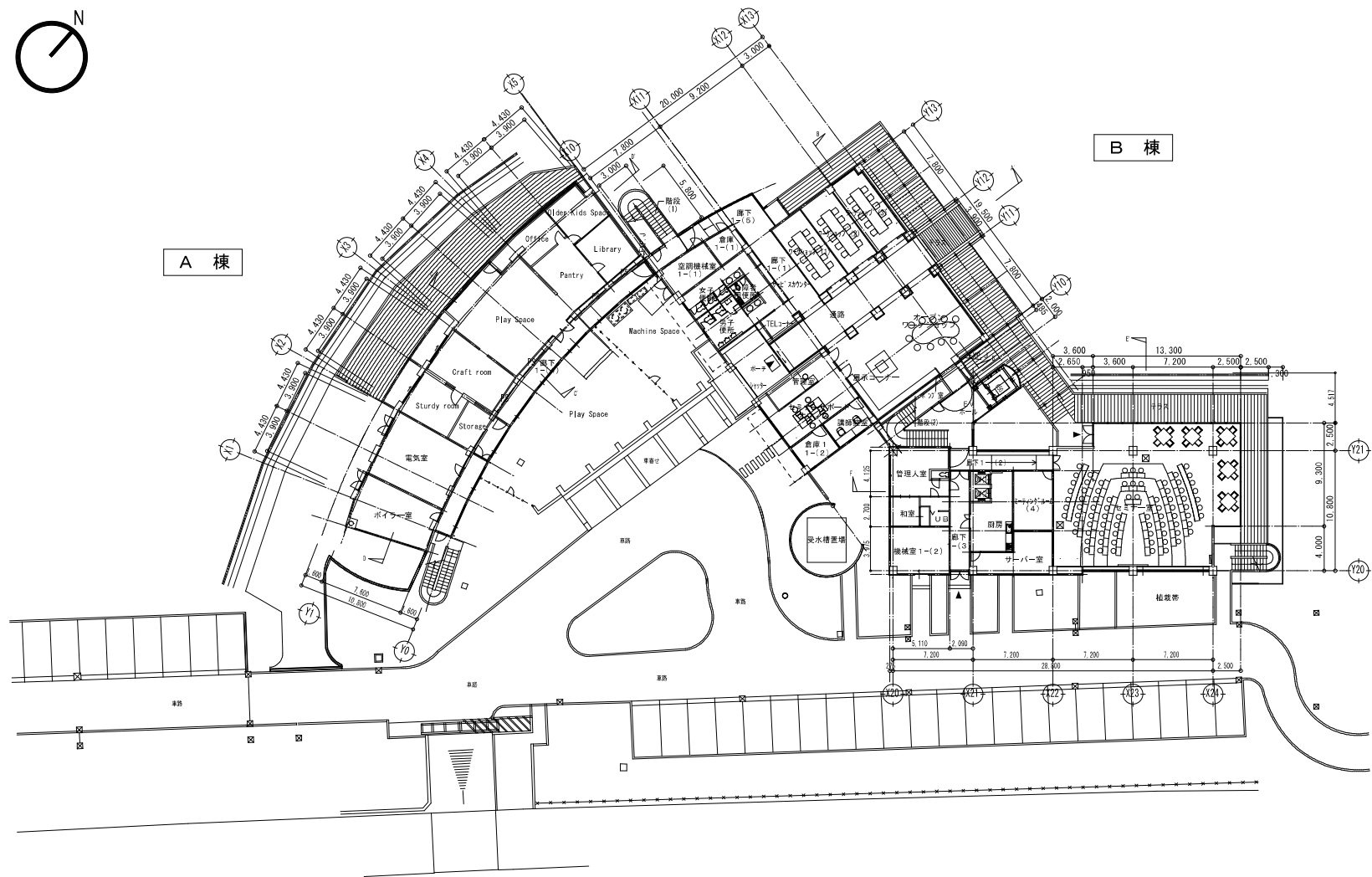


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇市 170-2004

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 仕上表 4 縮尺 A1: 1/20 A3: 1/50

沖縄科学技術大学院大学学園



1階平面図

S=1/200



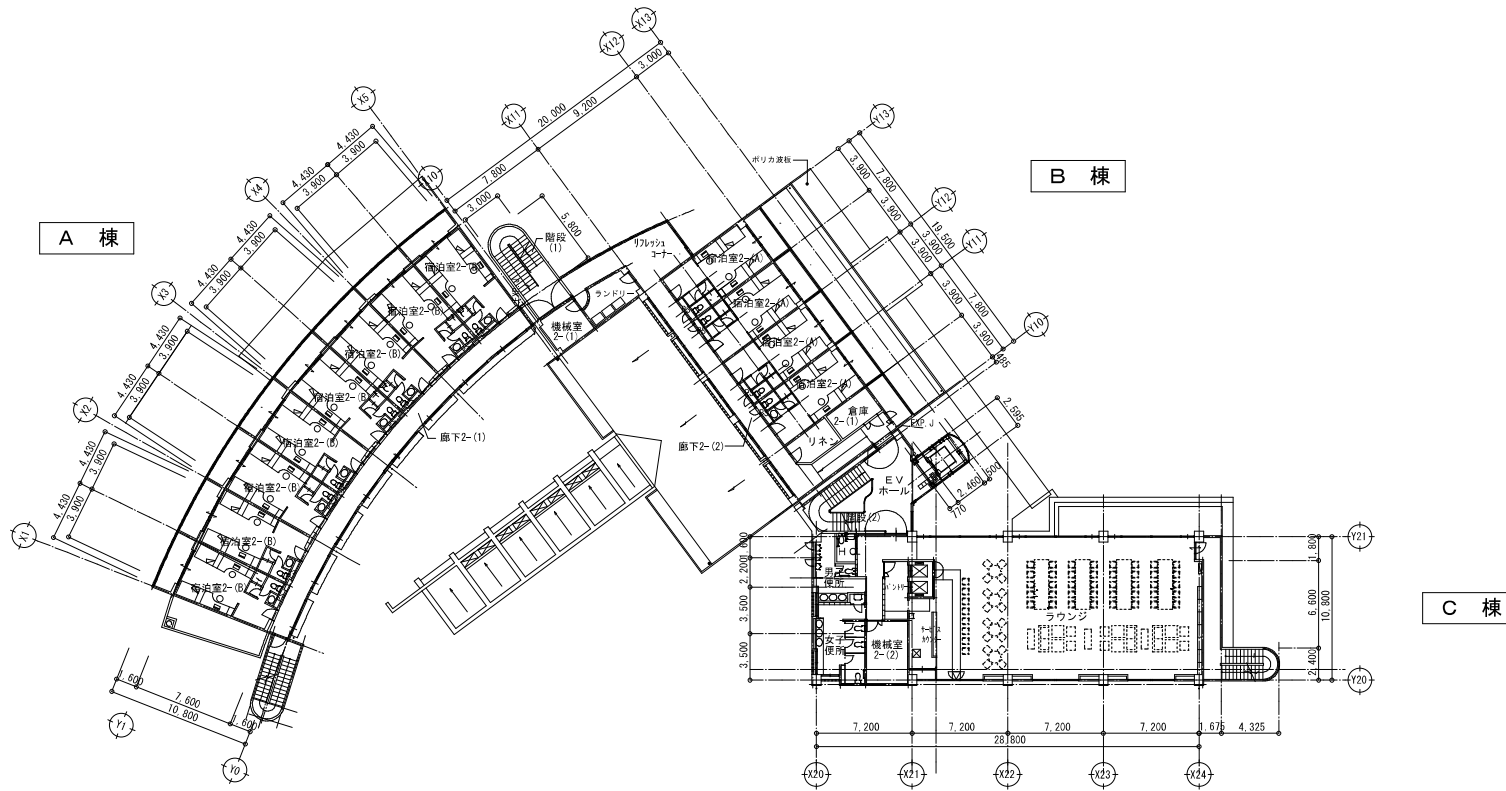
一級建築士事務所  
株式会社 沖3 建築設計事務所  
〒890-0013 沖縄県那覇市 1-1-1

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 1階平面図 (改修前)

縮尺 A1 : 1/200  
A3 : 1/400

沖縄科学技術大学院大学学園

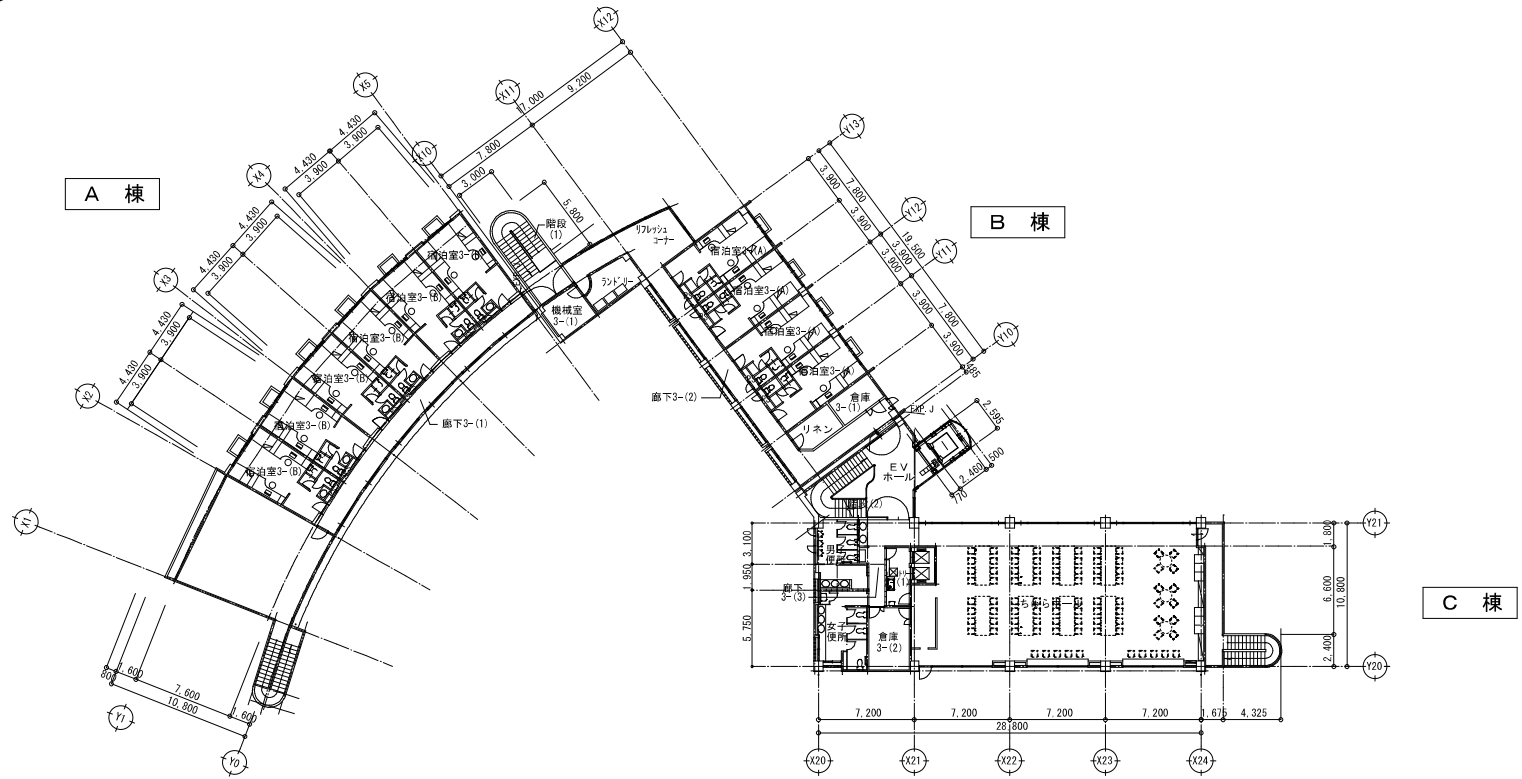


2階平面図 S=1/200



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇支店 176-0009

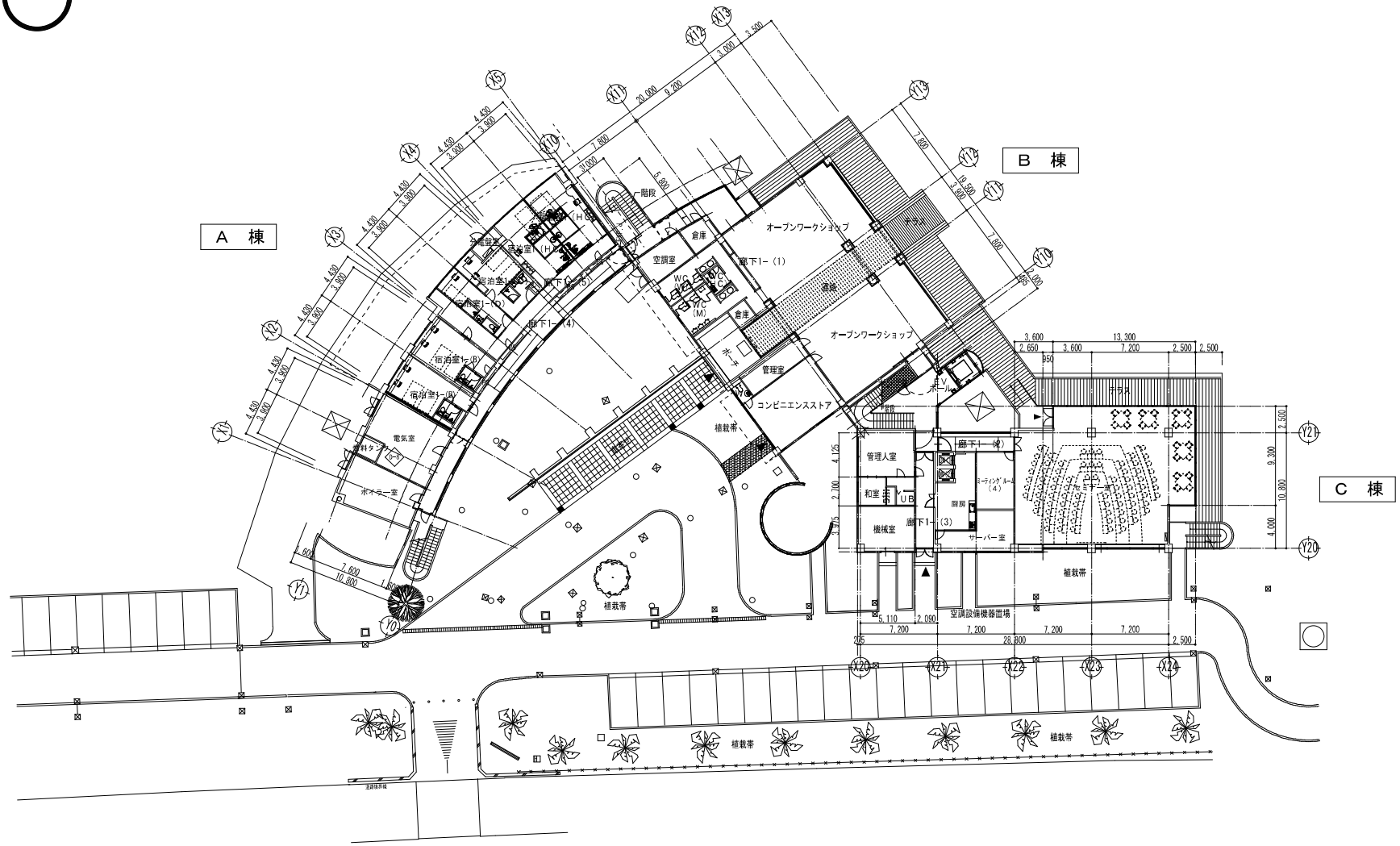
工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	19
図面名	2階平面図 (改修前)	縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400
沖縄科学技術大学院大学学		A-19



3階平面図 S=1/200

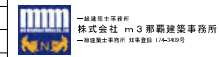

一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇市 171-2109

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	縮尺 A1 : 1/200	20
図面名 3階平面図 (改修前)	縮尺 A3 : 1/400	
沖縄科学技術大学院大学学園		A-20

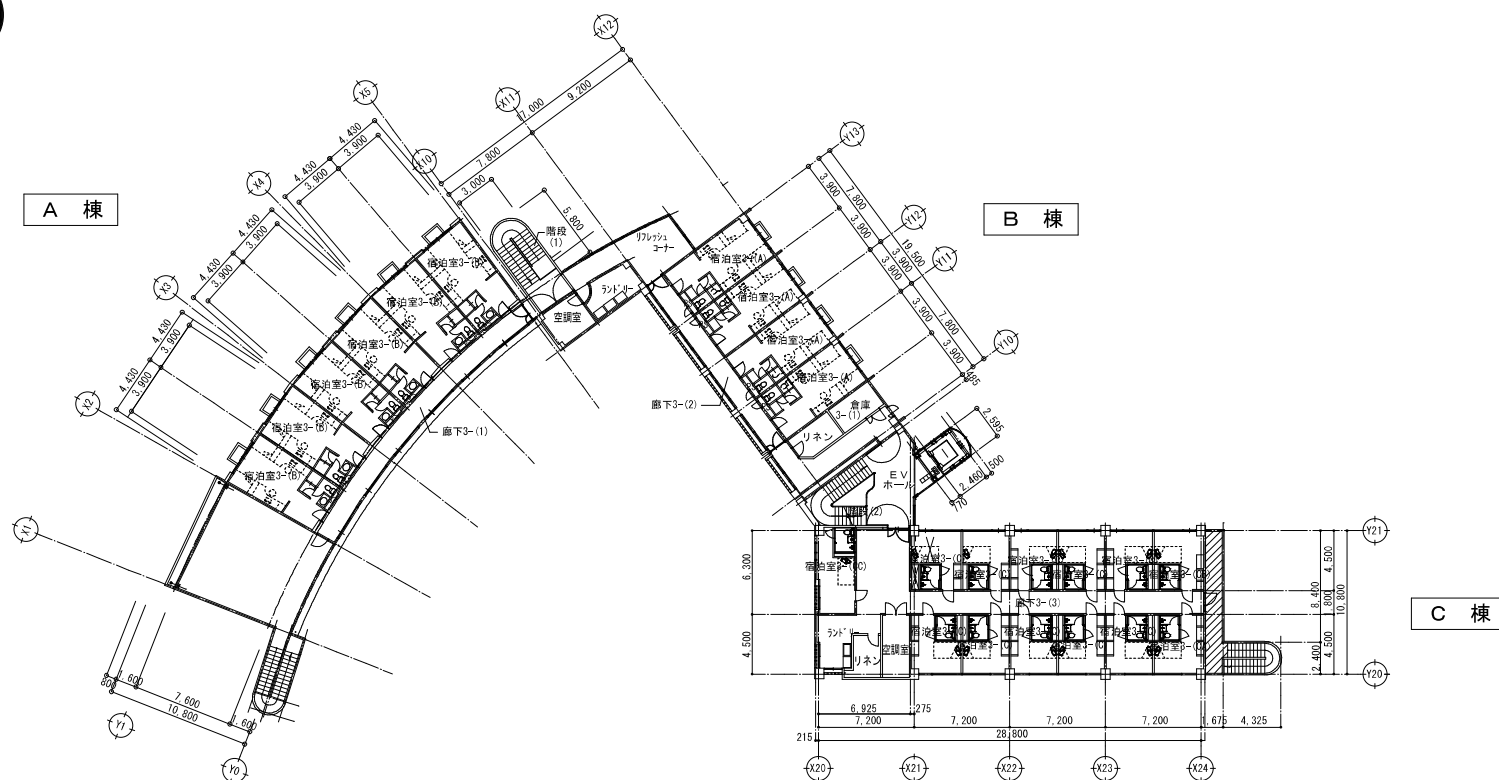


1階平面図 S=1/200

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	21
図面名	1階平面図 (改修後)	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400
設計者	沖縄科学技術大学院大学	A-21







3階平面図

S=1/200

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

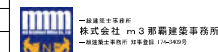
図面名 3階平面図 (改修後)

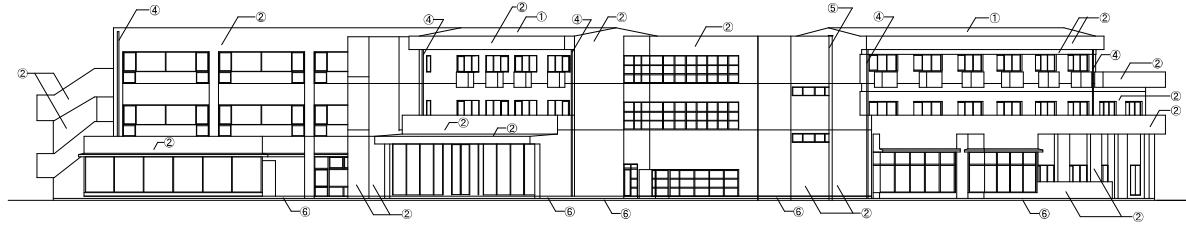
縮尺 A1 : 1/200  
A3 : 1/400

23

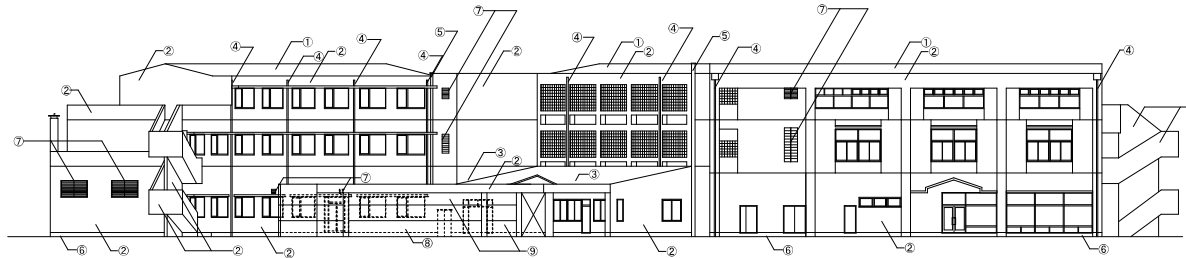
沖縄科学技術大学院大学学園

A-23

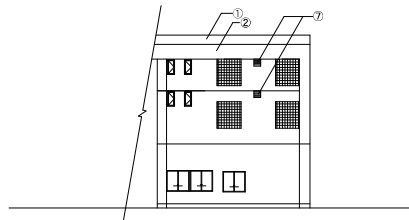




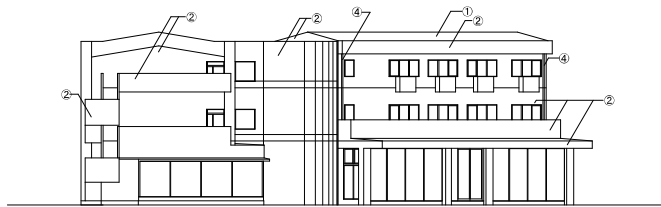
西面 立面図 S=1:200



東面 立面図 S=1:200



南面 立面図 S=1:200



北面 立面図 S=1:200

仕上	
①	屋根防水【既存のまま】
②	複層塗材 R E 【改修】
③	沖縄在来瓦葺き、一部防水球形金平【既存のまま】
④	鉄線製鋼管φ100【既存のまま】 掘み金物φ1800鋼製【撤去】
⑤	EXP.Jカバー（アルミ製）【仮撤去】
⑥	コンクリート金隠押【既存のまま】
⑦	ガラリ（鋼製）【撤去】
⑧	琉球石灰岩張り【既存のまま】
⑨	琉球石灰岩ボーダー張り【既存のまま】
⑩	サッシ廻りシーリング【撤去】10×10
⑪	コンクリート打練目地、誘発目地【撤去】20×10



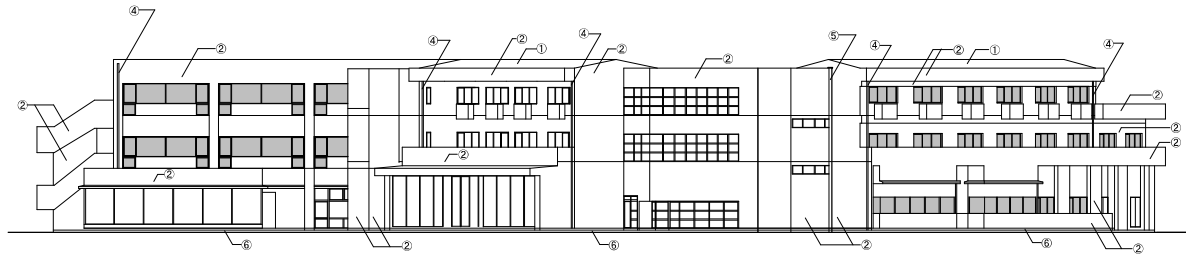
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
— 建築設計事務所 那覇市 171-2009 —

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

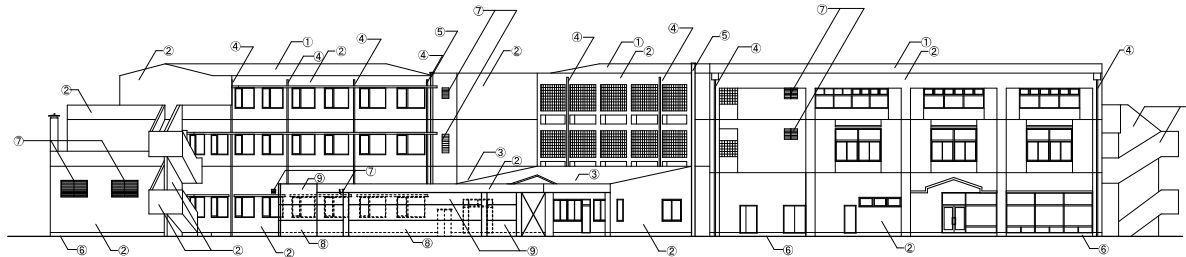
図面名 立面図（改修前）

縮尺 A1: 1/200  
A3: 1/400

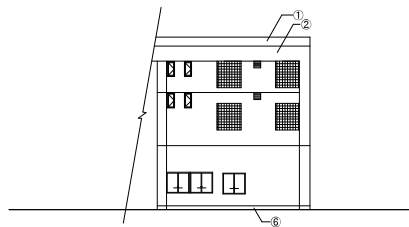
沖縄科学技術大学院大学学園



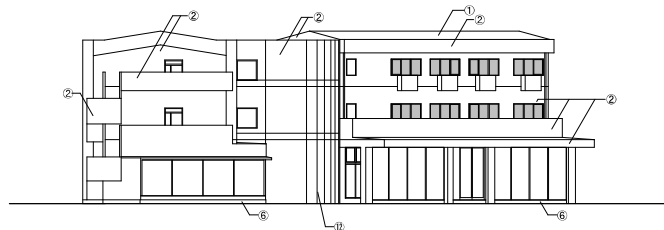
西面 立面図 S=1:200



東面 立面図 S=1:200



南面 立面図 S=1:200



北面 立面図 S=1:200

■【改修】(カラー工法) 群員名を示す。

仕上	
①	下地調整の上 超遠理質ウレタン吹付け【新設】(密着SD工法)
②	下地調整の上 フッ素トップコート【新設】(塗替工法)
③	沖縄在来瓦葺き、【高圧水洗浄】漆喰【交換】
④	カラーV.P φ100 【新設】 揺み金物@1800 (SUS製) 【新設】
⑤	EXP-Jカバー (アルミ製) 【復旧】
⑥	コンクリート金鍍押
⑦	ガラリ (アルミ製) 【新設】 (防水仕様)
⑧	珧球石灰樹脂張り【高圧水洗浄】10Mpa
⑨	珧球石灰樹脂ポーター張り【高圧水洗浄】10Mpa
⑩	サッシ廻りシーリング【新設】10×10 MS-2
⑪	コンクリート打継目地、誘発目地【新設】20×10 MS-2
⑫	A L C版間目地【新設】20×10 PU-2



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇市 171-2109

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

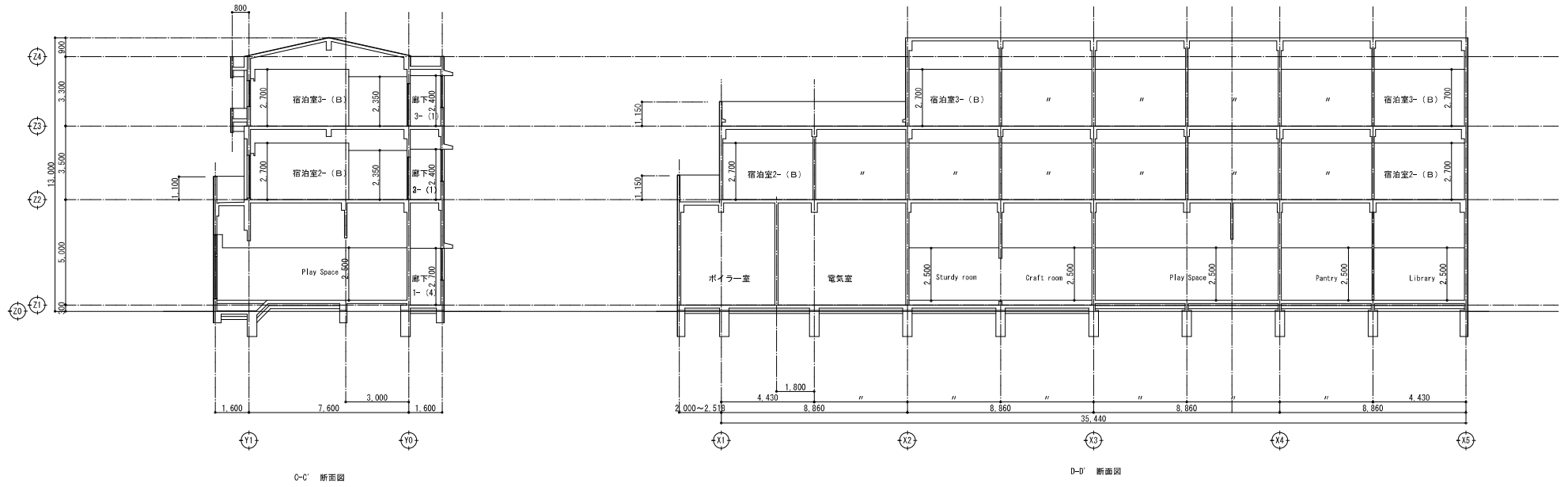
図面名 立面図(改修後) 縮尺 A1:1/200 A3:1/400

沖縄科学技術大学院大学学園

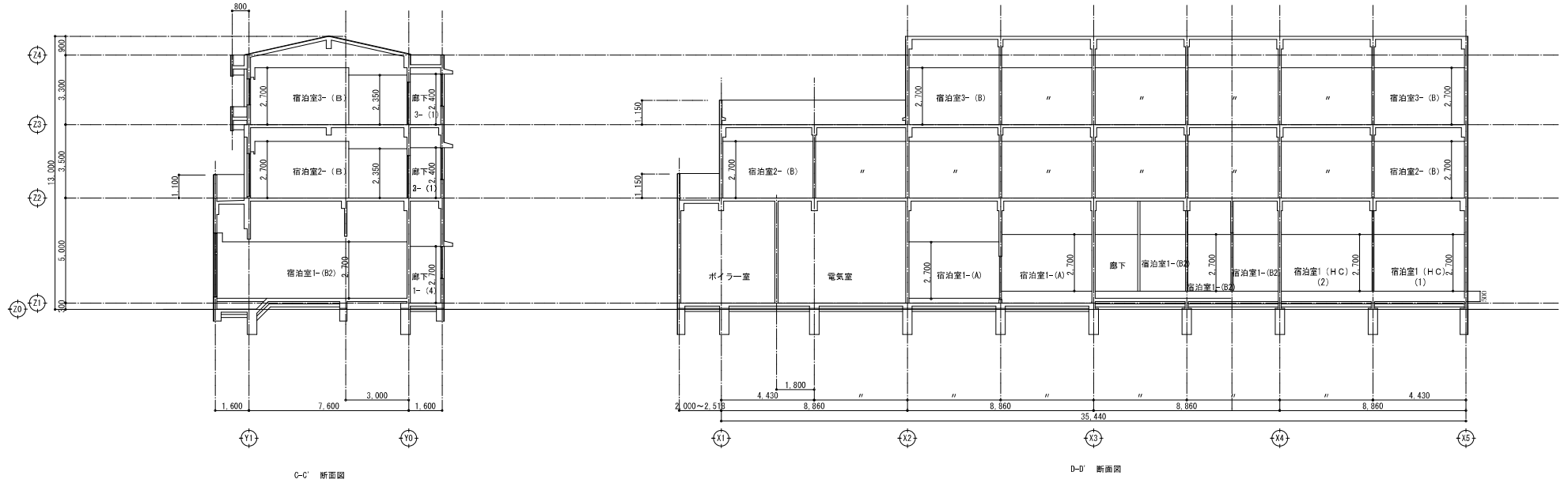
25

A-25

A 棟断面図 (改修前)



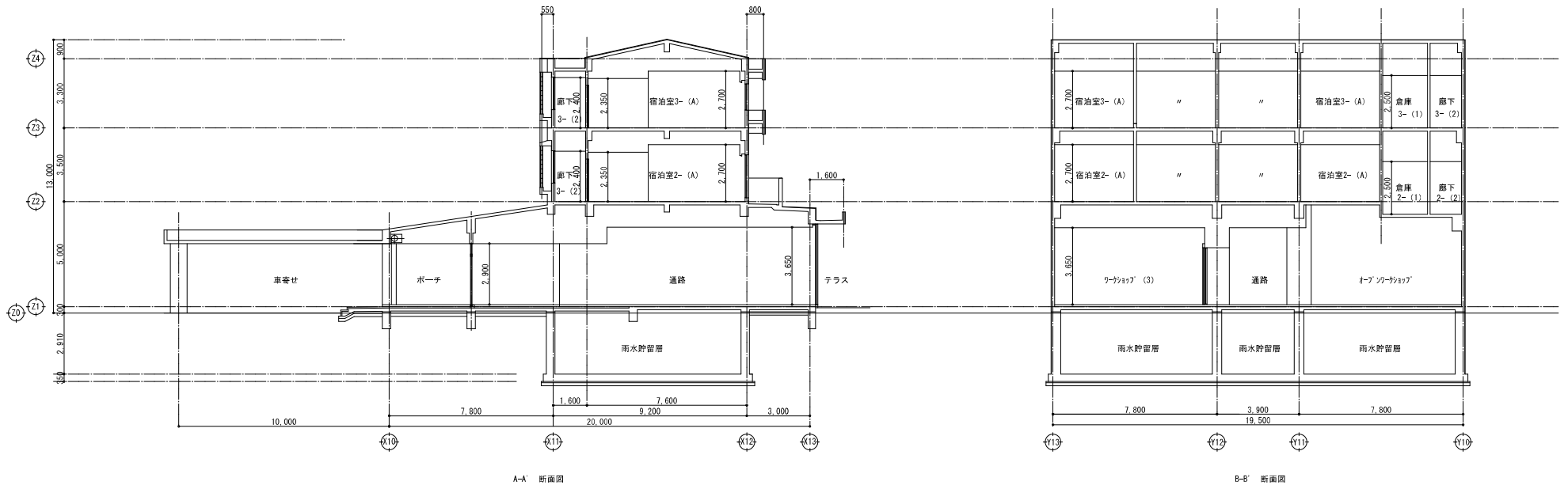
A 棟断面図 (改修後)



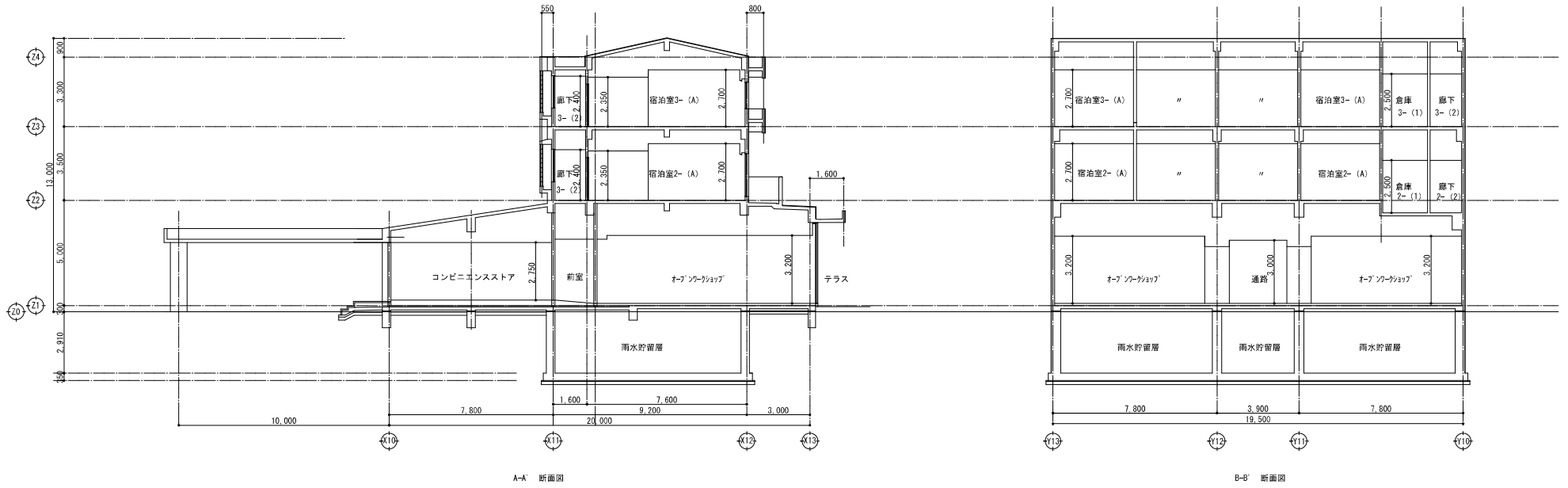
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
沖縄県中頭郡読谷町 1-10-1103

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	26
図面名	A 棟断面図 (改修前) (改修後) 縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	A-26
作成者	沖縄科学技術大学院大学学術部	

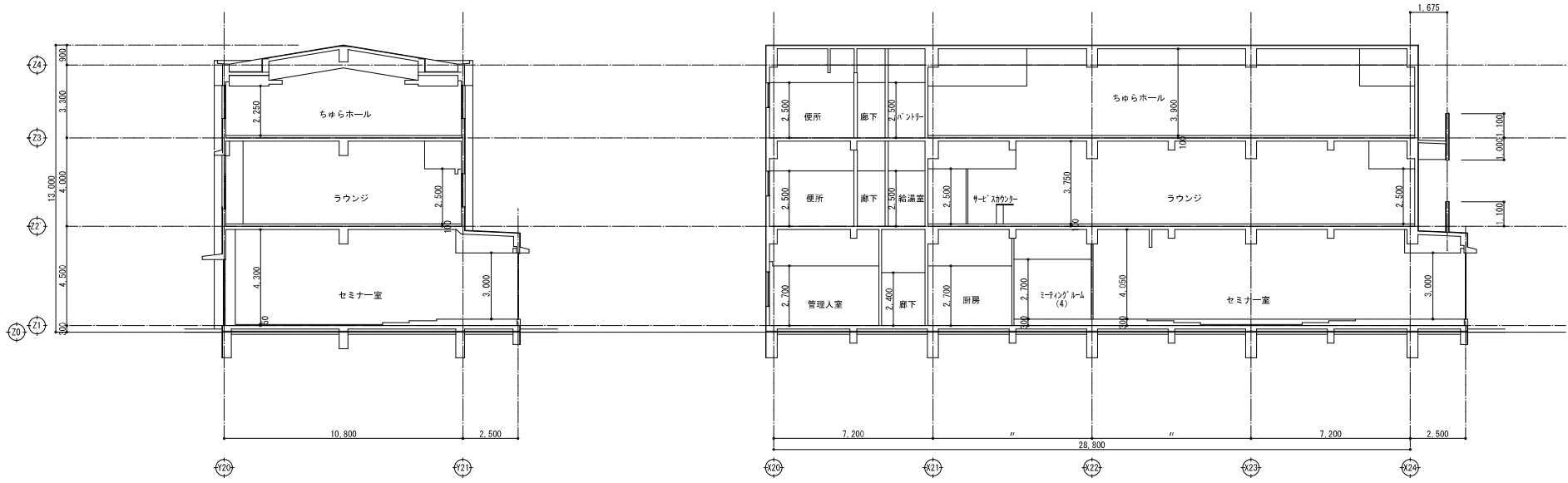
目標断面図（改修前）



目標断面図（改修後）



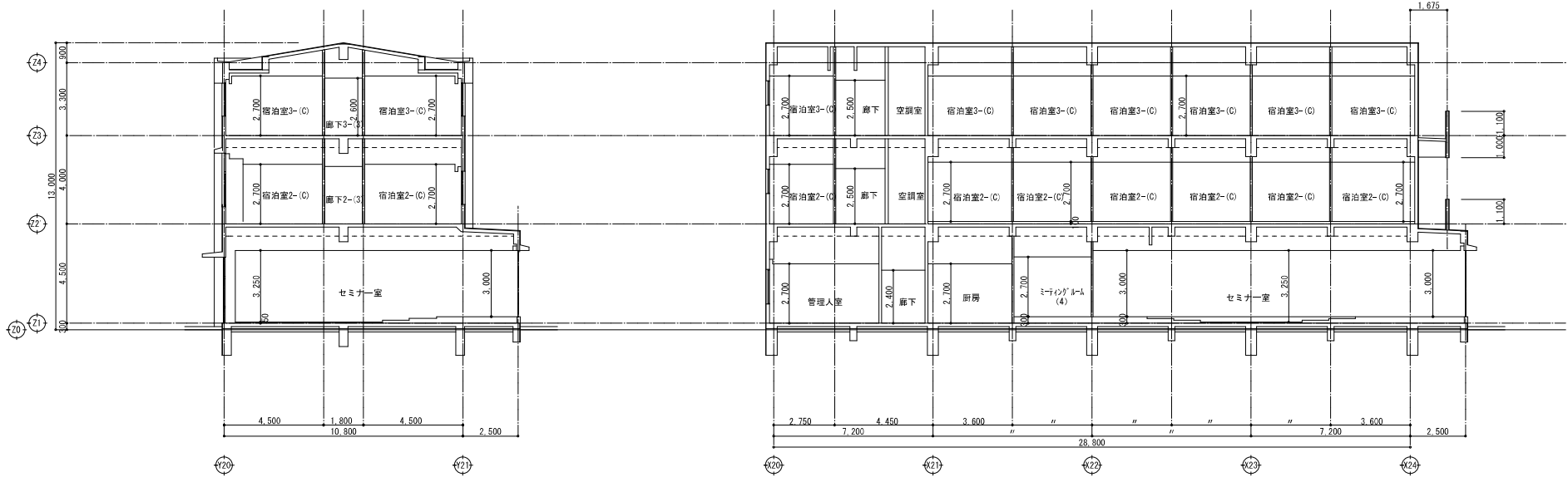
C棟断面図（改修前）



E-E' 断面図

F-F' 断面図

C棟断面図（改修後）



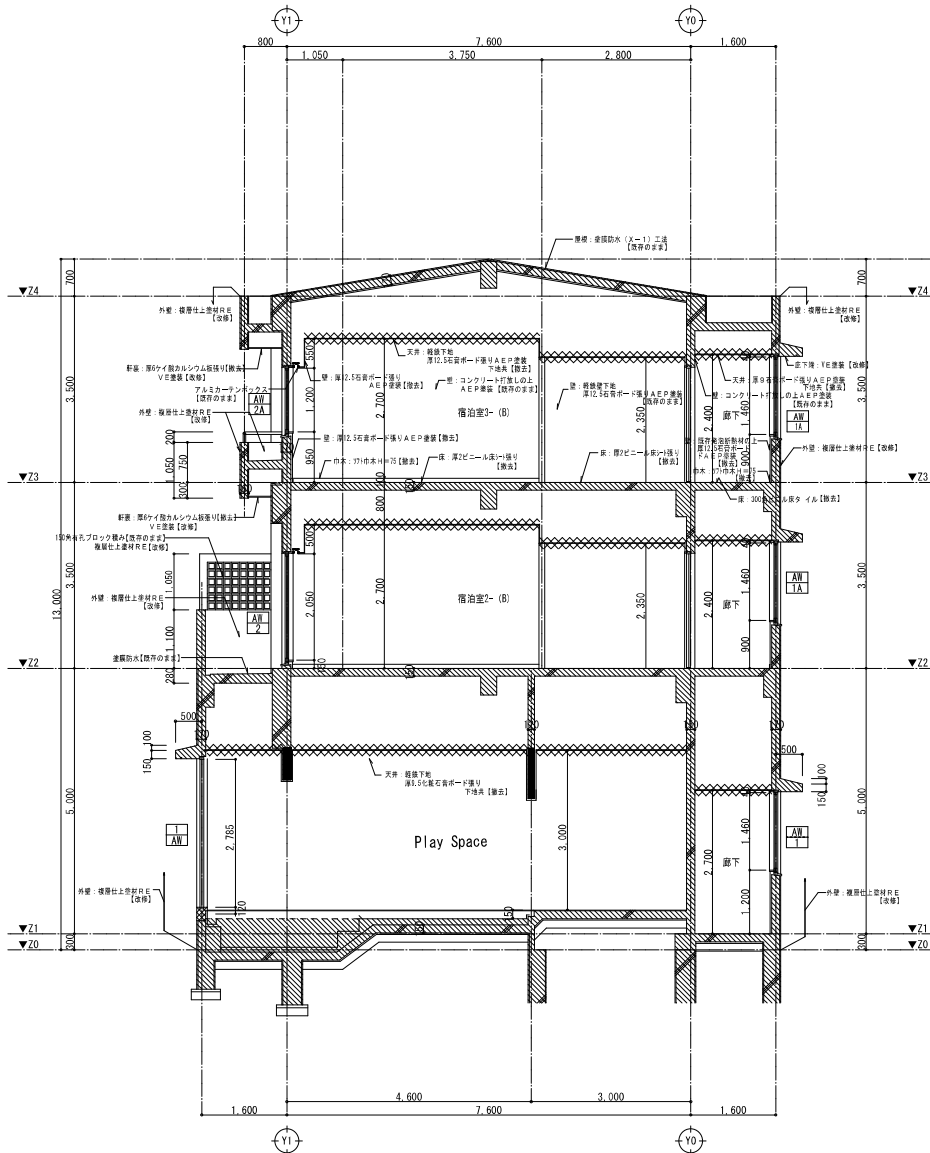
E-E' 断面図

F-F' 断面図

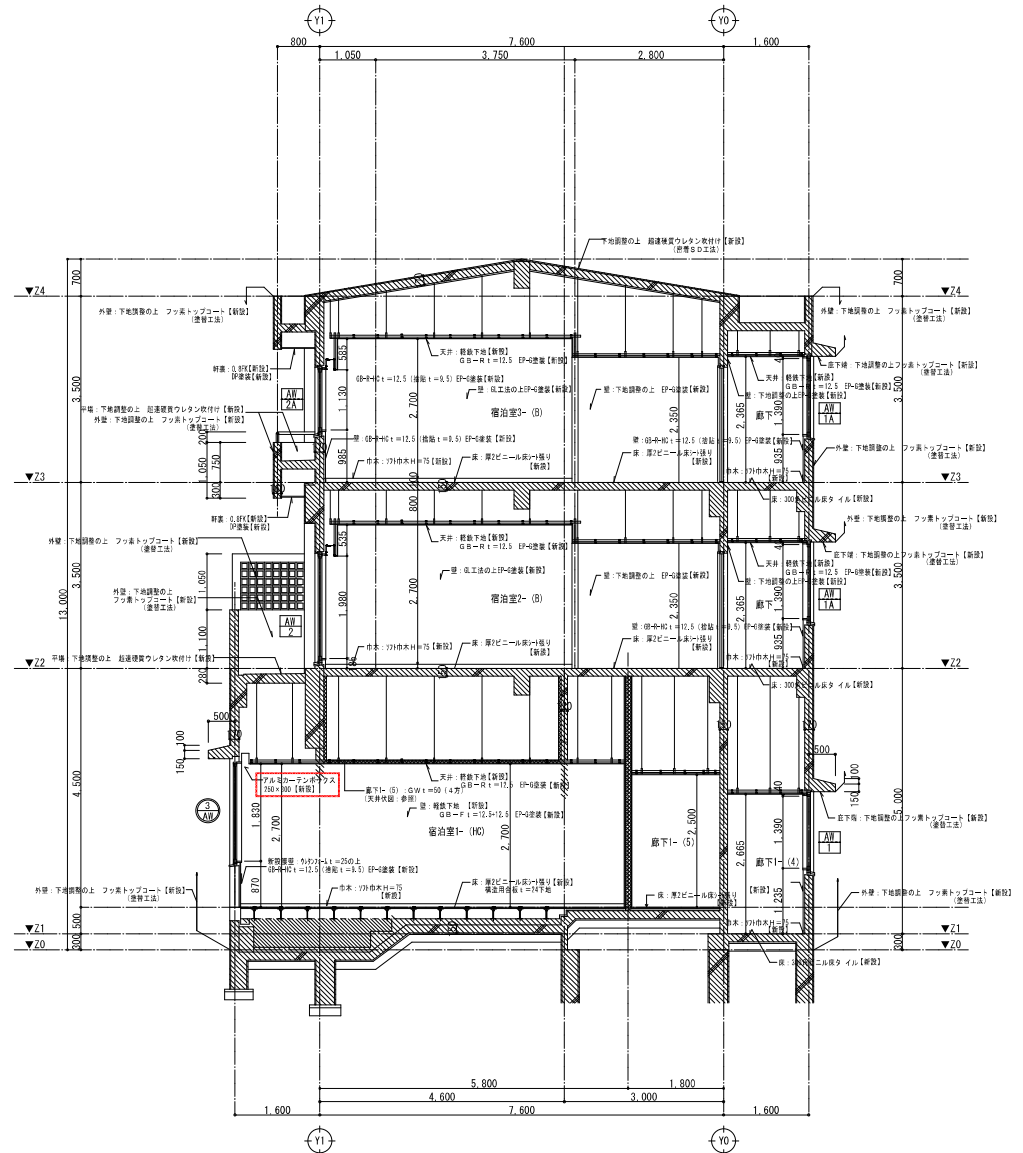


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
沖縄県宜野湾市 1-10-10 10号ビル

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 C棟断面図（改修前）（改修後）縮尺 A1：1/100  
A3：1/200  
沖縄科学技術大学院大学学園



A 棟断面詳細図 (改修前) S=1/50



A 棟断面詳細図 (改修後) S=1/50

	【耐火層】-(上階スラブ下階まで) LGS100+GB-F t=12.5+12.5 FP060WP-0483 2-23-1
	建具一透音性能: T=2を示す

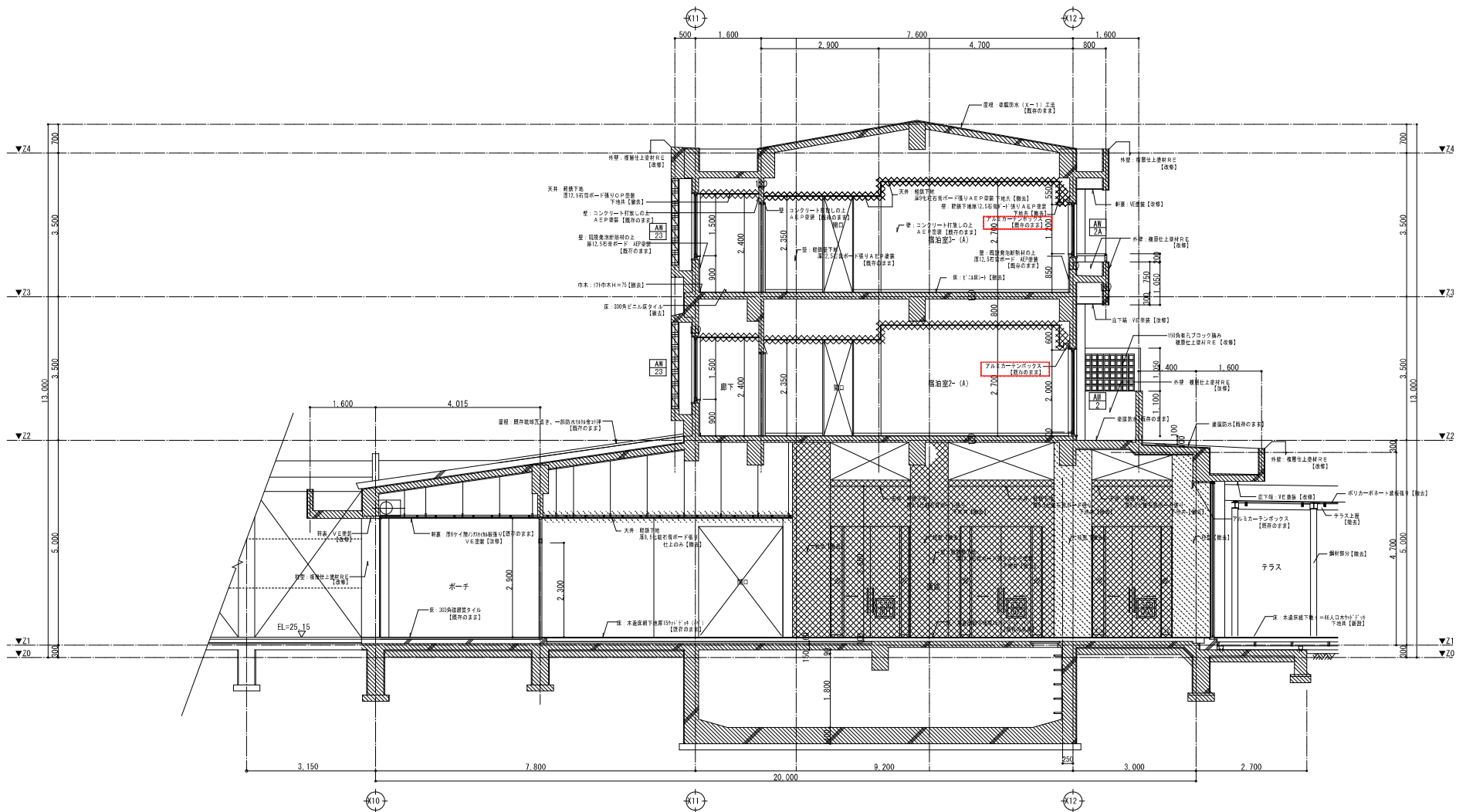
凡例

	撤去範囲 (下地具)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
			【撤去】【新設】建具を示す。		



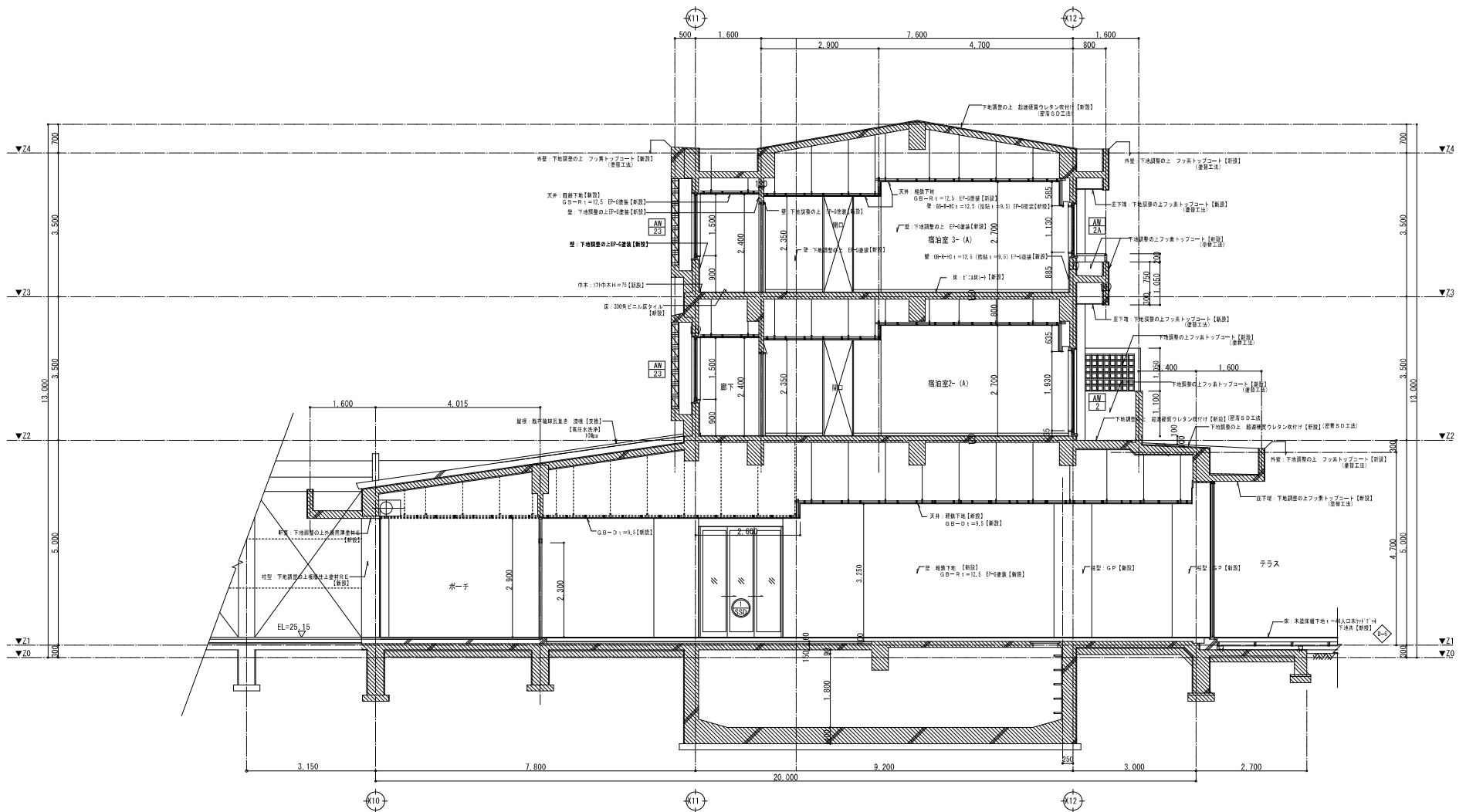
一級建築士事務所  
株式会社 m3 形蔵建築事務所  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-4-10

工事名 沖縄科学技術大学院大学サイードハウス改修工事  
 図面名 A 棟断面詳細図 (改修前) (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園



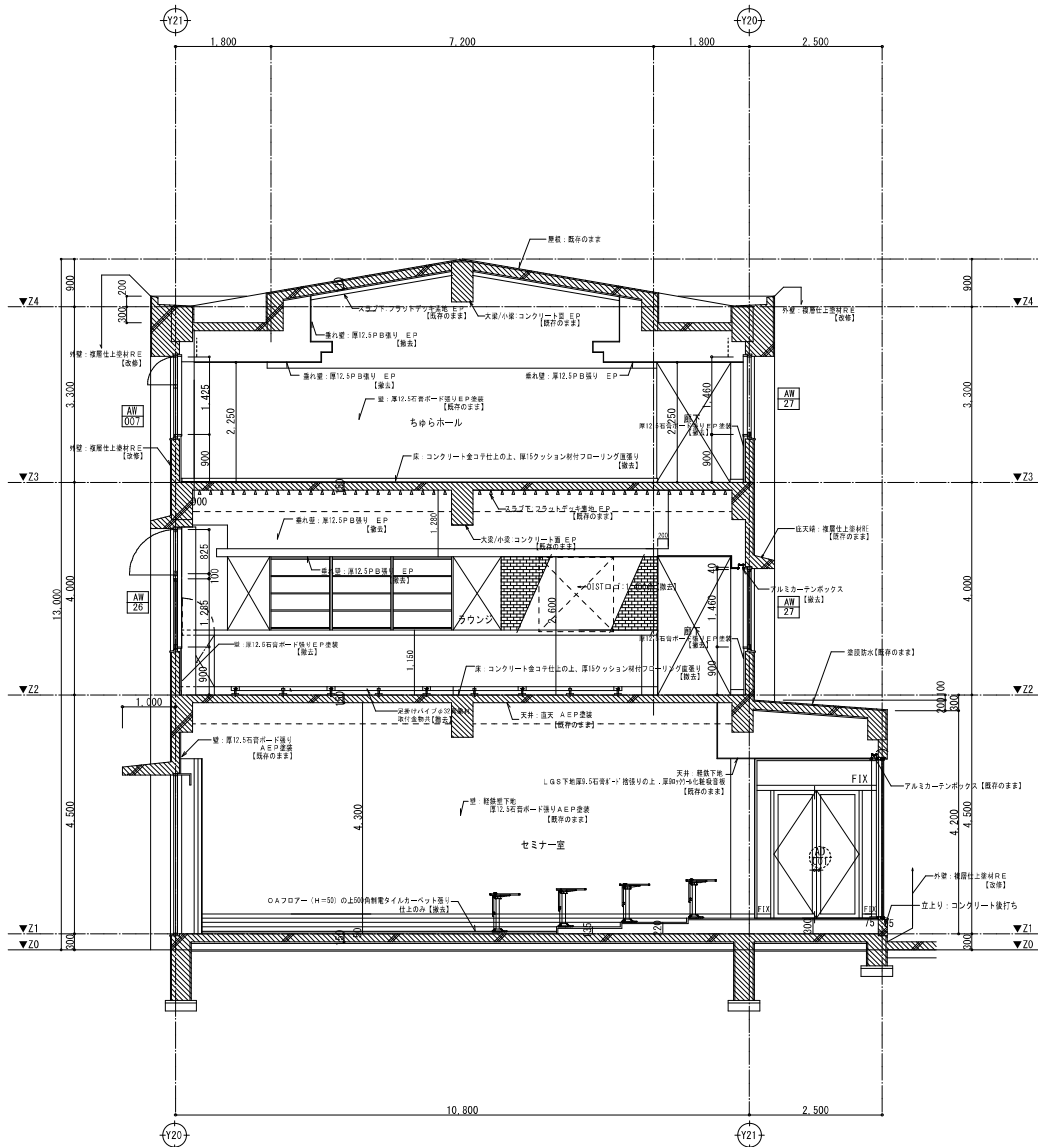
日線断面詳細図 (改修前) S=1/50

凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		撤去範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】 【新設】 建具を示す。		
一般建築士事務所 株式会社 m3 設計建築事務所 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1			工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 日線断面詳細図 (改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学術部			30 A-30

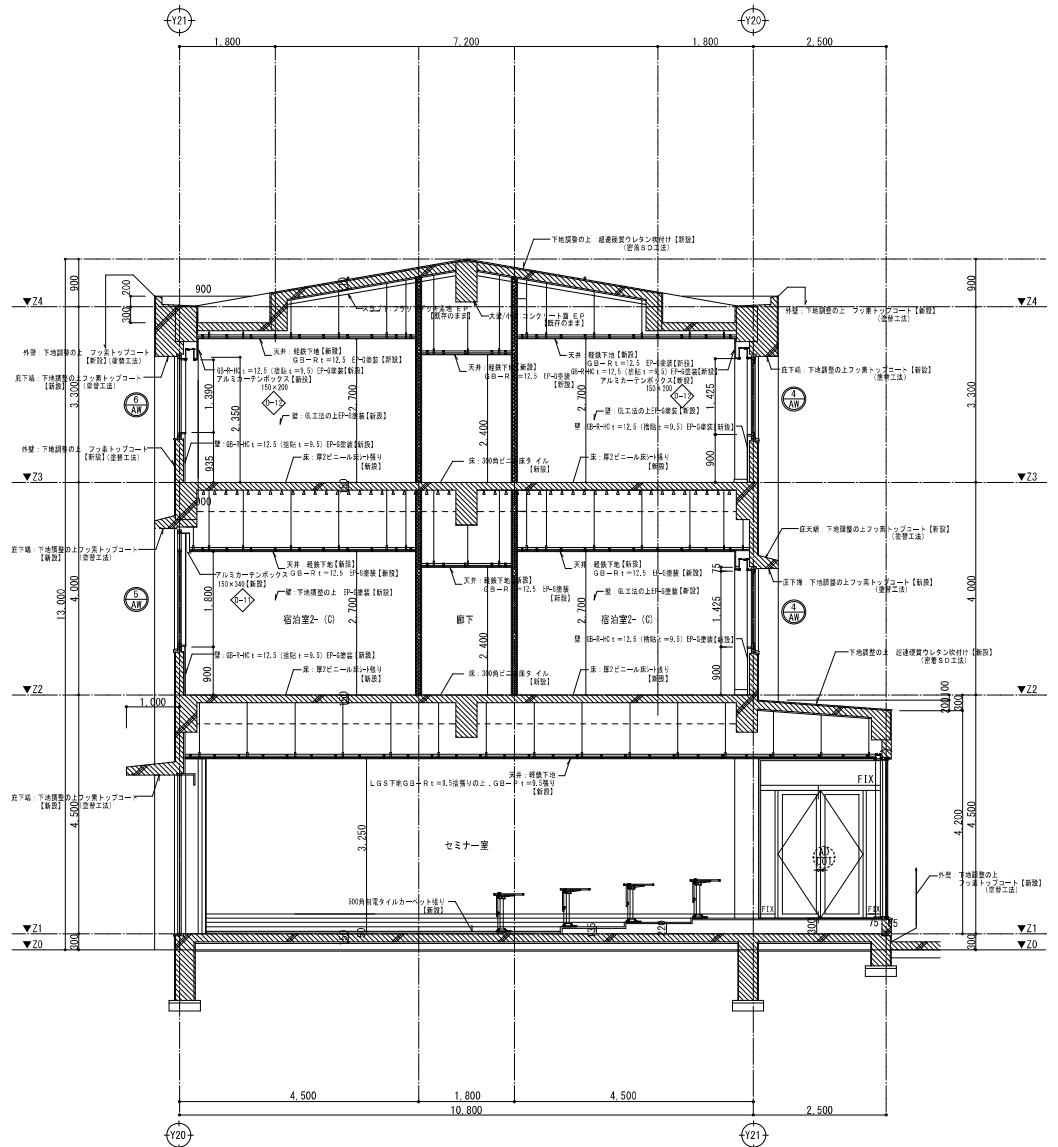


日線断面詳細図 (改修後) S=1/50

凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
				既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】 【新設】 建具を示す。		
株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市那覇 1-1-1 1410			工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 日線断面詳細図 (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園			31 A-31



C横断面詳細図 (改修前) S=1/50



C横断面詳細図 (改修後) S=1/50

	【耐火壁】 - (上層スラブ下層まで) LGS100+GR-F t=12.5+12.5	2-23-1
	建具-遮音性能: T-2を示す	

凡例

	撤去範囲 (下地具)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
			【撤去】 【新設】 建具を示す。		

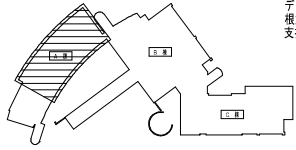


一級建築士事務所  
株式会社 m3 形蔵建築事務所  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-3-10

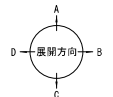
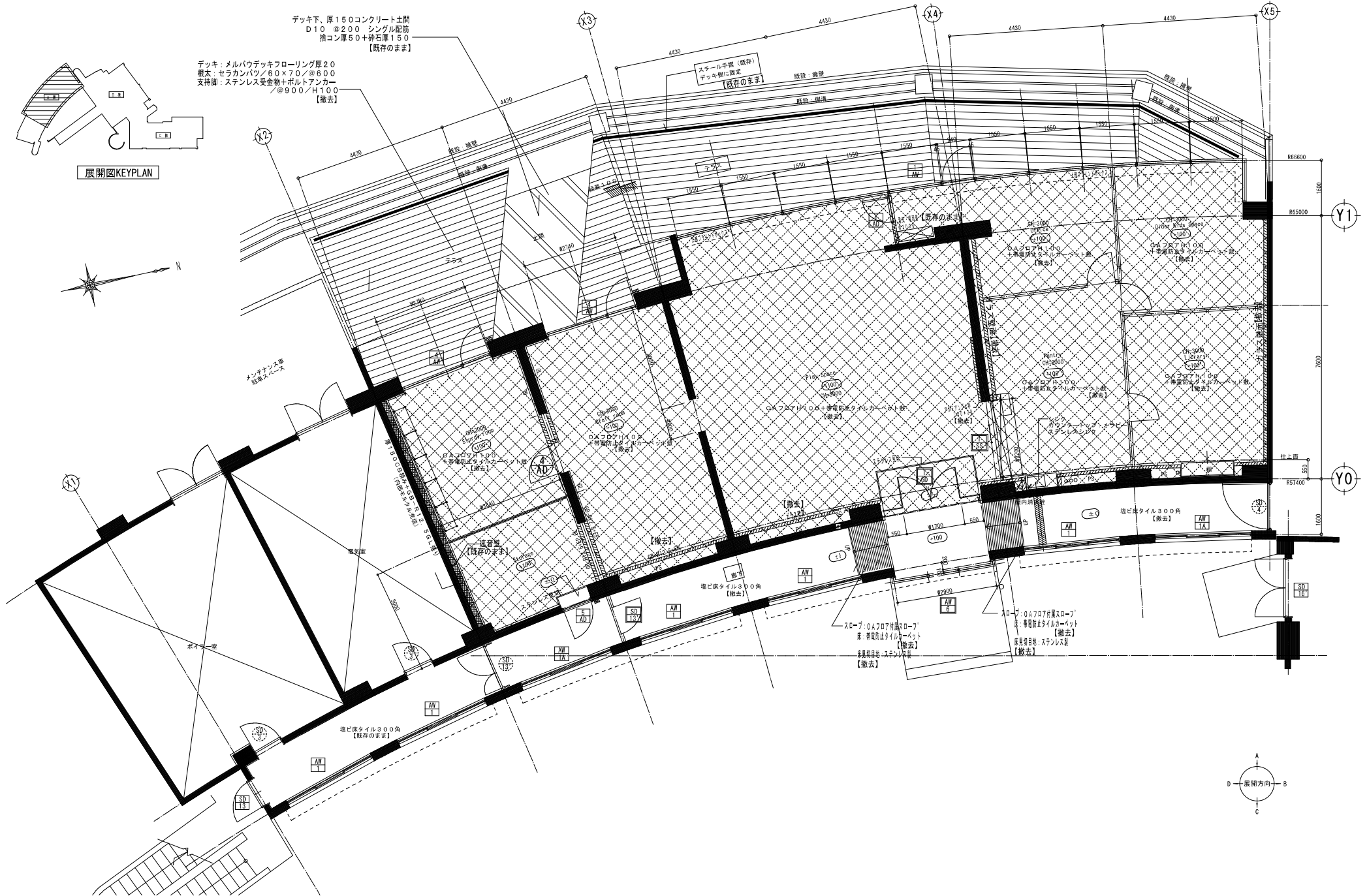
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 C横断面詳細図 (改修前) (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

デッキ下、厚150コンクリート土間  
D10 @200 シングル配筋  
捨コン厚50+砕石厚150  
【既存のまま】

デッキ：メルバウデッキフローリング厚20  
根太：セラカンパツ60×70/φ600  
支持脚：ステンレス変金物+ボルトアッガー  
φ900/H100  
【撤去】

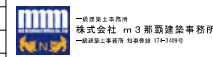


展開図KEYPLAN

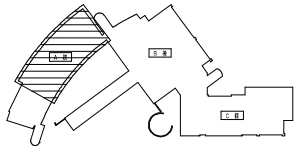


凡例

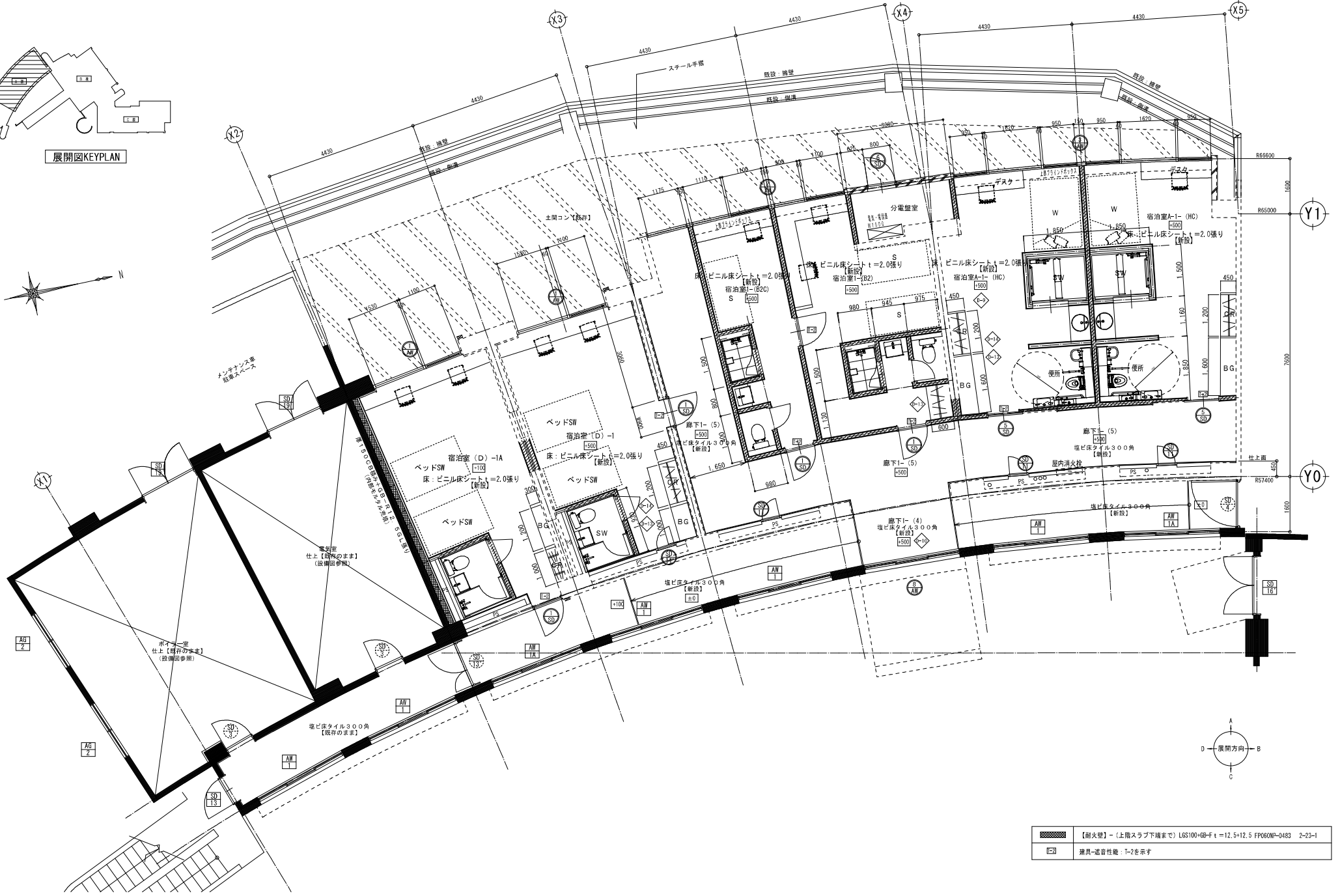
	撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	撤去範囲(筋枠)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
			【撤去】【新設】建具を示す。		



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 1階平面詳細図(改修前) 縮尺 A1: 1/90 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

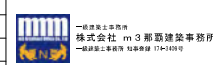


展開図KEYPLAN

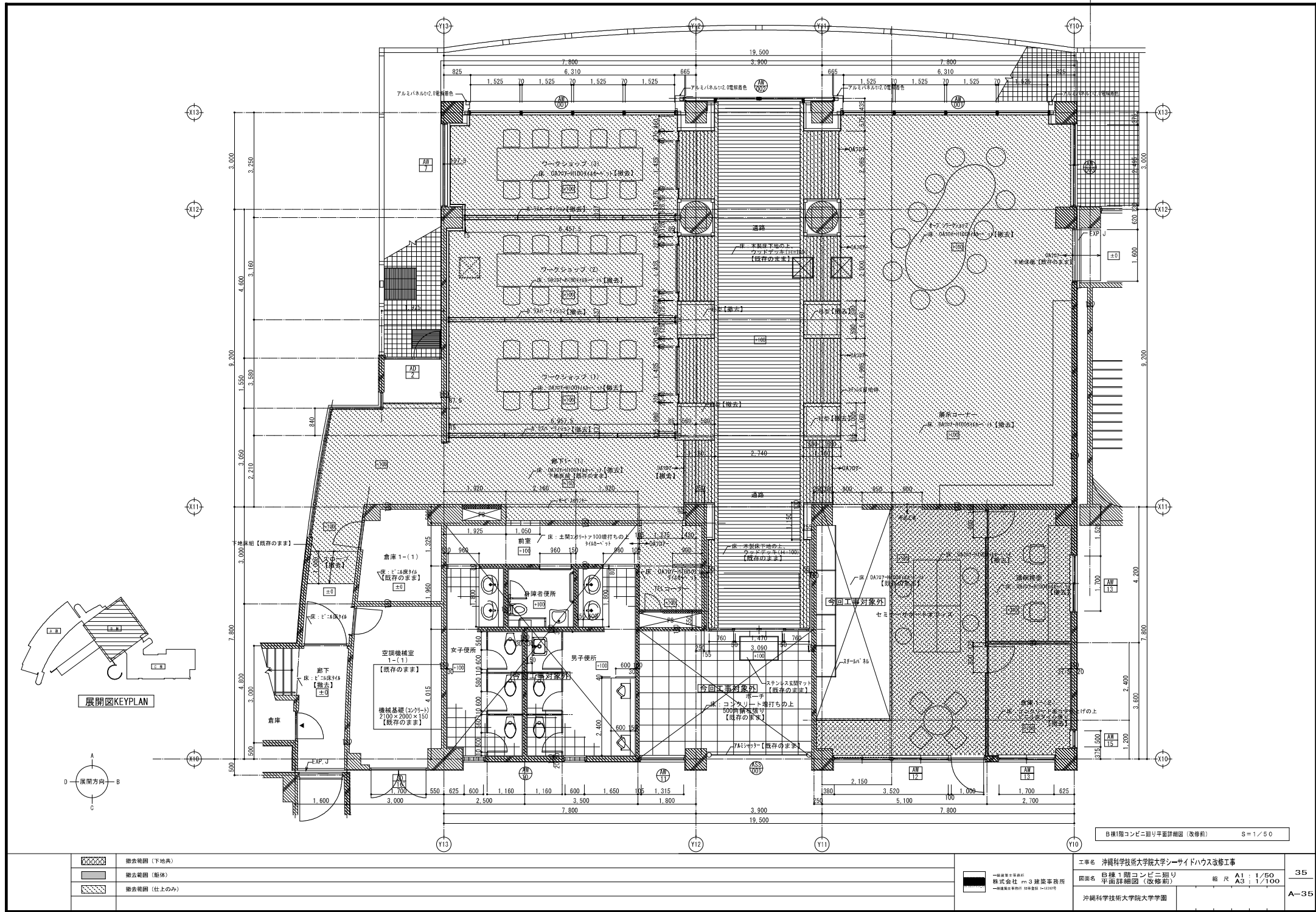


L6S100+60-ft=12.5+12.5 FP060N-0483 2-23-1 【耐火壁】-(上階スラブ下端まで)  
T-2 建具-遮音性能: T-2を示す

凡例	RC壁【新設】	【新設】建具を示す。	【撤去】建具を示す。
	RC壁【既存】	既存建具【塗替】を示す。	
	軽鋼骨下地間仕切壁100形【新設】	既存建具【既存のまま】を示す。	
	既設躯体/柱・壁を示す	【撤去】【新設】建具を示す。	



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 A棟1階H.C.管理用平面詳細図(改修後) 縮尺 A1: 1/90 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

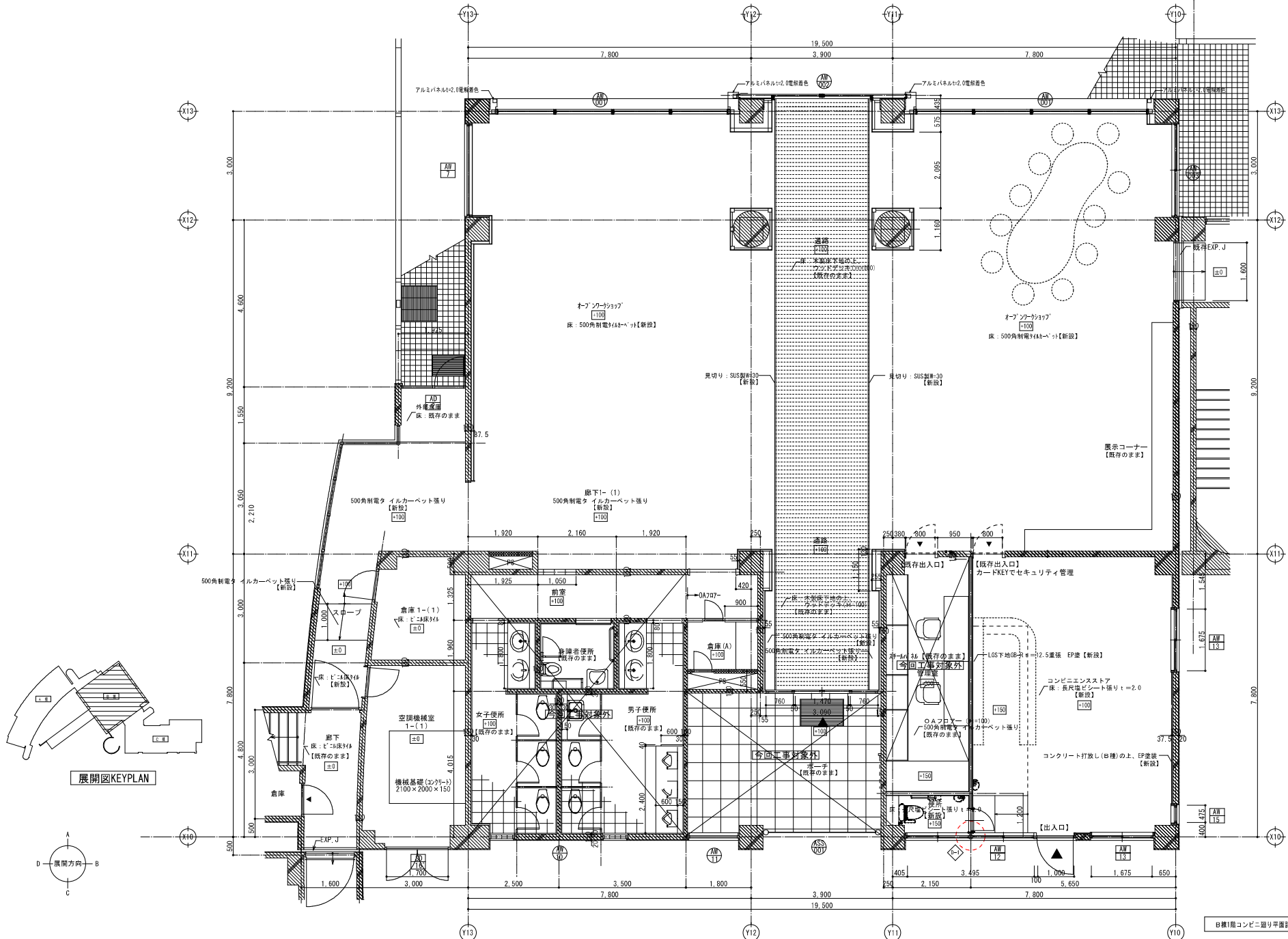


B棟1階コンビニ廻り平面詳細図(改修前) S=1/50

	撤去範囲(下地共)
	撤去範囲(躯体)
	撤去範囲(仕上のみ)

既存の躯体  
 既存の躯体(改修)  
 既存の躯体(改修)兼下地

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 目録1階コンビニ廻り平面詳細図(改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

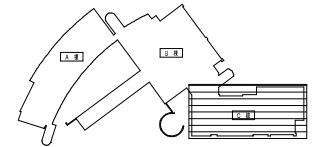


B棟1階コンビニ廻り平面詳細図(改修後) S=1/50

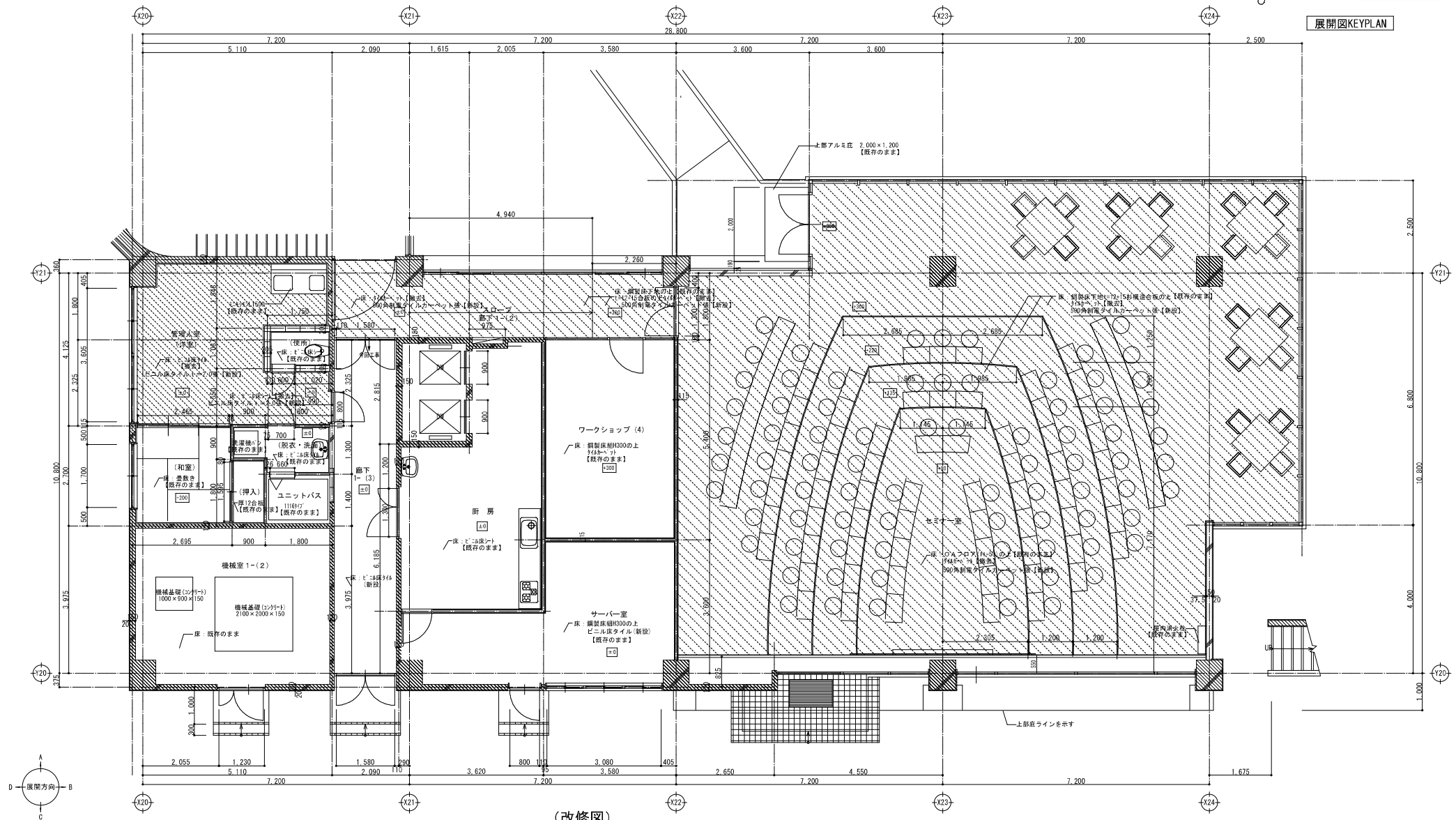
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 B棟1階コンビニ廻り平面詳細図(改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園



一級建築士事務所  
 株式会社 m3 那覇建築事務所  
〒900-0001 沖縄県那覇市大平町1-4-10



展開図KEYPLAN



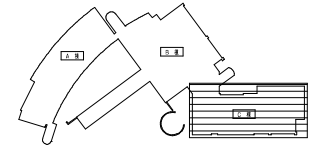
(改修図)  
C棟1階セミナー室廻り平面詳細図 S=1/50

※既存造りつけ家具の仮撤去 復旧、家具等の移動は本工事に含むものとする。

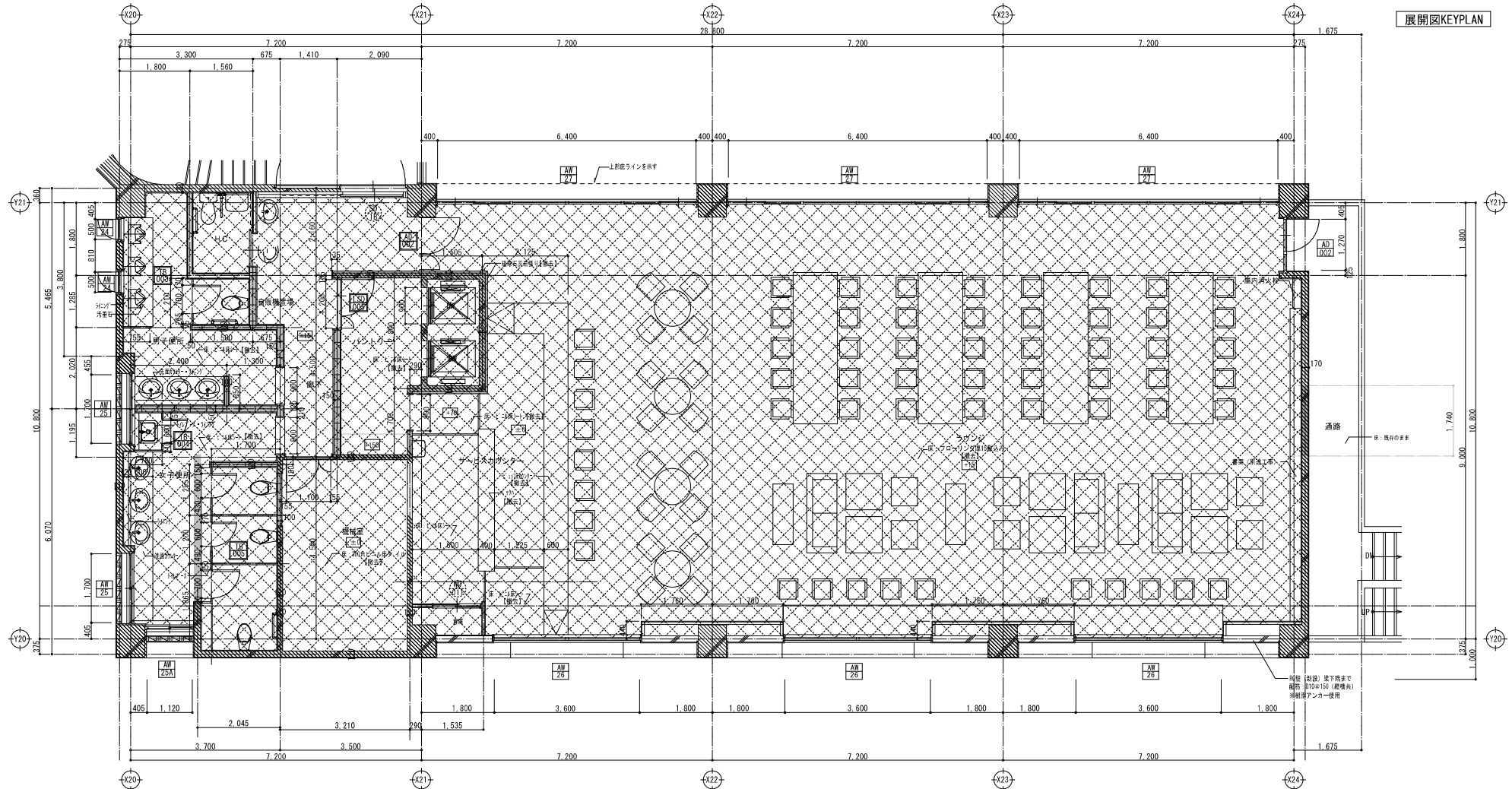
	撤去範囲 (下地共)
	撤去範囲 (躯体)
	撤去範囲 (仕上のみ)

	一階建等*
	株式会社 株式会社 株式会社
	一階建等*

工単名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	37
図面名	C棟1階セミナー室廻り平面詳細図(改修図)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
作成者	沖縄科学技術大学院大学	A-37

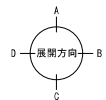


展開図KEYPLAN



(改修前)  
C棟2階ラウンジ平面詳細図 S=1/50

※既存造りつけ家具、移動家具等の撤去・廃棄は本工事に含むものとする。



凡例

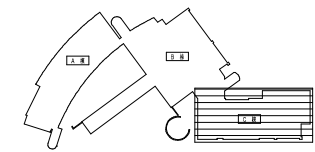
	撤去範囲 (下地床)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	撤去範囲 (躯体)		既存建具【変更】を示す。		
			既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		



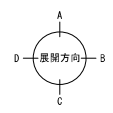
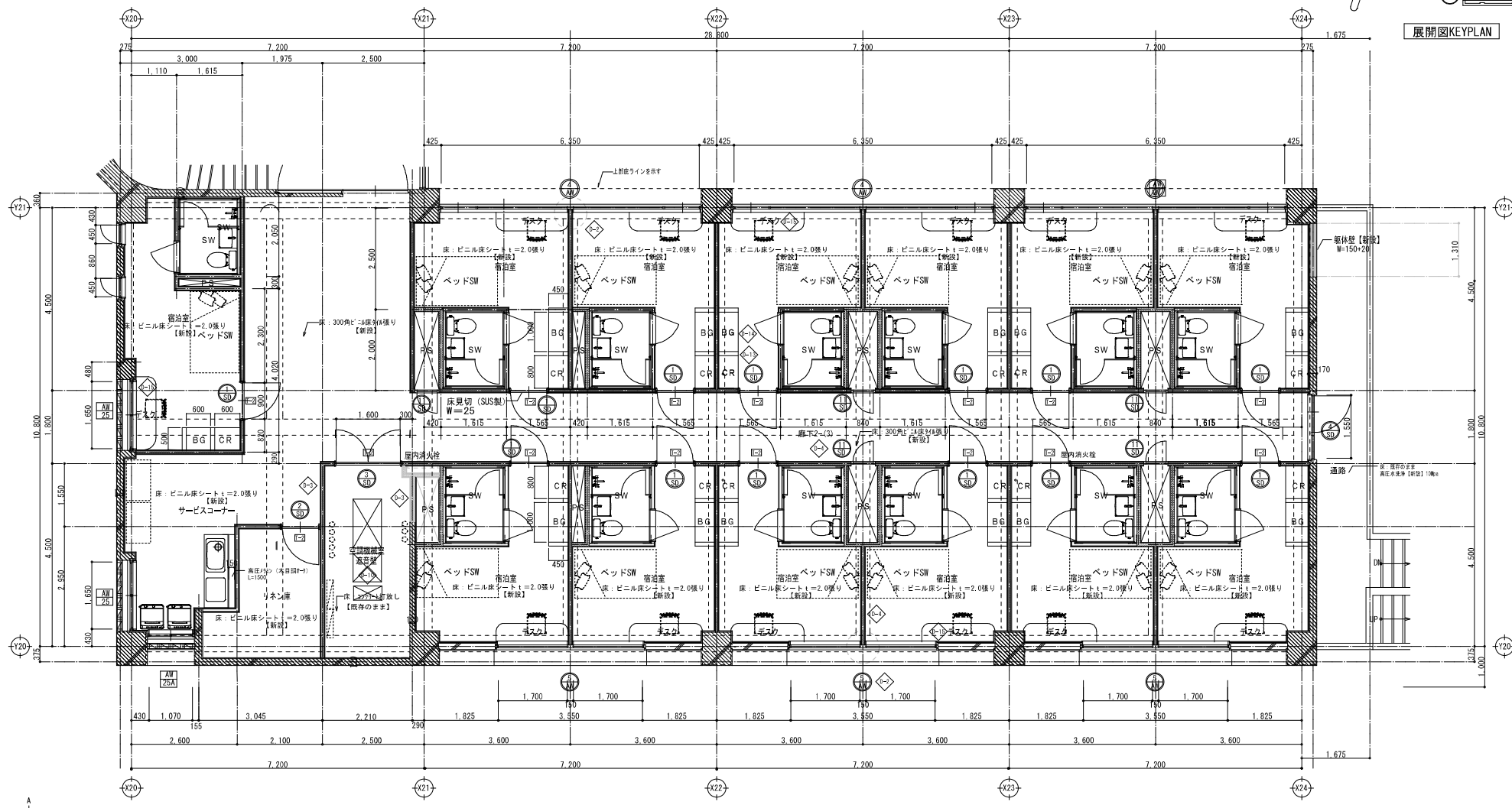
一級建築士事務所  
株式会社 m s 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 31年 2月 17日 11700107

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 C棟2階ラウンジ平面詳細図 (改修前)  
沖繩科学技術大学院大学

縮尺 A1 : 1/50  
A3 : 1/100

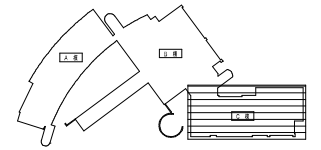


展開図KEYPLAN

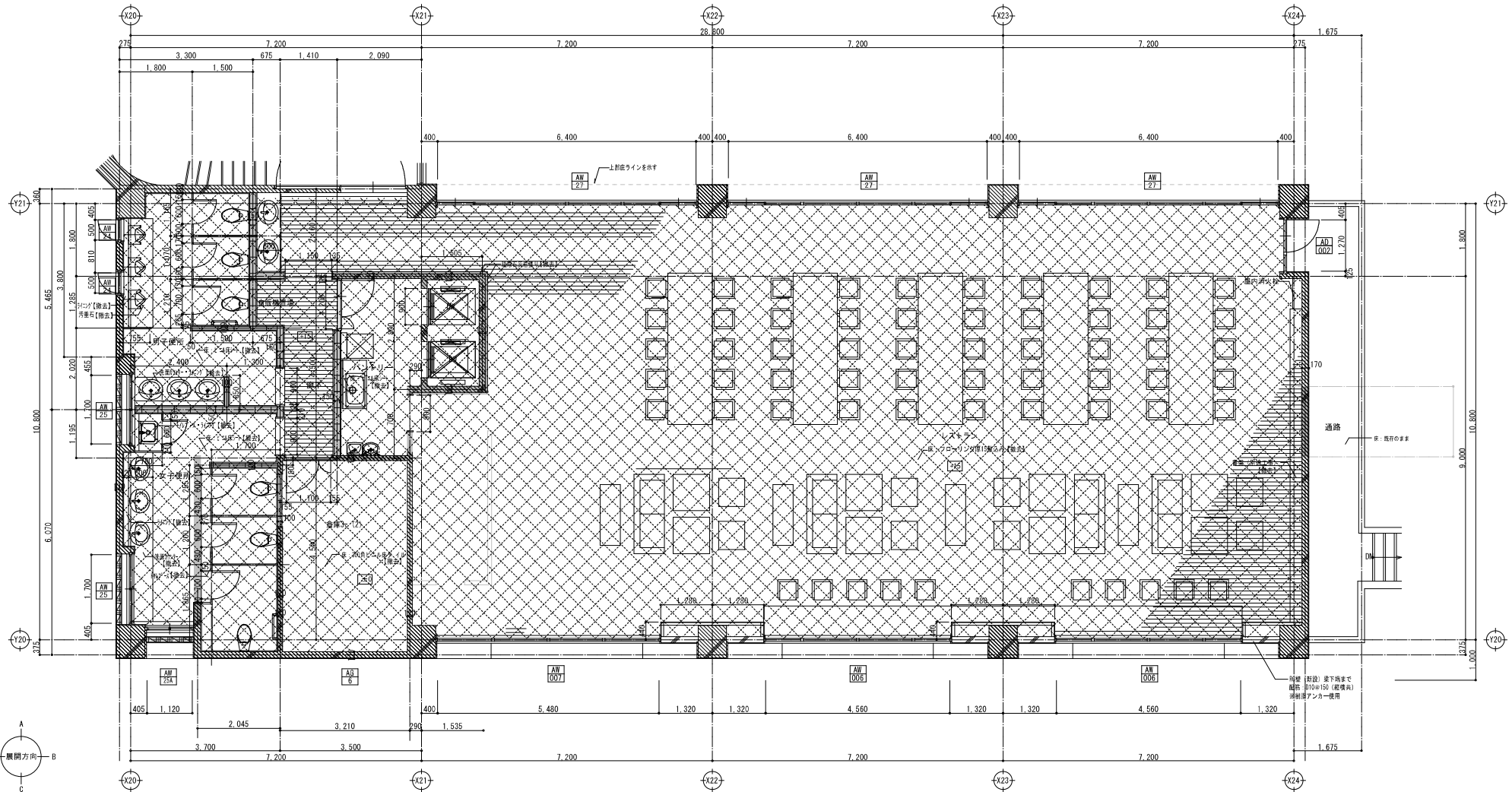


	【耐火壁】 - (上層スラブ下端まで) 1.6S100+68-f t = 12.5+12.5 2-23-1
	【遮音壁】 - 1-2を示す

凡例		撤去範囲 (下地床)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市 31番地11号1015号	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 C棟2階宿舎平面詳細図 (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学	39 A-39
		新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。			



展開図KEYPLAN

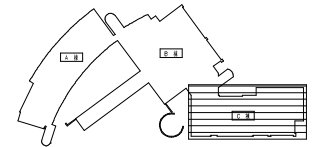


(改修前)

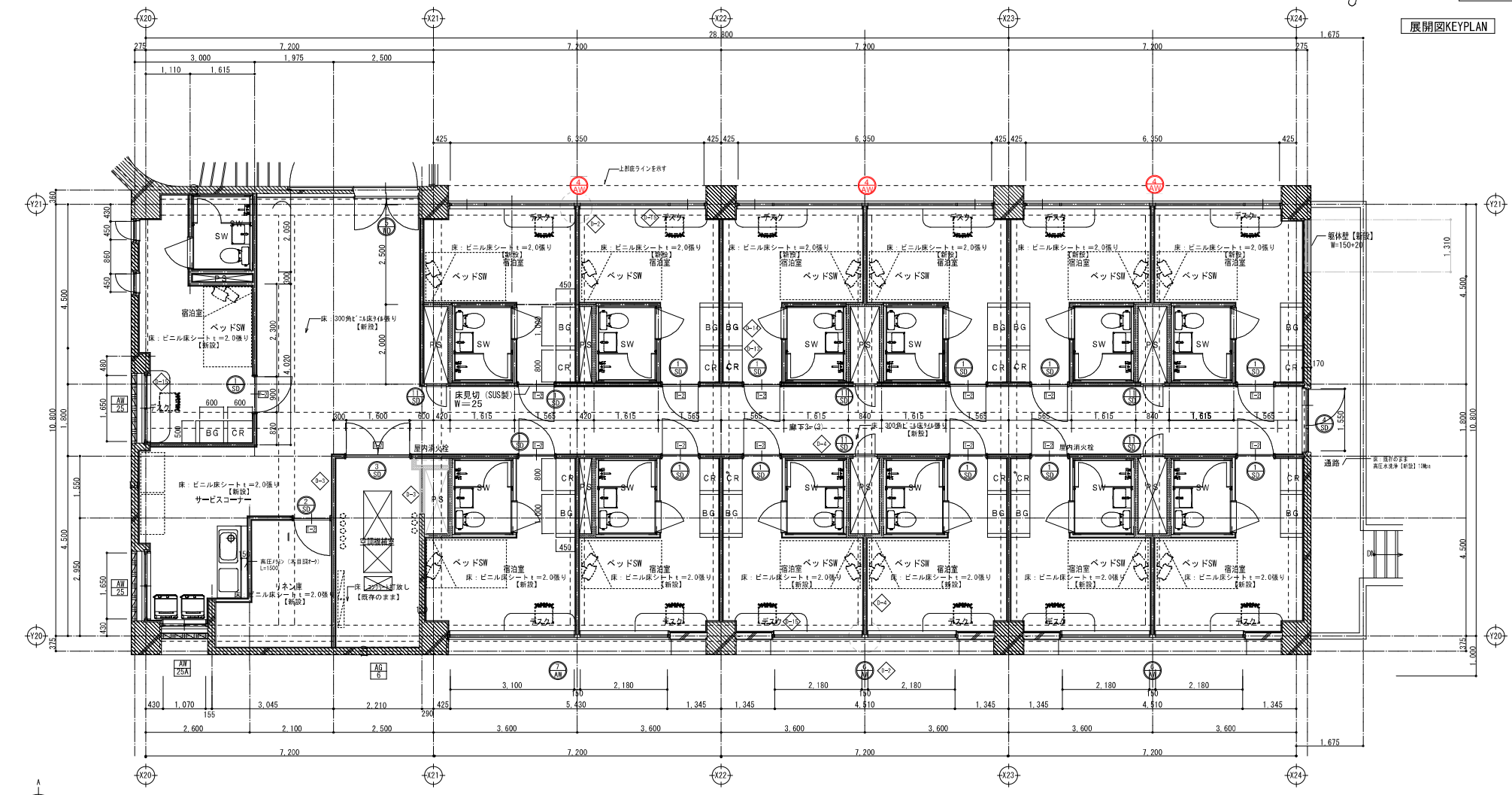
C棟3階ちゅらホール平面詳細図 S=1/50

※既存造りつけ家具、移動家具等の撤去・廃棄は本工事に含むものとする。

凡例		撤去範囲 (下地床)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市 31年5月11号	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 C棟3階ちゅらホール平面詳細図 (改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学	40
		撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。		A-40	
				【撤去】【新設】建具を示す。					



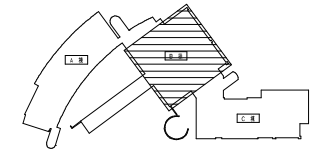
展開図KEYPLAN



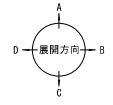
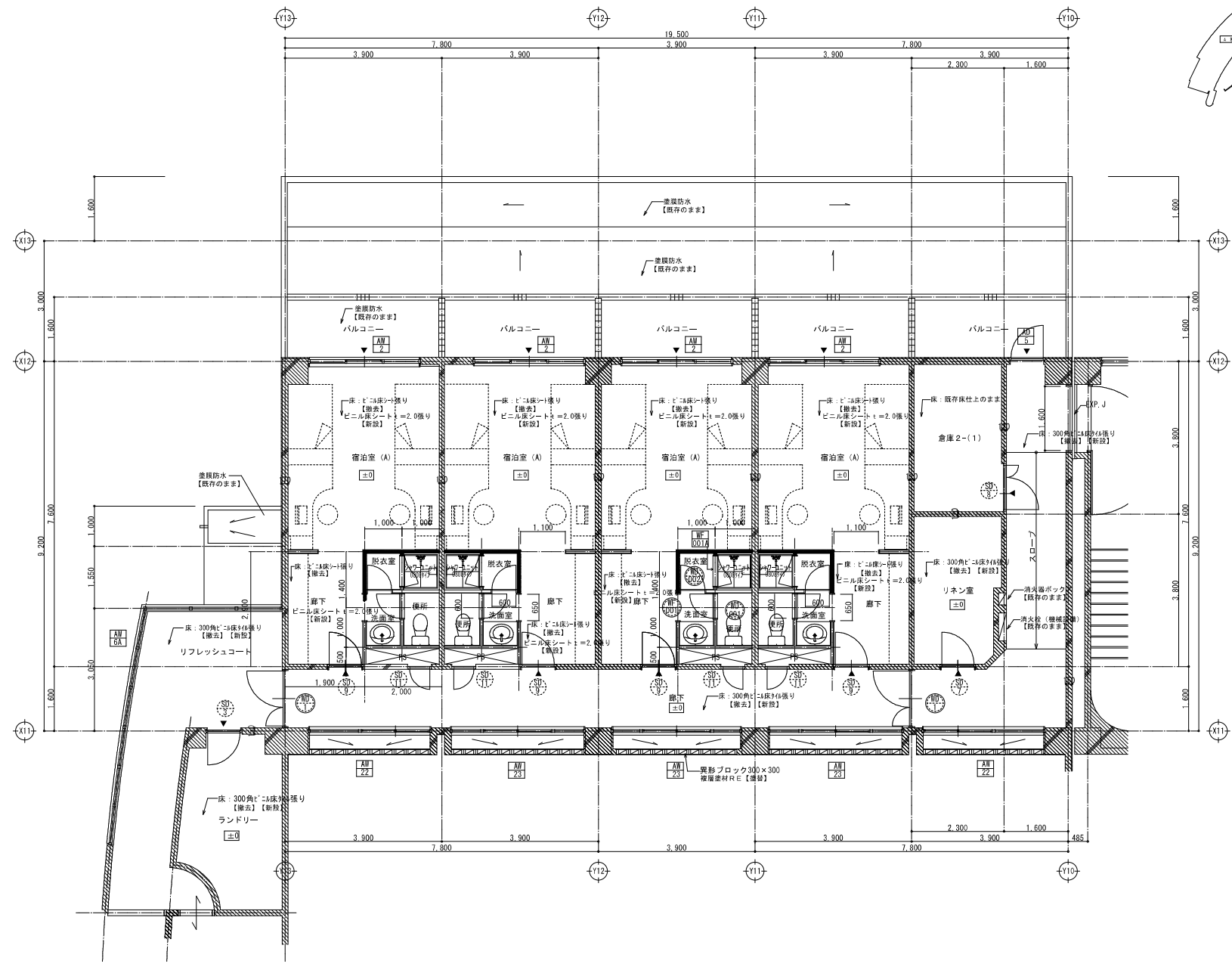
	【耐火壁】 - (上層スラブ下層まで) LGS100+GB-F t=12.5+12.5 2-22-1
	建具-適音性能: T-2を示す

朱書きは訂正を示す

凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 新築建築事務所 一級建築士事務所 33年 2月 11日 11001507	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 C棟3階宿泊室平面詳細図 (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	41 A-41
		新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。		【撤去】【新設】建具を示す。	



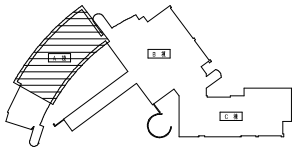
展開図KEYPLAN



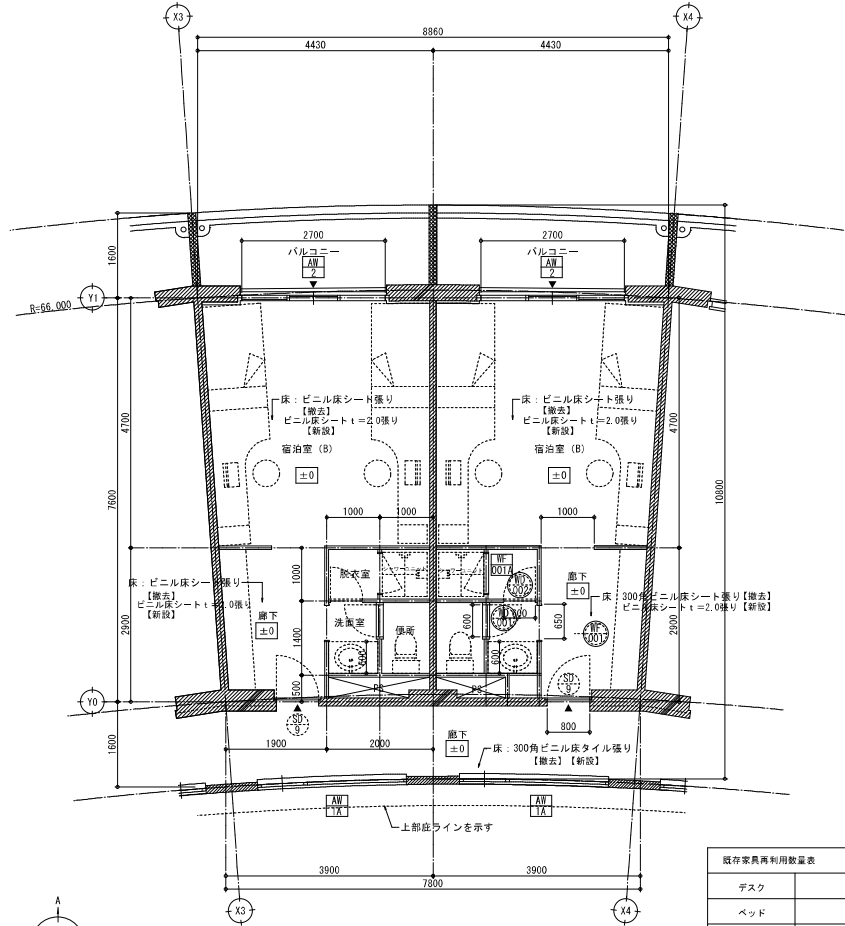
既存家具再利用数量表

デスク	8台
ベッド	8台
クローク (連付)	4台

凡例		撤去範囲(下地床)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。	<p>一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 315号室 170-0197</p>	<p>工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事</p> <p>図面名 3棟2階 宿治室(A) 平面詳細図(改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100</p> <p>沖縄科学技術大学院大学</p>	<p>42</p> <p>A-42</p>
		撤去範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。			



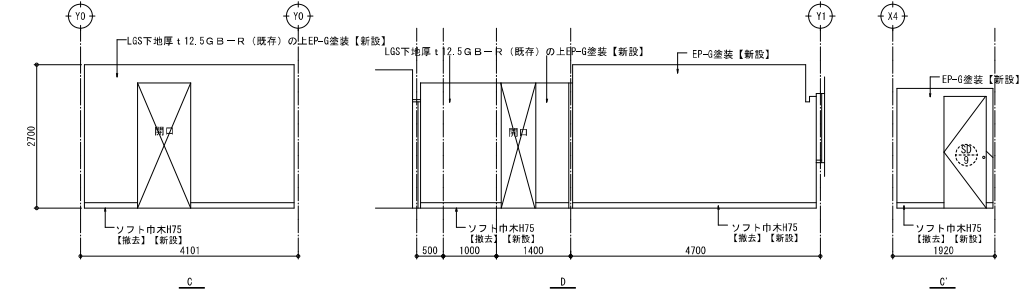
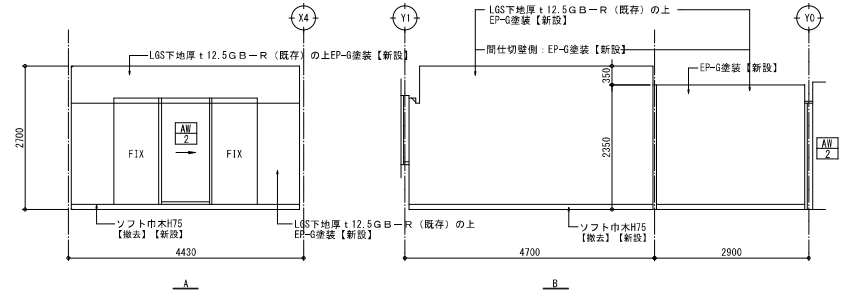
展開図KEYPLAN



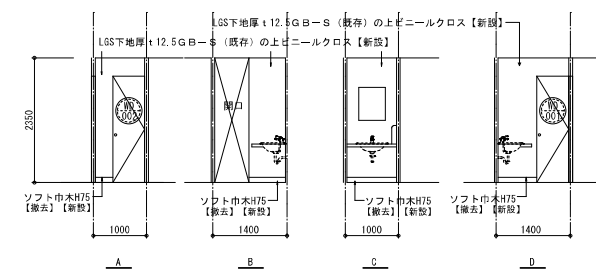
2階 宿泊室(B) 平面詳細図 S=1/50

デスク	16台
ベッド	16台
クローク (送付)	8台

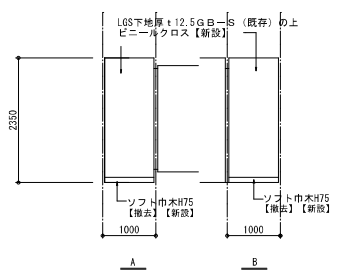
宿泊室 (B)



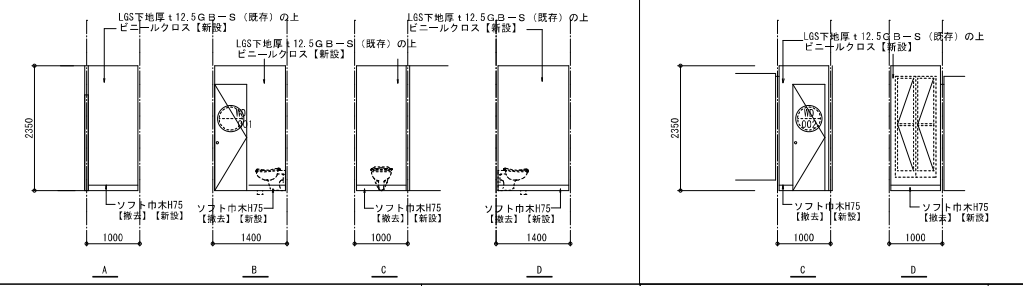
洗面所



脱衣室



使用



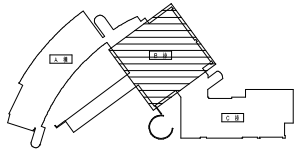
凡例

	撤去範囲 (下地床)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
			既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】 【新設】 建具を示す。		

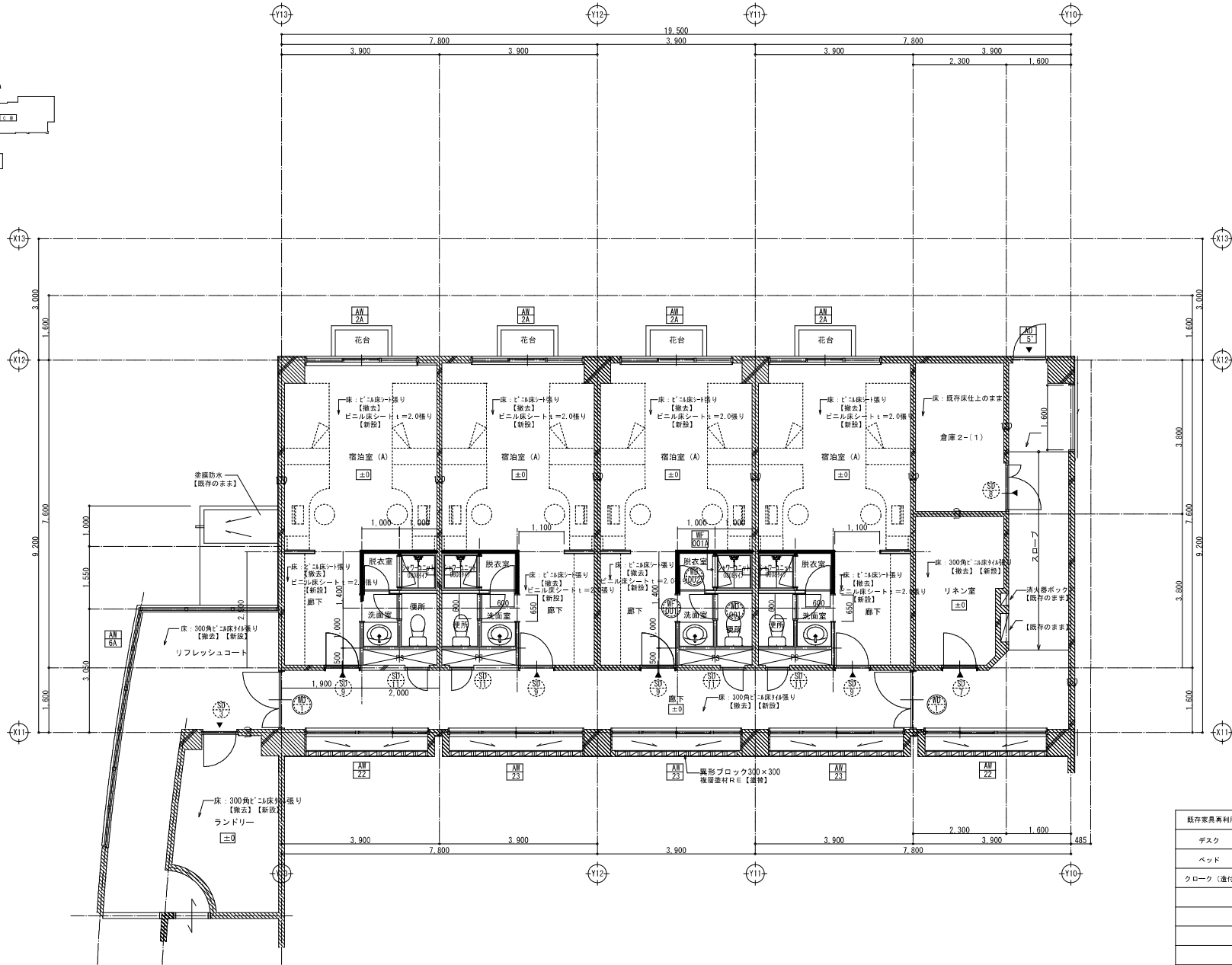


一級建築士事務所  
株式会社 m3 形勢建築事務所  
〒900-0001 沖縄県那覇市 31-1-1010

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 A棟2階 宿泊室(B) 平面詳細図 (改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学 43 A-43



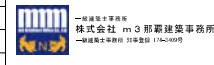
展開図KEYPLAN



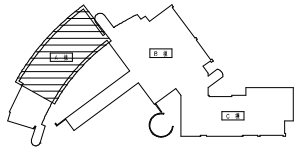
家具名	数量
デスク	8台
ベッド	8台
クローク (連付)	4台



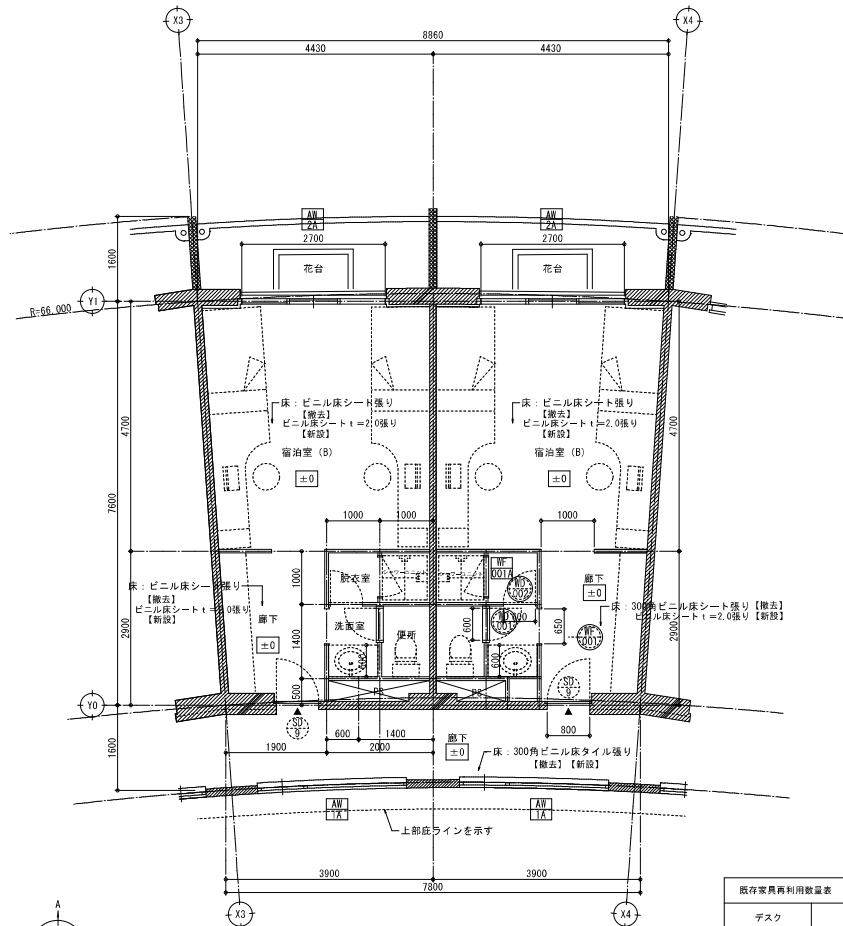
凡例		撤去範囲 (下地床)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
				【撤去】 【新設】 建具を示す。		



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 3階 宿泊室(A) 平面詳細図 (改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学術部



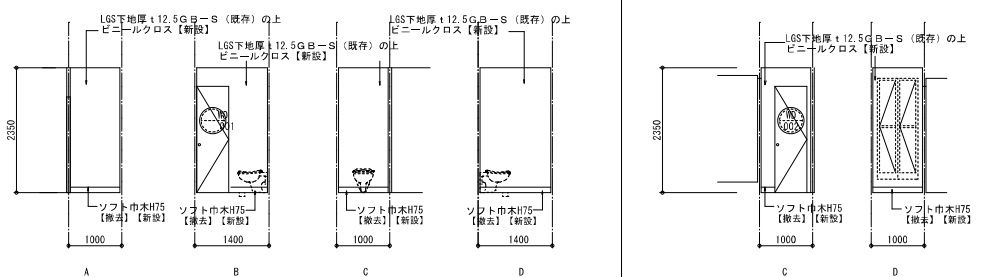
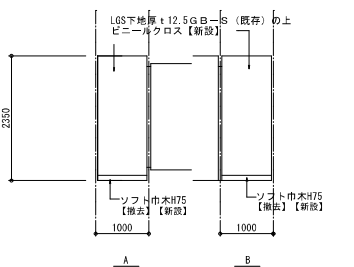
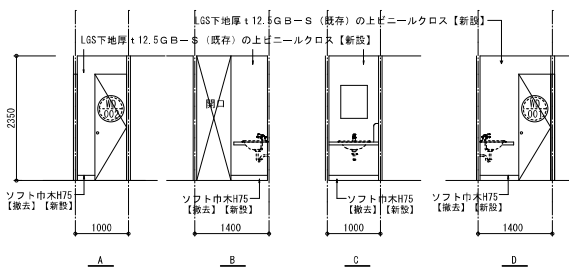
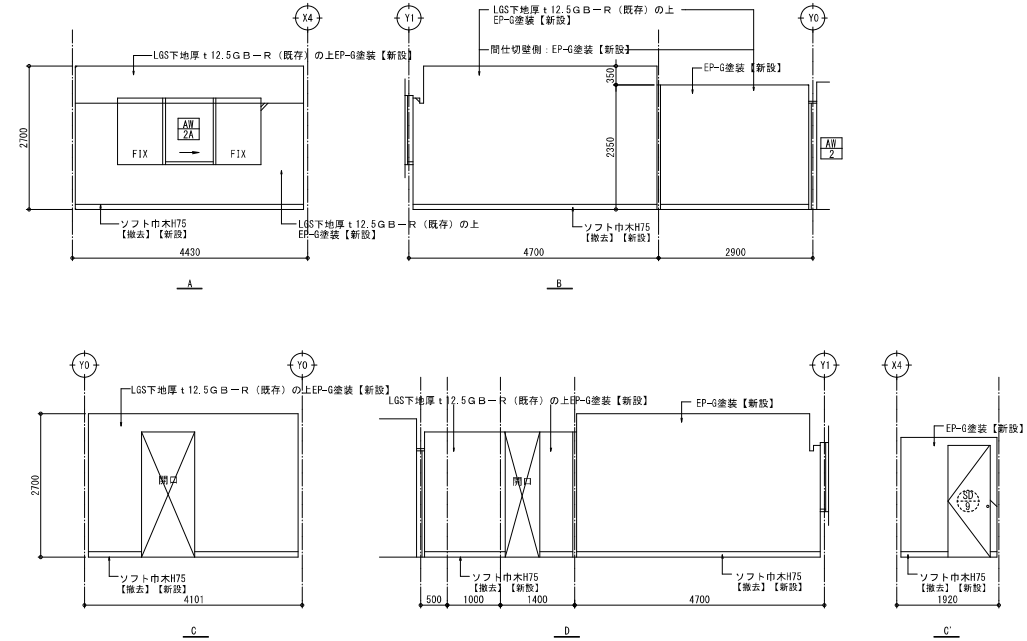
展開図KEYPLAN



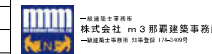
家具名	数量
デスク	12台
ベッド	12台
クローク (違付)	6台



宿泊室(B)

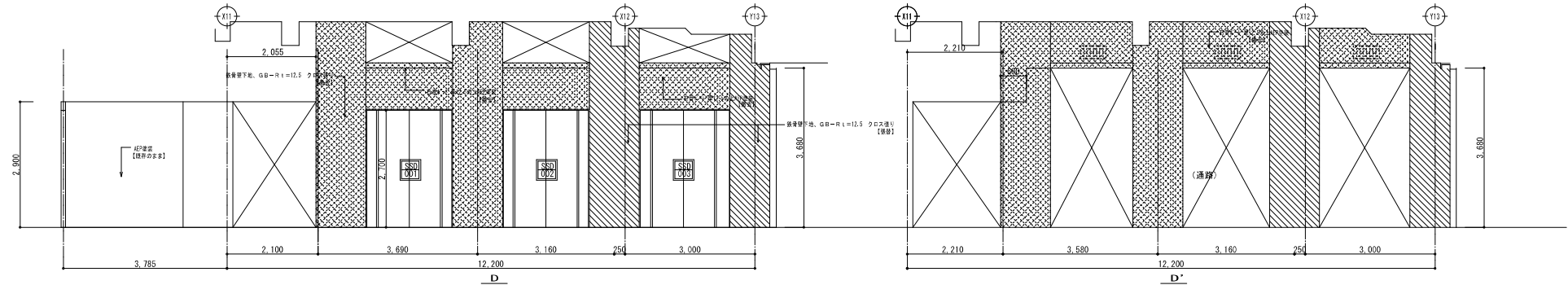
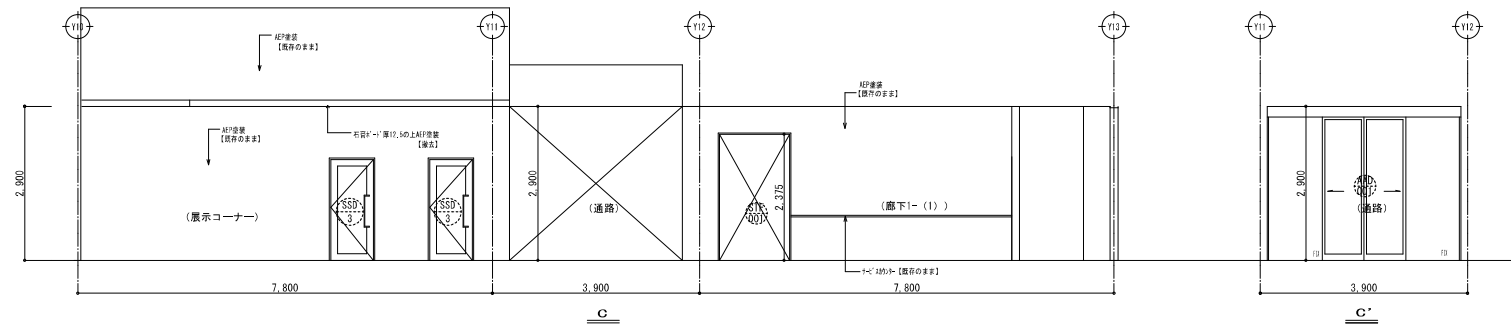
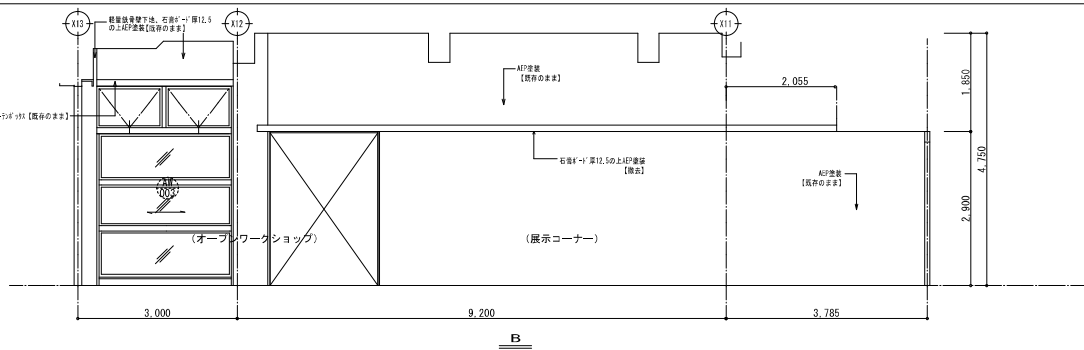
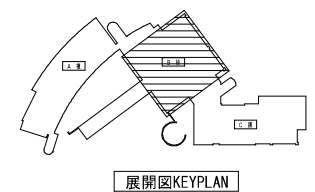
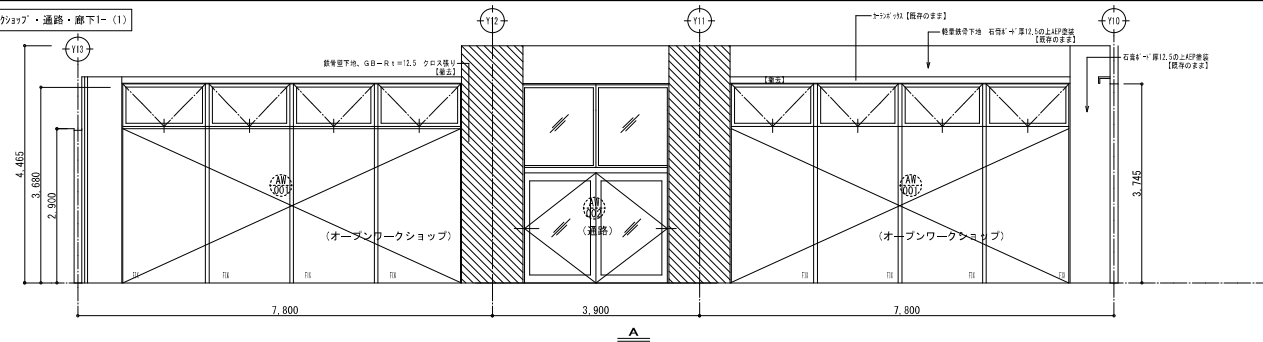


	撤去範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
	新設範囲 (躯体)		【撤去】 【新設】 建具を示す。		



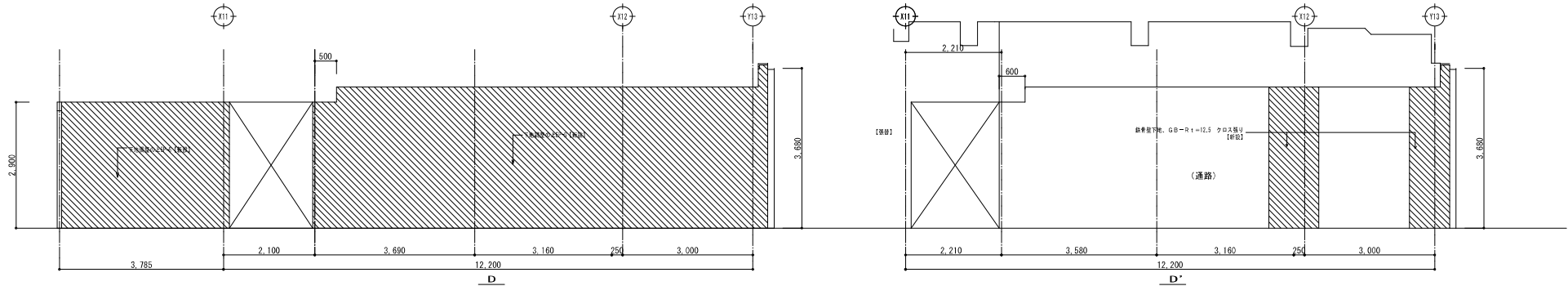
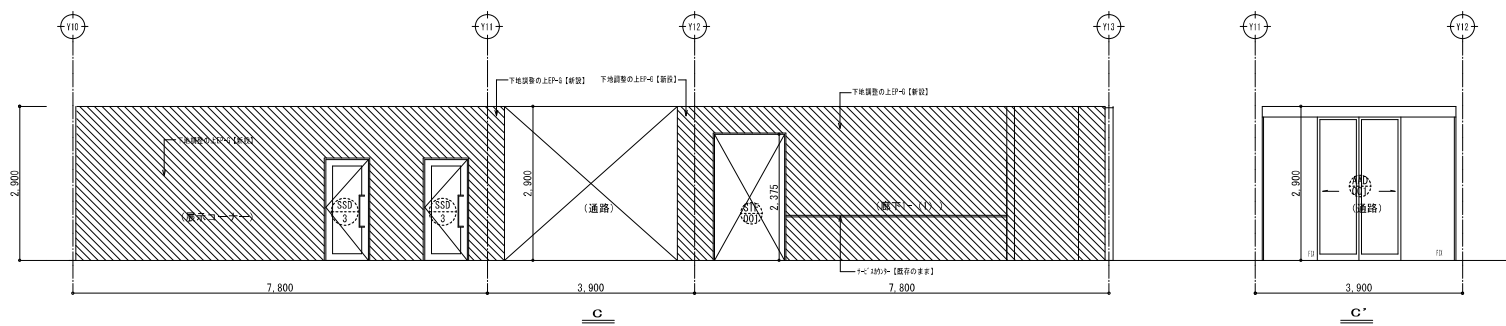
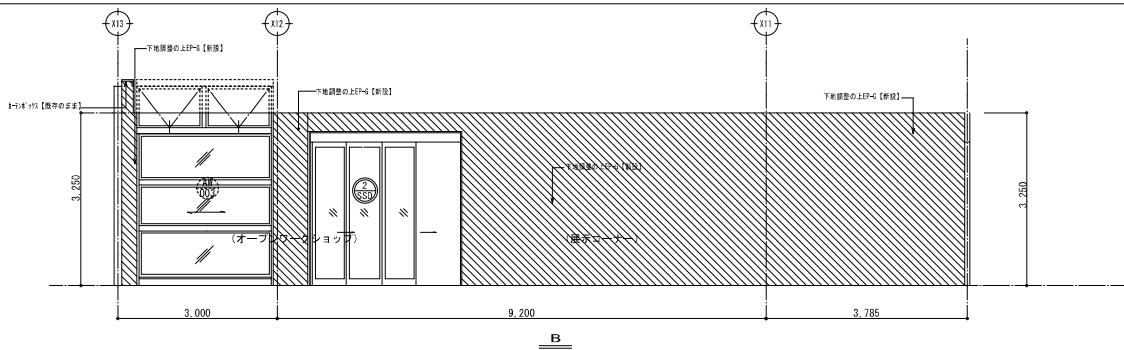
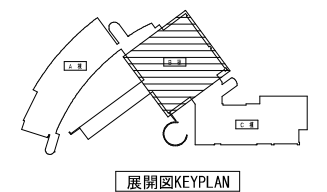
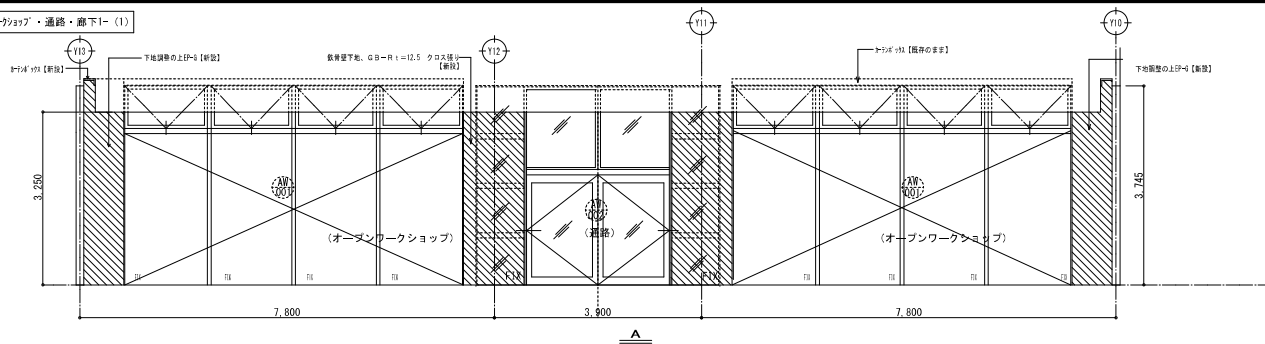
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 Δ棟3階 宿泊室(B) 平面詳細図 (改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学

展示コーナー・オープンワークショップ・通路・廊下1- (1)



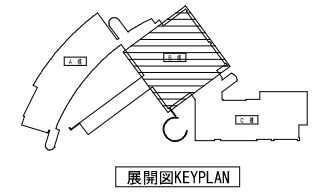
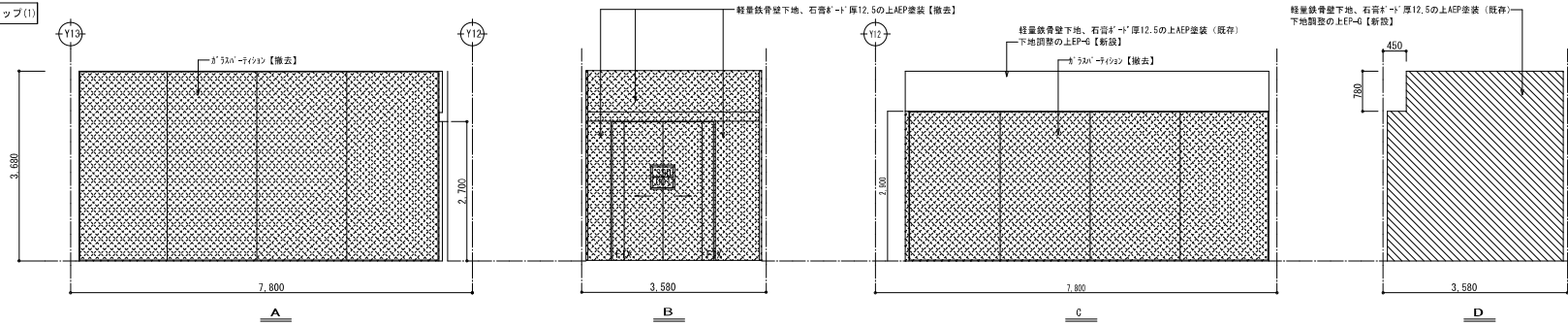
凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		新設範囲 (躯体)		既存建具【変替】を示す。		
		撤去範囲 (上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】 建具を示す。		
一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市 31-1-1010			工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図(1) B棟1層オープンワークショップスペース廻り 改修計画 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園		46 A-46	

展示コーナー・オープンワークショップ・通路・廊下1- (1)

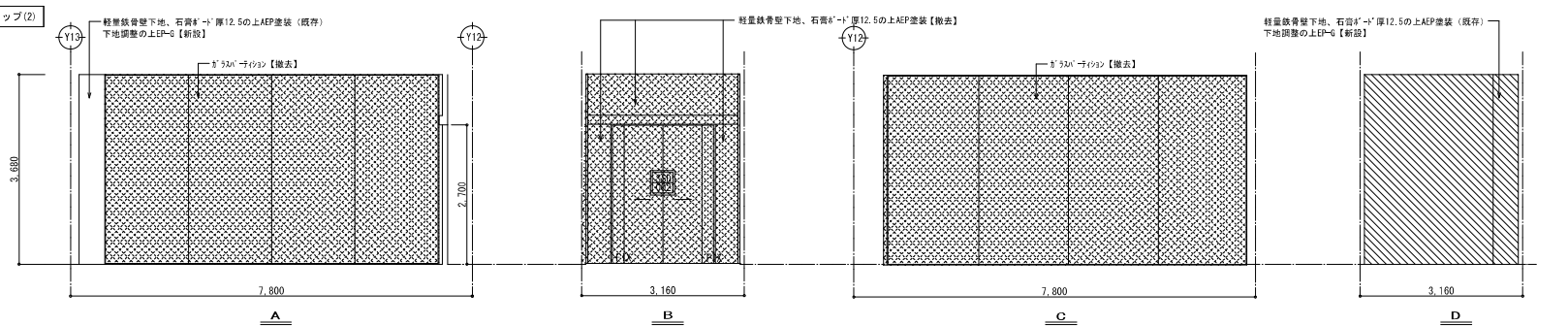


凡例		新設範囲 (下地床)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市 31-1-1015	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図 (2) 日付 1/11/2024 オープンワークショップスペース選り 改修後 版 尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	47
		新設範囲 (躯体)		既存建具【変替】を示す。				A-47	
		新設範囲 (上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。					
		【撤去】 建具を示す。							

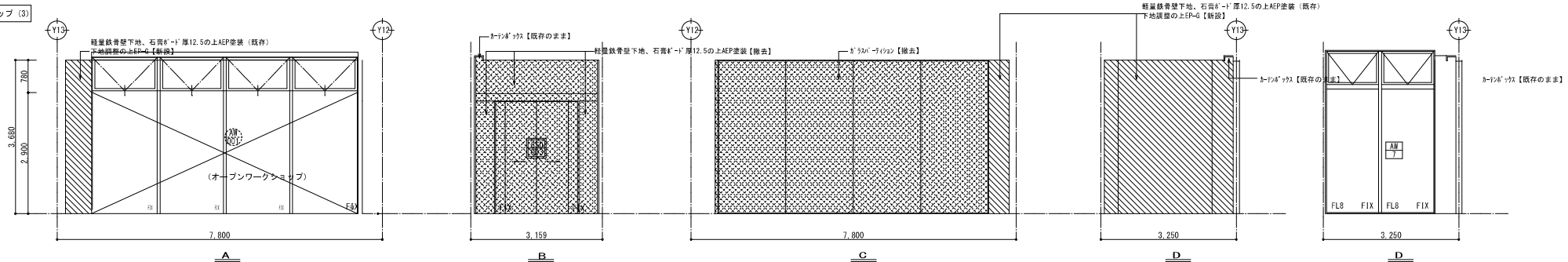
ワークショップ(1)



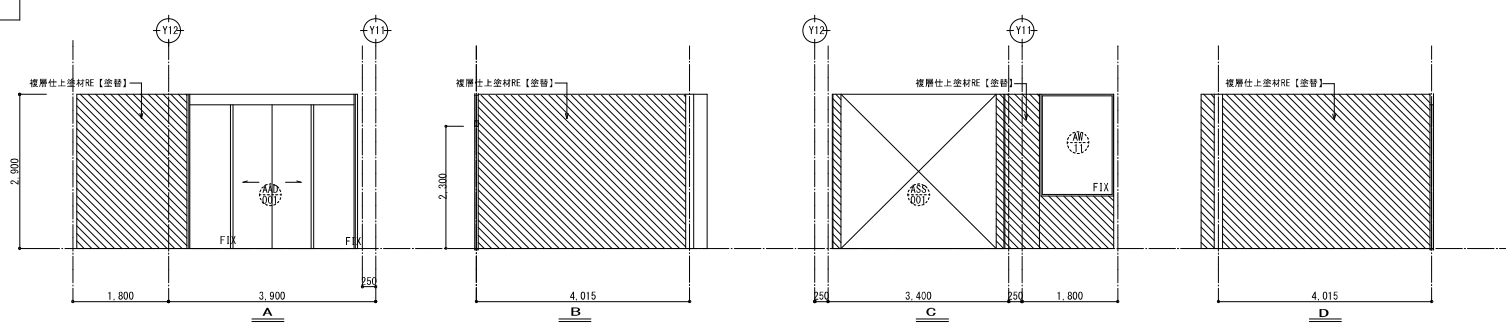
ワークショップ(2)



ワークショップ(3)

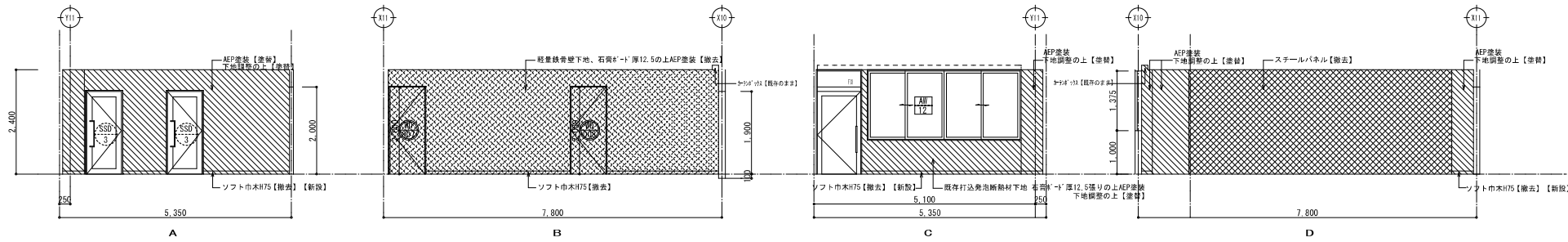


ポーチ

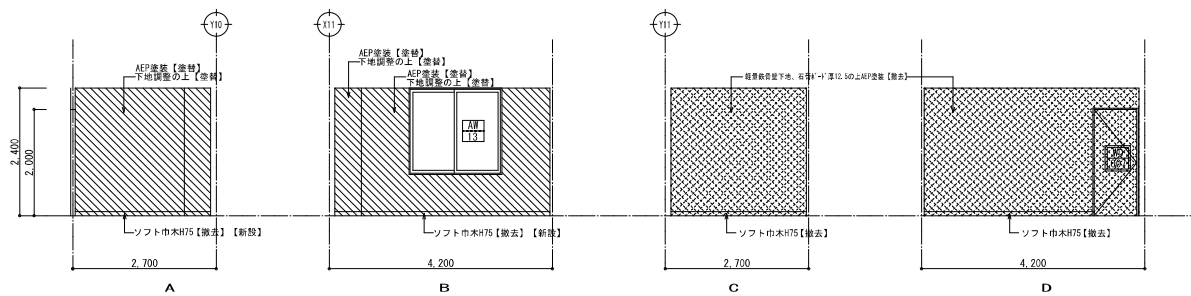


凡例		撤去範囲（下地共）		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲（躯体）		既存建具【塗替】を示す。		
		新設範囲（仕上のみ）		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		
			工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図(3) 棟 尺 A1: 1/50 A3: 1/100 株式会社 JIS 第3 第3 建築事務所 〒110-8501 東京都港区 有明 1-10-10 沖縄科学技術大学院大学学園			48
						A-48

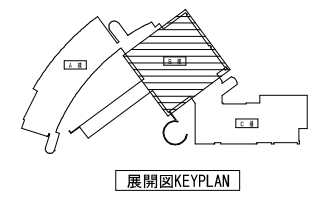
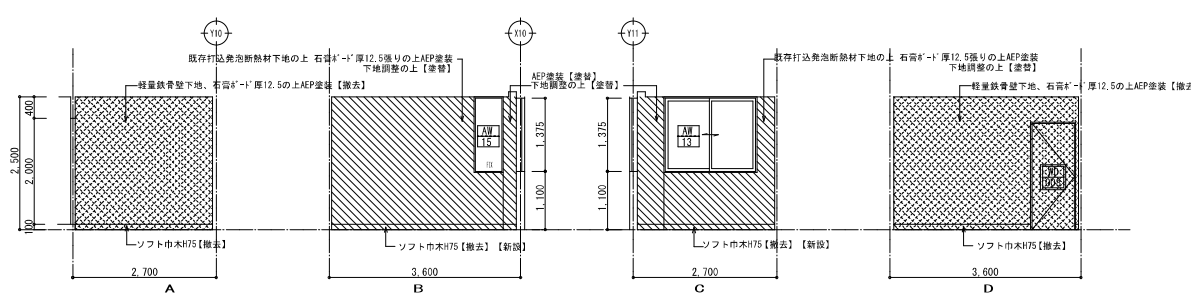
セミナーサポートオフィス



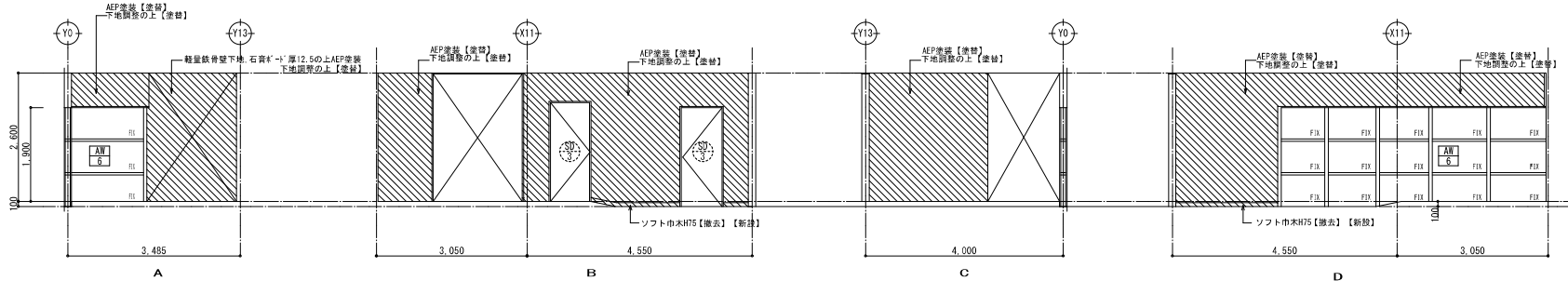
講義控室



倉庫 1-(2)

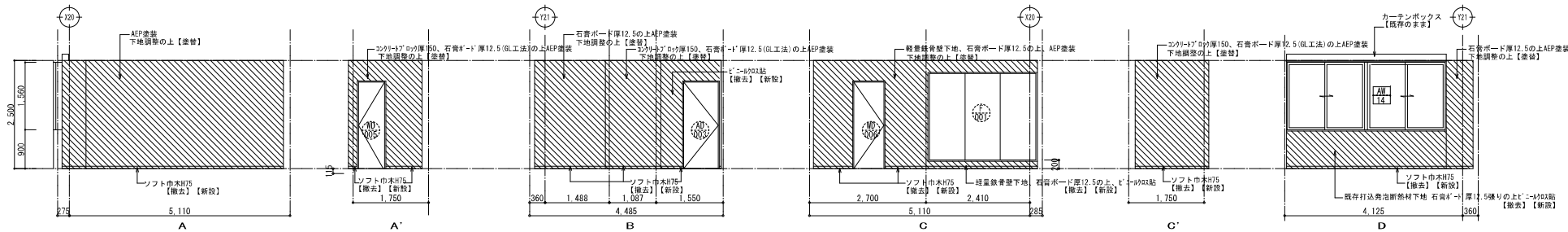


自販機コーナー(1階)

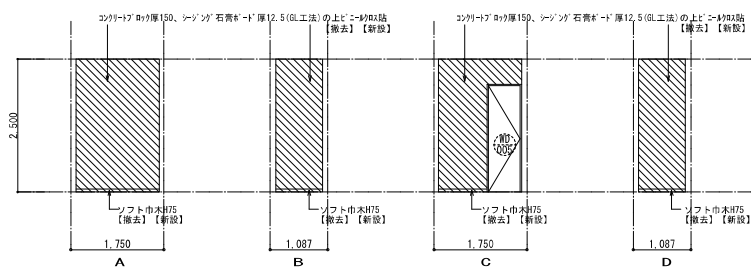


	撤去範囲 (下地床)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	新設範囲 (躯体)		既存建具【変替】を示す。		
	新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】 建具を示す。		

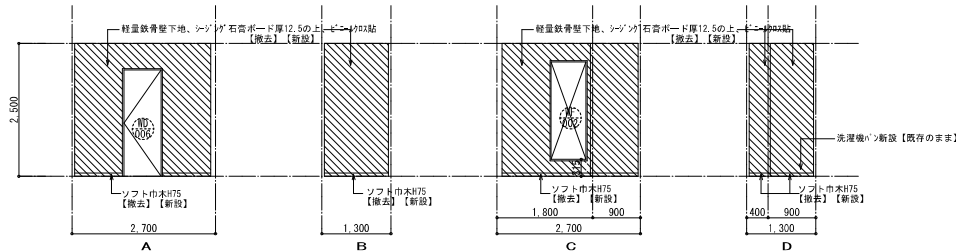
管理入室 廊間



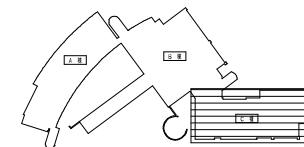
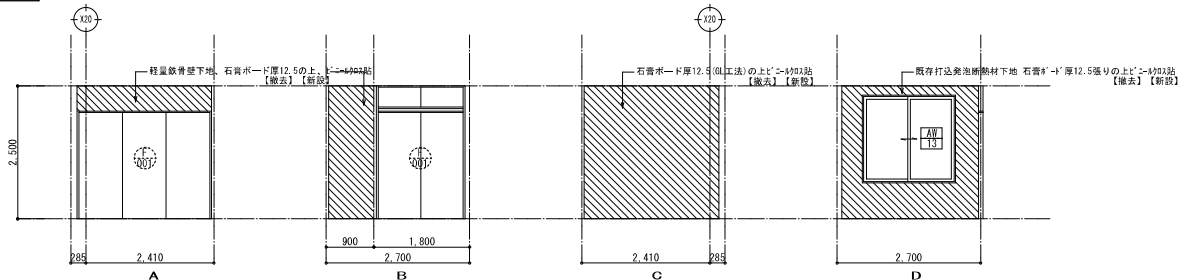
管理入室 便所



管理入室 脱衣場



管理入室 和室



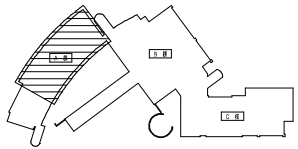
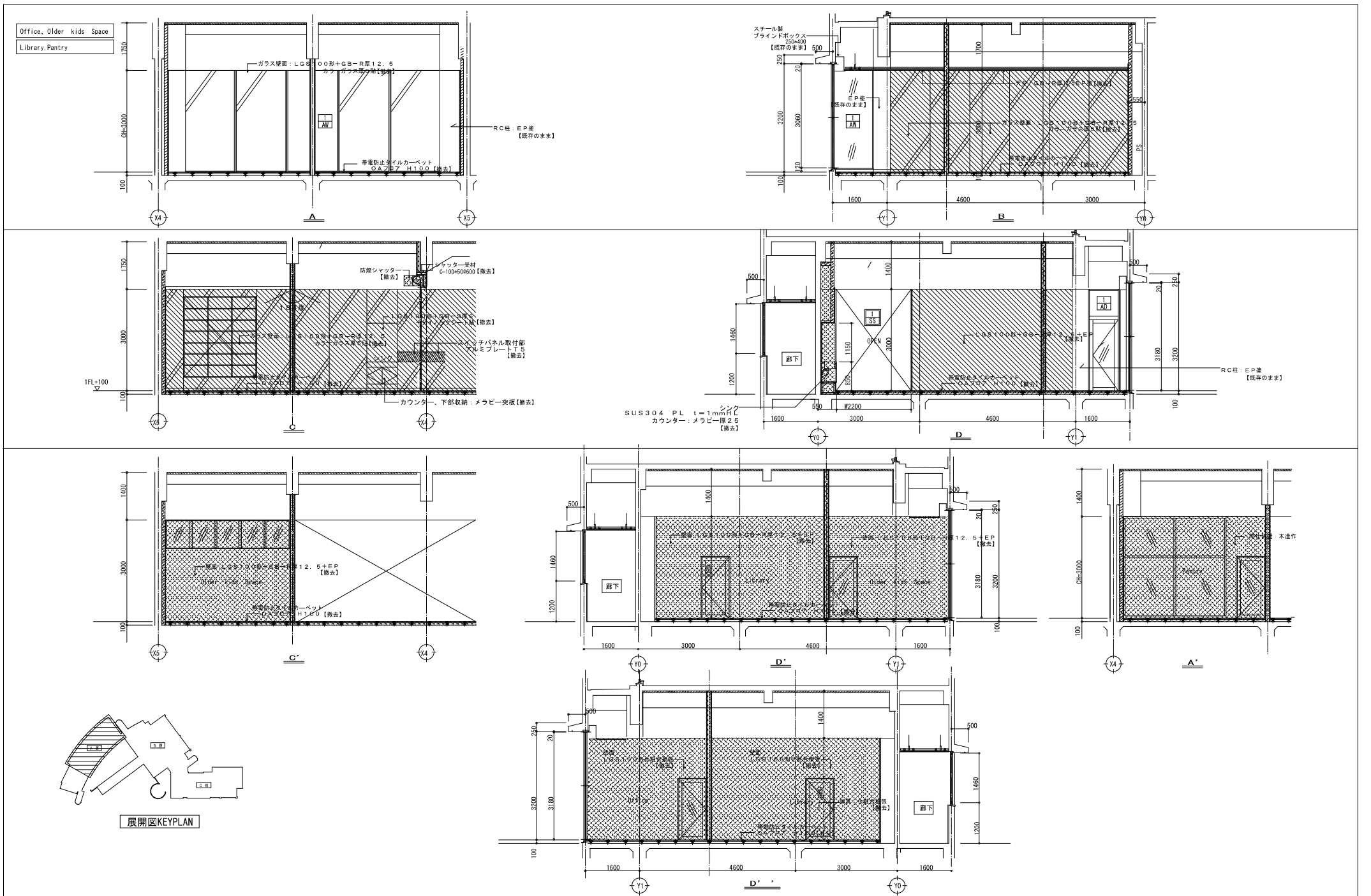
展開図KEYPLAN

	撤去範囲 (下地床)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
	新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】 建具を示す。		



一級建築士事務所  
株式会社 H.S 那覇建築事務所  
〒900-0001 沖縄県那覇市 那覇駅前110-0001

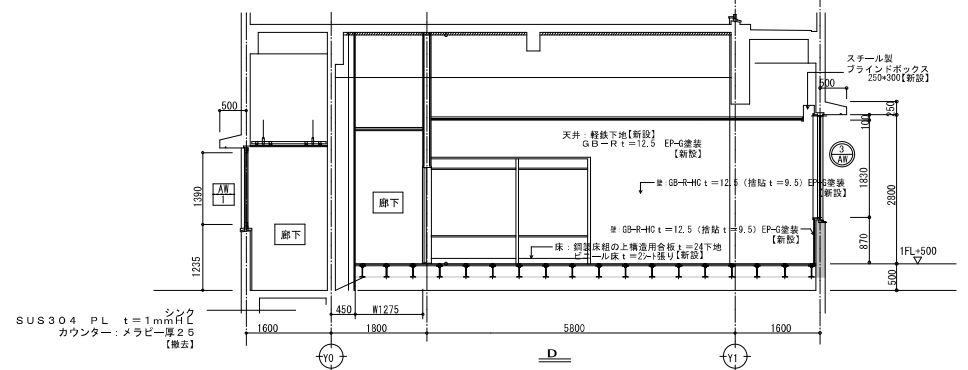
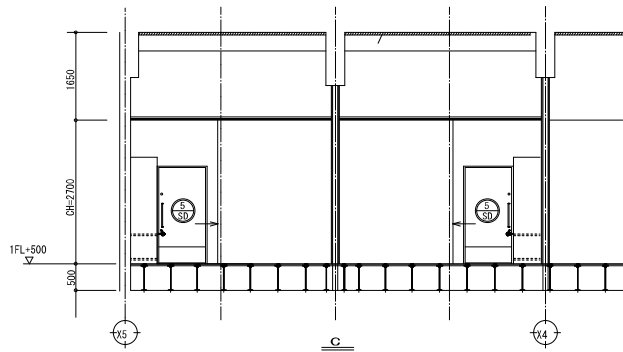
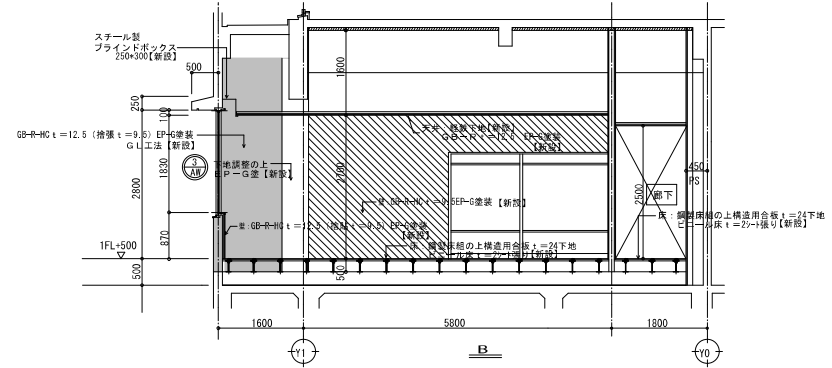
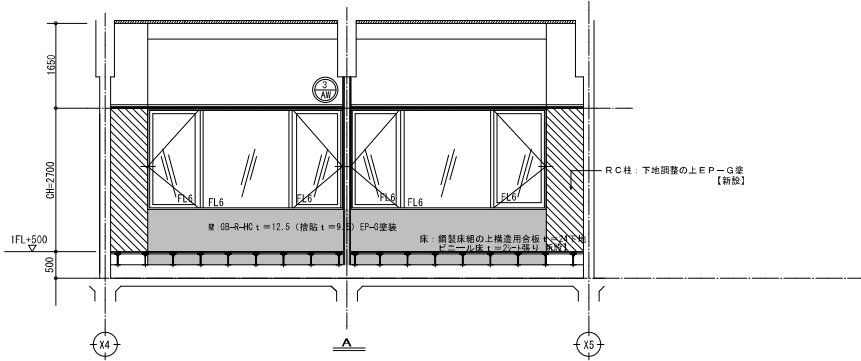
工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	50
図面名	展開図 (5) C棟1階 管理入室廊間 (改修図)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
作成者	沖縄科学技術大学院大学学術	A-50



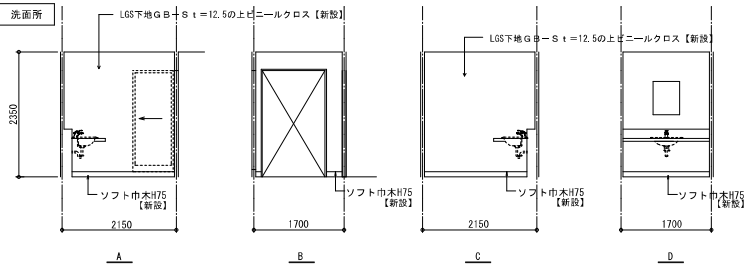
展開図KEYPLAN

凡例		撤去範囲 (地下内)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		新設範囲 (躯体)		既存建具【差替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
		撤去範囲 (仕上のみ)		【撤去】 【新設】 建具を示す。		
		一級建築士事務所 株式会社 m3 湘南建築事務所 <small>→ 湘南支店 0466-82-1111</small>		工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図 (B) A棟1階キッズルーム (改修前)		縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 51 A-51

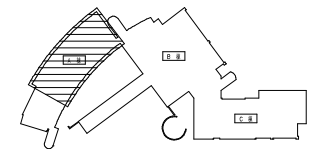
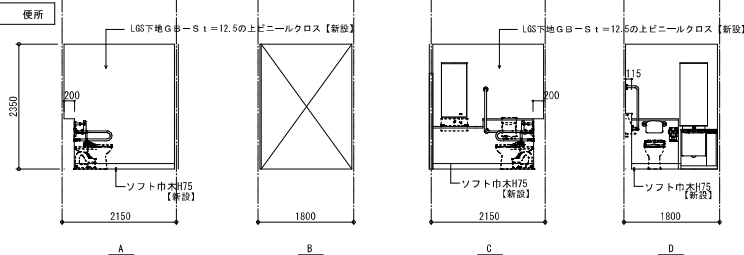
宿泊室A-1-(HC)



宿泊室A-1-(HC) 洗面所



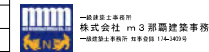
宿泊室A-1-(HC) 便所



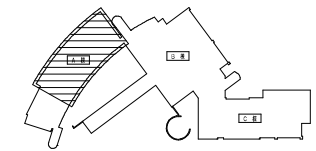
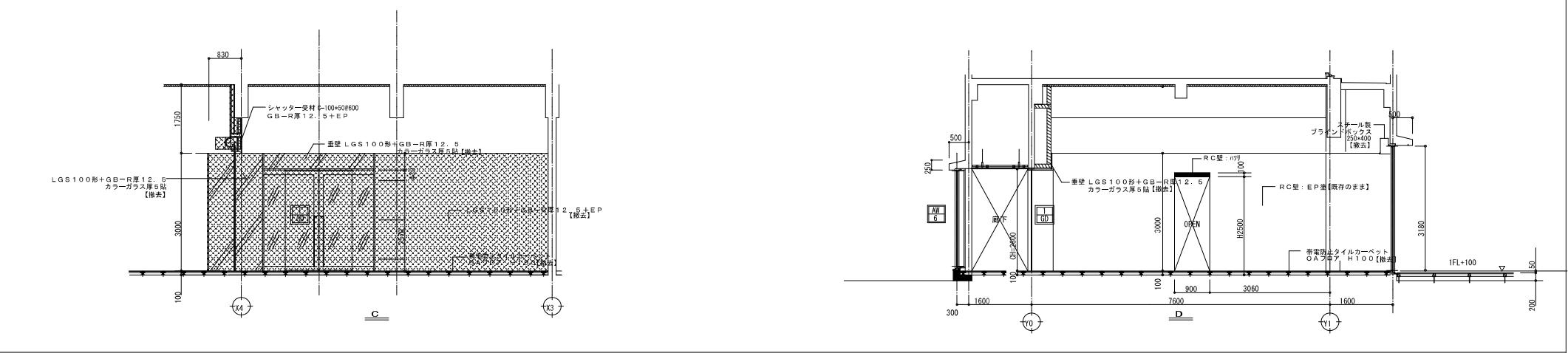
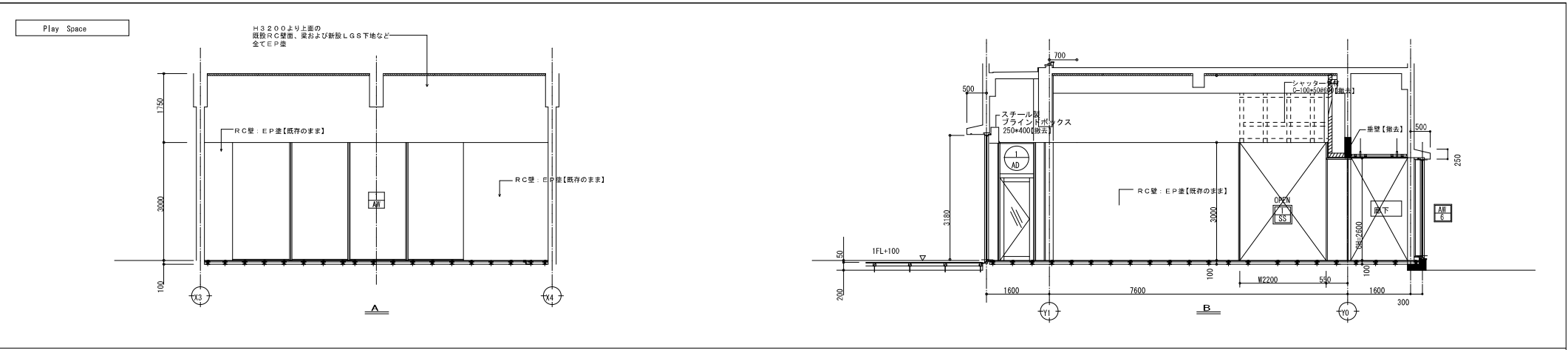
展開図KEYPLAN

凡例

	新設範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	新設範囲 (屋根)		既存建具【差替】を示す。		
	新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】 【新設】 建具を示す。		

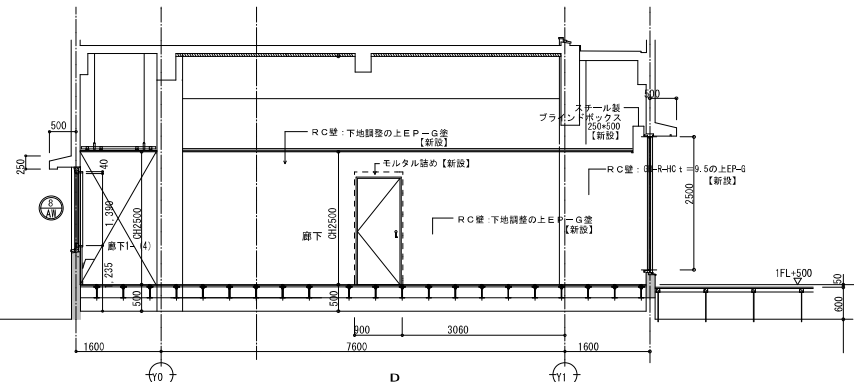
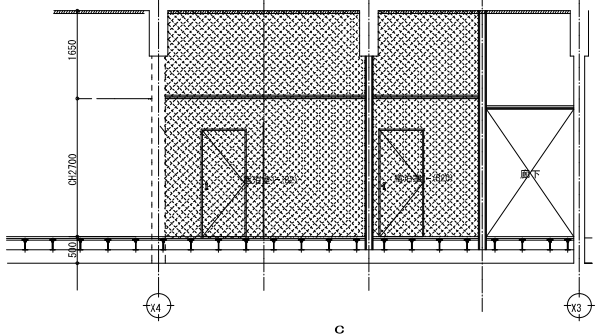
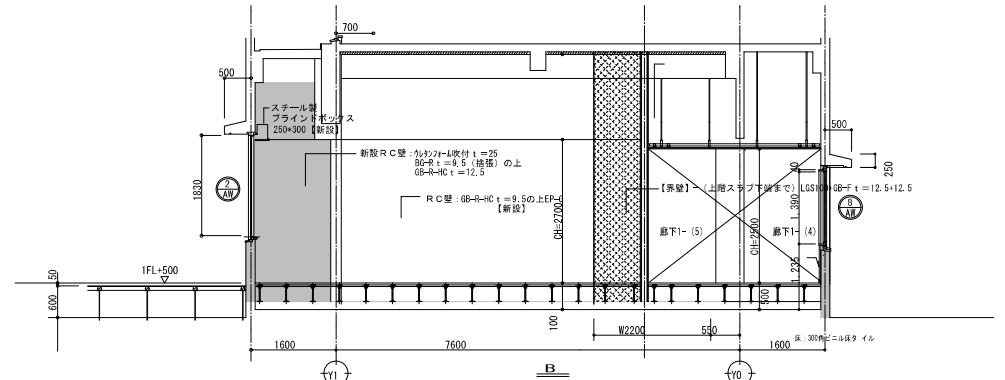
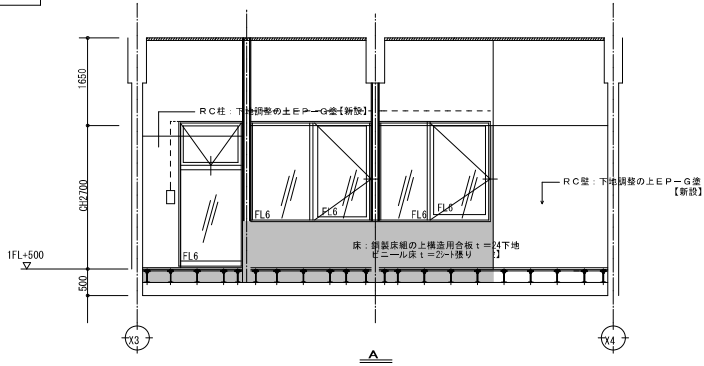


工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 展開図 ①  
 A棟1階 宿泊室A-1-(HC) (改修後) 縮尺 A1: 1/50  
 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

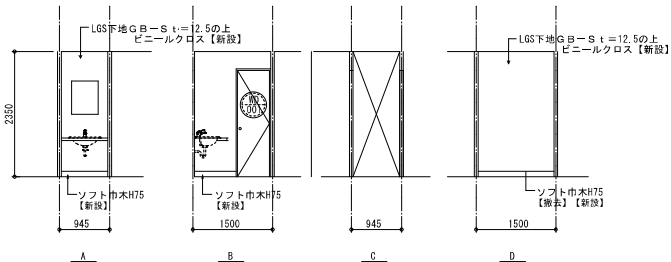


凡例		撤去範囲（地下内）		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。	
		撤去範囲（躯体）		既存建具【差替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。	
		撤去範囲（仕上のみ）		【撤去】【新設】建具を示す。			
			一級建築士事務所 株式会社 r'n 3 階層建築事務所 〒110-8555 東京都千代田区千代田1-3-10		工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図 ② A層1階キッズルーム（改修） 縮尺 A1：1/50 A3：1/100		53 A-53
			沖縄科学技術大学院大学学園				

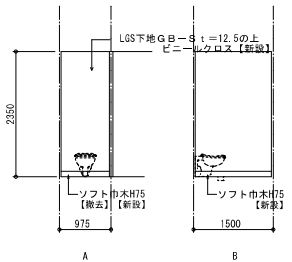
Play Space



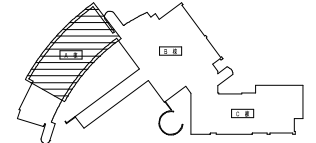
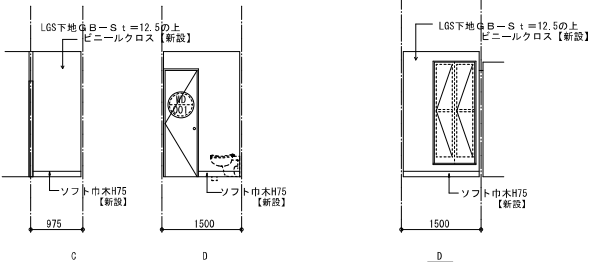
洗面所



便所



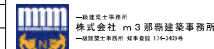
脱衣室



展開図KEYPLAN

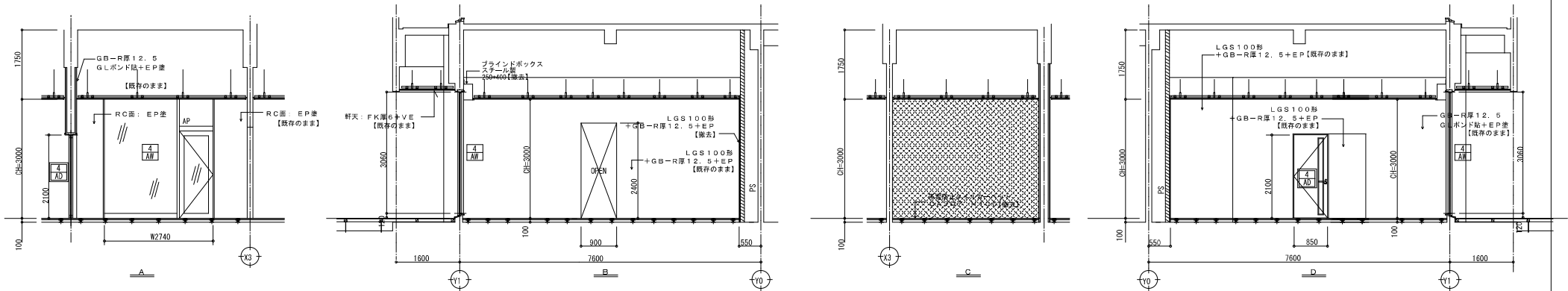
凡例

	新設範囲 (地下内)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	新設範囲 (躯体)		既存建具【差替】を示す。		
	新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】 【新設】 建具を示す。		

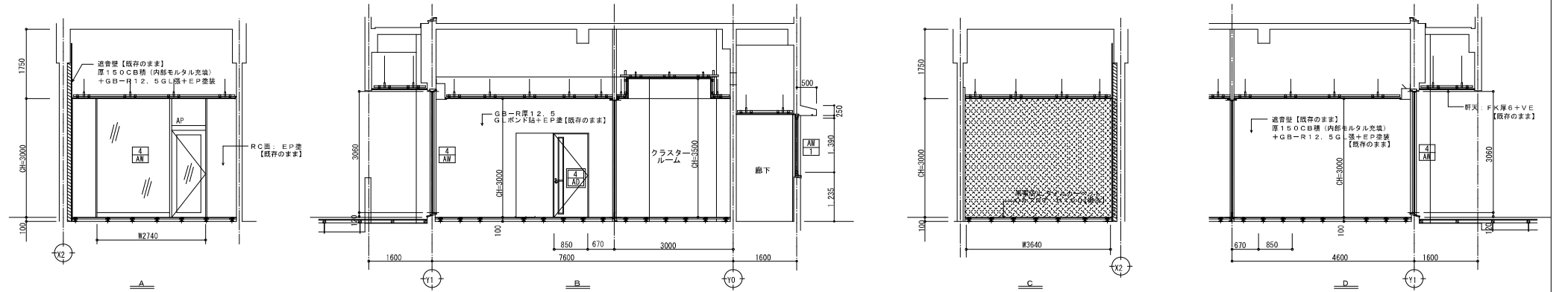


工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 展開図 (A) A棟1階浴室(脱衣-便) (改修後) 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

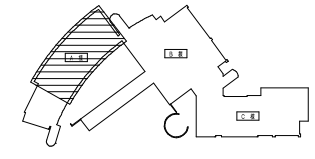
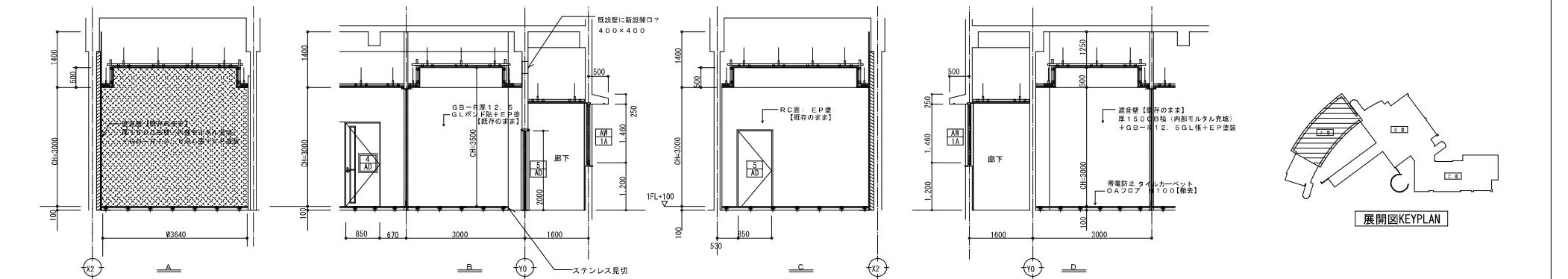
Craft room



Sturdy room



Storage



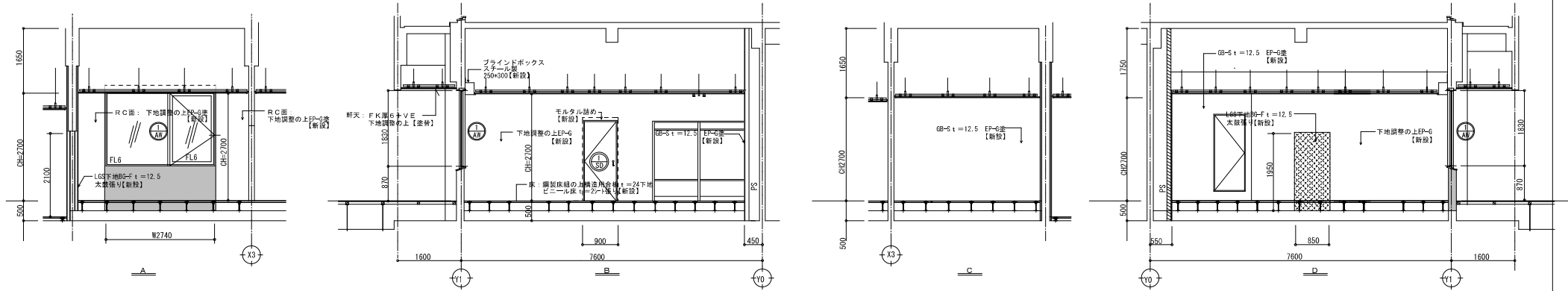
展開図KEYPLAN

凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		撤去範囲 (天井)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
		撤去範囲 (仕上のみ)		【撤去】【新設】 建具を示す。		

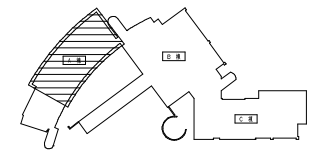
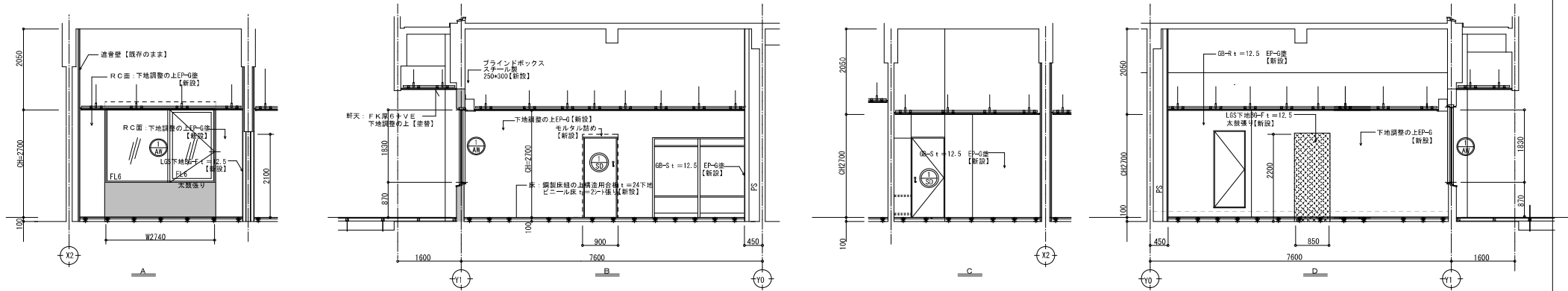
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇市 110-0010

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 展開図 (0)  
 A棟1階キッズルーム (改修) 縮尺 A1: 1/50  
 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

宿泊室 (D) -1



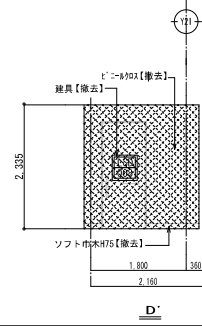
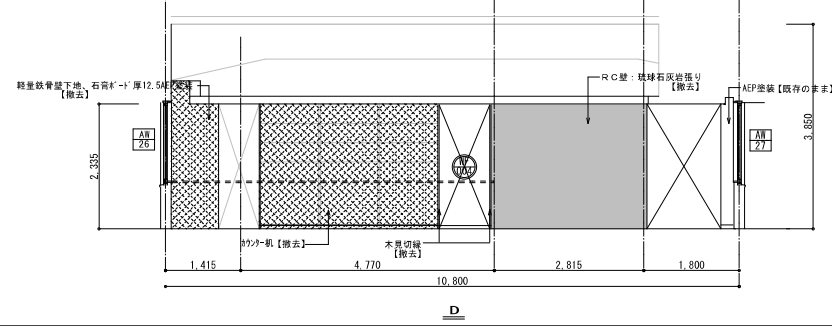
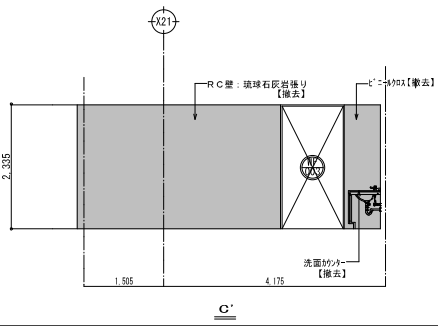
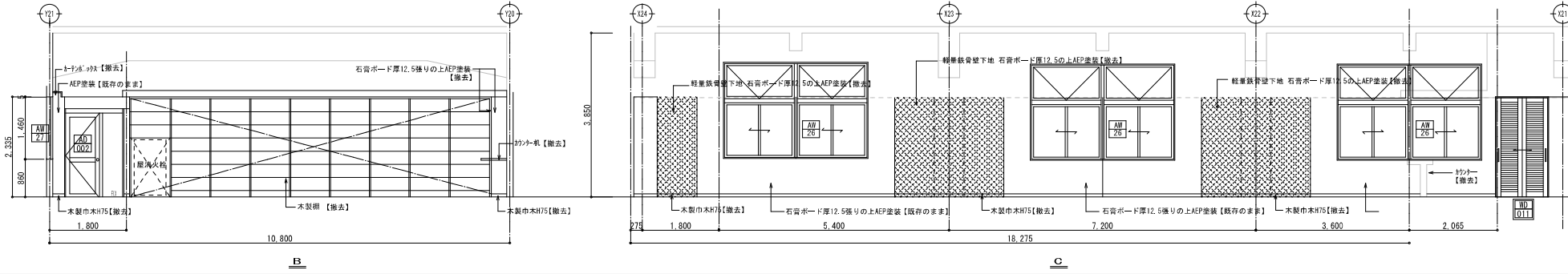
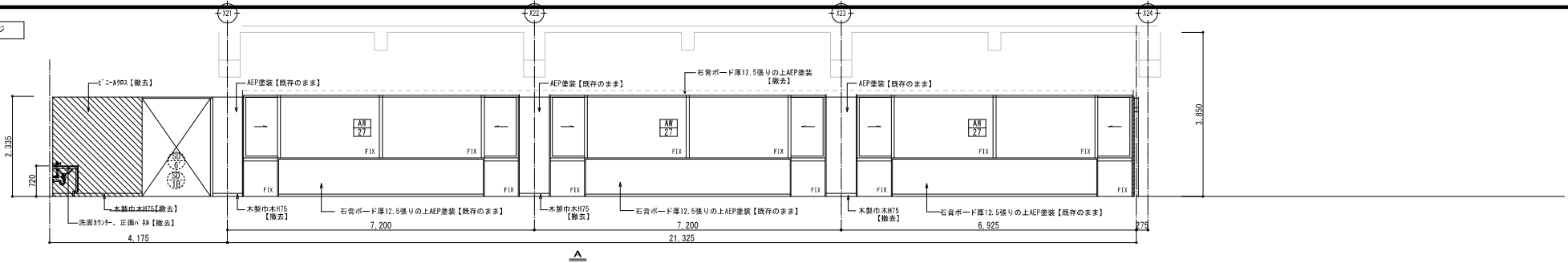
宿泊室 (D) -1A



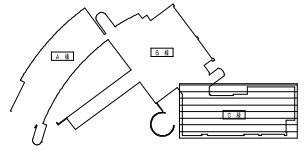
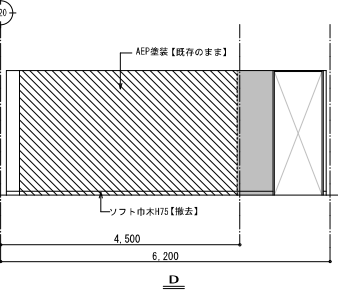
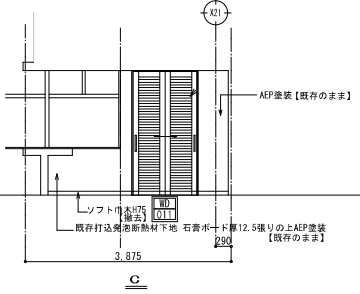
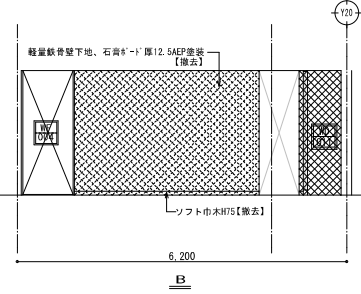
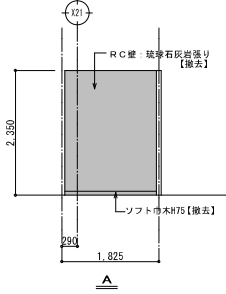
展開図KEYPLAN

凡例		新設範囲 (下地床)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		新設範囲 (断熱)		既存建具【差替】を示す。		
		新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】 【新設】 建具を示す。		
一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 <small>— 建設業登録番号: 那覇支店 110-24724</small>		工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図 (1) A棟1階宿泊室(D)-1 (改修後)		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	56 A-56	
		沖縄科学技術大学院大学学園				

2階ラウンジ



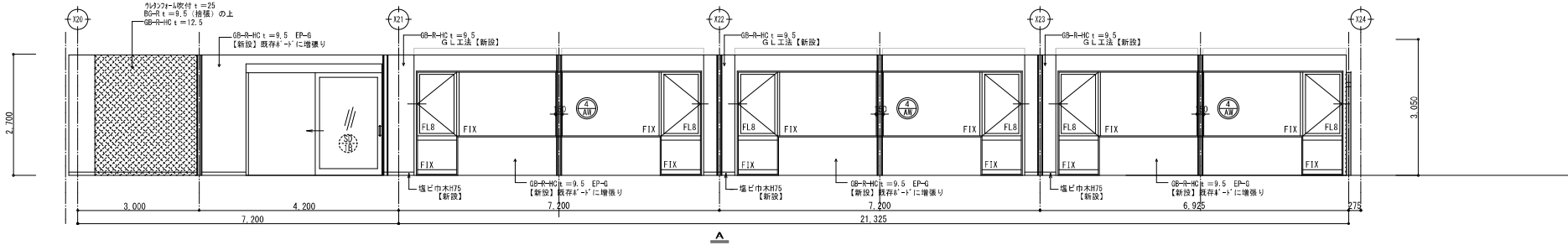
サービスカウンター



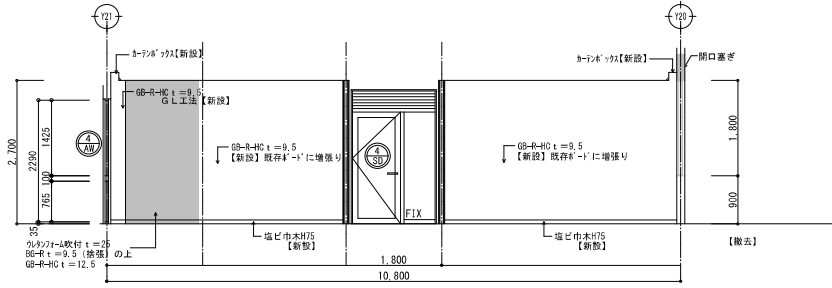
展開図KEYPLAN

凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市 2-2-2-1015	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展覧館 (12) C棟2階 ラウンジ 改修計画 沖縄科学技術大学院大学学園	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 57 A-57
		撤去範囲 (躯体)		既存建具【基礎】を示す。					
		撤去範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。					
		【新設】建具を示す。							

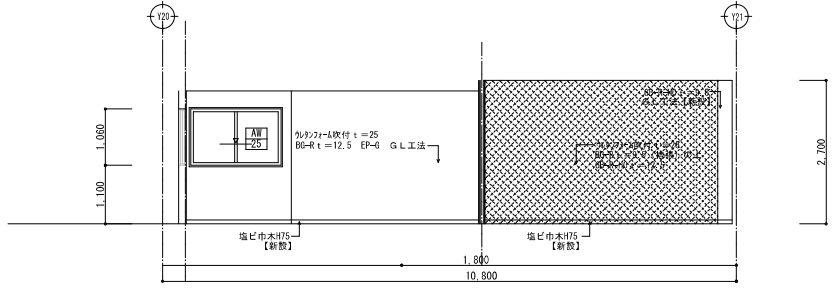
C棟2階浴室



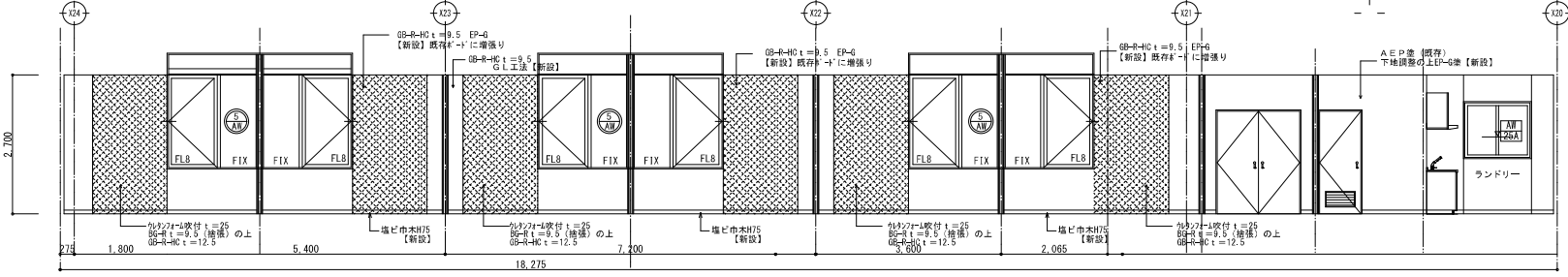
A



B

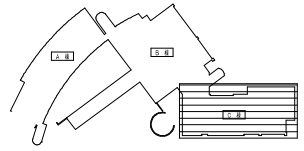
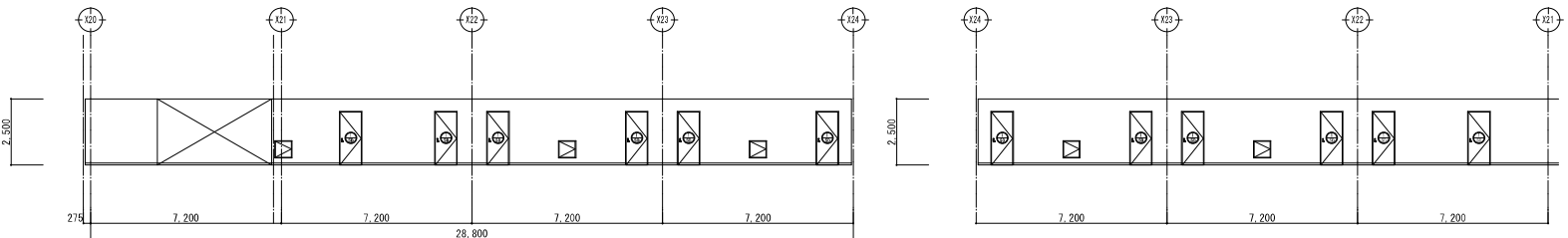


D



C

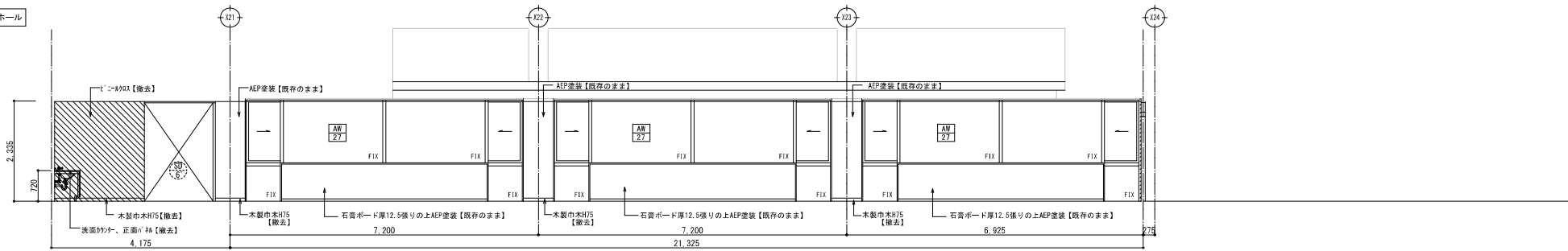
C棟2階廊下



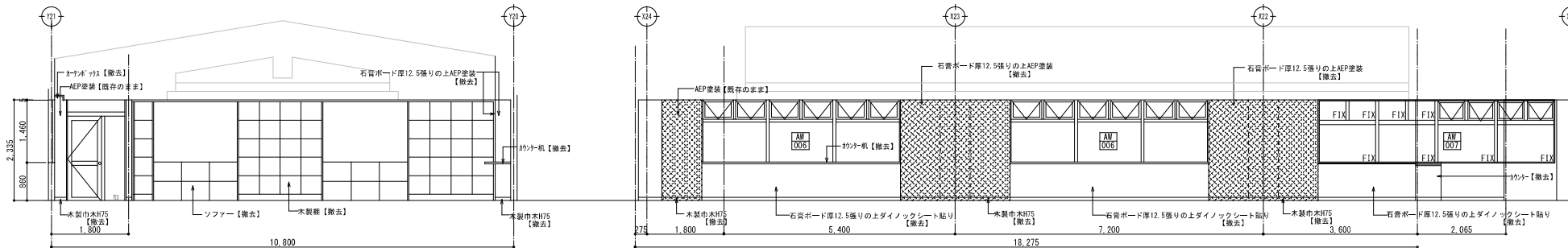
展開図KEYPLAN

凡例		新設範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市 3-1-1-1015	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図 (13) C棟2階 浴室等 (改修後)	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	58
		新設範囲 (躯体)		既存建具【基礎】を示す。						
		新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。						
		【撤去】 建具を示す。					沖縄科学技術大学院大学学園		A-58	

3階ちゅらホール

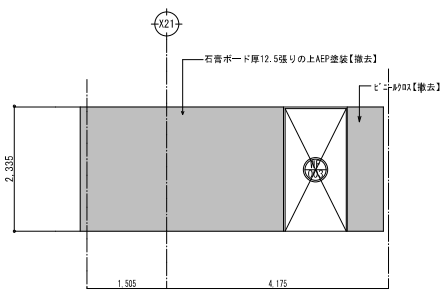


A

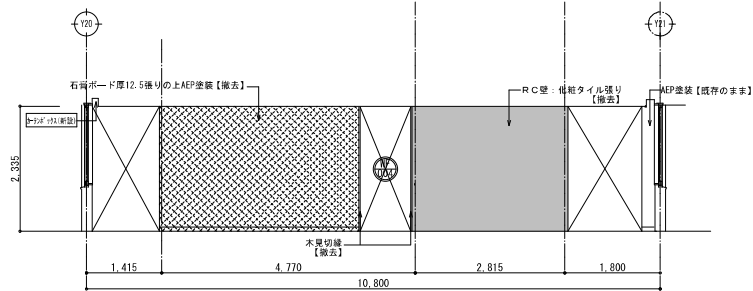


B

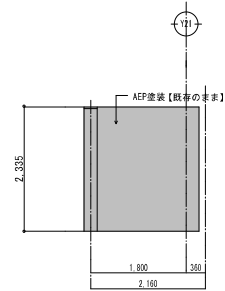
C



C'

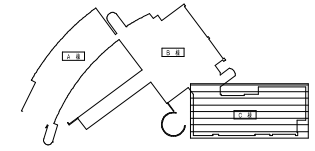
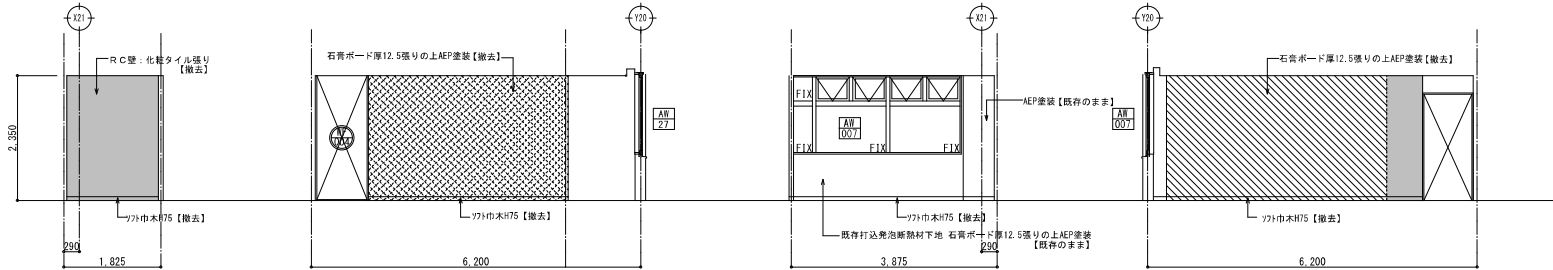


D



D'

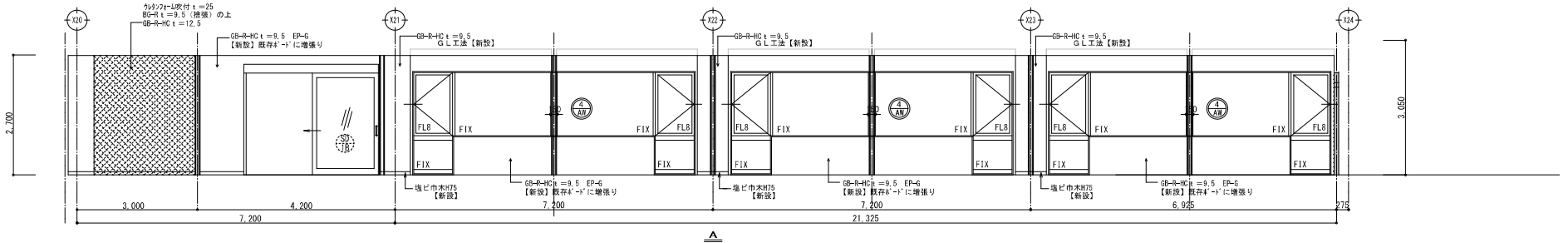
サービスカウンター



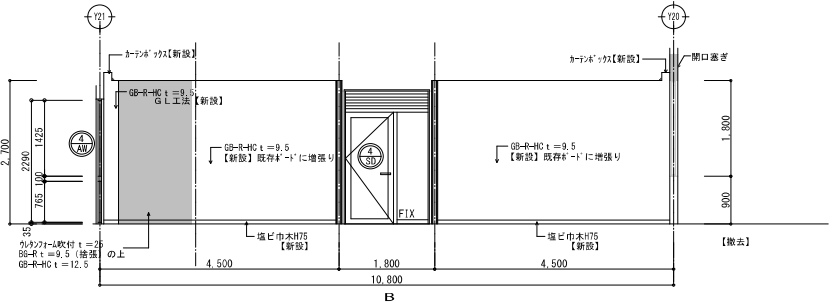
展開図KEYPLAN

凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市美里1-1-1	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図 (14) C棟3階 ちゅらホール (改修前) 縮尺 A3: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	59 A-59
		新設範囲 (躯体)		既存建具【塗膜】を示す。			
		撤去範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。			
		撤去範囲 (【新設】 建具を示す。)		【撤去】 建具を示す。			

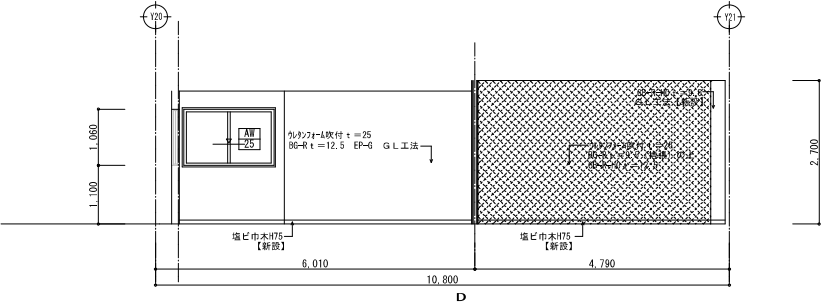
C棟3階宿泊室



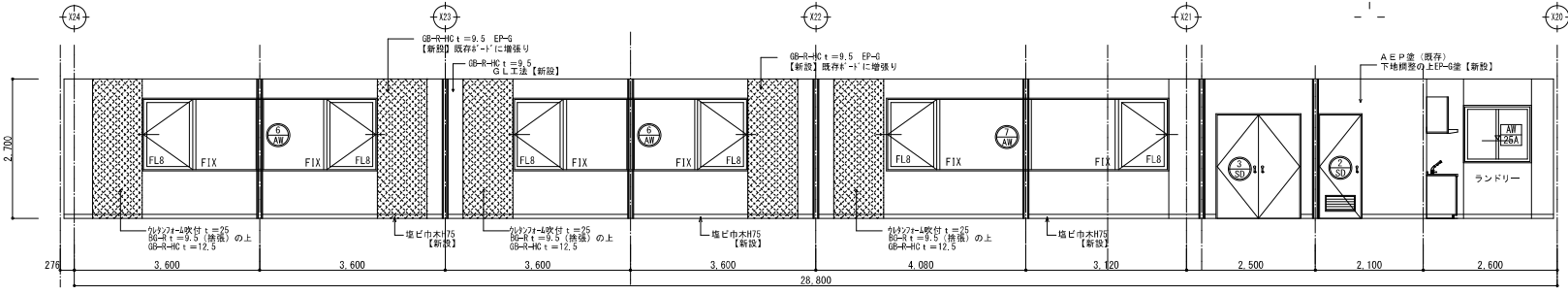
A



B

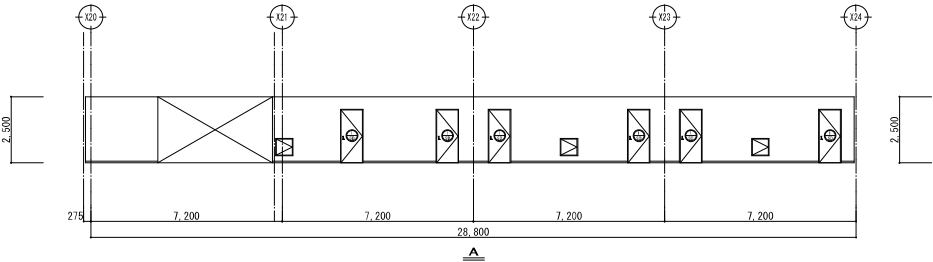


D

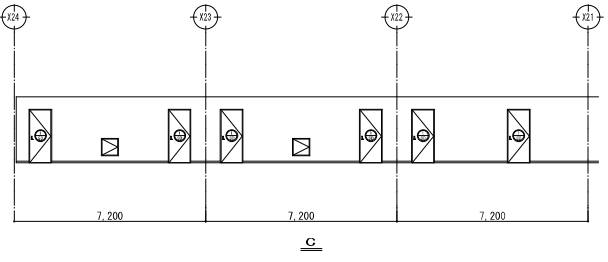


C

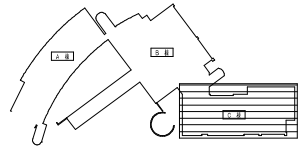
C棟2階廊下



A

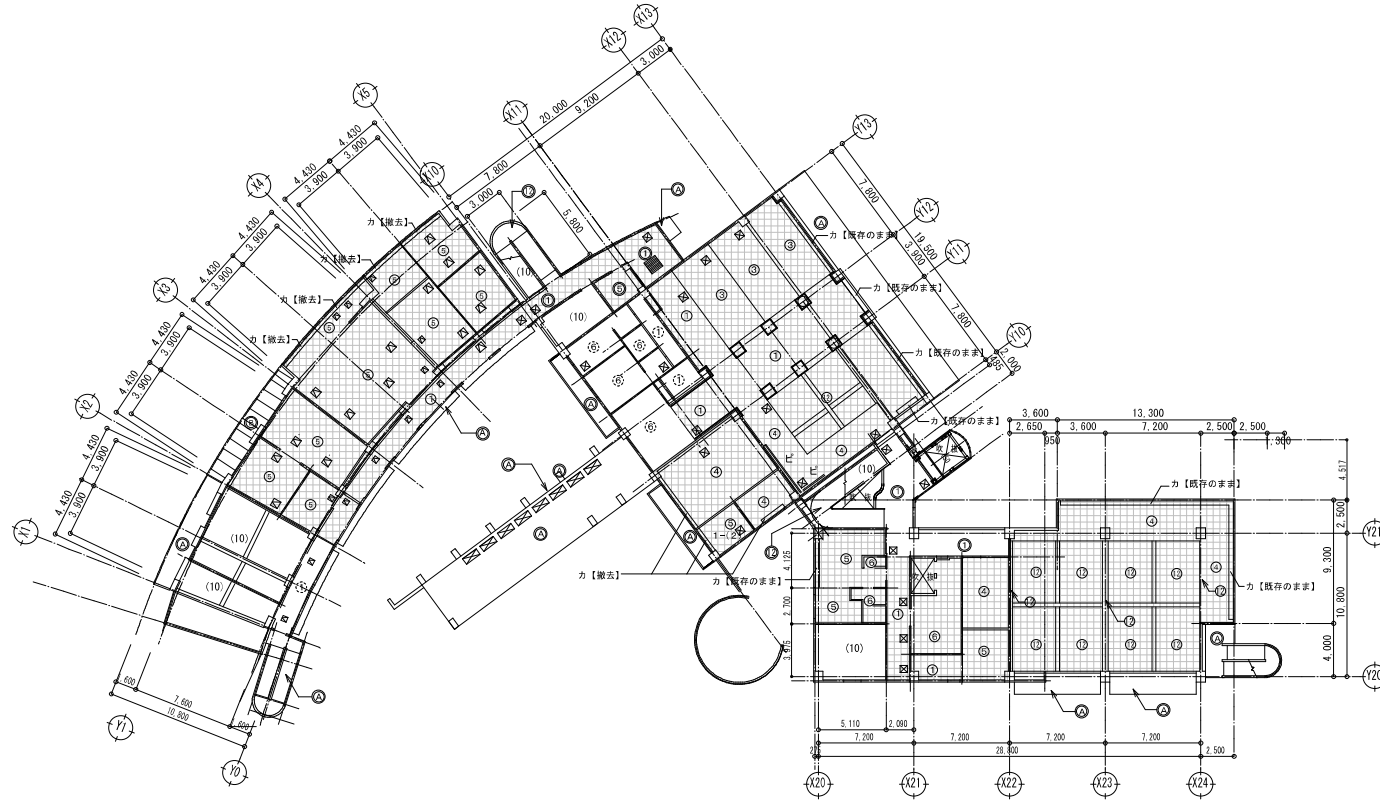


C



展開図KEYPLAN

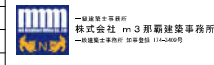
凡例		新設範囲 (地下共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		新設範囲 (躯体)		既存建具【基礎】を示す。		
		新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】 【新設】 建具を示す。		
					工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図 (15) C棟3階 宿泊室 (改修後) 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100 沖縄科学技術大学院大学 株式会社 m3 那覇建築事務所	
					60 A-60	



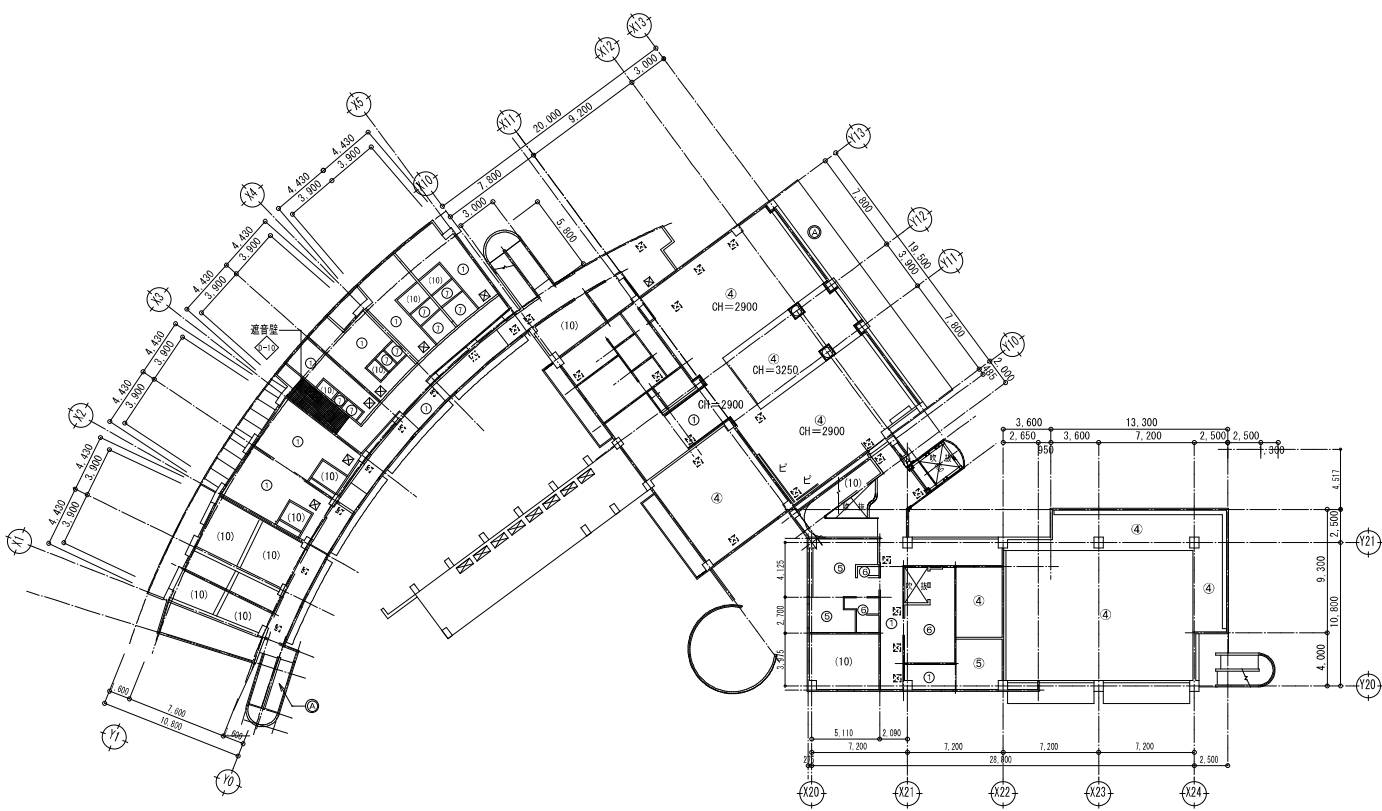
(改修前)  
1階天井伏図 S=1/200

凡例	
天井仕上表 (外部)	
①	VE塗装
②	厚6ケイカル板張りの上、VE塗り
③	種屋仕上塗材
天井仕上表 (内部)	
①	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
②	LGS下地厚120ヶ-4化粧吸音板
③	LGS下地7ヶ-0・02ヶ-0 (東京興業貿易商会) 取付け
④	LGS下地厚9.5石膏ボード捨張りの上、厚90ヶ-4化粧吸音板
⑤	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り
⑥	LGS下地厚6/7ヶ-0ケイカル板張りの上、VE塗装
⑦	LGS下地厚6/7ヶ-0ケイカル板張りの上、VE塗装
⑧	LGS下地木製パーラー
⑨	既存仕上のまま
⑩	既存スラブAEP塗装
⑪	コンクリート打放しAEP塗装
⑫	スラブ底フラットデッキ格差地SOP塗装
⑬	ビクチャレール
⑭	天井点検口 アルミ450角 (枠目地タイプ)
※○: 既存のまま	
※●: 仕上のみ新設	
※—: ビクチャレールを示す	

凡例	撤去範囲 (下地床)



工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	61
図面名	1階天井伏図 (改修前)	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400
沖縄科学技術大学院大学園		A-61



(改修後)  
1階天井伏図 S=1/200

凡 例

天井仕上表 (外部)	
④	VE塗装
⑤	厚6 ケイカル板張りの上、VE塗り
⑥	複層仕上塗材
天井仕上表 (内部)	
①	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
②	LGS下地厚12mmケイカル化粧石膏板
③	LGS下地厚7mm・9mmケイカル (東京興業貿易協会) 取付け
④	LGS下地厚9.5石膏ボード張りの上、厚9mmケイカル化粧石膏板
⑤	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り
⑥	LGS下地厚6mm7mm板目透かし張りの上、VE塗装
⑦	LGS下地厚6mm7mm板張りの上、VE塗装
⑧	LGS下地木製ボード張り
(10)	既存仕上のみ
⑨	既存スラブAEP塗装
⑩	コンクリート打敷しAEP塗装
⑪	スラブ底フラットデッキ粘着地SOP塗装
—	ピクチャーレール
☒	天井点検口 アルミ450角 (枠目地タイプ)
☒	天井点検口 アルミ600角 (枠目地タイプ)
※	既存のまま
※	仕上のみ新設
※	ピクチャーレールを示す

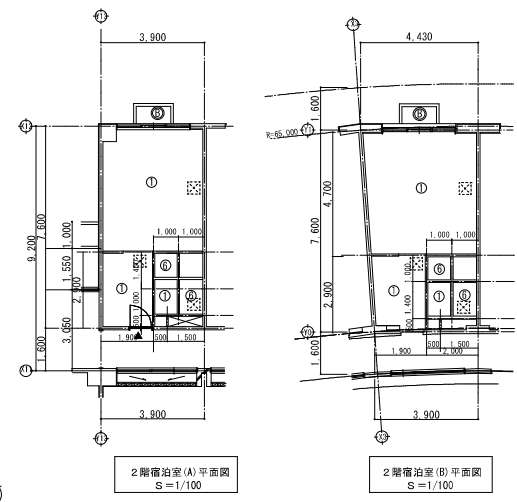
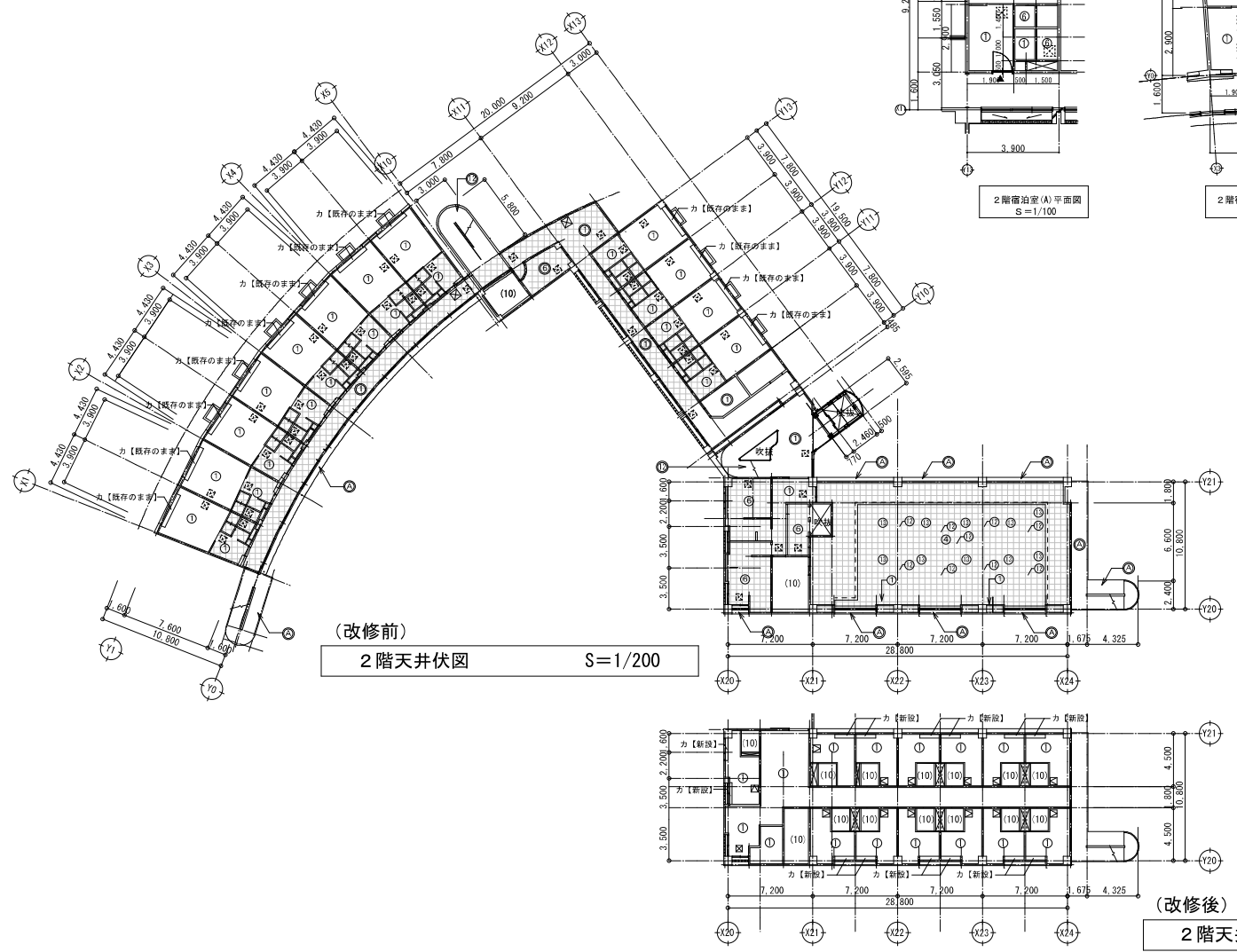
天井開口種類リスト 1階

種 別	寸 法	数 量		合 計	
		【新設】	【新設】	【新設】	【新設】
点検口	450×450	1		1	1ヶ所
点検口	600×600	8		8	8ヶ所
					3ヶ所



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇支店 11-00105

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 1階天井伏図 (改修後) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400  
沖縄科学技術大学院大学学園



凡例

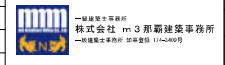
天井仕上表 (外部)	
○	VE塗装
◎	厚6ケイカル板張りの上、VE塗り
天井仕上表 (内部)	
○	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
◎	LGS下地厚120ヶ化乾吸音板
○	LGS下地厚9.5石膏ボード (東京興業貿易商會) 取付け
◎	LGS下地厚9.5石膏ボード 接張りの上、厚90ヶケイ化乾吸音板
○	LGS下地厚9.5化乾石膏ボード張り
◎	LGS下地厚6.7ヶケイ板目透かし張りの上、VE塗装
○	LGS下地厚6.7ヶケイ板張りの上、VE塗装
○	LGS下地木製9ヶバー張り
○	既存仕上のまま
○	既存スラブAEP塗装
○	コンクリート打直しAEP塗装
○	スラブ底フラットデッキ緑地SOP塗装
—	ビクチャレール
☒	天井点検口 アルミ450角 (枠 目地タイプ)
☒	天井点検口 アルミ600角 (枠 目地タイプ)
◎	既存のまま
◎	仕上のみ新設
—	ビクチャレールを示す

天井開口増設リスト 2階

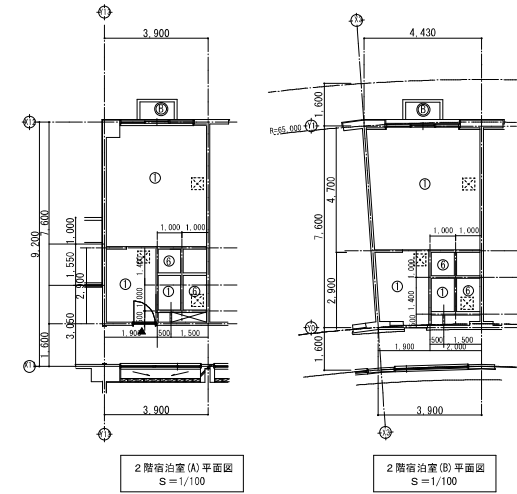
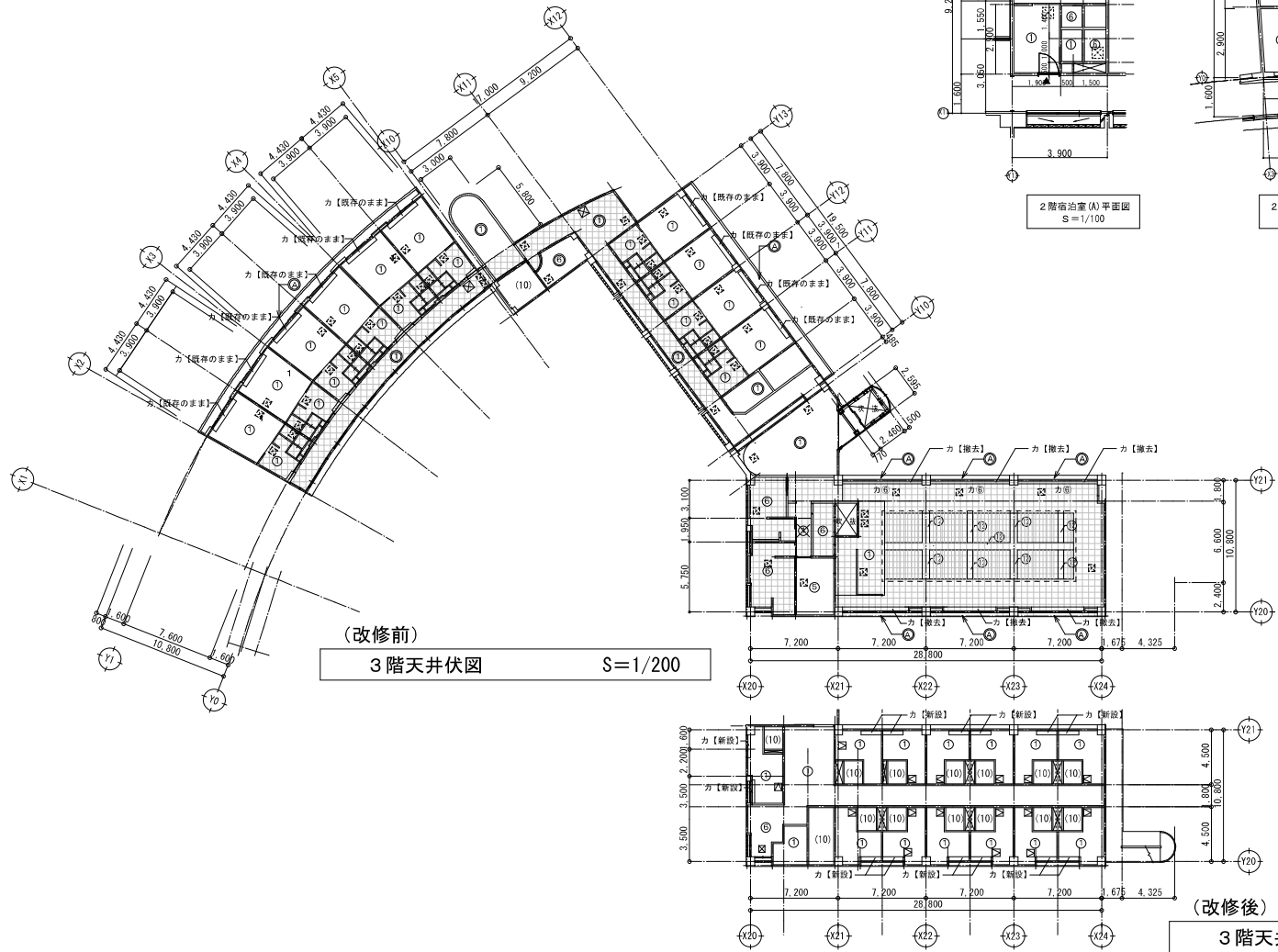
種類	寸法	数量		合計
		【撤去】	【新設】	
点検口	450×450	5		5ヶ所
点検口	600×600	15		15ヶ所
				5+2=

凡例

	撤去範囲 (下地床)
--	------------



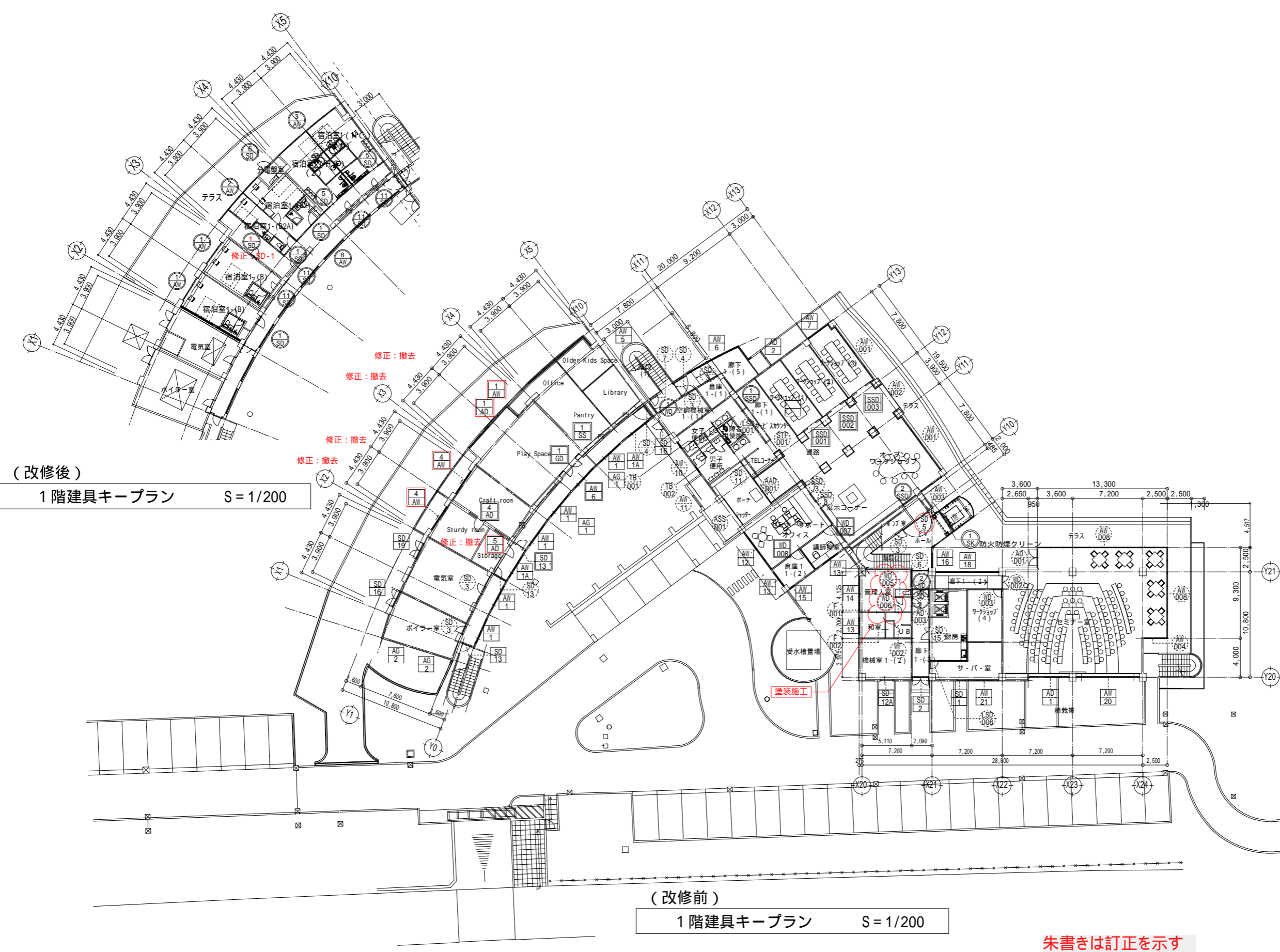
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 2階天井伏図 (改修前) (改修後) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400  
 沖縄科学技術大学院大学学園



凡 例

天井仕上表 (外部)	
①	VE塗装
②	厚6 ケイカル板張りの上、VE塗り
天井仕上表 (内部)	
①	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
②	LGS下地厚120ヶ化吸音板
③	LGS下地厚9.5石膏ボード張りの上、厚90ヶ化吸音板
④	LGS下地厚9.5石膏ボード 捨張りの上、厚90ヶ化吸音板
⑤	LGS下地厚9.5石膏ボード 張り
⑥	LGS下地厚6/72ヶ桧板目隠し張りの上、VE塗装
⑦	LGS下地厚6/72ヶ桧板張りの上、VE塗装
⑧	LGS下地木製レバー張り
⑨	既存仕上のまま
⑩	既存スラブAEP塗装
⑪	コンクリート打放しAEP塗装
⑫	スラブ底フラットデッキ特素地SOP塗装
⑬	ビクチャーレール
⑭	天井点検口 アルミ450角 (校 目地タイプ)
※○	既存のまま
※●	仕上のみ新設
※—	ビクチャーレールを示す

種 別	寸 法	数 量		合 計	
		【増設】	【新設】	【増設】	【新設】
点検口	450×450	10	1		11ヶ所
点検口	600×600		18		18ヶ所
					3ヶ所

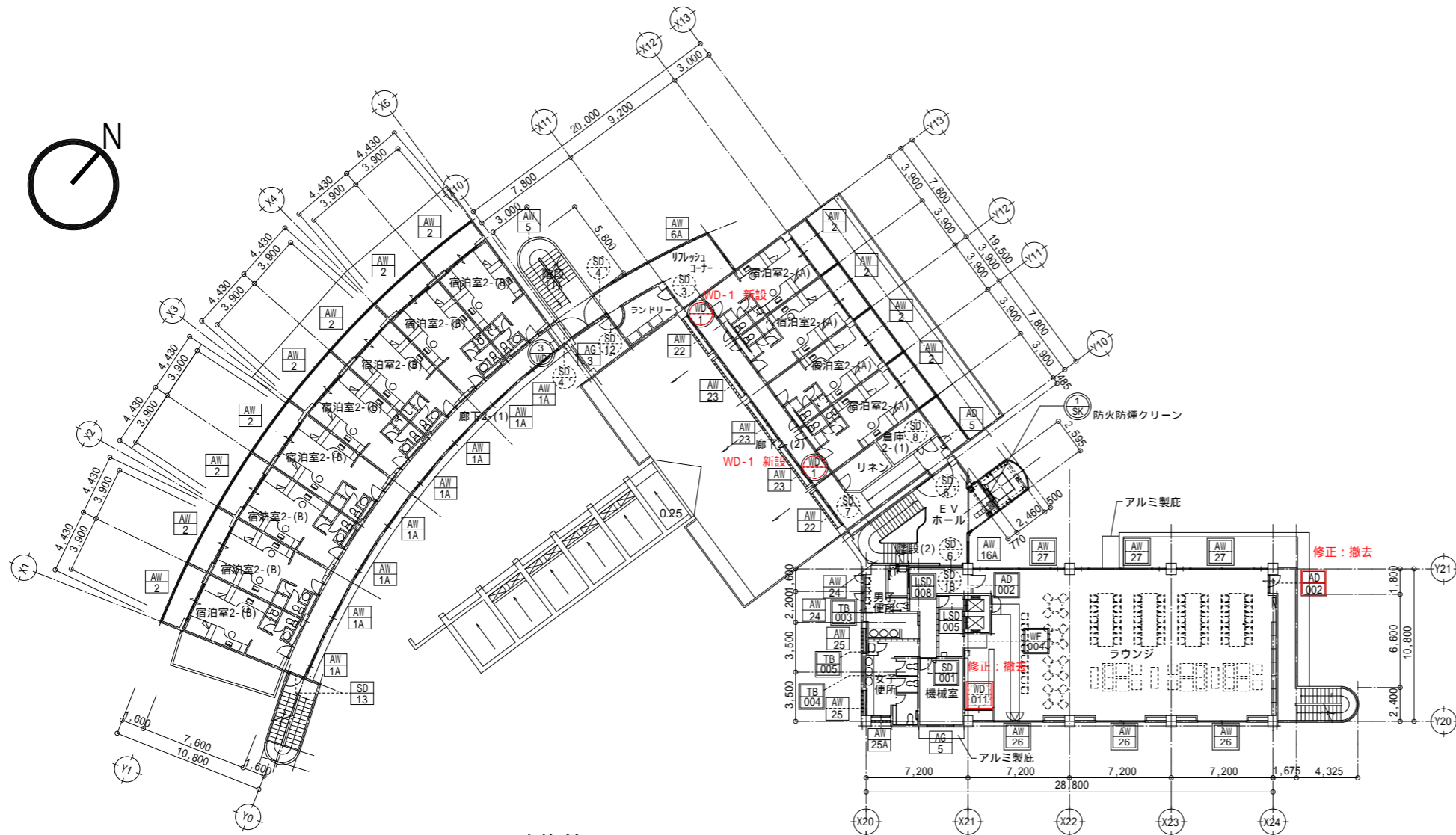


(改修後)  
1階建具キープラン S=1/200

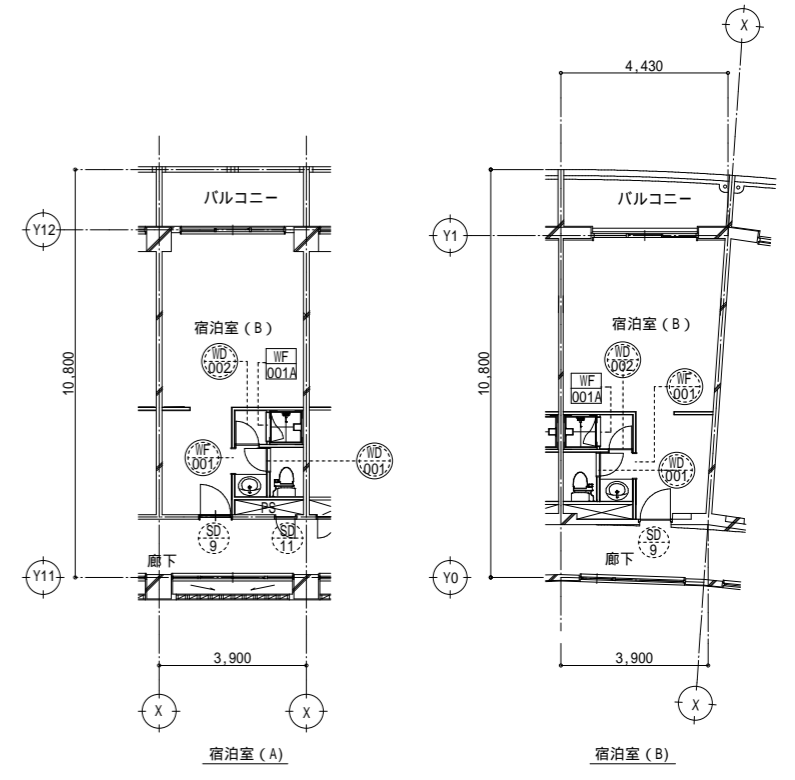
(改修前)  
1階建具キープラン S=1/200

朱書きは訂正を示す

- 凡例
- : 【新設】建具を示す。
  - (with dashed line) : 既存建具【塗替】を示す。
  - (with dotted line) : 既存建具【既存のまま】を示す。
  - (with dashed line) : 【撤去】【新設】(カバー工法)建具を示す。
  - (with solid line) : 【撤去】建具を示す。

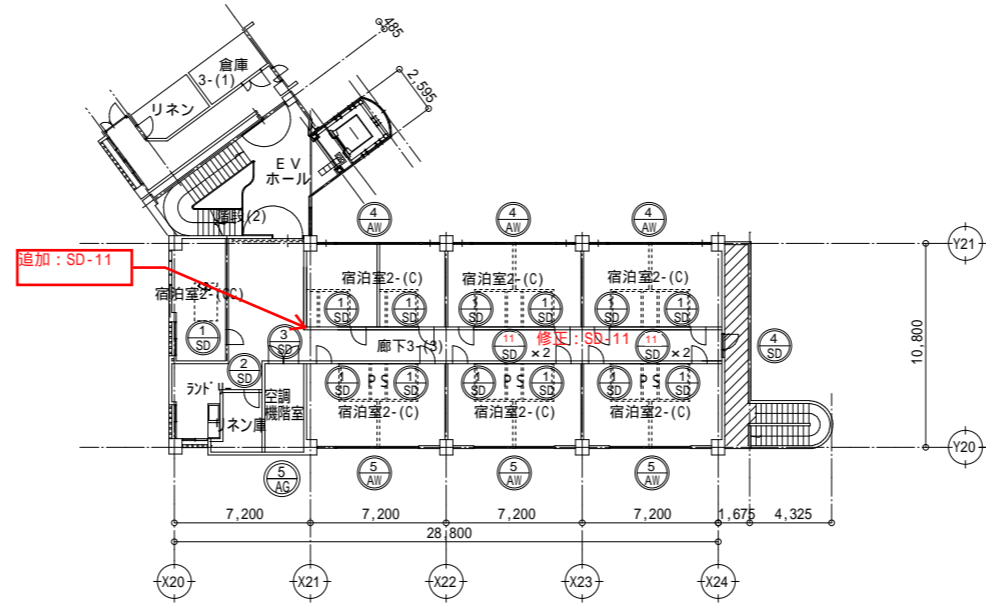


(改修前)  
2階建具キープラン S = 1/200



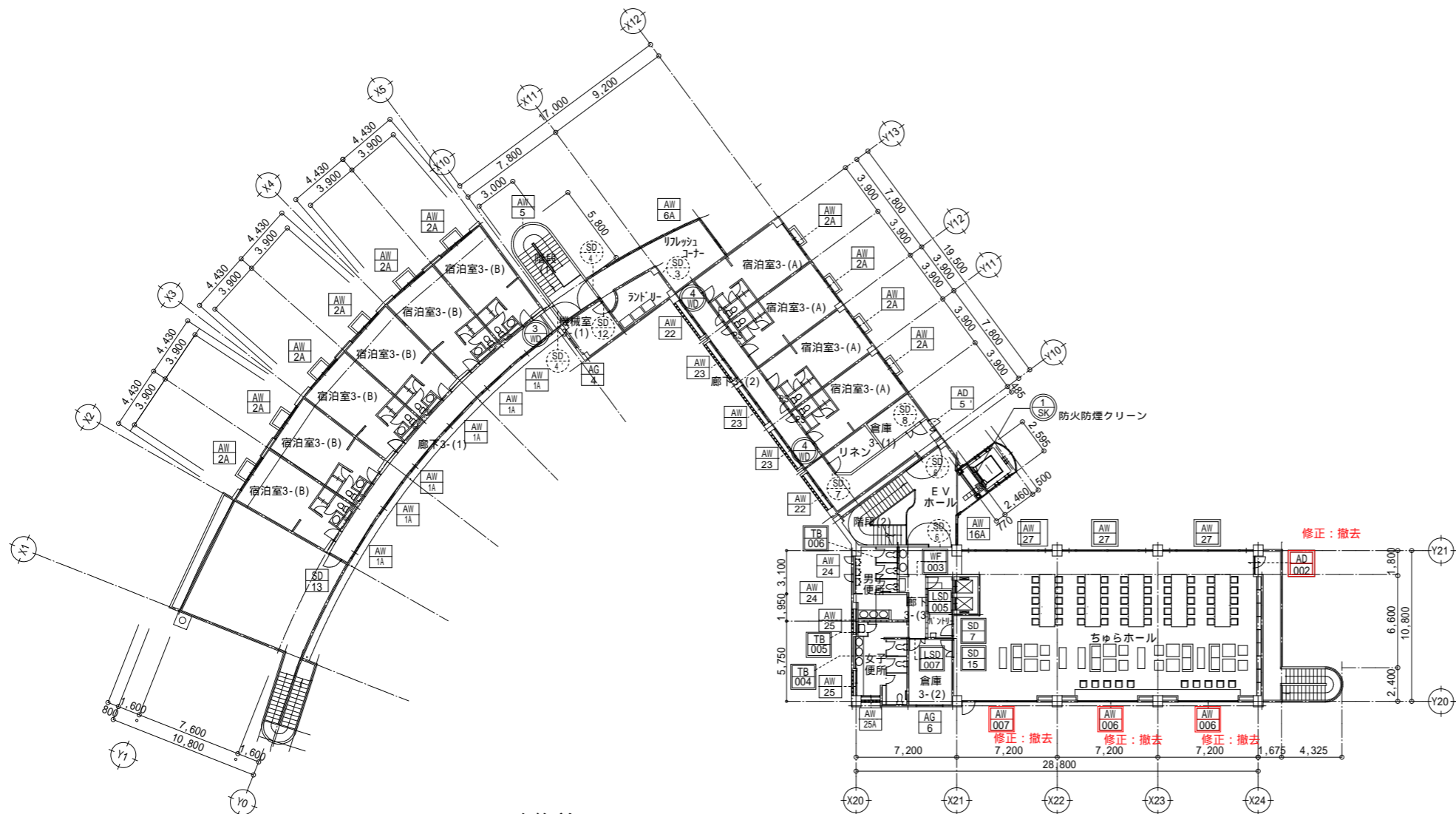
A棟B棟 宿泊室 建具キープラン

- 凡例
- : 【新設】建具を示す。
  - : 既存建具【塗替】を示す。
  - : 既存建具【既存のまま】を示す。
  - : 【撤去】【新設】(カバー工法)建具を示す。
  - : 【撤去】建具を示す。

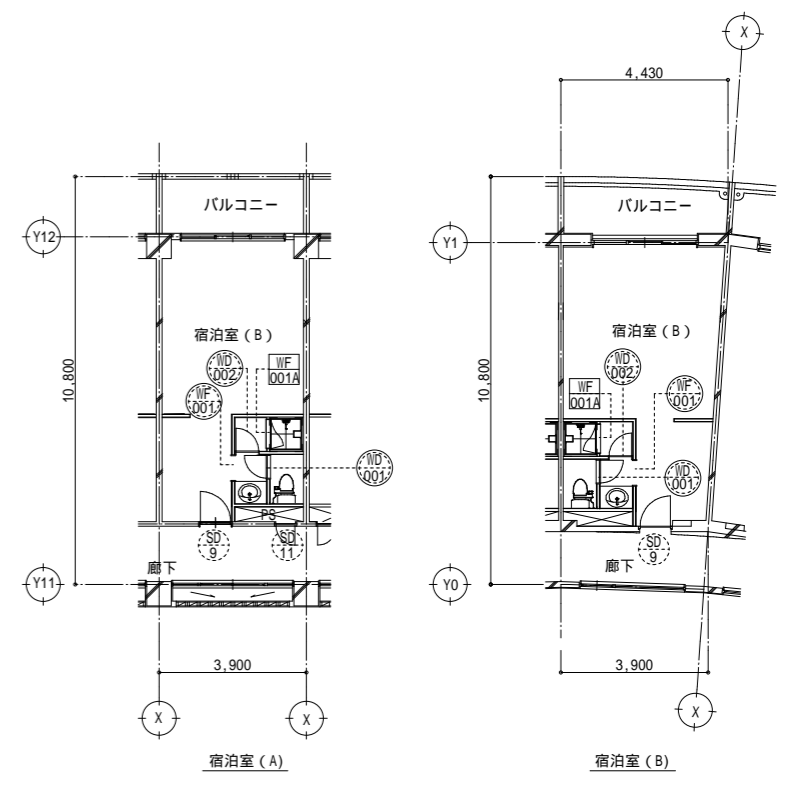


(改修後)  
2階建具キープラン S = 1/200

朱書きは訂正を示す

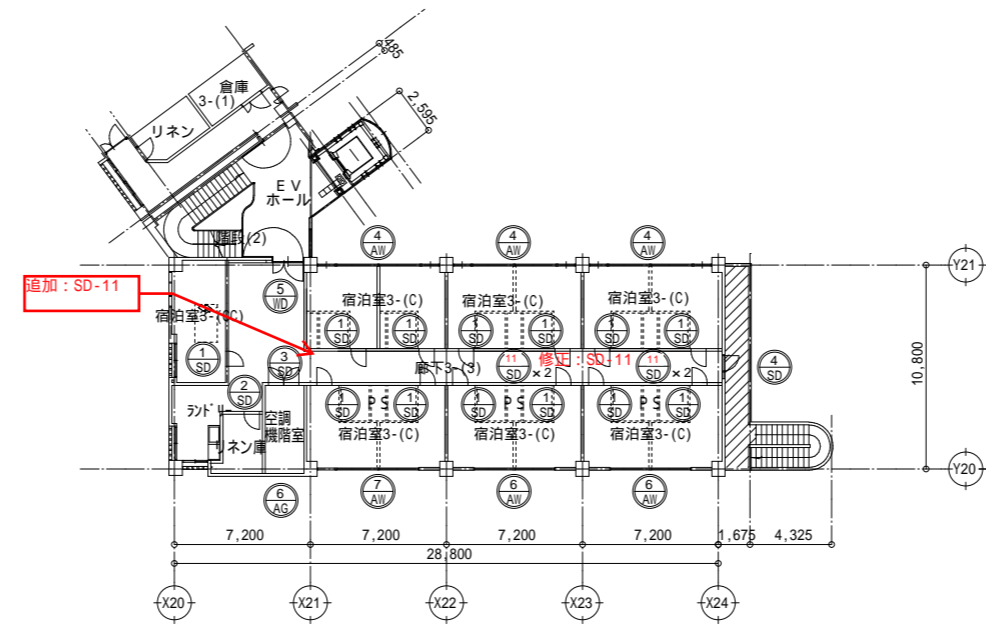


(改修前)  
3階建具キープラン S = 1/200



A棟B棟 宿泊室 建具キープラン

- 凡例
- : 【新設】建具を示す。
  - (with dashed border) : 既存建具【塗替】を示す。
  - (with dotted border) : 既存建具【既存のまま】を示す。
  - (with solid border) : 【撤去】【新設】(カバー工法)建具を示す。
  - (with dashed border) : 【撤去】建具を示す。



(改修後)  
3階建具キープラン S = 1/200

朱書きは訂正を示す



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	67
図面名	3階建具キープラン (改修前) (改修後)	細尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400
沖縄科学技術大学院大学学園		A-67

符号・場所・数量	SD 001 2階 機械室 1ヶ所	SSD 001 1階ワークショップスペース(1) 1ヶ所	SSD 002 1階ワークショップスペース(2) 1ヶ所	SSD 003 1階ワークショップスペース(3) 1ヶ所	STF 001 1階 TELコーナー 1ヶ所	ASS 001 ポーチ 1ヶ所
図						
形式・見込	鋼製フラッシュ親子開き戸 ドア: 40 枠: 140	ステンレス製両袖嵌殺し窓付引分け戸 100	ステンレス製両袖嵌殺し窓付引分け戸 100	ステンレス製両袖嵌殺し窓付引分け戸 100	ステンレス製三方枠 170	アルミ製軽量電動式シャッター
材質・ガラス	鋼板 SOP塗装	ステンレスHL 70-t: 5	ステンレスHL 70-t: 5	ステンレスHL 70-t: 5	ステンレスHL	着色陽極酸化塗装複合皮膜
付属金物	レバーハンドル錠、ステンレス丁番、フランス落し、ドアクローザー、戸当り付属金物一式 くつずりA、ガラリC	引戸錠錠、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め、自閉装置、上部ストッパー 付属金物一式	引戸錠錠、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め、自閉装置、上部ストッパー 付属金物一式	引戸錠錠、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め、自閉装置、上部ストッパー 付属金物一式		ガイドレール・ガイドレール支柱・まぐさ・座板: ステンレス製 シャッターケース: アルミ 耐風ボール、付属金物一式、電動装置一式
備考						電源: 単相 100V 0.05kw 60Hz
符号・場所・数量	LSD 001 1階 身障者便所 1ヶ所	WD 002 1階 セミナー室 1ヶ所	WD 003 1階 ミーティングルーム(4) 1ヶ所	LSD 005 2階 給湯室、3階パントリー 2ヶ所	LSD 007 3階 倉庫3-(2) 1ヶ所	LSD 008 2階 HC用便所 1ヶ所
図						
形式・見込	軽量鋼製フラッシュ自閉式片引き戸 枠: 110	軽量鋼製フラッシュ親子開き戸 枠: 110	軽量鋼製フラッシュ両開き戸 枠: 110	軽量鋼製フラッシュ親子開き戸 ドア: 40 枠: 220	軽量鋼製フラッシュ親子開き戸 ドア: 40 枠: 140	軽量鋼製フラッシュ片引き戸 ドア: 40 枠: 140
材質・ガラス	鋼板 SOP塗装 型板: 4	鋼板 両面化粧シート貼 型板: 4	鋼板 両面化粧シート貼 型板: 4	鋼板 片面化粧シート貼 型板: 4	鋼板 片面化粧シート貼 型板: 4	化粧塩ビシート張(枠共) 型板: 4
付属金物	引戸錠錠(非常開装置付表示装置共)、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め 自閉装置、付属金物一式 くつずりA	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	大型握手 傾斜レール 制御装置エアダンパー 外付上吊り片引き戸レバー表示錠 1/4寸錠 付属金物一式
備考	****					
符号・場所・数量	LSD 008 1階 サーバールーム 1ヶ所	AD 001 1階 セミナー室 1ヶ所	AD 002 2階ラウンジ、3階ちゅうらホール 数量修正 3ヶ所	AD 003 1階 管理入室 1ヶ所	AD 1 1ヶ所	
図						
形式・見込	軽量鋼製フラッシュ片開き戸 ドア: 40 枠: 140	アルミ製欄間・両袖嵌殺し窓付両開き框戸 100	アルミ製嵌殺し窓付片開き框戸 100	アルミ製フラッシュ片開き戸 140	セミナールーム	
材質・ガラス	鋼板 OP塗装	着色陽極酸化塗装複合皮膜 70-t: 5	着色陽極酸化塗装複合皮膜 70-t: 5	着色陽極酸化塗装複合皮膜	100	
付属金物	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式	アルミ框ドア、ランマ、FIX カラーアルミ フロート t=8	
備考					フロアヒンジ、シリング本錠錠、付属金物一式	

凡例	: 【新設】建具を示す。	: 既存建具【既存のまま】を示す。	: 【撤去】建具を示す。	<b>朱書きは訂正を示す</b>	 一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(1) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	68
	: 既存建具【塗替】を示す。	: 【撤去】【新設】建具を示す。 (カバー工法)				A-68	

符号・場所・数量	AW001 1階 ワークショップ(3)・オープンワークショップ 2ヶ所	AW002 1階 通路 1ヶ所	AW003 1階 オープンワークショップ 1ヶ所	AW004 1階 セミナー室 1ヶ所
図				
形式・見込	アルミ製四連嵌殺し窓	アルミ製両袖嵌殺し窓付引分け戸	アルミ製欄間滑出し窓付引違い戸	アルミ製両袖滑出し窓付嵌殺し窓
材質・ガラス	着色陽極酸化塗装複合皮膜	着色陽極酸化塗装複合皮膜 強化10mm	着色陽極酸化塗装複合皮膜 70ト:6 飛散防止フィルム貼	着色陽極酸化塗装複合皮膜
付属金物	付属金物一式	引戸用鎌錠 付属金物一式	オペレーター、付属金物一式	オペレーター、付属金物一式
備考		ヘーベシーベ大型引き戸同等品		

種類	A	B	C
開口率	30-40%	30-40%	40-60%
種類	A		B
形状	ステンレス SUS304 2.0 (内部分)		ステンレス SUS304 2.0 (内部分)
種類	C	D	
形状	ステンレス SUS304 2.0 (外部分)	ステンレス SUS304 2.0 (外部分)	
種類	E	F	
形状	ステンレス SUS304 2.0 (内部分)	ステンレス SUS304 4.0x1.2 (内部分)	

符号・場所・数量	AW006 3階 ちゅらホール 2ヶ所	AW007 3階 ちゅらホール 1ヶ所	AW001 1階 通路 1ヶ所
図			
形式・見込	アルミ製欄間押し窓付き三連嵌殺し窓	アルミ製欄間押し窓・嵌殺し窓付き四連嵌殺し窓	アルミ製引分け自動ドア
材質・ガラス	着色陽極酸化塗装複合皮膜	着色陽極酸化塗装複合皮膜	着色陽極酸化塗装複合皮膜 70ト:8
付属金物	オペレーター、付属金物一式	オペレーター、付属金物一式	タッチ式スイッチ、補助光源スイッチ、スライドドアエンジン、ステンレスガイドレール 付属金物一式
備考			

符号・場所・数量	AW008 1階 セミナー室
図	
形式・見込	アルミ17連嵌め殺し窓 強化10mm
材質・ガラス	着色陽極酸化塗装複合皮膜
付属金物	付属金物一式
備考	

凡例	: 【新設】建具を示す。 : 既存建具【既存のまま】を示す。 : 【撤去】建具を示す。 : 既存建具【塗替】を示す。 : 【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)	朱書きは訂正を示す		工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(2) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	69 A-69
----	--	-----------	--	--	------------

符号・場所・数量	WD-001 宿泊室便所 2ヶ所	WD-002 宿泊室脱衣室 2ヶ所	WD-005 管理人室便所 1ヶ所	WD-006 管理人室脱衣洗面室 1ヶ所	WD-007 1階 講師控室 1ヶ所	WD-008 1階 倉庫1-(2) 1ヶ所
姿 図						
形式・見込	木製フラッシュ片開き戸 110	木製フラッシュ片開き戸 110	木製フラッシュ片開き戸	木製フラッシュ片開き戸	木製フラッシュ片開き戸 110	木製フラッシュ片開き戸 110
材質・ガラス	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビークツ 塗装【塗替】	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビークツ 塗装【塗替】	扉：シナ合板 OP塗装 枠：メラビークツ 塗装	扉：シナ合板 OP塗装 枠：メラビークツ 塗装	扉：ニャト合板着色CL 枠：ニャト合板着色CL ガラス：厚4型板	扉：シナ合板 OP塗装 枠：メラビークツ 塗装
付属金物	モノロック錠、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	モノロック錠、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	モノロック錠(非常開装置付)、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	モノロック錠(非常開装置付)、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	レバーハンドル錠、ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当りくつずりA	レバーハンドル錠、ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当りくつずりA
備 考	レバーハンドル：美和LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：美和LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：美和LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：美和LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：ユニオンUL719003同等品以上	レバーハンドル：美和LAL20-2A同等品以上
符号・場所・数量	WD-011 2階 ラウンジ 1ヶ所	WF-001 宿泊室洗面所 2ヶ所	WF-002 宿泊室シャワユニット 2ヶ所	WF-003 1階 管理人室UB 1ヶ所	WF-004 3階 廊下3-(3) 1ヶ所	WF-005 2階 ラウンジ 1ヶ所
姿 図						
形式・見込	木製引違戸 100	木製三方枠	木製額縁 100	木製額縁 100	木製三方枠 110	木製三方枠 110
材質・ガラス	扉：ニャト合板着色CL塗装、リッボード着色CL塗装 枠：ニャト合板着色CL塗装	メラビークツ DP塗装【塗替】	メラビークツ OP塗装	メラビークツ OP塗装	ニャト合板着色CL	ニャト合板着色CL
付属金物	ステンレス引手L300、ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当りフロアーヒンジ(ストップ無し) くつずりA	ステンレス靴摺りA				
備 考	取手：ユニオ G5200-01-023-L300同等品以上		詳細はSUメーカー仕様による。	詳細はUBメーカー仕様による。		
符号・場所・数量	WD-001 1階 管理人室和室 1ヶ所	WD-002 1階 管理人室和室 1ヶ所	WD-001 修正：新設建具のため、A-75 建具表(8) WD-1へ変更 2ヶ所			
姿 図						
形式・見込	三本引き換 105	戸袋付引違い襖 85	B棟 廊下2-(2) 115			
材質・ガラス	扉：シナ合板フラッシュ 両面：新鳥の子紙 枠：メラビークツ CL塗装	扉：シナ合板フラッシュ 両面：新鳥の子紙 枠：メラビークツ CL塗装	木製フラッシュ親子開き戸			
付属金物	引き手、敷居スベリ、付属金物一式	引き手、敷居スベリ、付属金物一式	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビークツ OP塗装【塗替】 くつずりA レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクローザー			
備 考						
凡 例	○：【新設】建具を示す。	○：既存建具【既存のまま】を示す。	□：【撤去】建具を示す。	朱書きは訂正を示す		
	○：既存建具【塗替】を示す。	□：【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)				
	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(3) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園					70 A-70



記号設計	AW 1 AW 1A	5, 16ヶ所	AW 2 AW 2A	12・10ヶ所	AW 5	3ヶ所	AW 6	1ヶ所	AW 6A	2ヶ所
窓図										
使用箇所	A棟 廊下		A棟B棟 宿泊室		階段(1)		廊下1-(5)		2階3階リフレッシュコーナー	
見込	50		70		70		70		70	
型材料	アルミ片引きマド FIX		アルミ片引きマド		アルミ ハメ殺シマド		アルミ殺シマド むき出し窓		アルミハメ殺シマド	
仕上	下地調整の上 DP塗【新設】		全左		全左		カラーアルミ		全左	
硝子	フロート t=8		全左		フロート t=6		フロート t=8		フロート m8	
金物	附属金物一式 水切(アルミ)		全左		全左		附属金物一式		全左	
備考	( ):AW・1'を示す		( ):AW・2'を示す							

記号設計	AW 7	1ヶ所	AG	AG-1 450W x 450H	2ヶ所	AG-3 800W x 1600H	1ヶ所	AG-4 800W x 1100H	1ヶ所	AG-2 1800W x 1000H	2ヶ所	AG-5 1100W x 2200H	1ヶ所	AG-6 1100W x 1400H	1ヶ所
窓図															
使用箇所	オープンクローブ(3)											アルミガラリ			
見込	100											カラーアルミ			
型材料	アルミハメ殺シマド 排煙マド付(開放角度90°)											空間ダクト,**用アンクル,水切,その他附属金物一式			
仕上	下地調整の上 DP塗【新設】														
硝子	強化ガラス t=8 フロート t=8														
金物	全左														
備考	オペレーター付 FL+1200														

記号設計	AW 10	1ヶ所	AW 11	1ヶ所	AW 12	1ヶ所	AW 13	3ヶ所	AW 14	1ヶ所	AW 15	1ヶ所	AG	AG-5 600W x 600H	1ヶ所	AG-6 600W x 600H	1ヶ所	
窓図																		
使用箇所	パブリック***		***		サポートオフィス		倉庫1-1-(2) 講師控室・和室		管理入室		倉庫1-1-(2)		アルミガラリ(防水)		カラーアルミ		空間ダクト,**用アンクル,水切,その他附属金物一式	
見込	80		70		70		70		70		70							
型材料	アルミ,ハメ殺シマド		アルミハメ殺シマド		アルミ引違イマド,片開きドア,FIX		アルミ引違イマド		アルミ引違イマド		アルミハメ殺シマド		アルミガラリ(防水)		カラーアルミ			
仕上	カラーアルミ 下地調整の上DP塗装【新設】		全左		全左		全左		全左		全左		全左		全左			
硝子	フロート t=6 ガラスブロック,SUS製枠		フロート t=6		フロート t=6		フロート t=6		全左		全左							
金物	附属金物一式		全左		全左		全左		全左		全左							
備考																		

凡例	: 【新設】 建具を示す。	: 既存建具【既存のまま】を示す。	: 【撤去】 建具を示す。	: 既存建具【塗替】を示す。	: 【撤去】 【新設】 建具を示す。(カバー工法)	<b>朱書きは訂正を示す</b>		 <small>一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号</small>		工事名 沖縄科学技術大学院大学サイドハウス改修工事 図面名 建具表(5) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 沖縄科学技術大学院大学園	72 A-72
----	---------------	-------------------	---------------	----------------	---------------------------	------------------	--	---	--	---	------------

記号設計	AW 16 1ヶ所	AW 16A 2ヶ所	AW 18 1ヶ所	AW 20 1ヶ所	AW 21 1ヶ所	AW 22 4ヶ所
図面						
使用箇所	1階ELVホール	2階3階ELVホール	廊下1-(2)	セミナー室	倉庫1-(3)	B棟2階3階 廊下
見込	100	100	100	100	70	70
型式材料	アルミハメ殺シマド	アルミハメ殺シマド	アルミハメ殺シマド、片引きドア、***マド(***)	アルミハメ殺シマド	アルミ排煙マド(開放角度90°)	アルミ引違イマド FIX
仕上	下地調整の上DP塗装【新設】	下地調整の上DP塗装【新設】	全左	全左	全左	全左
硝子	強化ガラス t=8 フロート t=8	強化ガラス t=8 フロート t=8	フロート t=8	フロート t=8	フロート t=6	全左
金物	附属金物一式	附属金物一式	全左	附属金物一式	全左	全左
備考	特定防火設備	特定防火設備	乙防 オペレーター機械付 FL+1200	オペレーター**付 FL+1200		
記号設計	AW 23 6ヶ所	AW 24 4ヶ所	AW 25 AW 25A 4・2ヶ所	AW 26 修正：撤去 3ヶ所	AW 27 修正：撤去 6ヶ所	
図面						
使用箇所	B棟2階3階 廊下	C棟2階3階 男子便所	C棟2階3階 女子便所	ラウンジ	2階ラウンジ 3階ちゅらホール	
見込	70	70	70	70	70	
型式材料	アルミ引違イマド FIX	アルミ片開式マド	アルミ引違イマド	アルミ引違窓、排煙窓(開放角度90°)	アルミ片引きマド FIX	
仕上	下地調整の上DP塗装【新設】	全左	全左	全左	カラーアルミ	
硝子	全左	全左	全左	全左	フロート t=8	
金物	全左	全左	全左	全左	附属金物一式	
備考				オペレーター FL+1200		
記号設計	1 AW			1ヶ所	4 AW 修正：撤去 2ヶ所	1 AD 1ヶ所
図面						
使用箇所	キッズルーム			クラフトルーム、スタディールーム	プレイスペース	
見込	100			100	70	
型式材料	アルミ製 片開き框戸付両袖 F I X 窓			アルミ製 片開き框戸付 F I X 窓	アルミ製 袖 F I X 窓付片開き框戸	
仕上	ステンカラー色			ステンカラー色	ステンカラー色	
硝子	強化 t=10			強化 t=10	P t=6	
金物	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ顔縁			付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ顔縁	付属金物一式、ドアチェック、戸当、SUS靴すり	
備考	上部スチールブラインドボックスW250*H400 電気錠引き込み有り(別途工事)			上部スチールブラインドボックスW250*H400	空錠、アルミ顔縁	
凡例	: 【新設】 建具を示す。 : 既存建具【既存のまま】を示す。 : 既存建具【塗替】を示す。		: 【撤去】 建具を示す。 : 【撤去】 【新設】 建具を示す。(カバー工法)		<b>朱書きは訂正を示す</b> 	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(6) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園
						73 A-73

記号設計	4 AD	5 AD 修正: 撤去	1 GD	1 SS	AW 6
1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
図					
使用箇所	スタディールーム	A棟 1階倉庫	ブレイルーム	ブレイルーム	A棟 廊下1-(1)
見込	100	100	630	—	100
型式	木製 片開き戸	アルミ製 片開き戸	両袖 F I X ガラス扉	防煙スチールシャッター	両袖 F I X ガラス扉
仕上	メラビエ突板 クリア塗り	着色陽極酸化塗装複合皮膜	SUS製	SUS製	SUS製
硝子	Pt=5	—	強化 t=10	—	強化 t=10
金物	ドアチェック (ドア埋込: コンシールドドアクローザー)	付属金物一式、ドアチェック、戸当、SUS靴すり、アルミ顔縁	ガラス枠: ステンレス 付属金物一式、フロアヒンジ	煙感運動式、手動式ハンドル付	煙感運動式、手動式ハンドル付
備考	レバーハンドル錠	レバーハンドル錠	ドアハンドル: ユニオン/T610ステンレスHL同等 電気錠引き込み有り (別途工事)	レール: ステンレス製、LGS壁内納まり ボックス天井内納まり	—

記号設計					
図					
使用箇所					
見込					
型式					
仕上					
硝子					
金物					
備考					

記号設計	TB 001 1階女子便所 1ヶ所	TB 002 1階男子便所 1ヶ所	TB 003 2階男子便所 1ヶ所 修正: 撤去	TB 004 2階、3階女子便所 2ヶ所 修正: 撤去	TB 005 2階、3階SK置場 2ヶ所 修正: 撤去	TB 006 3階男子便所 1ヶ所 修正: 撤去
図						
使用箇所	トイレブース					
見込	高圧メラミン化粧板 (木目柄) 厚40					
材料	笠木 (ステンレス) 巾木 (ステンレス)					
仕上	中心吊りヒンジ、表示付ラッチ、戸当り帽子掛					
硝子	エッジ材 (アルミアルマイト仕上)					
金物	パネル芯材 (ペーパーコア) ドア上下 (メラミン板貼り)					
備考	パネル下端 (防水塗装仕上げ)					

凡例	: 【新設】建具を示す。 : 既存建具【既存のまま】を示す。 : 既存建具【塗替】を示す。	: 【撤去】建具を示す。 : 【撤去】【新設】建具を示す。 (カバー工法)	<p><b>朱書きは訂正を示す</b></p>	<p>工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事</p> <p>図面名 建具表(7)</p> <p>縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100</p> <p>沖縄科学技術大学院大学園</p>	<p>74</p> <p>A-74</p>
----	---	---	-------------------------	---	-----------------------

記号設計	①SSD 1か所	②SSD 1か所	①SK 3か所		
姿図					
使用箇所	B棟 廊下1-(1)	B棟 オープンワークショップ	E L Vホール		
見込	100	100	125		
型式材料	ステンレス製3連片引き自動ドア	ステンレス製3連片引き自動ドア	防煙スクリーン		
仕上	ステンレスHL	ステンレスHL	耐火クロス		
硝子	強化ガラス t = 10	強化ガラス t = 10			
金物					
備考	タッチ式スイッチ、補助光源スイッチ、スライドドアエンジン、ステンレスガイドレール 付属金物一式	タッチ式スイッチ、補助光源スイッチ、スライドドアエンジン、ステンレスガイドレール 付属金物一式	煙感知器連動、ステンレスガイドレール 付属金物一式		
記号設計	①WD 数量修正 3か所	②WD 1か所	③WD 2か所	④WD 2か所	⑤WD 1か所
姿図					
使用箇所	A棟 廊下1-(4) B棟 廊下	C棟 廊下1-(2)	A棟 廊下2-(1)、3-(1)	B棟 廊下3-(1)	C棟 廊下3-(1)
見込	115	115	115	115	115
型式材料	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ両開き戸
仕上	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装
硝子	フロート t = 8	フロート t = 8	フロート t = 8	フロート t = 8	フロート t = 8
金物	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー
備考	くつずりA	くつずりA	くつずりA	くつずりA	くつずりA
記号設計					
姿図					
使用箇所					
見込					
型式材料					
仕上					
硝子					
金物					
備考					

**共通事項**

1. 詳細番号の記号は次のとおりとする。  
 (1) - - - は、建築工事標準詳細図(平成17年版)の分類番号を示す。  
 (2) SDK- , SFK- , SWK- , AWK- は、矯正施設用指定部品図集(平成17年版)の分類記号を示す。  
 (3) 材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。  
 2. 鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの特記以外の仕上げはSOPとする。  
 3. 建具見込み寸法は、特記以外は鋼製建具40、鋼製軽量建具35以上、ふすま19.5、障子30とする。  
 4. 鋼製軽量の召合せ、縦小口包み板は、特記以外はステンレス鋼板とする。  
 5. 建具金物は公共建築工事標準仕様書の表16.7.1-表16.7.4による。  
 ただし、既製建具は製造所指定の付属品でよい。  
 6. 外部アルミ製建具本体は、延焼ラインにかかわらず全て告示平12建造第1360号による防火設備仕様とする(建具本体に適合する認定防火戸の認証シールを張り付ける。)-  
 7. 建具の凡例

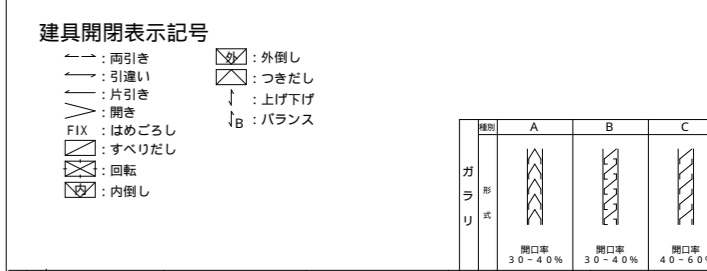
- 防：告示 平12建造第1360号による防火設備
- 特防：告示 平12建造第1369号による特定防火設備
- 指定：矯正施設用指定部品図集に定める建具(鉄格子を含む)で品質検査を要するもの
- 標準：公共建築工事標準仕様書に定める標準型建具

**表示略号**

- (建具)
- WD：木製扉
  - SD：鋼製扉
  - SSD：ステンレス製扉
  - AD：アルミニウム製扉
  - LD：鋼製軽量扉
  - WW：木製窓
  - SW：鋼製窓
  - AW：アルミニウム製窓
  - SSS：鋼製重量シャッター
  - SSS：ステンレス製シャッター
  - LS：鋼製軽量シャッター
  - OD：オーバーヘッドドア
  - WG：木製ガラリ
  - SG：鋼製ガラリ
  - AG：アルミニウム製ガラリ
  - SSG：ステンレス製ガラリ
  - SL：鉄格子
  - AL：アルミニウム製ルーバー
  - SP：鋼製パーテーション
  - AP：アルミニウム製パーテーション
  - H：ふすま
  - P：障子
- (建具金物)
- DCF：ドアクローザー
  - PH：ヒボットヒンジ
  - HC：ヒンジクローザー
  - FH：フロアヒンジ
  - AS：アームストッパー
  - AH：オートヒンジ
- (ガラス)
- FL：フロート板ガラス
  - FLSG：フロート板ガラス(すりガラス)
  - F：型板ガラス
  - NF：網入り型板ガラス
  - WF：線入り型板ガラス
  - NP：網入りみかげ板ガラス
  - WP：線入りみかげ板ガラス
  - L：合わせガラス
  - T：強化ガラス
  - HAP：熱線吸収フロート板ガラス
  - IG：複層ガラス
  - HR：熱線反射ガラス
  - DS：倍強度ガラス
  - PC：ポリカーボネート樹脂板
  - AC：アクリル樹脂板

- (仕上げ)
- SOP：合成樹脂調合ペイント塗り
  - DP：耐水性塗料塗り
  - FE：フタル酸樹脂エナメル塗り
  - F-BE：フッ素樹脂塗料(焼付型)
  - F-UH：フッ素樹脂塗料(常温型)(長期耐候性塗料)
  - CL：クリヤラッカー塗り
  - UC：ウレタン樹脂ニス塗り
  - OS：オイルステイン塗り
  - LE：ラッカーエナメル塗り
  - OF：オイル塗りワックス拭き
  - HDZ55：鉄の溶融亜鉛めっきA種(550g/m以上)
  - HDZ45：鉄の溶融亜鉛めっきB種(450g/m以上)
  - HDZ35：鉄の溶融亜鉛めっきC種(350g/m以上)
  - A-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - A-2種：着色陽極酸化皮膜
  - B-1種：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - B-2種：着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - C-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - C-2種：着色陽極酸化皮膜
  - D種：化成皮膜の上に塗装

- 建具開閉表示記号**
- ↔：両引き
  - ↔：引違い
  - ↔：片引き
  - ↔：開き
  - FIX：はめごころし
  - ⊠：回転
  - ⊠：内倒し
  - ⊠：外倒し
  - ⊠：つきだし
  - ↑ ↓：上げ下げ
  - ⊥：バランス



種類	A	B	C	D	E
形状	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0
詳細番号	4-31-1	4-31-4	4-41-1,2,3・4-42-1,2,3	4-43-1,2,3・4-44-1,2,3	4-45-1,2,3,4
種類	F	G	H		
形状	ステンレス SUS304 6x12		ステンレス SUS304 HLt=2.0		
詳細番号	4-31-2	4-31-3			

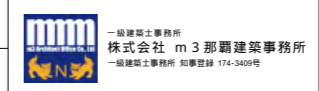
工務名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 建具表(8) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100

75

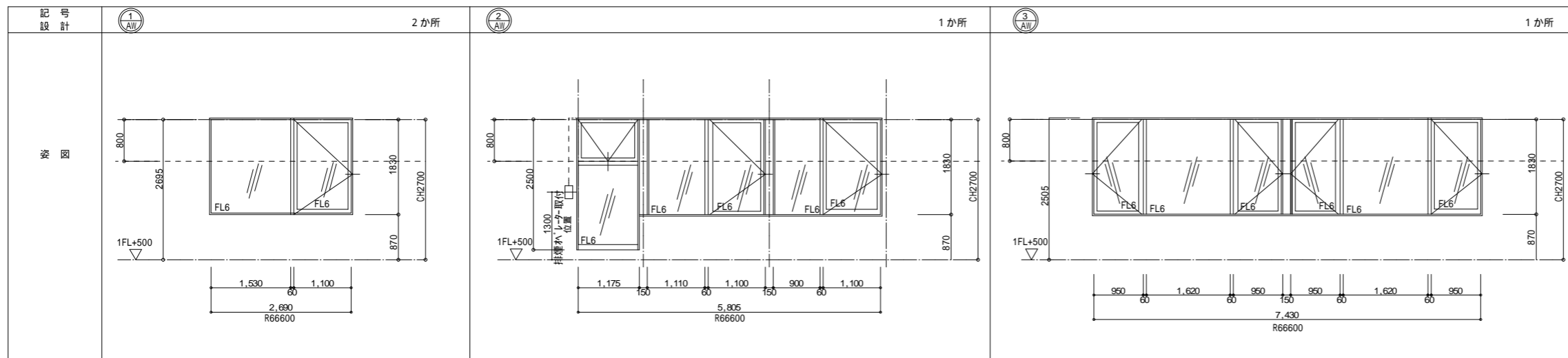
沖繩科学技術大学院大学学園 A-75

朱書きは訂正を示す

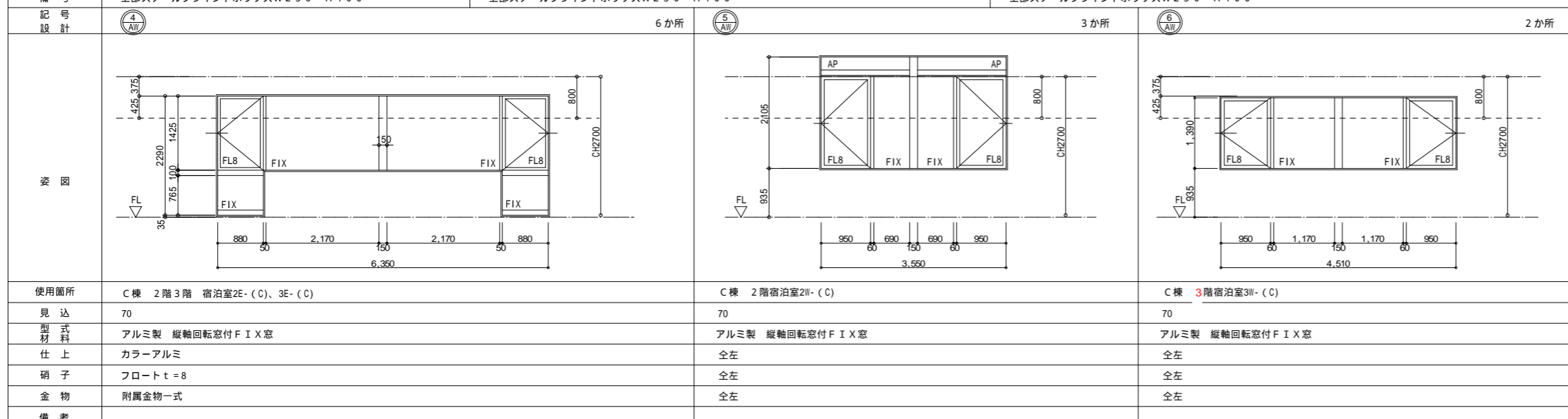


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

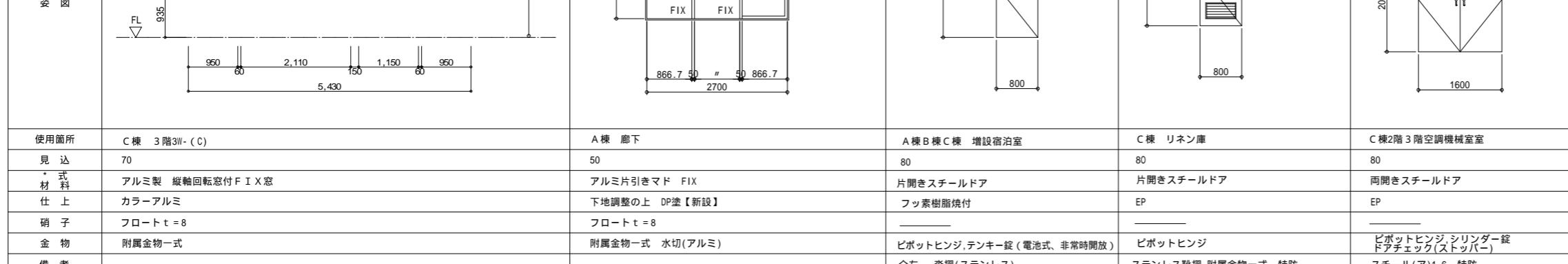
凡例	⊕：【新設】建具を示す。	⊙：既存建具【既存のまま】を示す。	⊖：【撤去】建具を示す。
	⊕：既存建具【塗替】を示す。	⊖：【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)	



記号設計	① AW	② AW	③ AW
使用箇所	A棟宿泊室1-(B)	A棟宿泊室1-(B2)	A棟宿泊室1-(HC)
見込	100	100	100
型式材料	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ製 縦軸回転窓付排煙窓	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓
仕上	ステンカラー色	ステンカラー色	ステンカラー色
硝子	FL t=6	FL t=6	FL t=6
金物	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ額縁	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ額縁	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ額縁
備考	上部スチールブラインドボックスW250*H400	上部スチールブラインドボックスW250*H400	上部スチールブラインドボックスW250*H400



記号設計	④ AW	⑤ AW	⑥ AW
使用箇所	C棟 2階3階 宿泊室2E-(C)、3E-(C)	C棟 2階宿泊室2W-(C)	C棟 3階宿泊室3W-(C)
見込	70	70	70
型式材料	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓
仕上	カラーアルミ	全左	全左
硝子	フロート t=8	全左	全左
金物	付属金物一式	全左	全左
備考			



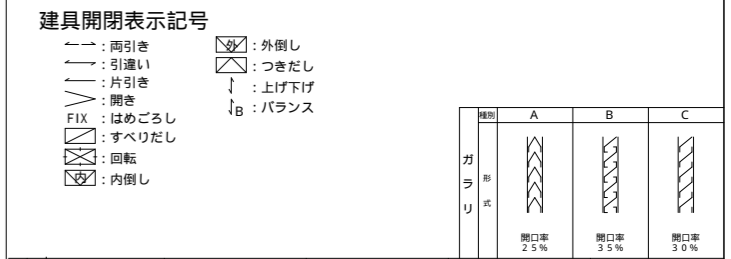
記号設計	⑦ AW	⑧ AW	⑨ SD	⑩ SD	⑪ SD	⑫ SD
使用箇所	C棟 3階3W-(C)	A棟 廊下	A棟B棟C棟 増設宿泊室	C棟 リネン庫	C棟2階3階空調機械室	
見込	70	50	80	80	80	
型式材料	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ片引きマド FIX	片開きスチールドア	片開きスチールドア	両開きスチールドア	
仕上	カラーアルミ	下地調整の上 DP塗【新設】	フッ素樹脂焼付	EP	EP	
硝子	フロート t=8	フロート t=8				
金物	付属金物一式	付属金物一式 水切(アルミ)	ピボットヒンジ、テンキー錠(電池式、非常時開放)	ピボットヒンジ	ピボットヒンジ シリンダー錠 ドアチェック(ストッパー)	
備考			全左、番指(ステンレス)	ステンレス靴指 付属金物一式 特防	スチール(ア)1.6 特防	

**共通事項**

- 詳細番号の記号は次のとおりとする。  
(1) - - は、建築工事標準詳細図(平成17年版)の分類番号を示す。  
(2) SDK-, SFK-, SWK-, AWK- は、補正施設用指定部品図集(平成17年版)の分類記号を示す。  
(3) 材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。
- 鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの特記以外の仕上げはSOPとする。
- 建具見込み寸法は、特記以外は鋼製建具40、鋼製軽量建具35以上、ふすま19.5、障子30とする。
- 鋼製軽量戸の召合わせ、縦小口包み板は、特記以外はステンレス鋼板とする。
- 建具金物は公共建築工事標準仕様書の表16.7.1-表16.7.4による。ただし、既製建具は製造所指定の付属品でよい。
- 外部アルミ製建具本体は、番指ラインにかかわらず全て告示平12建設第1360号による防火設備仕様とする(建具本体に適合する認定防火戸の認証シールを張り付ける。)-
- 建具の凡例

防：告示平12建設第1360号による防火設備  
特防：告示平12建設第1369号による特定防火設備  
指定：補正施設用指定部品図集に定める建具(鉄格子を含む)で品質検査を要するもの  
標準：公共建築工事標準仕様書に定める標準型建具

- 表示略号**
- (建具)
- WD：木製扉
  - SD：鋼製扉
  - SSD：ステンレス製扉
  - AD：アルミニウム製扉
  - LD：鋼製軽量扉
  - WW：木製窓
  - SW：鋼製窓
  - AW：アルミニウム製窓
  - SSS：鋼製重量シャッター
  - SSS：ステンレス製シャッター
  - LS：鋼製軽量シャッター
  - OD：オーバーヘッドア
  - WG：木製ガラリ
  - SG：鋼製ガラリ
  - AG：アルミニウム製ガラリ
  - SSG：ステンレス製ガラリ
  - SL：鉄格子
  - AL：アルミニウム製ルーバー
  - SP：鋼製パーテーション
  - AP：アルミニウム製パーテーション
  - H：ふすま
  - P：障子
- (建具金物)
- DCF：ドアクローザー
  - PH：ピボットヒンジ
  - HC：ヒンジクローザー
  - FH：フロアヒンジ
  - AS：アームストッパー
  - AH：オートヒンジ
  - FL：フロートガラス
  - FLSG：フロートガラス(すりガラス)
  - F：型板ガラス
  - NF：網入り型板ガラス
  - WF：線入り型板ガラス
  - NP：網入り網入り型板ガラス
  - WP：線入り網入り型板ガラス
  - L：合わせガラス
  - T：強化ガラス
  - HAP：熱線吸収フロートガラス
  - IG：複層ガラス
  - HR：熱線反射ガラス
  - D：低放射ガラス
  - PC：ポリカーボネート樹脂板
  - AC：アクリル樹脂板
- (仕上げ)
- SOP：合成樹脂調合ペイント塗り
  - DP：耐水性塗料塗り
  - FE：フタル酸樹脂エナメル塗り
  - F-BE：フッ素樹脂塗料(焼付型)
  - F-UH：フッ素樹脂塗料(常温型)(長期耐候性塗料)
  - CL：クリアラッカー塗り
  - UC：ウレタン樹脂ニス塗り
  - OS：オイルステイン塗り
  - LE：ラッカーエナメル塗り
  - OF：オイル塗りワックス拭き
  - HDZ55：鉄の溶融亜鉛めっきA種(550g/m以上)
  - HDZ45：鉄の溶融亜鉛めっきB種(450g/m以上)
  - HDZ35：鉄の溶融亜鉛めっきC種(350g/m以上)
  - A-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - A-2種：着色陽極酸化皮膜
  - B-1種：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - B-2種：着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - C-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - C-2種：着色陽極酸化皮膜
  - D種：化成皮膜の上に塗装



種別	A	B	C	D	E
形状	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0
詳細番号	(内部用) 4-31-1	(内部用) 4-31-4	(外部用) 4-41-1,2,3・4-42-1,2,3	(外部簡易気密) 4-43-1,2,3・4-44-1,2,3	(内部簡易気密) 4-45-1,2,3,4
種別	F	G	H		
形状	ステンレス SUS304 6x12		ステンレス SUS304 HLt=2.0		
詳細番号	(内部用) 4-31-2	(内部用) 4-31-3			

凡例

- ⊞：【新設】建具を示す。
- ⊞：既存建具【既存のまま】を示す。
- ⊞：【撤去】建具を示す。
- ⊞：既存建具【塗替】を示す。
- ⊞：【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)

**朱書きは訂正を示す**

記号設計	④ SD 2か所	⑤ SD 2か所	⑥ SD 1か所	⑪ SD 数量修正 14か所
図				
使用箇所	C棟 2階3階 廊下	A棟 宿泊室1- (HC)	A棟 1階 分電盤室	PS
見込	100	80	80	60
型式	SUS製嵌設し窓付片開き扉戸	片開きスチールドア	片開きスチールドア	全左
仕上	HL	フッ素樹脂焼付	EP	OP
硝子	70ト: 5			
金物	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り	三方枠、引棒 (SUS製)、非常錠錠表示付打掛錠 (操作ラベル付)	ピボットヒンジ	全左
備考	付属金物一式	シリンダー錠、引戸クローザーシステム、付属金物一式	ステンレス靴摺 付属金物一式 特防	全左
記号設計				

朱書きは訂正を示す

**1 共通事項**

- 詳細番号の記号は次のとおりとする。  
 (1) - - は、建築工事標準詳細図 (平成17年版) の分類番号を示す。  
 (2) S D K - , S F K - , S W K - , A W K - は、矯正施設用指定部品図集 (平成17年版) の分類記号を示す。  
 (3) 材種・寸法・取合いなどそのまま適用できないものはこれを準用する。  
 (4) 鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの特記以外の仕上げはS O Pとする。  
 (5) 建具見込み寸法は、特記以外は鋼製建具40、鋼製軽量建具35以上、ふすま19.5、障子30とする。  
 (6) 鋼製軽量戸の召合わせ、縦小口包み板は、特記以外はステンレス鋼板とする。  
 (7) 建具金物は公共建築工事標準仕様書の表16.7.1-表16.7.4による。  
 ただし、既製建具は製造所指定の付属品でよい。  
 (8) 外部アルミ製建具本体は、葎機ラインにかかわらず全て告示平12建告第1360号による防火設備仕様とする (建具本体に適合する認定防火戸の認証シールを張り付ける。)  
 (9) 建具の凡例

防: 告示 平12建告第1360号による防火設備  
 特防: 告示 平12建告第1369号による特定防火設備  
 指定: 矯正施設用指定部品図集に定める建具 (鉄格子を含む) で品質検査を要するもの  
 標準: 公共建築工事標準仕様書に定める標準型建具

**表示略号**

(建具)  
 WD: 木製扉  
 SD: 鋼製扉  
 SS: ステンレス製扉  
 AD: アルミニウム製扉  
 LD: 鋼製軽量扉  
 WW: 木製窓  
 SW: 鋼製窓  
 AW: アルミニウム製窓  
 SS: 鋼製重量シャッター  
 SSS: ステンレス製シャッター  
 LS: 鋼製軽量シャッター  
 OD: オーバーヘッドドア  
 WG: 木製ガラリ  
 SG: 鋼製ガラリ  
 AG: アルミニウム製ガラリ  
 SSG: ステンレス製ガラリ  
 SL: 鉄格子  
 AL: アルミニウム製ルーバー  
 SP: 鋼製パーテーション  
 AP: アルミニウム製パーテーション  
 H: ふすま  
 P: 障子

(建具金物)  
 DCFD: ドアクローザー  
 PH: ピボットヒンジ  
 H: ヒンジクローザー  
 FH: フロアヒンジ  
 AS: アームストッパー  
 AH: オートヒンジ  
 (ガラス)  
 FL: フロート板ガラス  
 FLSG: フロート板ガラス (すりガラス)  
 F: 型板ガラス  
 NF: 網入り型板ガラス  
 WF: 線入り型板ガラス  
 NP: 網入りみかげ板ガラス  
 WP: 線入りみかげ板ガラス  
 L: 合わせガラス  
 T: 強化ガラス  
 HAP: 熱線吸収フロート板ガラス  
 IG: 複層ガラス  
 HR: 熱線反射ガラス  
 DS: 倍強ガラス  
 PC: ポリカーボネート樹脂板  
 AC: アクリル樹脂板

(仕上げ)  
 SOP: 合成樹脂調合ペイント塗り  
 DP: 耐熱性塗料塗り  
 FE: フタル酸樹脂エナメル塗り  
 F-BE: フッ素樹脂塗料 (焼付型)  
 FUH: フッ素樹脂塗料 (常温型) (長期耐熱性塗料)  
 CL: クリヤラッカー塗り  
 UC: ウレタン樹脂ニス塗り  
 OS: オイルステイン塗り  
 LE: ラッカーエナメル塗り  
 OF: オイル塗りワックス拭き  
 HDZ55: 鉄の溶融亜鉛めっきA種 (550g/m以上)  
 HDZ45: 鉄の溶融亜鉛めっきB種 (450g/m以上)  
 HDZ35: 鉄の溶融亜鉛めっきC種 (350g/m以上)  
 A-1種: 無着色陽極酸化皮膜  
 A-2種: 着色陽極酸化皮膜  
 B-1種: 無着色陽極酸化塗装複合皮膜  
 B-2種: 着色陽極酸化塗装複合皮膜  
 C-1種: 無着色陽極酸化皮膜  
 C-2種: 着色陽極酸化皮膜  
 D種: 化成皮膜の上に塗装

**建具開閉表示記号**

↔: 両引き  
 →: 引違い  
 ←: 片引き  
 ↗: 開き  
 ⊠: はめごりし  
 ⊞: 回転  
 ⊞: 内倒し

☑: 外倒し  
 ⊞: つきだし  
 ↓: 上げ下げ  
 ↓B: バランス

法チェック表																																																			
宿泊室 (D) - 1	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>4.43 × 65 × 1/2 × 2.3.14 (57.4)² × 7.772° / 360° = 64.4931/2 = 32.24655</td><td>AW-1</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>32.25/7 = 4.61</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>2.69 × 1.83 = 4.92... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>32.25/20 = 1.61</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.95 × 1.73 = 1.64... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>32.25/50 = 0.645</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>1.1 × 0.8 = 0.88... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	4.43 × 65 × 1/2 × 2.3.14 (57.4)² × 7.772° / 360° = 64.4931/2 = 32.24655	AW-1	必要採光面積	32.25/7 = 4.61		採光係数	1		採光計算	2.69 × 1.83 = 4.92... OK		必要換気面積	32.25/20 = 1.61		換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK		必要開口面積 (排煙)	32.25/50 = 0.645		開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK		C棟 宿泊室2E-(C) C棟 宿泊室3E-(C)	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>3.875 × 4.5 = 17.44</td><td>AW-4</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>17.44/7 = 2.491</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>1.72 × 1.425 + 0.875 × 2.29 = 4.454... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>17.44/20 = 0.872</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.875 × 1.425 = 1.246... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>17.44/50 = 0.348</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>0.875 × 0.425 = 0.371... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-4	必要採光面積	17.44/7 = 2.491		採光係数	1		採光計算	1.72 × 1.425 + 0.875 × 2.29 = 4.454... OK		必要換気面積	17.44/20 = 0.872		換気計算	0.875 × 1.425 = 1.246... OK		必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348		開口計算	0.875 × 0.425 = 0.371... OK	
部屋面積	4.43 × 65 × 1/2 × 2.3.14 (57.4)² × 7.772° / 360° = 64.4931/2 = 32.24655	AW-1																																																	
必要採光面積	32.25/7 = 4.61																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	2.69 × 1.83 = 4.92... OK																																																		
必要換気面積	32.25/20 = 1.61																																																		
換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	32.25/50 = 0.645																																																		
開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK																																																		
部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-4																																																	
必要採光面積	17.44/7 = 2.491																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	1.72 × 1.425 + 0.875 × 2.29 = 4.454... OK																																																		
必要換気面積	17.44/20 = 0.872																																																		
換気計算	0.875 × 1.425 = 1.246... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348																																																		
開口計算	0.875 × 0.425 = 0.371... OK																																																		
宿泊室1- (B2)	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>4.43 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 57.5518/2 = 28.775-2.13 × 1.6 = 25.367</td><td>AW-2</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>25.36/7 = 3.62</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>2.225 × 1.83 = 4.071... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>25.36/20 = 1.26</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.95 × 1.73 = 1.64... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>25.36/50 = 0.507</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>1.1 × 0.8 = 0.88... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	4.43 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 57.5518/2 = 28.775-2.13 × 1.6 = 25.367	AW-2	必要採光面積	25.36/7 = 3.62		採光係数	1		採光計算	2.225 × 1.83 = 4.071... OK		必要換気面積	25.36/20 = 1.26		換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK		必要開口面積 (排煙)	25.36/50 = 0.507		開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK		C棟 宿泊室2H-(C)	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>3.875 × 4.5 = 17.44</td><td>AW-5</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>17.44/7 = 2.491</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>1.64 × 1.8 = 2.952... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>17.44/20 = 0.872</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.95 × 1.8 = 1.71... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>17.44/50 = 0.348</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>0.95 × 0.8 = 0.76... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-5	必要採光面積	17.44/7 = 2.491		採光係数	1		採光計算	1.64 × 1.8 = 2.952... OK		必要換気面積	17.44/20 = 0.872		換気計算	0.95 × 1.8 = 1.71... OK		必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348		開口計算	0.95 × 0.8 = 0.76... OK	
部屋面積	4.43 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 57.5518/2 = 28.775-2.13 × 1.6 = 25.367	AW-2																																																	
必要採光面積	25.36/7 = 3.62																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	2.225 × 1.83 = 4.071... OK																																																		
必要換気面積	25.36/20 = 1.26																																																		
換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	25.36/50 = 0.507																																																		
開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK																																																		
部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-5																																																	
必要採光面積	17.44/7 = 2.491																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	1.64 × 1.8 = 2.952... OK																																																		
必要換気面積	17.44/20 = 0.872																																																		
換気計算	0.95 × 1.8 = 1.71... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348																																																		
開口計算	0.95 × 0.8 = 0.76... OK																																																		
宿泊室1- (B2A)	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>2.53 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 64.8778/2 = 32.4389</td><td>AW-2</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>17.7/7 = 2.528</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>2.38 × 1.83 = 4.355... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>17.7/20 = 0.885</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.95 × 1.73 = 1.64... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>17.7/50 = 0.354</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>1.1 × 0.8 = 0.88... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	2.53 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 64.8778/2 = 32.4389	AW-2	必要採光面積	17.7/7 = 2.528		採光係数	1		採光計算	2.38 × 1.83 = 4.355... OK		必要換気面積	17.7/20 = 0.885		換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK		必要開口面積 (排煙)	17.7/50 = 0.354		開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK		C棟 宿泊室3H-(C)	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>3.875 × 4.5 = 17.44</td><td>AW-6</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>17.44/7 = 2.491</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>2.18 × 1.39 = 3.030... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>17.44/20 = 0.872</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.95 × 1.39 = 1.320... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>17.44/50 = 0.348</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>0.95 × 0.425 = 0.403... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-6	必要採光面積	17.44/7 = 2.491		採光係数	1		採光計算	2.18 × 1.39 = 3.030... OK		必要換気面積	17.44/20 = 0.872		換気計算	0.95 × 1.39 = 1.320... OK		必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348		開口計算	0.95 × 0.425 = 0.403... OK	
部屋面積	2.53 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 64.8778/2 = 32.4389	AW-2																																																	
必要採光面積	17.7/7 = 2.528																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	2.38 × 1.83 = 4.355... OK																																																		
必要換気面積	17.7/20 = 0.885																																																		
換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	17.7/50 = 0.354																																																		
開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK																																																		
部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-6																																																	
必要採光面積	17.44/7 = 2.491																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	2.18 × 1.39 = 3.030... OK																																																		
必要換気面積	17.44/20 = 0.872																																																		
換気計算	0.95 × 1.39 = 1.320... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348																																																		
開口計算	0.95 × 0.425 = 0.403... OK																																																		
宿泊室1- (HC)	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>75.869 + 12.48/2 = 44.1745</td><td>AW-3</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>44.1745/7 = 6.310</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>3.63 × 1.83 = 6.64... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>44.1745/20 = 2.2087</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.95 × 1.83 × 2 = 3.477... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>44.1745/50 = 0.883</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>0.95 × 0.8 × 2 = 1.52... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	75.869 + 12.48/2 = 44.1745	AW-3	必要採光面積	44.1745/7 = 6.310		採光係数	1		採光計算	3.63 × 1.83 = 6.64... OK		必要換気面積	44.1745/20 = 2.2087		換気計算	0.95 × 1.83 × 2 = 3.477... OK		必要開口面積 (排煙)	44.1745/50 = 0.883		開口計算	0.95 × 0.8 × 2 = 1.52... OK		C棟 宿泊室3H-(C)	<table border="1"> <tr><td>部屋面積</td><td>3.875 × 4.5 = 17.44</td><td>AW-7</td></tr> <tr><td>必要採光面積</td><td>17.44/7 = 2.491</td><td></td></tr> <tr><td>採光係数</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>採光計算</td><td>2.64 × 1.39 = 3.669... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要換気面積</td><td>17.44/20 = 0.872</td><td></td></tr> <tr><td>換気計算</td><td>0.95 × 1.39 = 1.320... OK</td><td></td></tr> <tr><td>必要開口面積 (排煙)</td><td>17.44/50 = 0.348</td><td></td></tr> <tr><td>開口計算</td><td>0.95 × 0.425 = 0.403... OK</td><td></td></tr> </table>	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-7	必要採光面積	17.44/7 = 2.491		採光係数	1		採光計算	2.64 × 1.39 = 3.669... OK		必要換気面積	17.44/20 = 0.872		換気計算	0.95 × 1.39 = 1.320... OK		必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348		開口計算	0.95 × 0.425 = 0.403... OK	
部屋面積	75.869 + 12.48/2 = 44.1745	AW-3																																																	
必要採光面積	44.1745/7 = 6.310																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	3.63 × 1.83 = 6.64... OK																																																		
必要換気面積	44.1745/20 = 2.2087																																																		
換気計算	0.95 × 1.83 × 2 = 3.477... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	44.1745/50 = 0.883																																																		
開口計算	0.95 × 0.8 × 2 = 1.52... OK																																																		
部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-7																																																	
必要採光面積	17.44/7 = 2.491																																																		
採光係数	1																																																		
採光計算	2.64 × 1.39 = 3.669... OK																																																		
必要換気面積	17.44/20 = 0.872																																																		
換気計算	0.95 × 1.39 = 1.320... OK																																																		
必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348																																																		
開口計算	0.95 × 0.425 = 0.403... OK																																																		

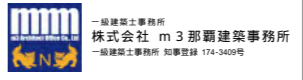
凡例	: 【新設】建具を示す。 : 既存建具【既存のまま】を示す。 : 【撤去】建具を示す。 : 既存建具【塗替】を示す。 : 【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)	廊下1-(5) 36/50 = 0.72 1.175 × 0.655 = 0.769... OK AW-2 廊下2-(3)、3-(3) 82.78/50 = 1.65 1.65 × 0.8 = 1.32 AW-25 1.215 × 0.8 = 0.968 AW-25A = 2.28... OK
----	--	---

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

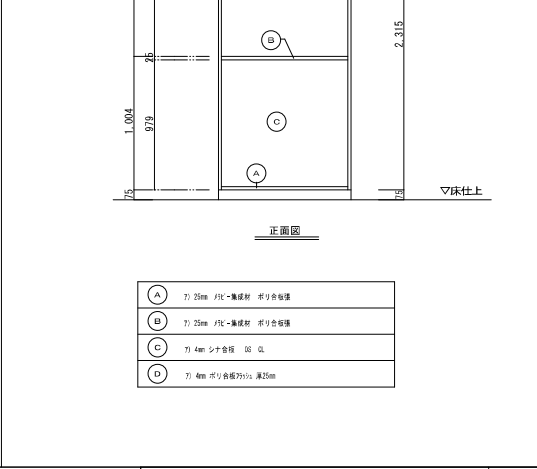
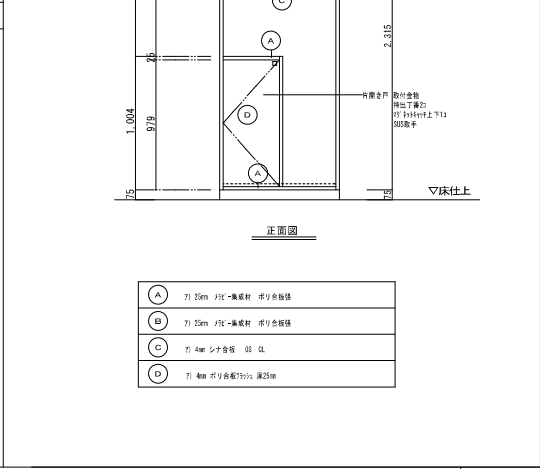
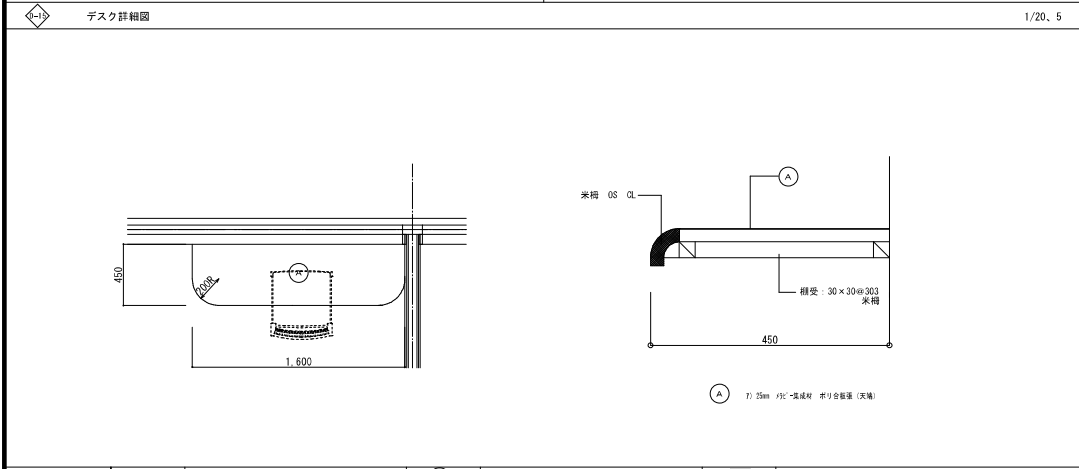
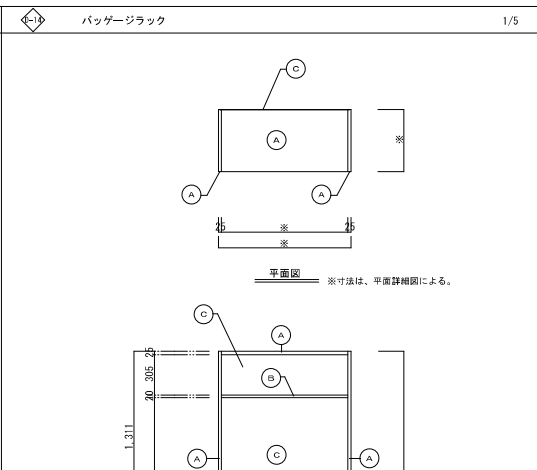
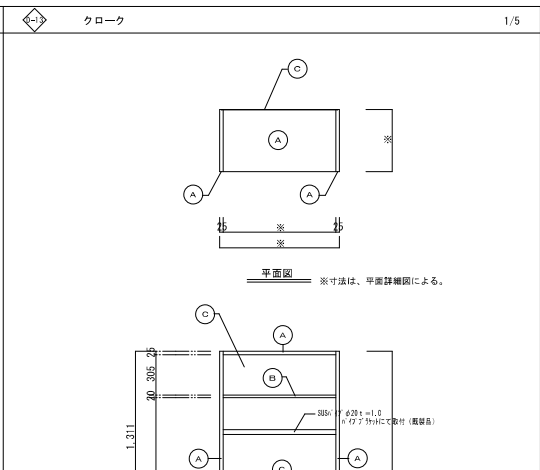
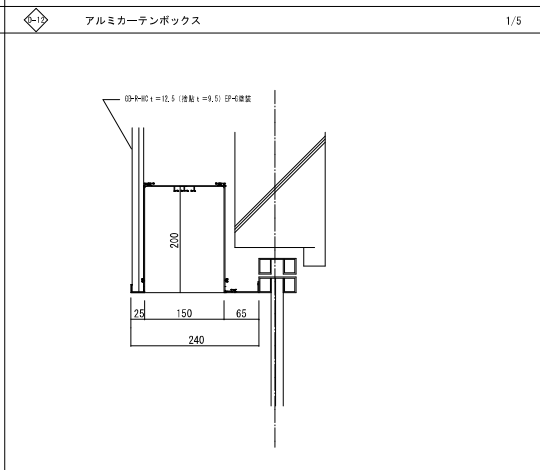
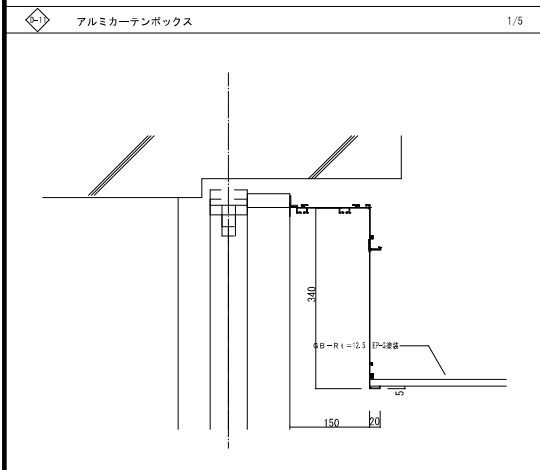
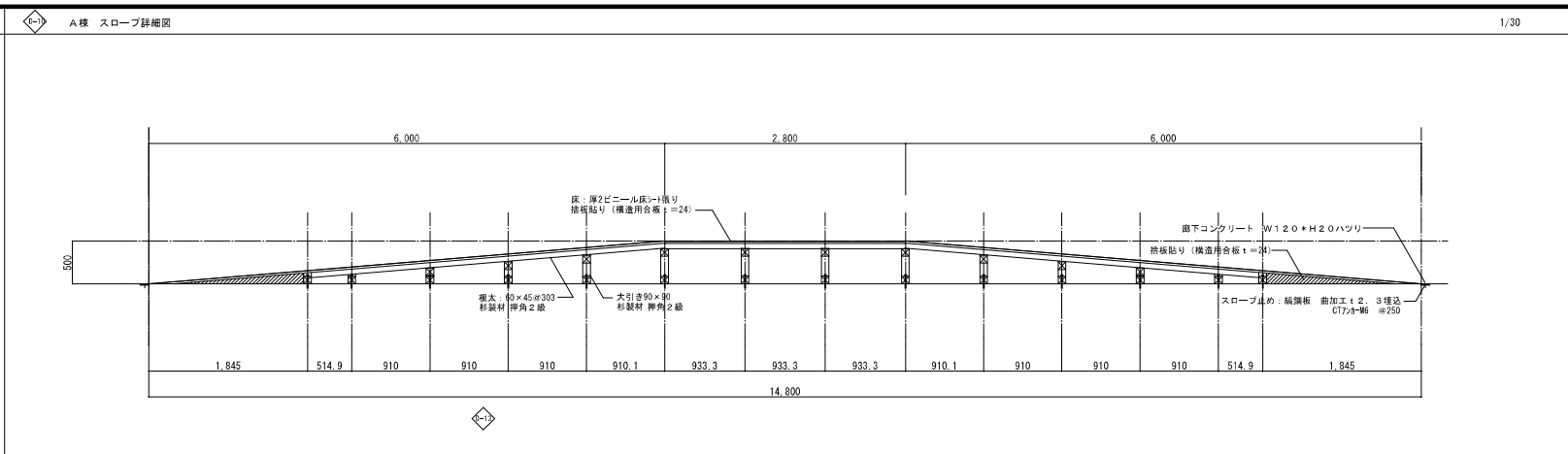
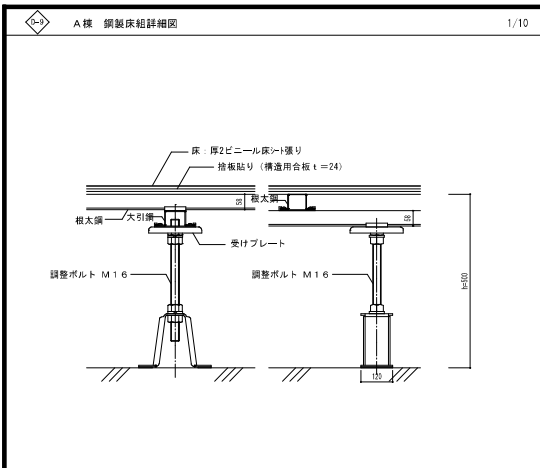
図面名 建具表 (10) , 法チェック表 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100

沖縄科学技術大学院大学学園

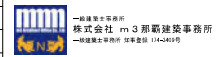
77  
A-77



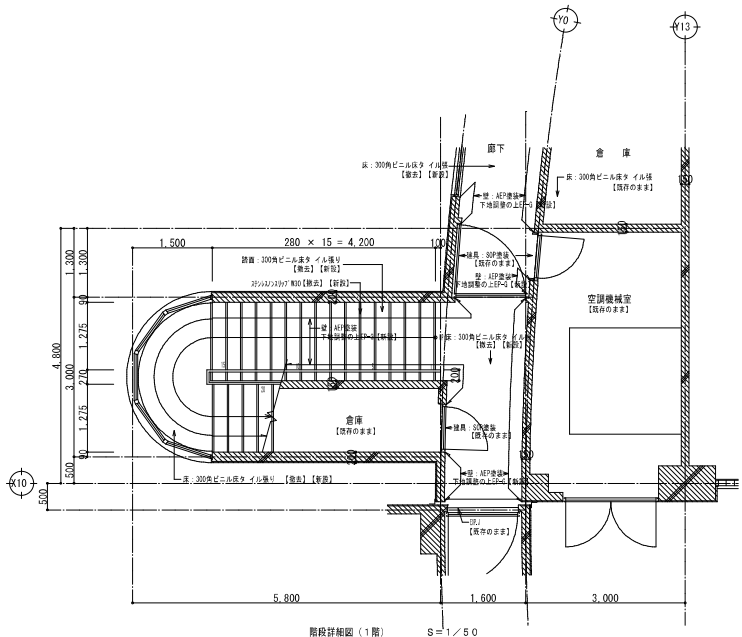




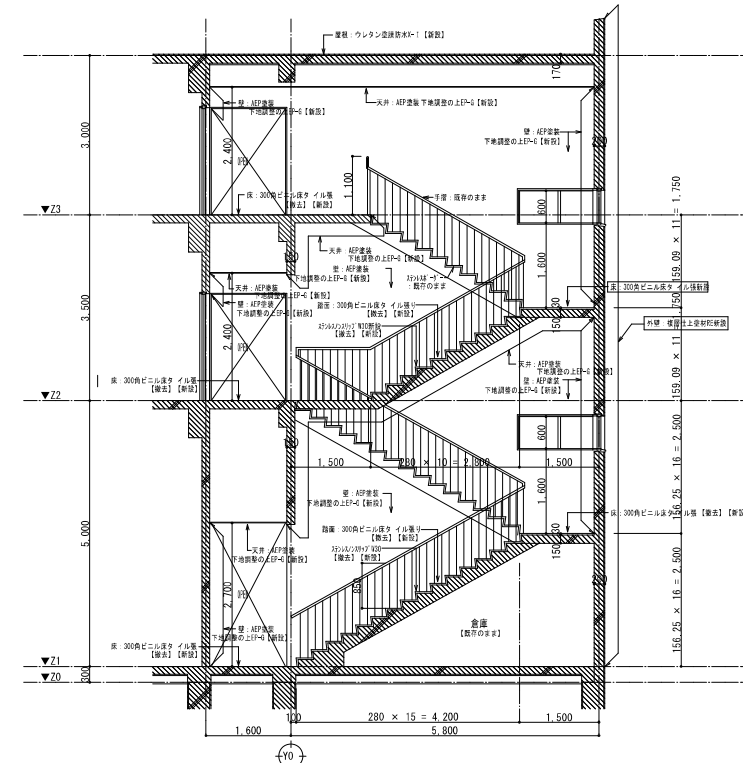
凡例	撤去範囲 (下地具)	【新設】 建具を示す。	【撤去】 建具を示す。
	撤去範囲 (躯体)	既存建具【塗替】を示す。	
		既存建具【既存のまま】を示す。	
		【撤去】 【新設】 建具を示す。	



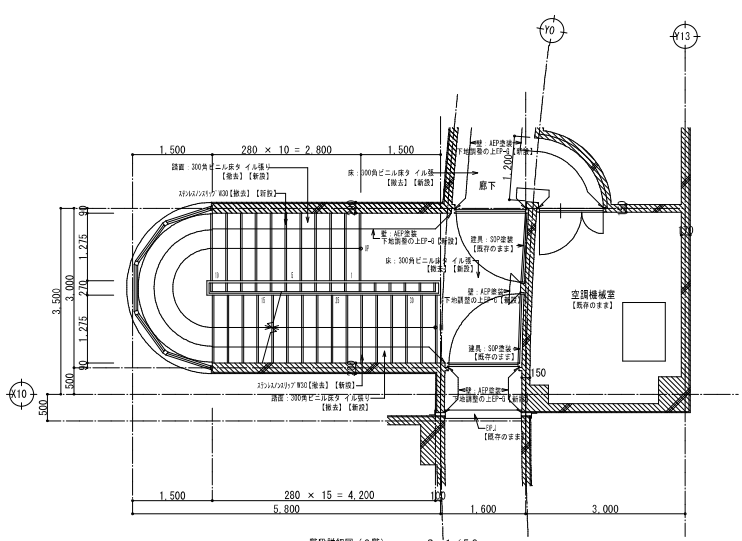
工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	79
図面名	部分詳細図 (2)	縮尺 A1: 1/5, 10, 20, 30 A3: 1/10, 20, 40, 60
	沖縄科学技術大学院大学学園	A-79



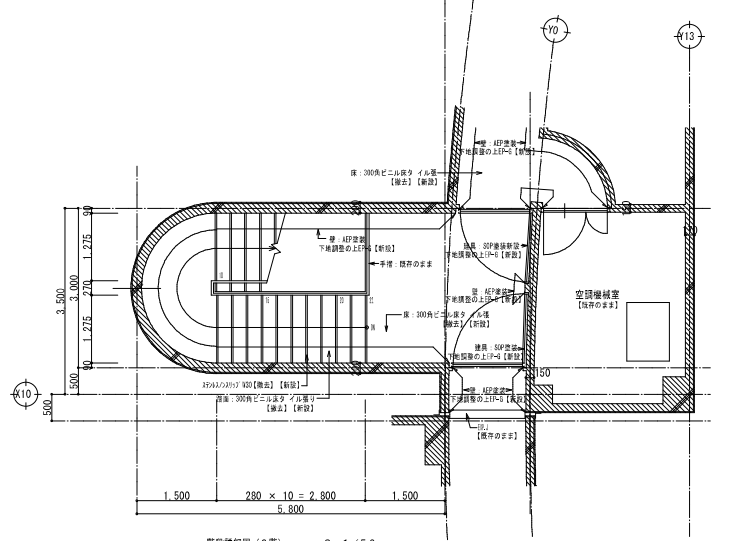
階段詳細図(1階) S=1/50



断面詳細図 S=1/50



階段詳細図(2階) S=1/50

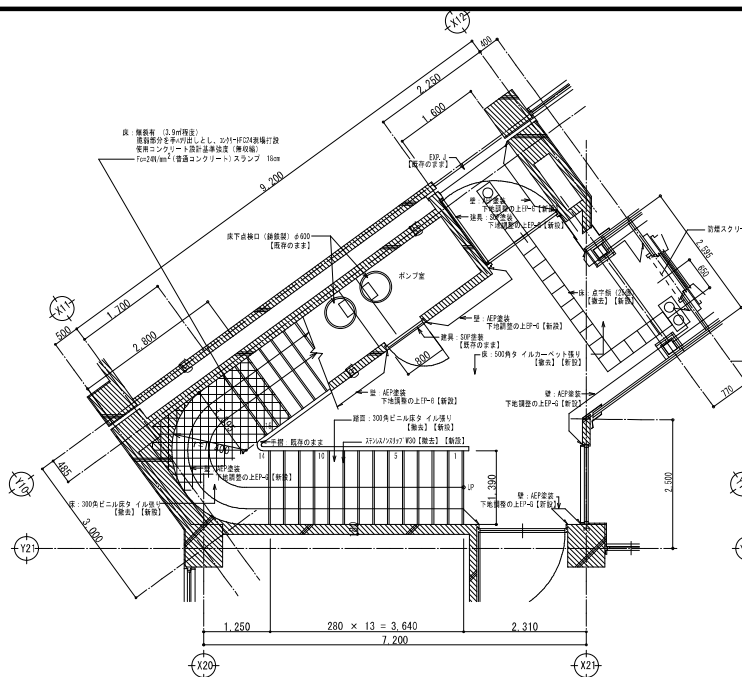


階段詳細図(3階) S=1/50

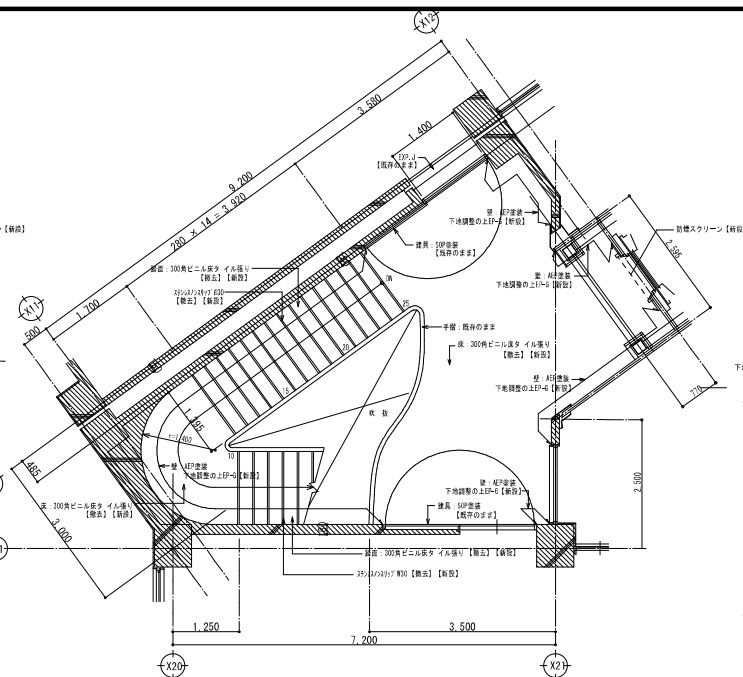


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇支店 (The City)

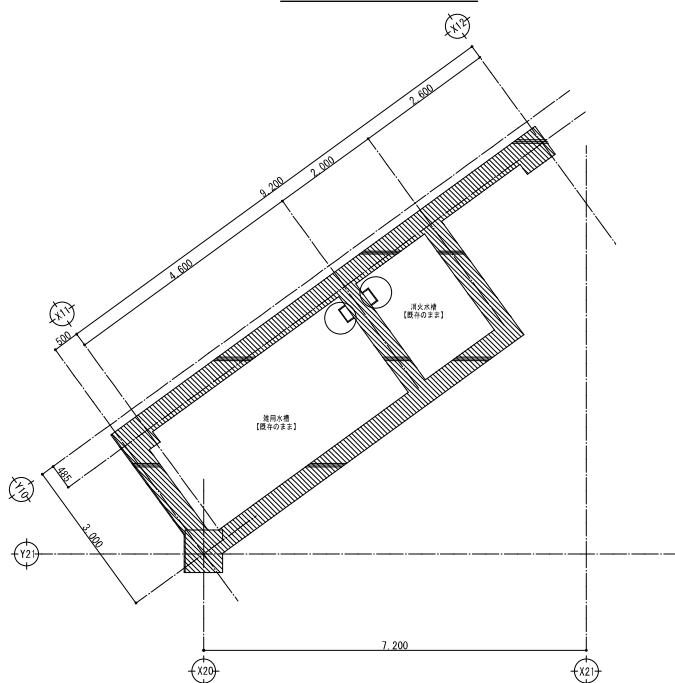
工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	80
図面名	階段詳細図1 (改修図)	編尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100
	沖縄科学技術大学院大学学園	A-80



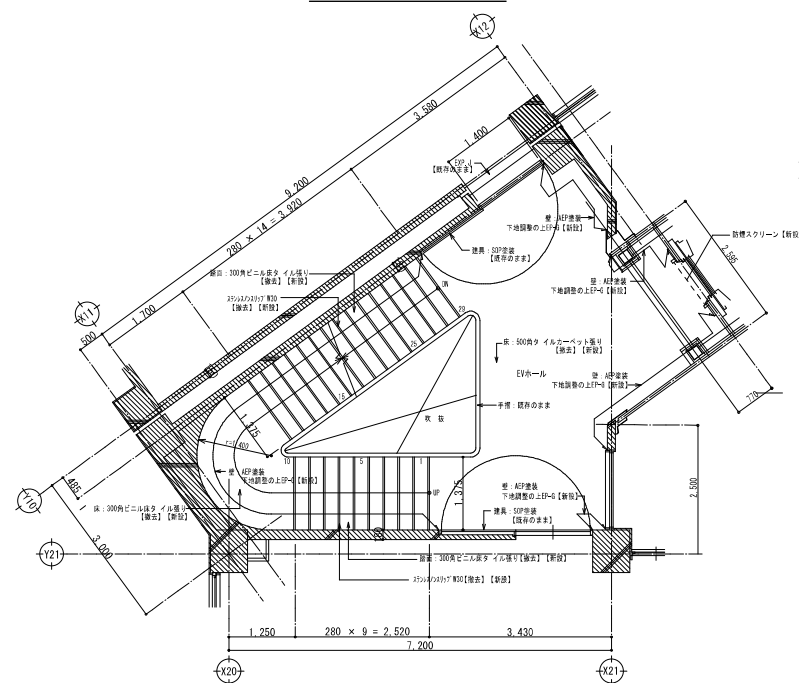
階段詳細図(1階) S=1/50



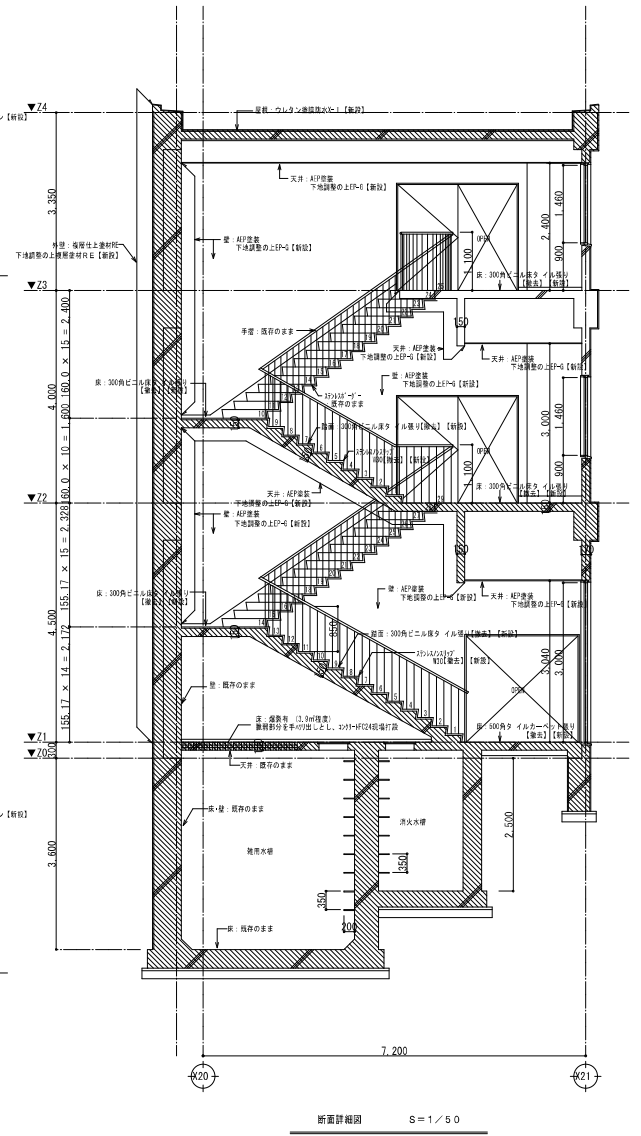
階段詳細図(3階) S=1/50



階段詳細図(地階) S=1/50



階段詳細図(2階) S=1/50



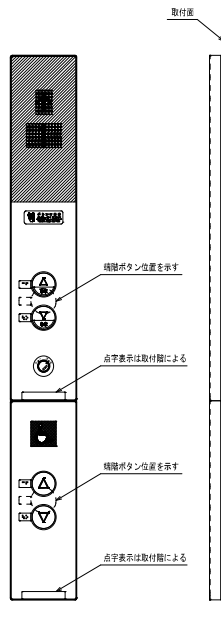
断面詳細図 S=1/50



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇市 1000000

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 立面名 階段詳細図2(改修図) 縮尺 A1: 1/50  
 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園





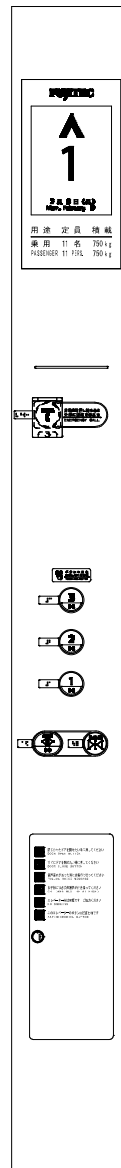
U乗場意匠器具図  
パーキングスイッチは1階に設置

乗場意匠器具（一般用押釦）

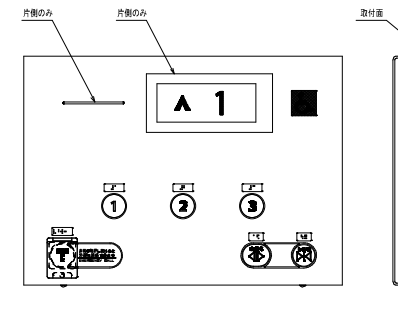
項目	意匠内容
フェースプレート	クリアアクリル製（周囲は樹脂製）、ベースプレート（ステンレスバイブレーション仕上）付
押しボタン	非接触一体型標準ボタン
表示部	デジタル表示

乗場意匠器具（車いす用押釦）

項目	意匠内容
フェースプレート	一般用押釦と一体型
押しボタン	標準ボタン



Uかご一般用操作器図



Uかご車いす用主副操作器図

かご意匠器具（操作盤）

項目	意匠内容
フェースプレート	ステンレスバイブレーション仕上
押しボタン	非接触一体型標準ボタン（非常呼ボタン、閉まるボタンは標準ボタン）
表示部	液晶ディスプレイ

かご意匠器具（車いす用操作盤）

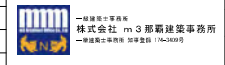
項目	意匠内容
フェースプレート	ステンレスバイブレーション仕上
押しボタン	標準ボタン
表示部	液晶ディスプレイ



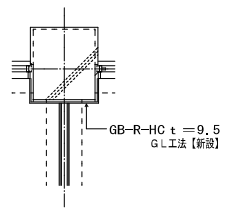
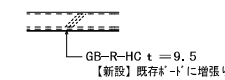
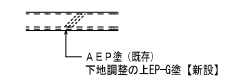
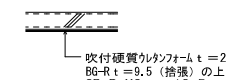
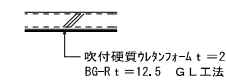
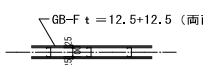
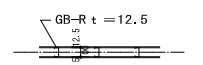
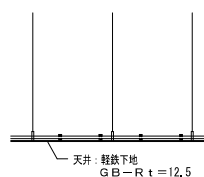
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 那覇市 100-0001









工事名 沖縄科学技術大学院大学サイドハウス改修工事  
図面名 E L V 改修図 (2) 編 尺 A1 : 二  
A3 : 一  
沖縄科学技術大学院大学学園

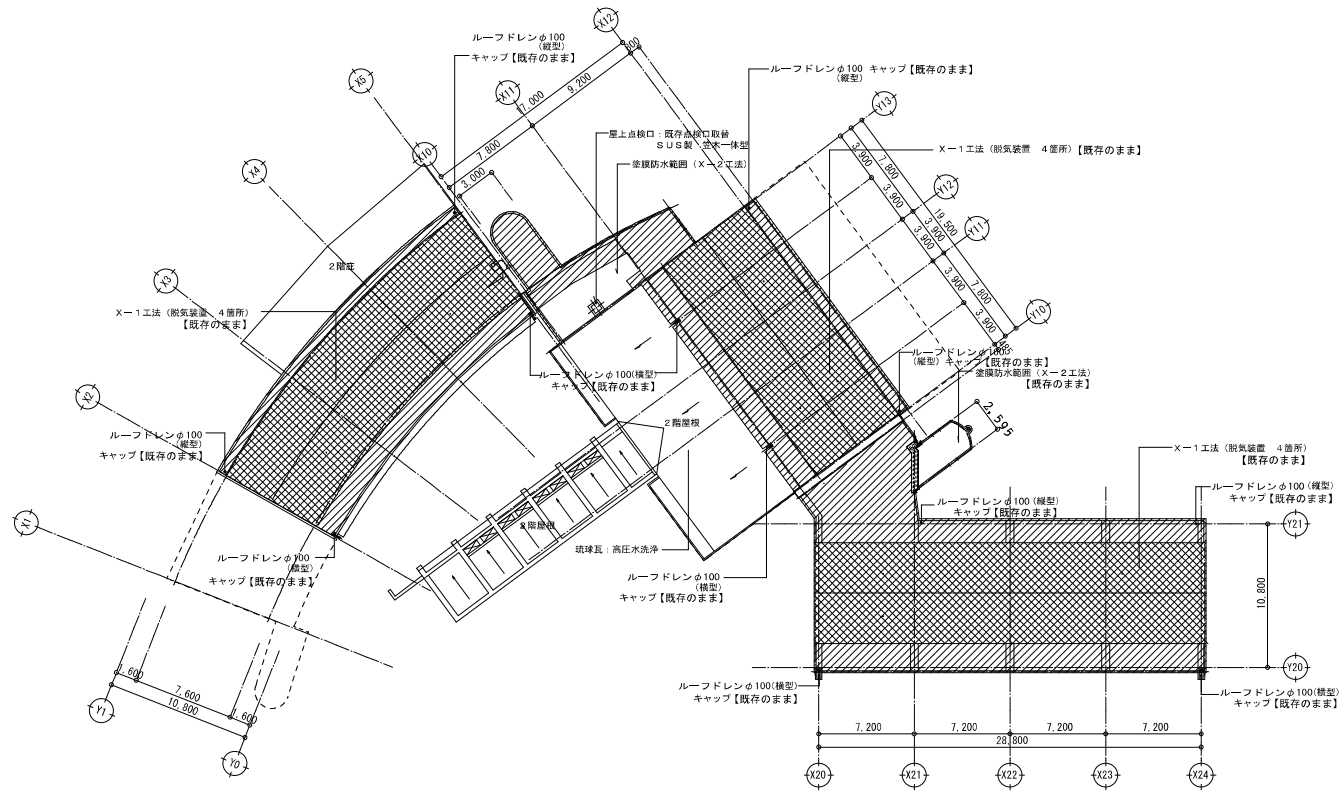
<p>6524LVS 制御盤外形図</p>	<p>6524LVY インバータ盤外形図</p>	<p>6524KRF UCMP 盤外形図</p>	<p>0888GAD 地震感知器 (P, S波) 外形図</p>
---------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------------

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	84
図面名	E L V 改修図 (3)	編 尺 A1 : 20 A3 : 40
	沖縄科学技術大学院大学学園	A-84

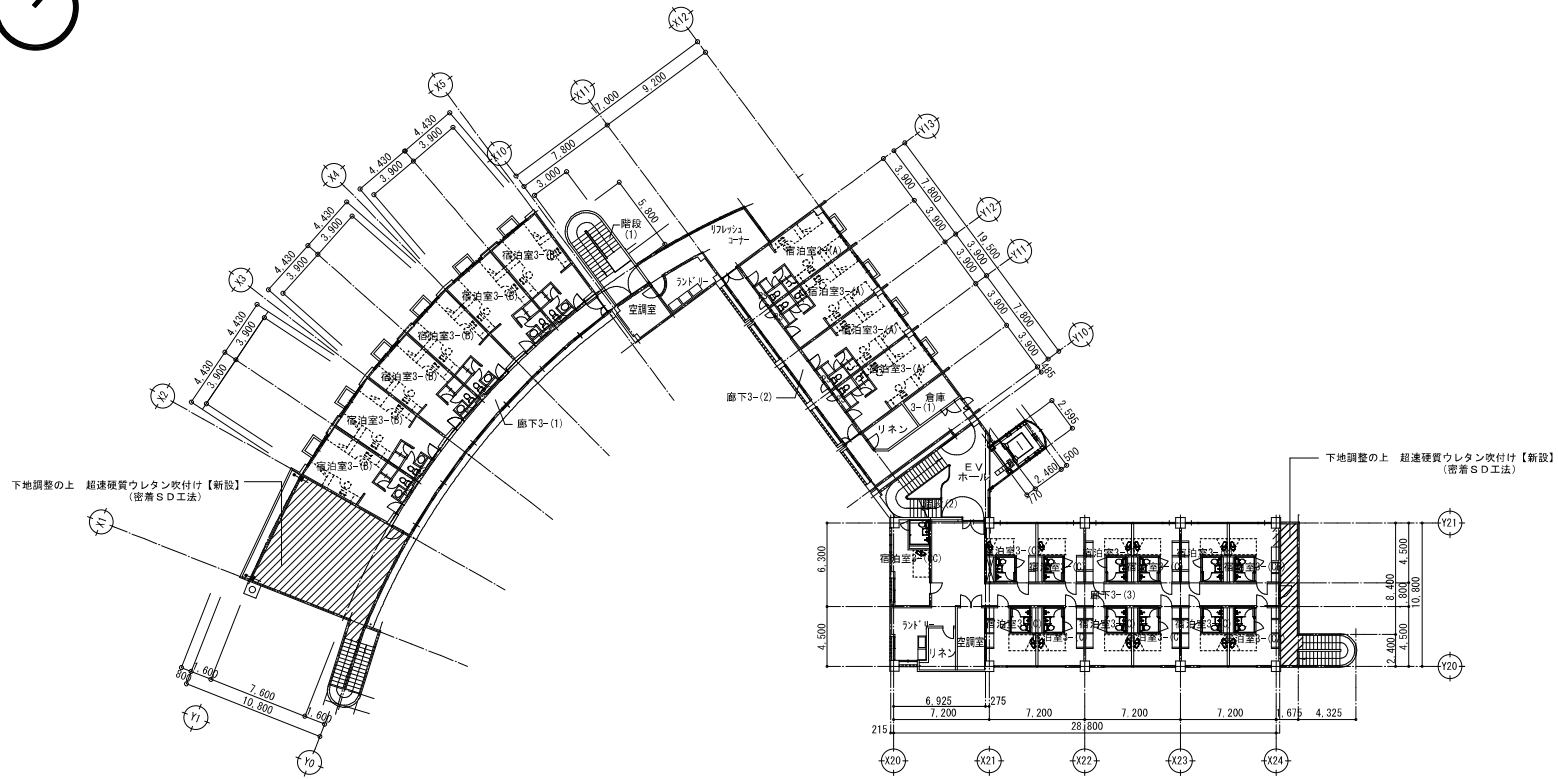
柱廻り 改修仕様	壁廻り 改修仕様 (居室)	壁廻り 改修仕様 (共用部分)	【新設】壁廻り 仕様 (居室)	【新設】壁廻り 仕様 (共用部分)	
 <p>GB-R-HC t = 9.5 G.L.工法【新設】</p>	 <p>GB-R-HC t = 9.5 【新設】既存*-'d'に増張り</p>	 <p>AEP塗 (既存) 下地調整の上EP-G塗【新設】</p>	 <p>吹付硬質ウレタンフォーム t = 25 BG-R t = 9.5 (増張り) の上 GB-R-HC t = 12.5</p>	 <p>吹付硬質ウレタンフォーム t = 25 BG-R t = 12.5 G.L.工法</p>	
<p>軽量鉄骨廻り仕様 壁：(男壁) (廊下)</p> <p>【114条区画】 (上階スラブ下端まで) LGS100+GB-F t = 12.5+12.5 FPO60-NP-0483</p>  <p>GB-F t = 12.5+12.5 (両面)</p>	<p>軽量鉄骨廻り仕様 壁：(その他)</p>  <p>GB-R t = 12.5</p>	<p>軽量鉄骨廻り仕様 天井</p>  <p>天井：軽鉄下地 GB-R t = 12.5</p>			

凡 例	 撤去範囲 (下地共)	 【新設】建具を示す。	 【撤去】建具を示す。	 一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 <small>〒901-8501 沖縄県宜野湾市 1-4-2 (A115)</small>	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 改修仕様リスト 縮尺 A1 : 1/30 A3 : 1/60 沖縄科学技術大学院大学学園	85 A-85
	 撤去範囲 (躯体)	 既存建具【塗替】を示す。				
		 既存建具【既存のまま】を示す。				
		 【撤去】【新設】建具を示す。				






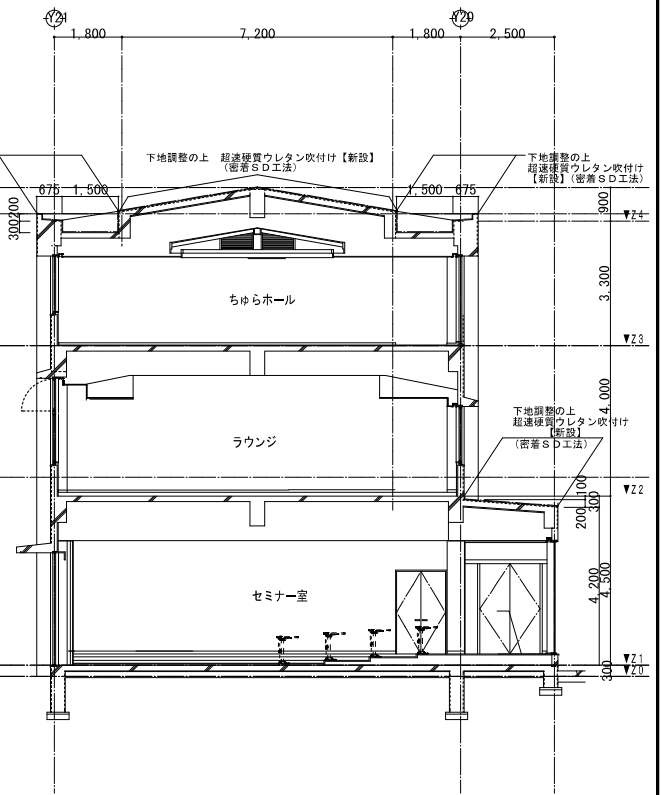
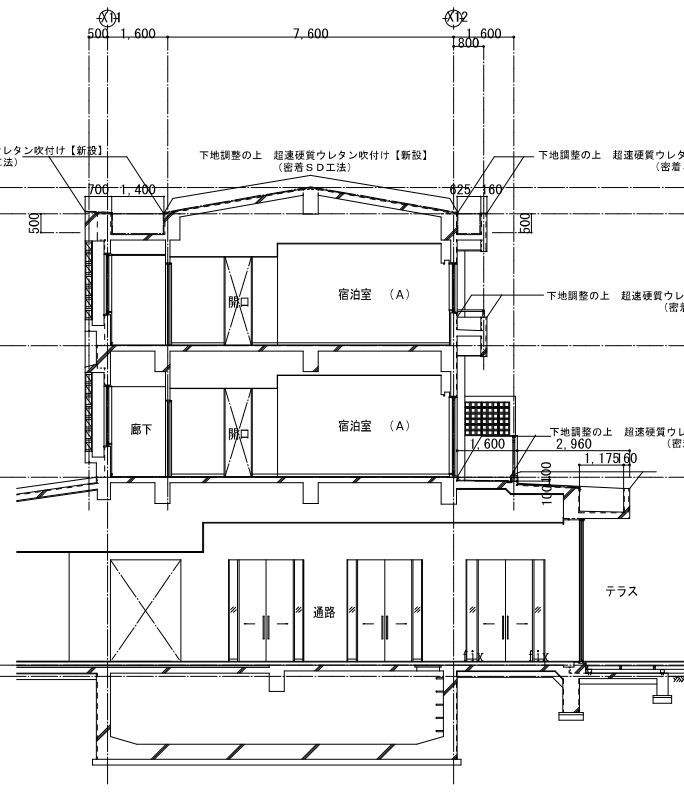
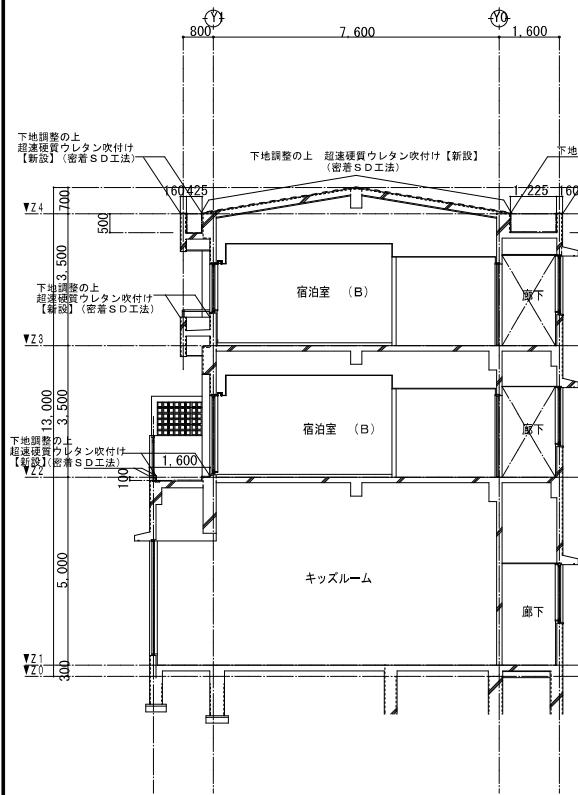
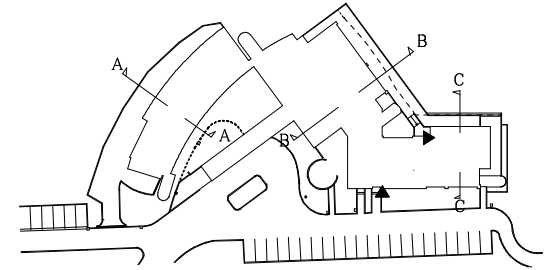
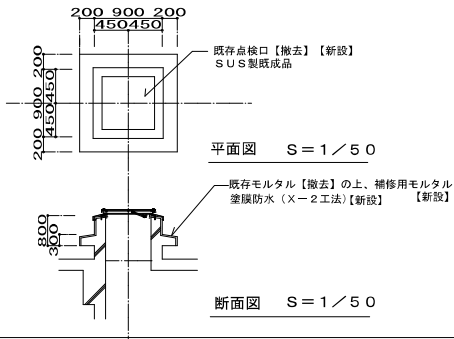




3階平面図 S=1/200

		 一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 〒900-0001 沖縄県那覇市 那覇ビルディング 117-2104	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 【防水改修】3階平面図(改修図) 編尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400 沖縄科学技術大学院大学学園	89 A-89
--	--	---	--	------------

屋上点検口取替 詳細図 S=1/50



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 法人番号 11040010

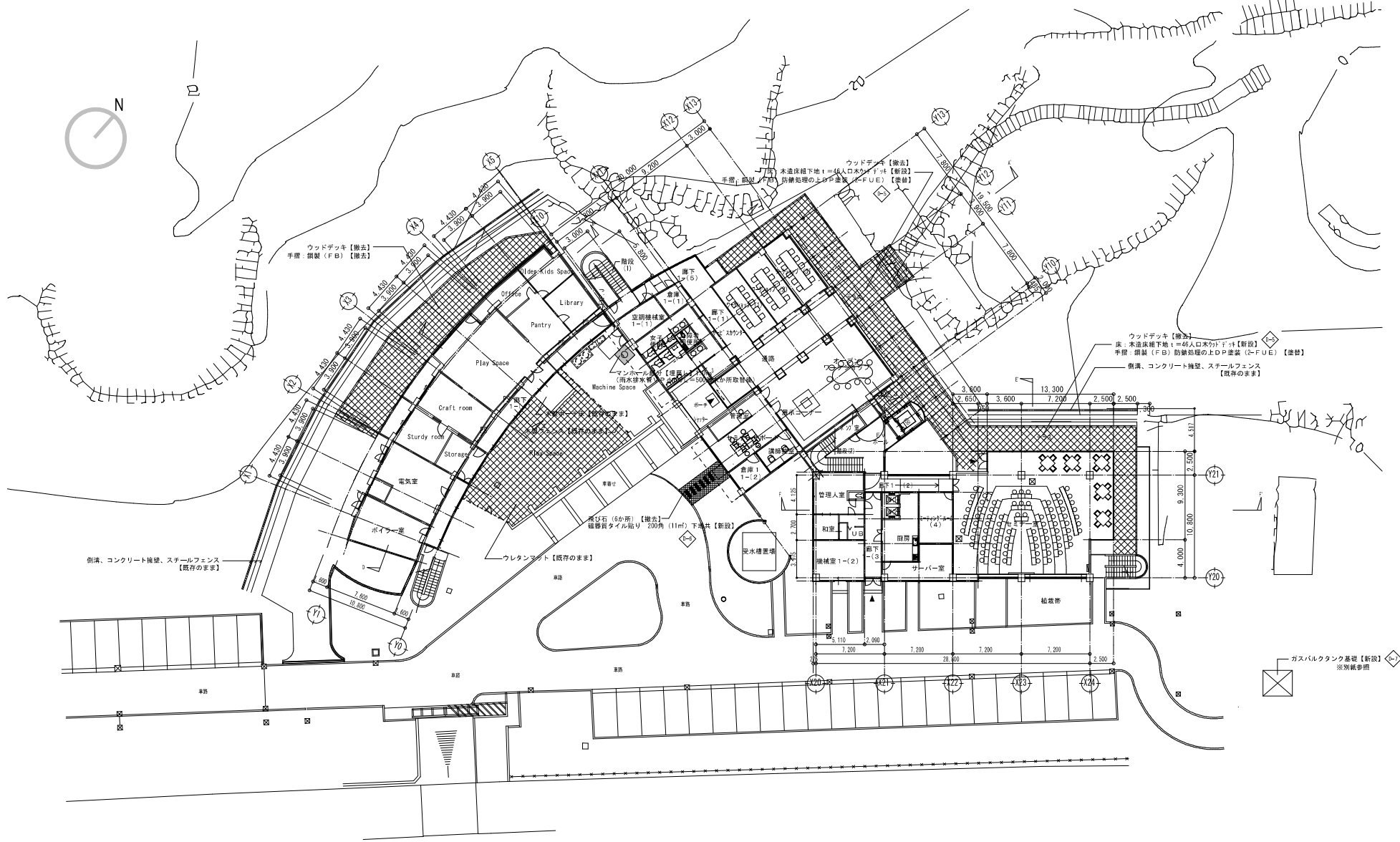
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 【防水改修】A棟B棟C棟断面図(改修図)縮尺 A1: 1/100  
A3: 1/200




沖縄科学技術大学院大学学園

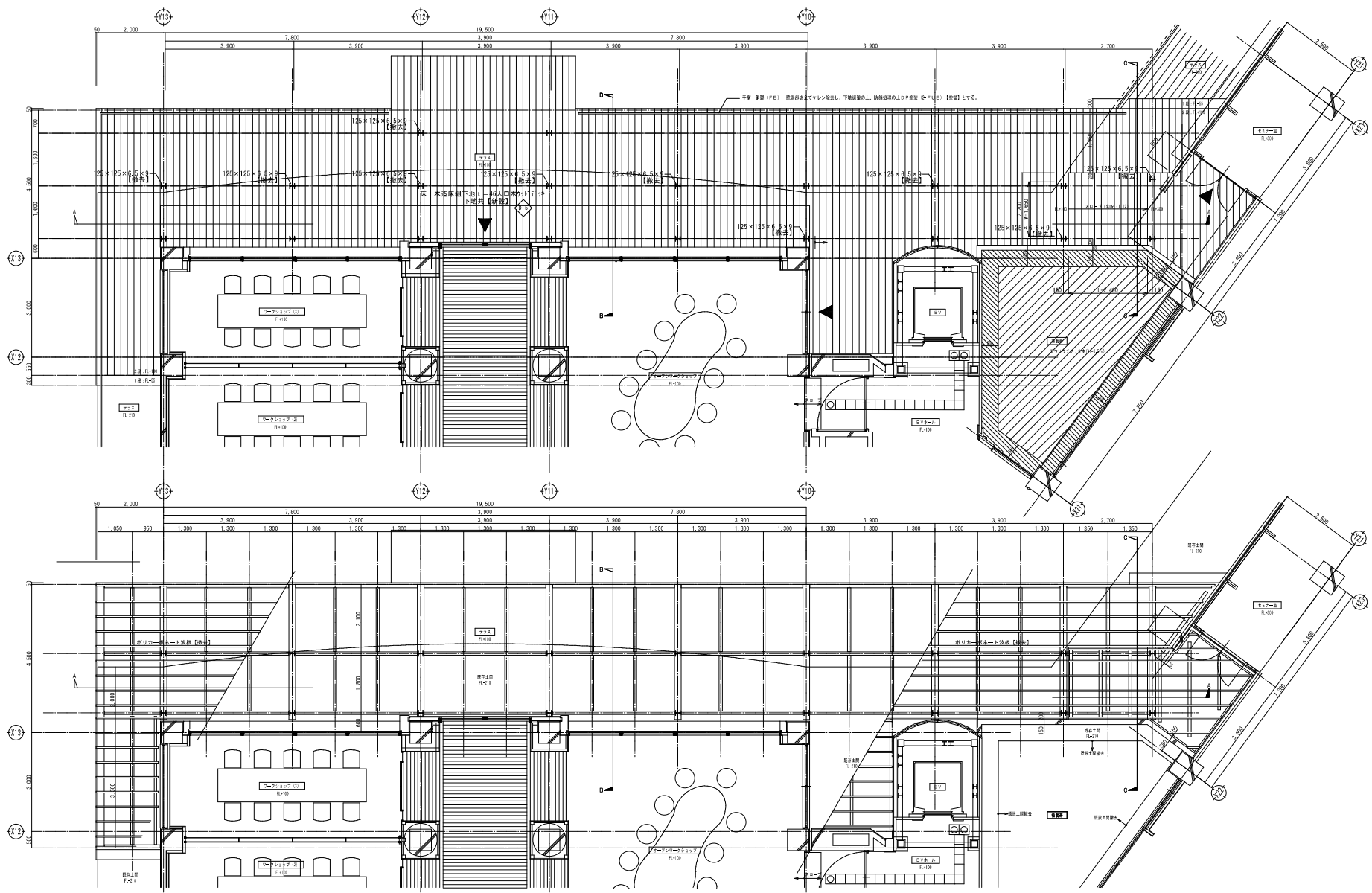
90

A-90



1階平面図 S=1/200

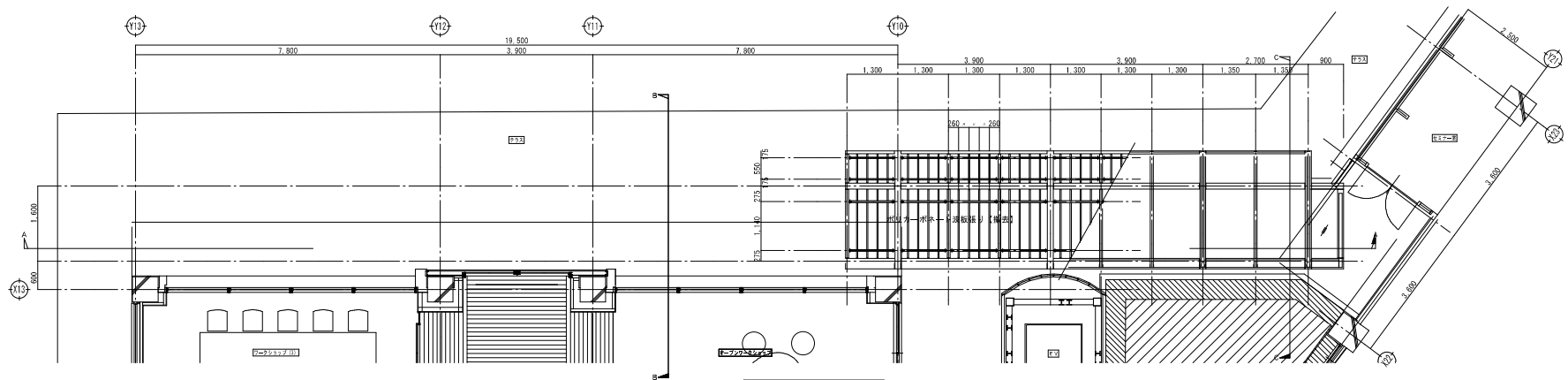
凡例	 撤去範囲 (下地共)		 一級建築士事務所 株式会社 有限会社 三野建設事務所 一級建築士事務所 所在地 岐阜県 136-0434	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 【外構改修】1階平面図(改修図) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	91
	 改修範囲 (マンホール部分)				



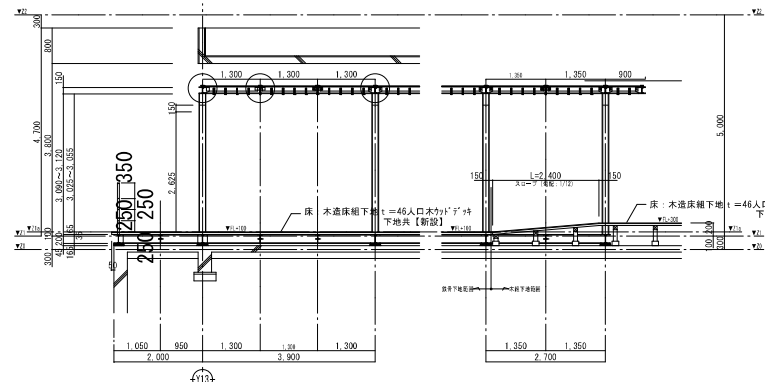
A様C様テラス 平面図 (改修図) S=1/60



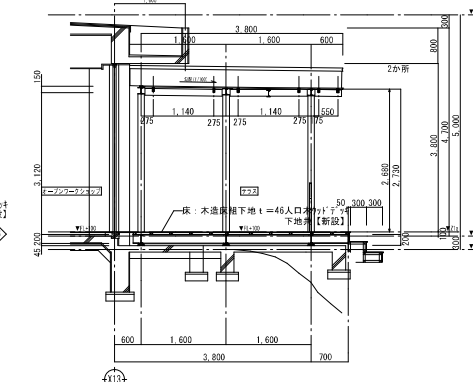
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 【外構改修】B様テラス 同層詳細図1 (改修図) 縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120  
 沖縄科学技術大学院大学



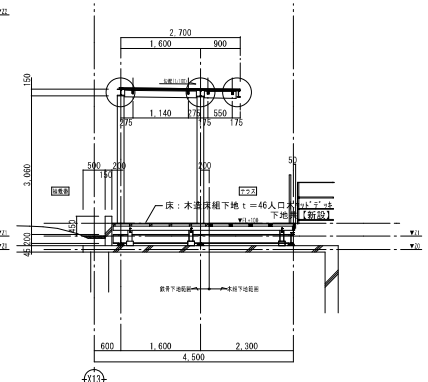
平面詳細図 (バルコニー部分) S=1/60 注: 鋼材(上層)は全て【撤去】とする。



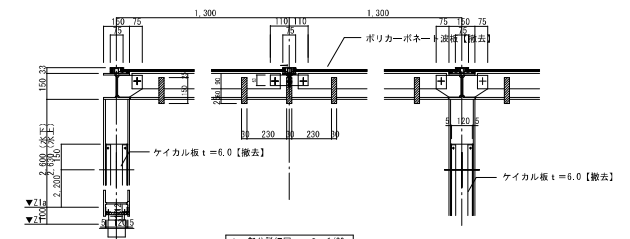
A-断面詳細図 S=1/60 注: 鋼材(上層)は全て【撤去】とする。



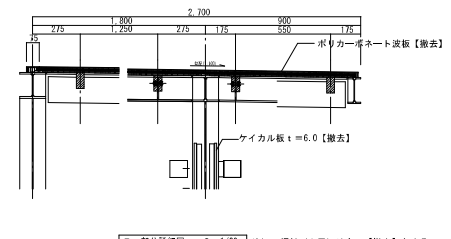
B-断面詳細図 S=1/60 注: 鋼材(上層)は全て【撤去】とする。



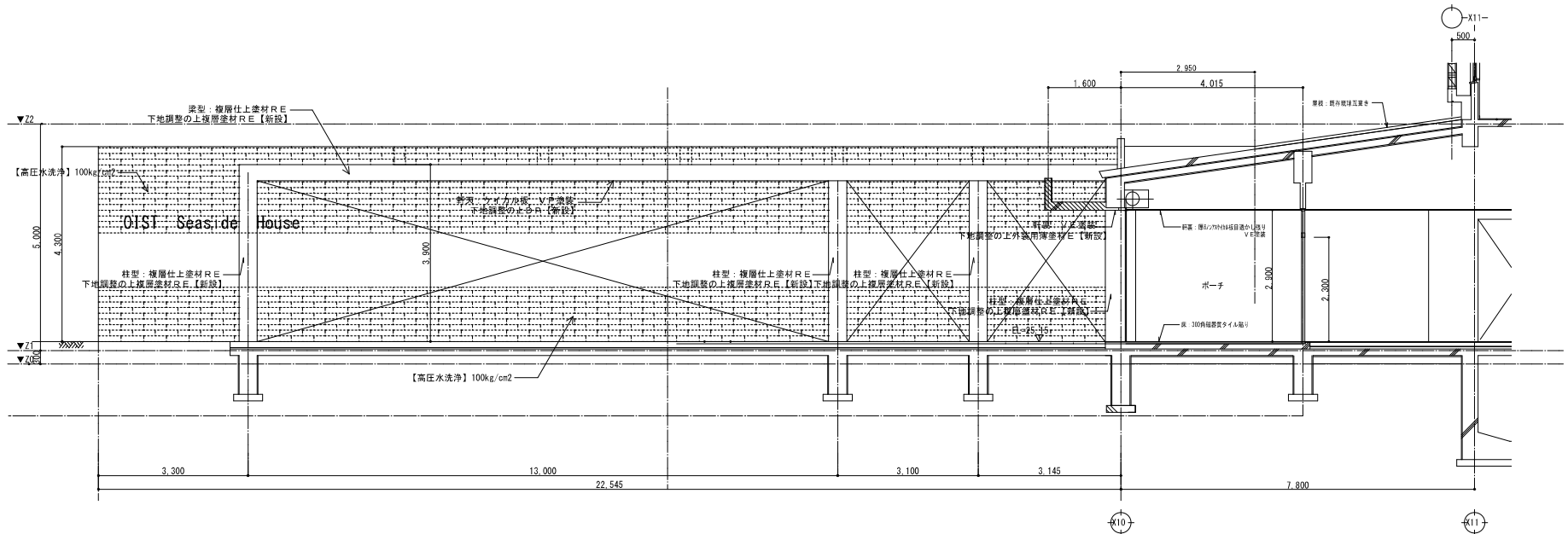
C-断面詳細図 S=1/60 注: 鋼材(上層)は全て【撤去】とする。



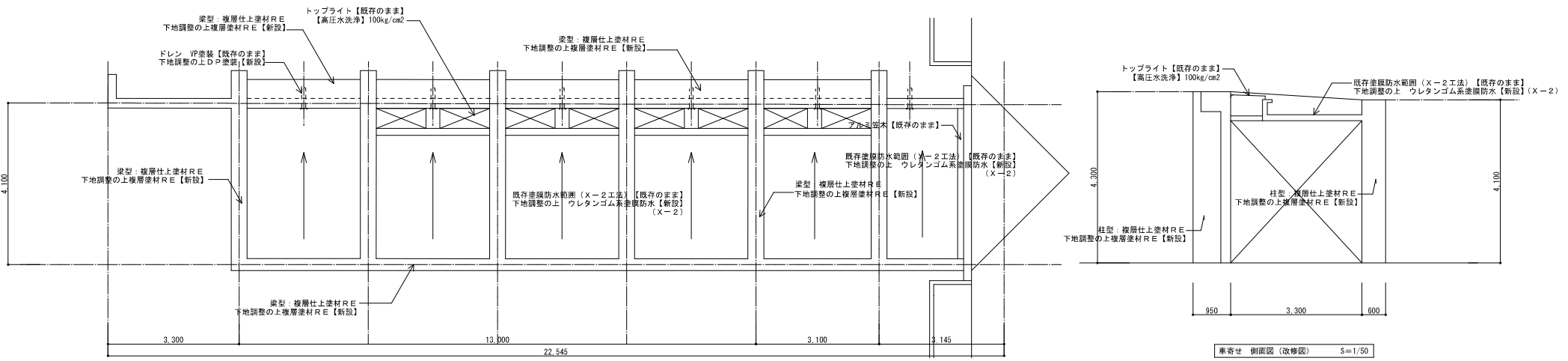
A-部分詳細図 S=1/20 注: 鋼材(上層)は全て【撤去】とする。



B-部分詳細図 S=1/20 注: 鋼材(上層)は全て【撤去】とする。



車寄せ 正面図 (改修図) S=1/50



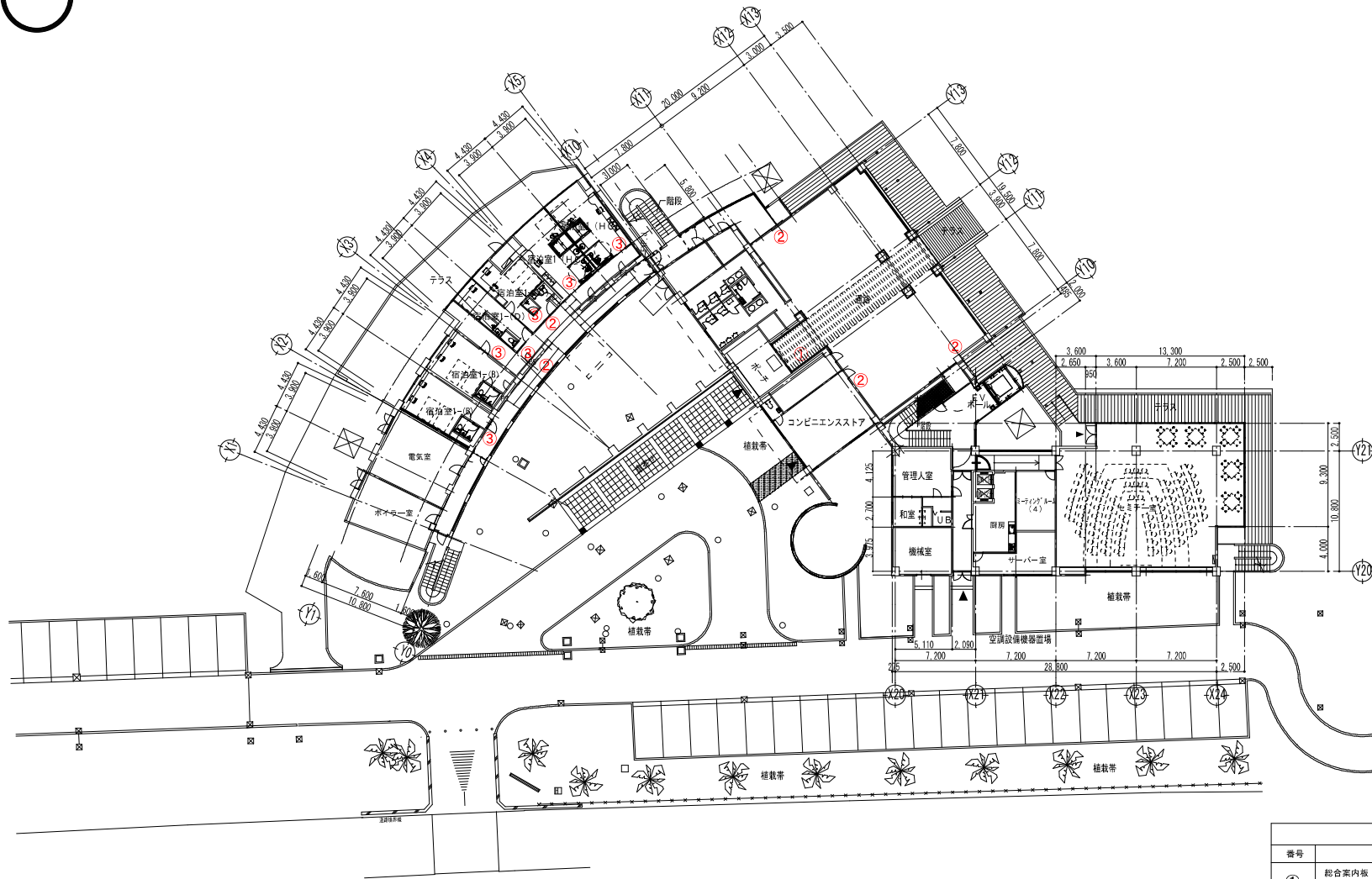
車寄せ 側面図 (改修図) S=1/50

車寄せ 平面図 (改修図) S=1/50



株式会社 m3 那覇建築事務所  
 〒901-8501 沖縄県那覇市旭町1-1-1  
 TEL: 098-933-1111

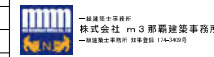
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 【外構改修】車寄せ詳細図 (改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	94 A-94
--	------------



1階平面図 S=1/200

サインリスト		
番号	仕様	個数
①	総合案内板 8-42-1	1
	アクリル板、シルク印刷 (900×600)	
②	案内板 8-42-3	5
	アクリル板、シルク印刷 (300×600)	
③	案内札 8-43-3	6
	アクリル板、シルク印刷 (300×600)	

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事



調画面名 【サイン改修】1階平面図 (改修図) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400

95

沖縄科学技術大学院大学学園

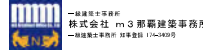
A-95



2階平面図 S=1/200

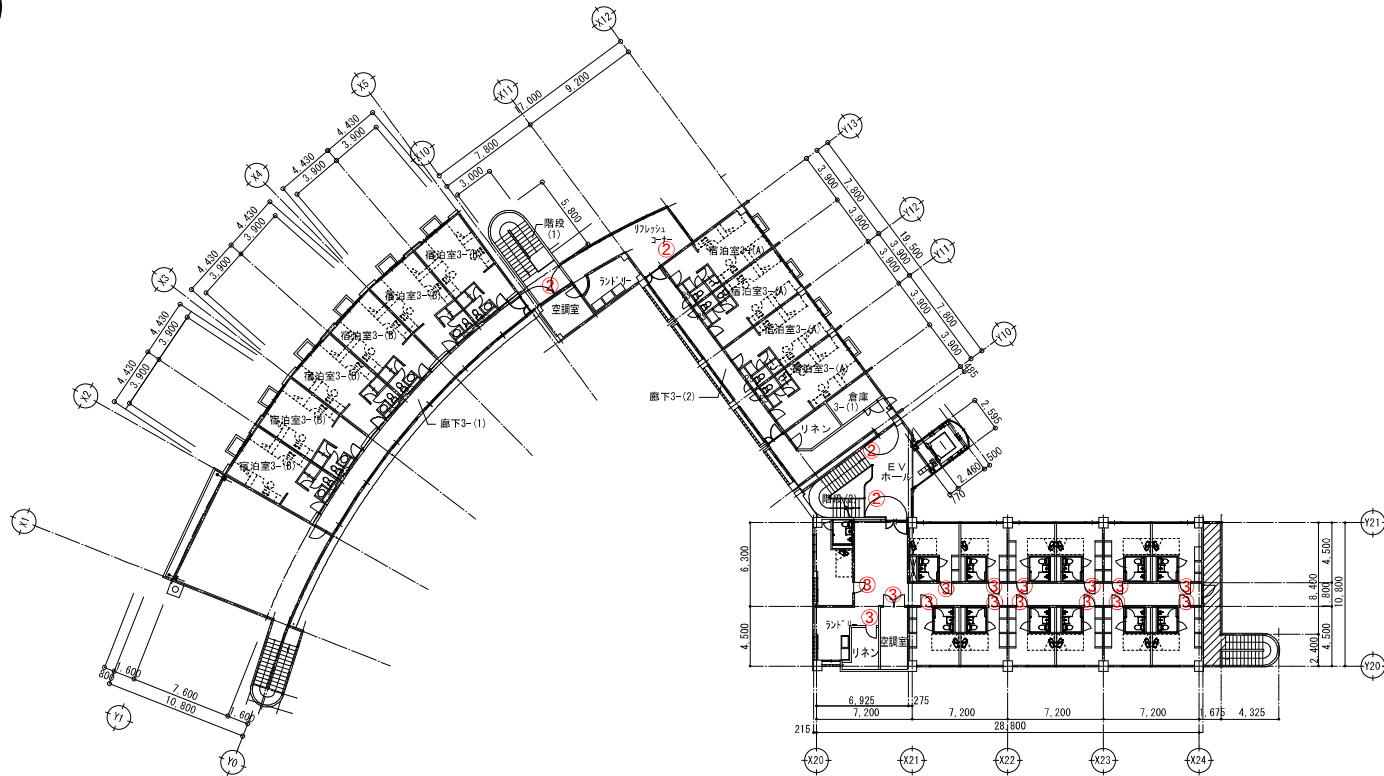
サインリスト		
番号	仕様	個数
②	案内板 8-42-3	4
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	
③	室札 8-43-3	15
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事



図面名 【サイン改修】2階平面図 (改修図) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400

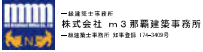
沖縄科学技術大学院大学学園



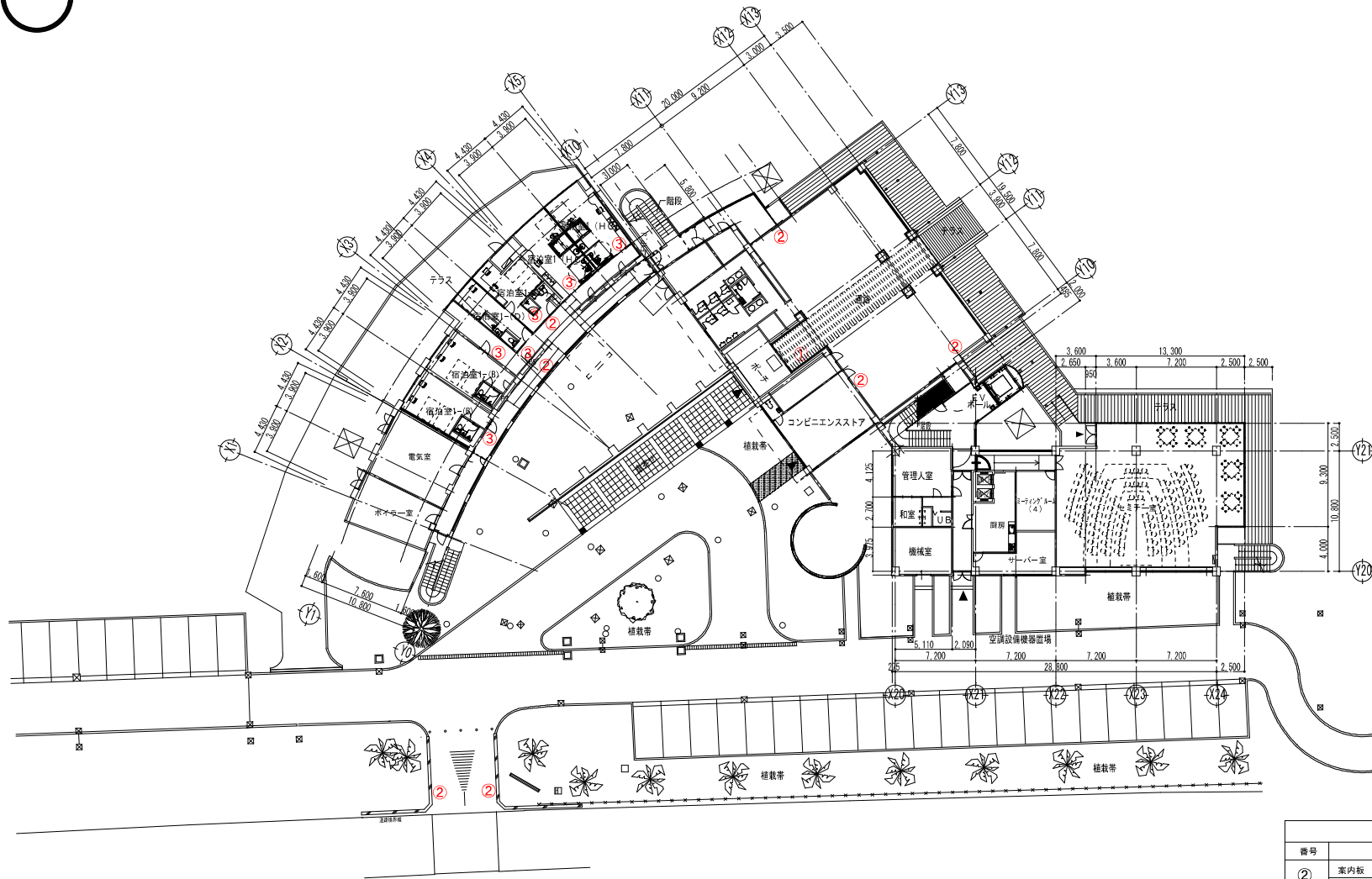
3階平面図 S=1/200

サインリスト		
番号	仕様	個数
②	案内板 B-42-3	4
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	
③	室名札 B-43-3	15
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	97
図面名	【サイン改修】3階平面図 (改修図) 縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400	A-97
作成者	沖繩科学技術大学院大学学園	

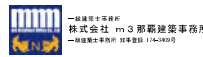


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
〒901-8302 沖縄県那覇市那覇1-1-1



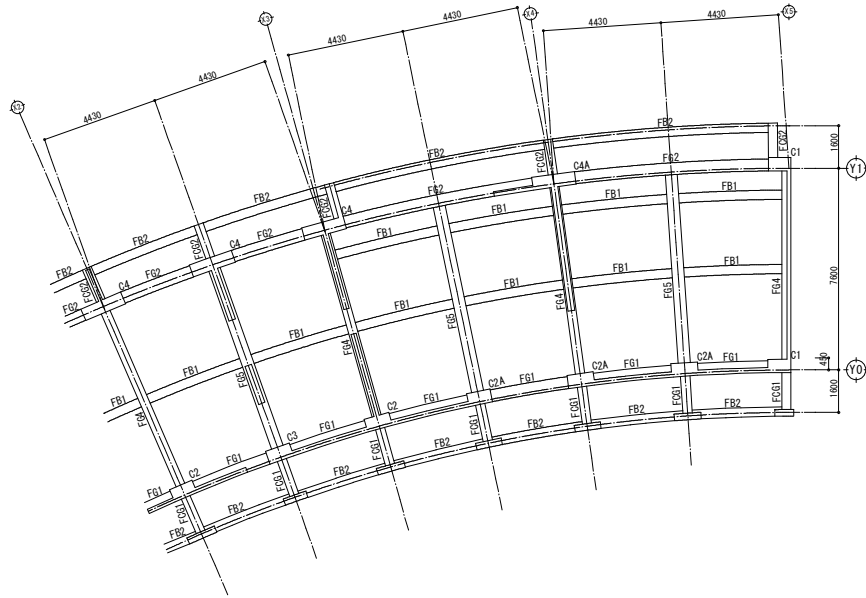
1階平面図 S=1/200

サインリスト		
番号	仕様	個数
②	案内板 8-42-3 亚克力板、シルク印刷 (300×600)	2

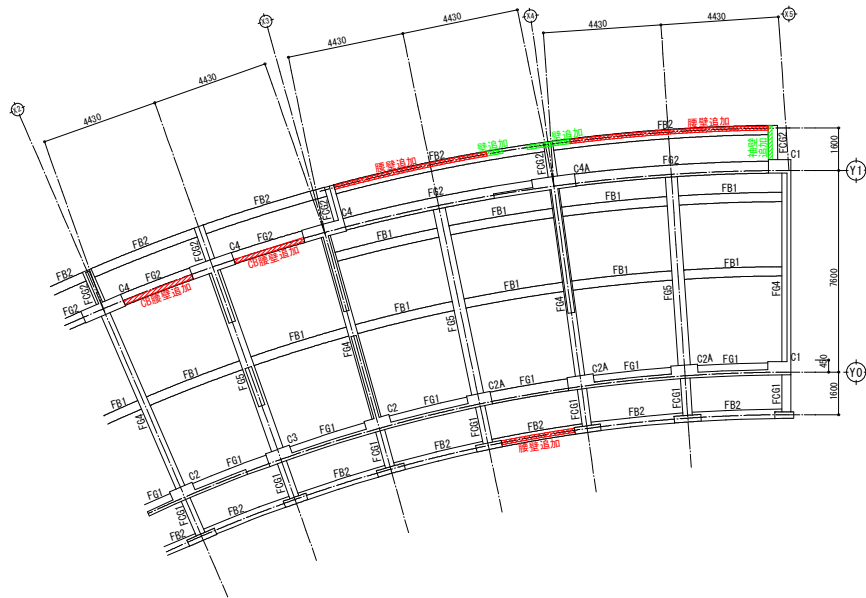



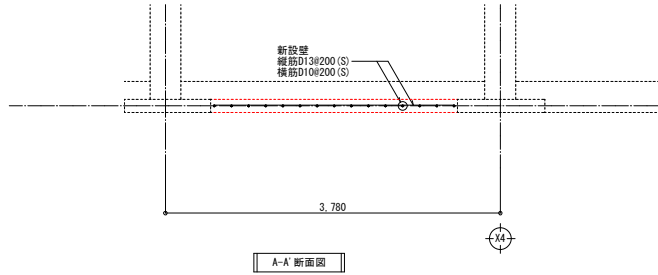
工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	98
図面名	【サイン改修】屋外平面図 (改修図) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	A-98

既存

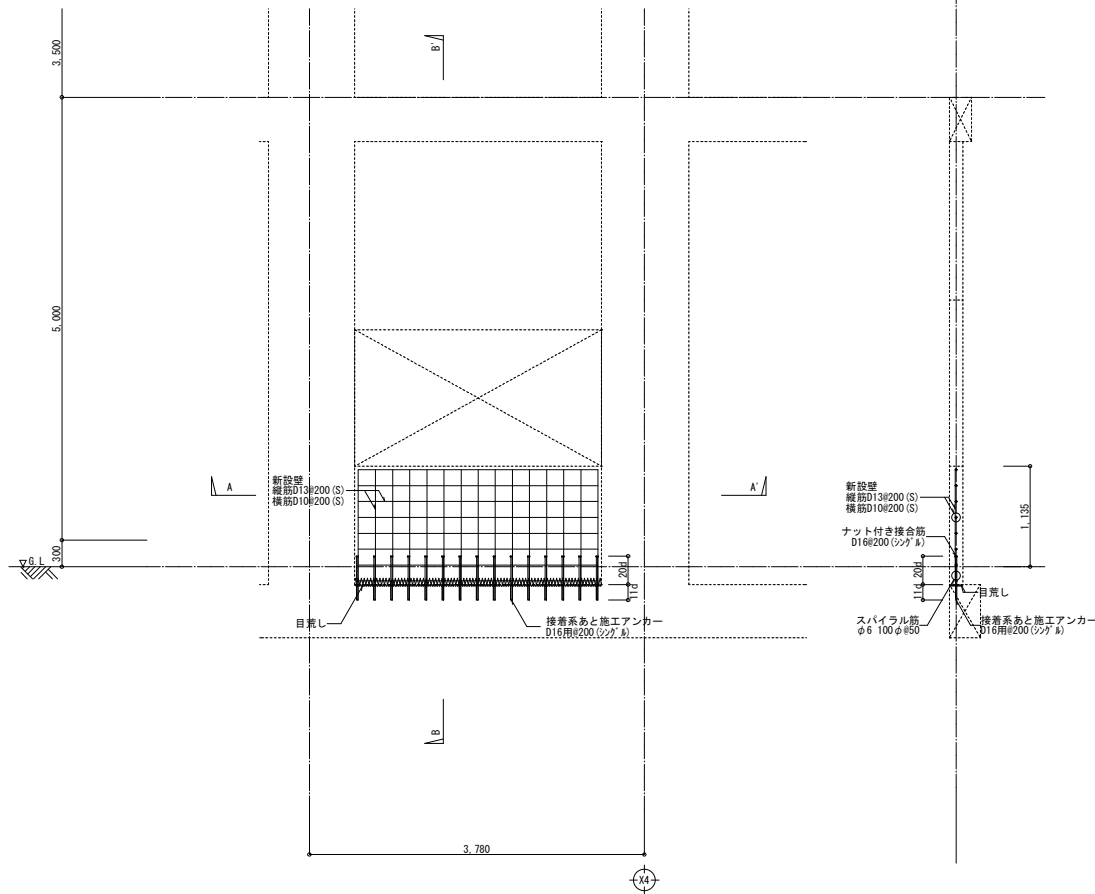


改修





A-A 断面図



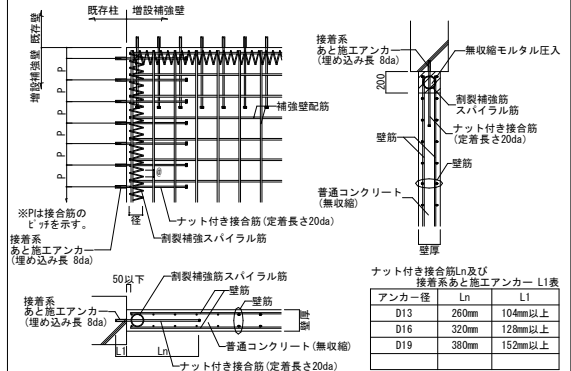
Y0-1.600通り増設壁詳細図(改修) 1/30

B-B 断面図

一般仕様(鉄筋コンクリート補強)

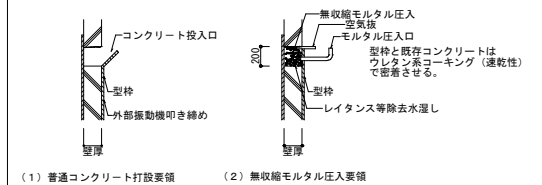
1. 特記なき構造詳細は(財)日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針 同解説」(2001年改訂版)による。
2. 使用鉄筋  
D6~D16: S295A (JIS規格品)  
D19以上: S345 (JIS規格品)
3. 使用コンクリート設計基準強度  
F<sub>c</sub>=24N/mm<sup>2</sup> (普通コンクリート) スラブ: 15cm
4. (無収縮)モルタル設計基準強度  
F<sub>m</sub>=30N/mm<sup>2</sup> 以上
5. あと施工アンカー(接着系)アンカー  
本体: 3メーカーにより素材強度が確保されたもの
6. 注意事項  
1) スパイラル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。  
2) 増設部材と既存コンクリート躯体と接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に十分な水濡しを行う。  
3) コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。  
4) 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。  
5) コンクリートの強度発現期間内は十分な湿潤状態を発生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。  
6) グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。  
7) 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。

補強壁配筋納まり標準図



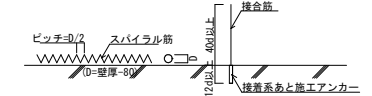
コンクリート及びモルタル圧入要領図

※(1)による普通コンクリート施工後、(2)により無収縮モルタルを圧入する



(1) 普通コンクリート打設要領 (2) 無収縮モルタル圧入要領

開口補強部



一級建築士事務所  
株式会社 三 野 建築事務所  
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

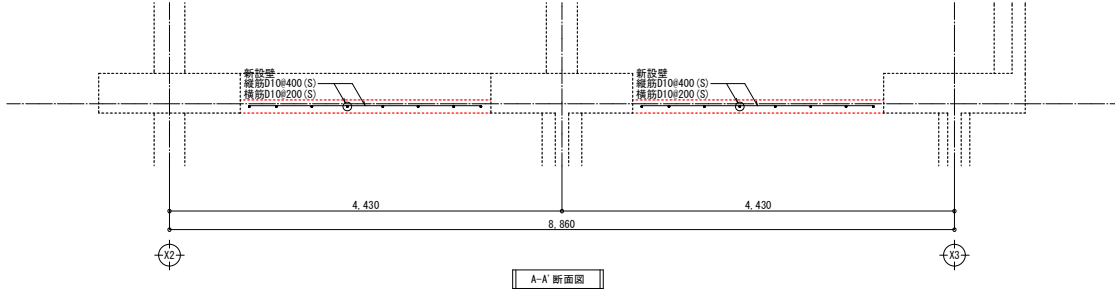
沖縄科学技術大学院大学サイドハウス改修事業設計その他業務

A棟 Y0-1.600通り増設壁詳細図

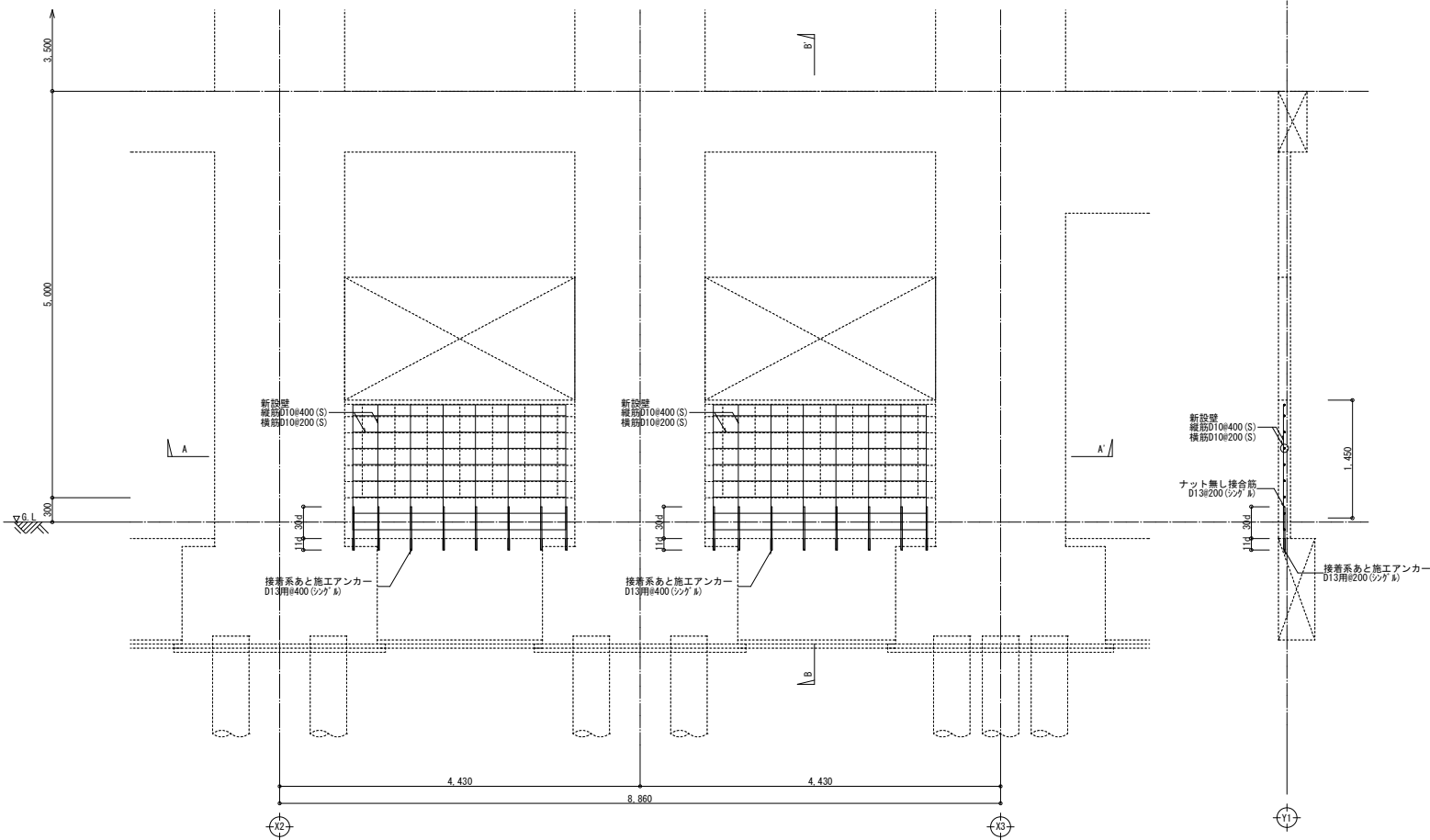
A1:1/30  
A3:1/60

100

S-02



A-A' 断面図

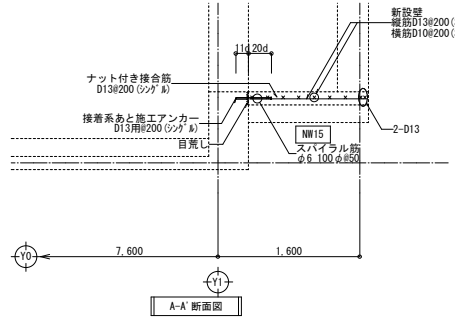


Y1通りコンクリートブロック壁増設詳細図(改修) 1/30

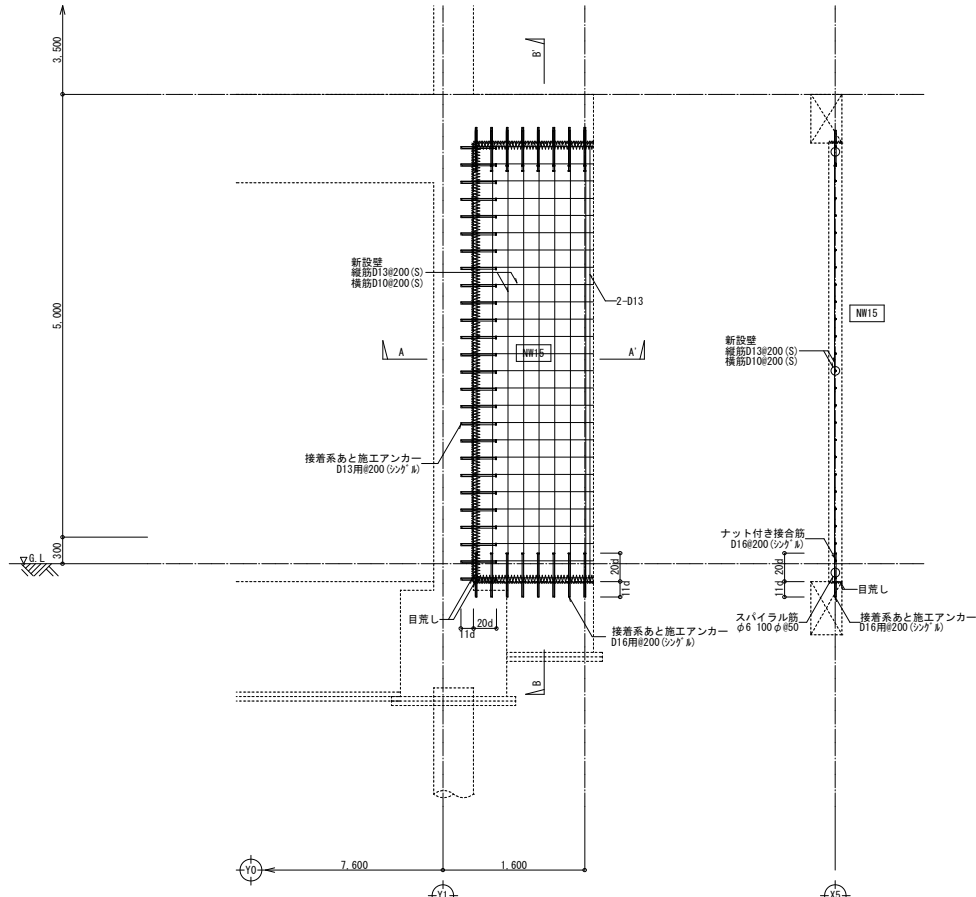
B-B' 断面図

一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)

1. 特記なき構造詳細は (財) 日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート建造物の耐震改修設計指針 同解説」(2001年改訂版)による。
2. 使用鉄筋  
D6~D16: S295A (JIS規格品)  
D19以上: S3345 (JIS規格品)
3. (無収縮)モルタル設計基準強度  
Fm=30N/mm<sup>2</sup>以上
4. あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体: メーカーにより素材強度が補償されたもの
5. 注意事項  
1) スパイラル筋や壁筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。  
2) 増設部材と既存コンクリート躯体と接合面については既存コンクリート躯体面を目標とし、コンクリート打設前に十分な水湿を行う。  
3) コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。  
4) 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。  
5) コンクリートの強度発現期間内には十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。  
6) グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート建造物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。  
7) 耐震補強架橋増設後、防水層を一時撤去する場合は、架橋増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。



A-A' 断面図



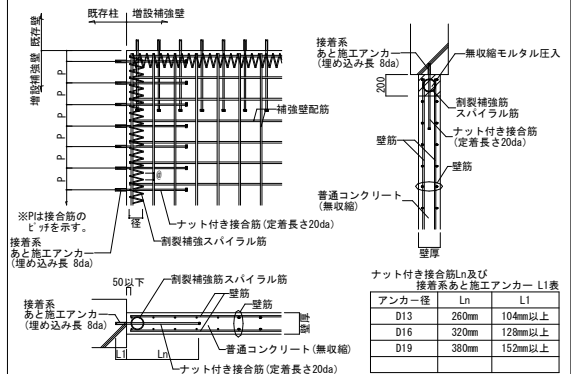
X5通り増設袖壁詳細図 (改修) 1/30

B-B' 断面図

一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)

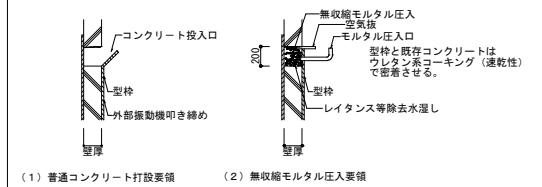
1. 特記なき構造詳細は (財) 日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針 同解説」(2001年改訂版)による。
2. 使用鉄筋  
D6~D16: S2255A (JIS規格品)  
D19以上: S3345 (JIS規格品)
3. 使用コンクリート設計基準強度  
F<sub>c</sub>=24N/mm<sup>2</sup> (普通コンクリート) スランプ: 15cm
4. (無収縮)モルタル設計基準強度  
F<sub>m</sub>=30N/mm<sup>2</sup>以上
5. あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体: スーカーにより素材強度が補償されたもの
6. 注意事項  
1) スライラル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を測定し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。  
2) 増設部材と既存コンクリート躯体と接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。  
3) コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。  
4) 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。  
5) コンクリートの強度発現期間内には十分な湿潤状態を発生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。  
6) グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。  
7) 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。

補強壁配筋納まり標準図



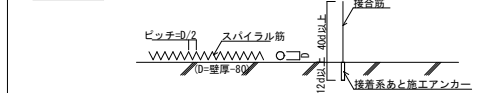
コンクリート及びモルタル圧入要領図

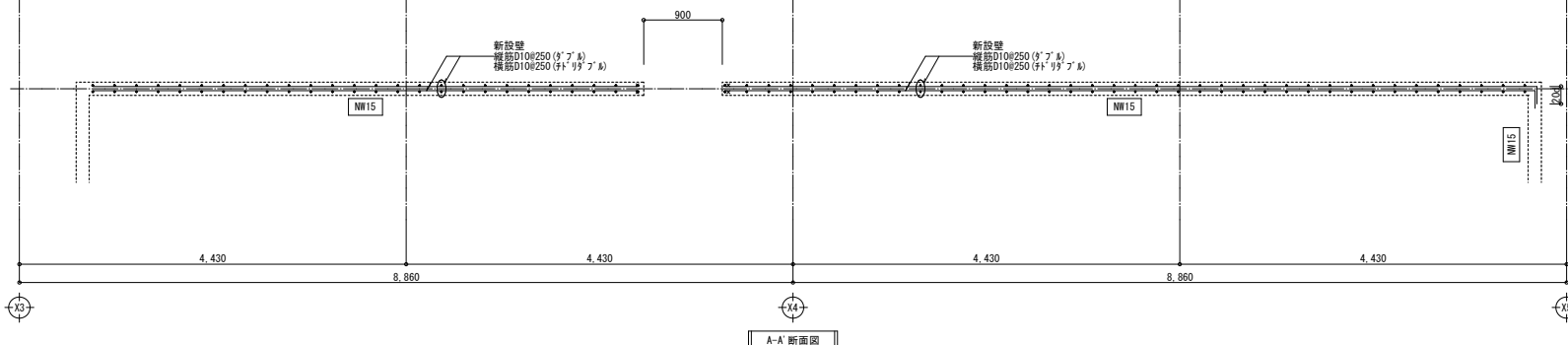
※ (1)による普通コンクリート施工後、(2)により無収縮モルタルを圧入する



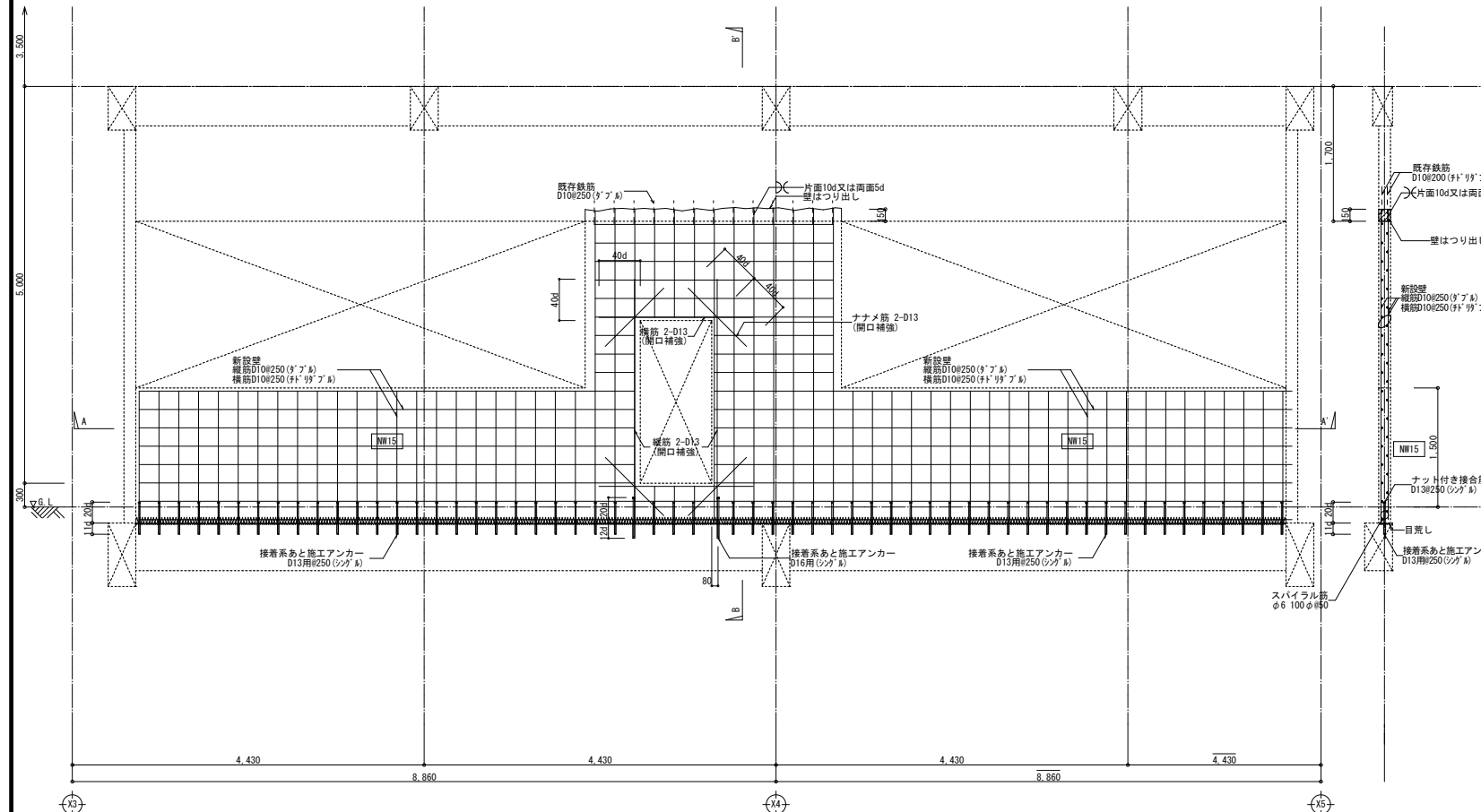
(1) 普通コンクリート打設要領 (2) 無収縮モルタル圧入要領

開口補強部

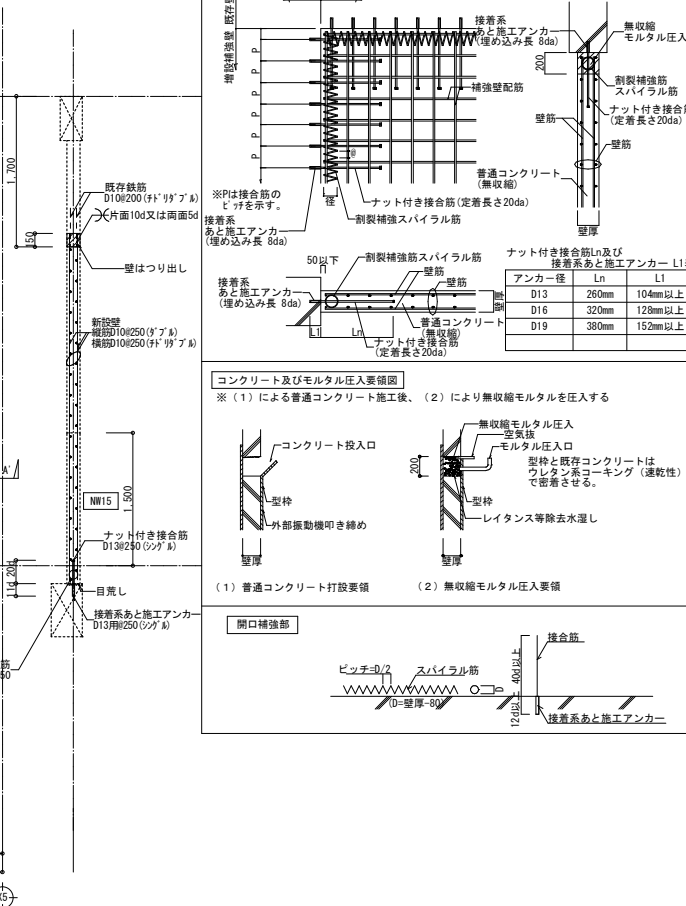




A-A 断面図

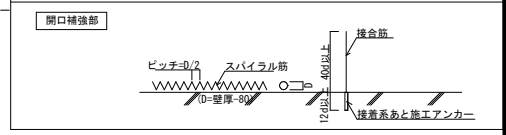
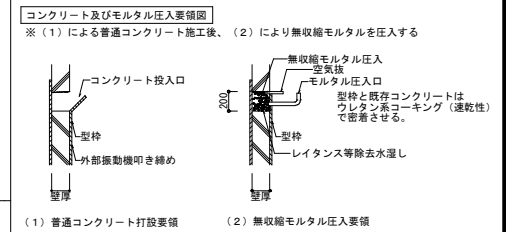
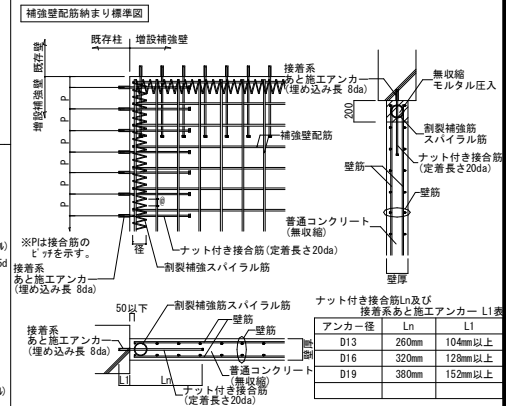


Y1+1.600通り増設壁詳細図(改修) 1/30



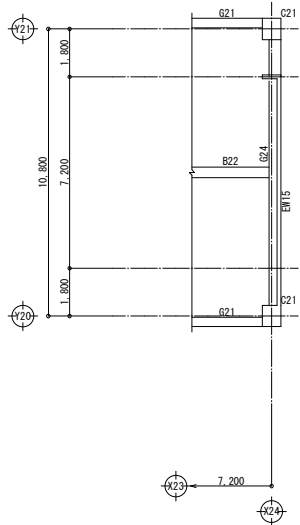
B-B' 断面図

- 一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)
- 特記なき構造詳細は (財) 日本防犯協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針 同解説」(2001年改訂版)による。
  - 使用鉄筋  
D6~D16: SD295A (JIS規格品)  
D19以上: SD345 (JIS規格品)
  - 使用コンクリート設計基準強度  
 $F_c=24\text{N}/\text{mm}^2$  (普通コンクリート) スランプ: 15cm
  - (無収縮)モルタル設計基準強度  
 $F_m=30\text{N}/\text{mm}^2$  以上
  - あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体: メーカーにより素材強度が補償されたもの
  - 注意事項  
1) スライラル筋や壁筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を測定し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。  
2) 増設部材と既存コンクリート躯体と接合面については既存コンクリート躯体面を直荒しとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。  
3) コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。  
4) 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。  
5) コンクリートの強度発現期間内は十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。  
6) グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。  
7) 新設補強壁増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。



2階柱壁・3階梁床伏図 (既存) S=1/100

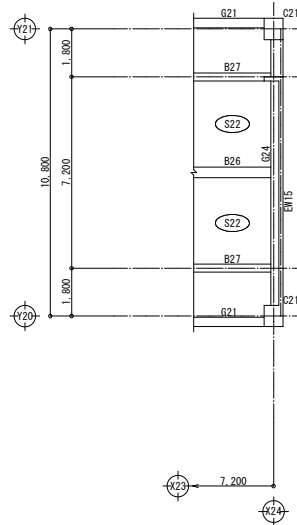
既存



2階柱壁3階梁床伏図 (既存)

3階柱壁・R階梁床伏図 (既存) S=1/100

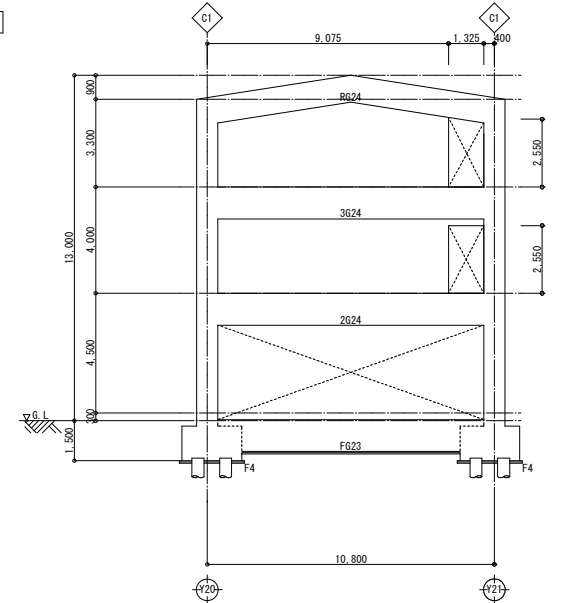
既存



3階柱壁R階梁床伏図 (既存)

X24通軸組図 (既存) S=1/100

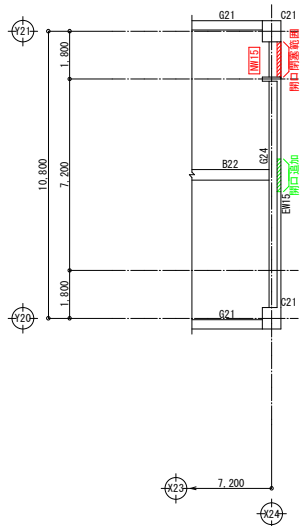
既存



X24通軸組図 (既存)

2階柱壁・3階梁床伏図 (改修) S=1/100

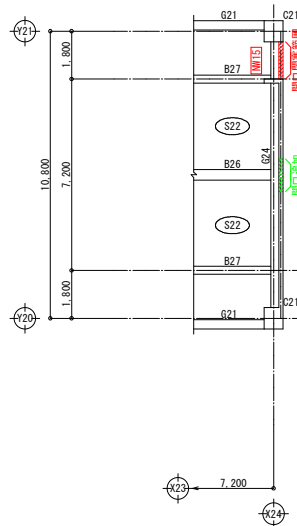
改修



2階柱壁3階梁床伏図 (改修)

3階柱壁・R階梁床伏図 (改修) S=1/100

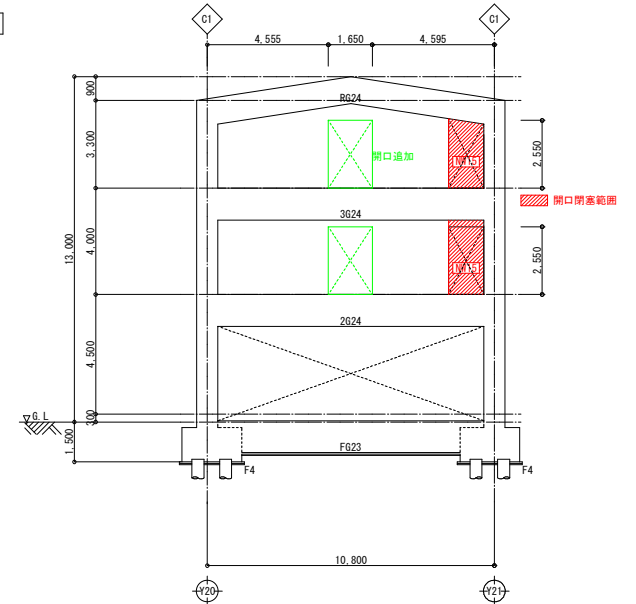
改修



3階柱壁R階梁床伏図 (改修)

X24通軸組図 (改修) S=1/100

改修



X24通軸組図 (改修)

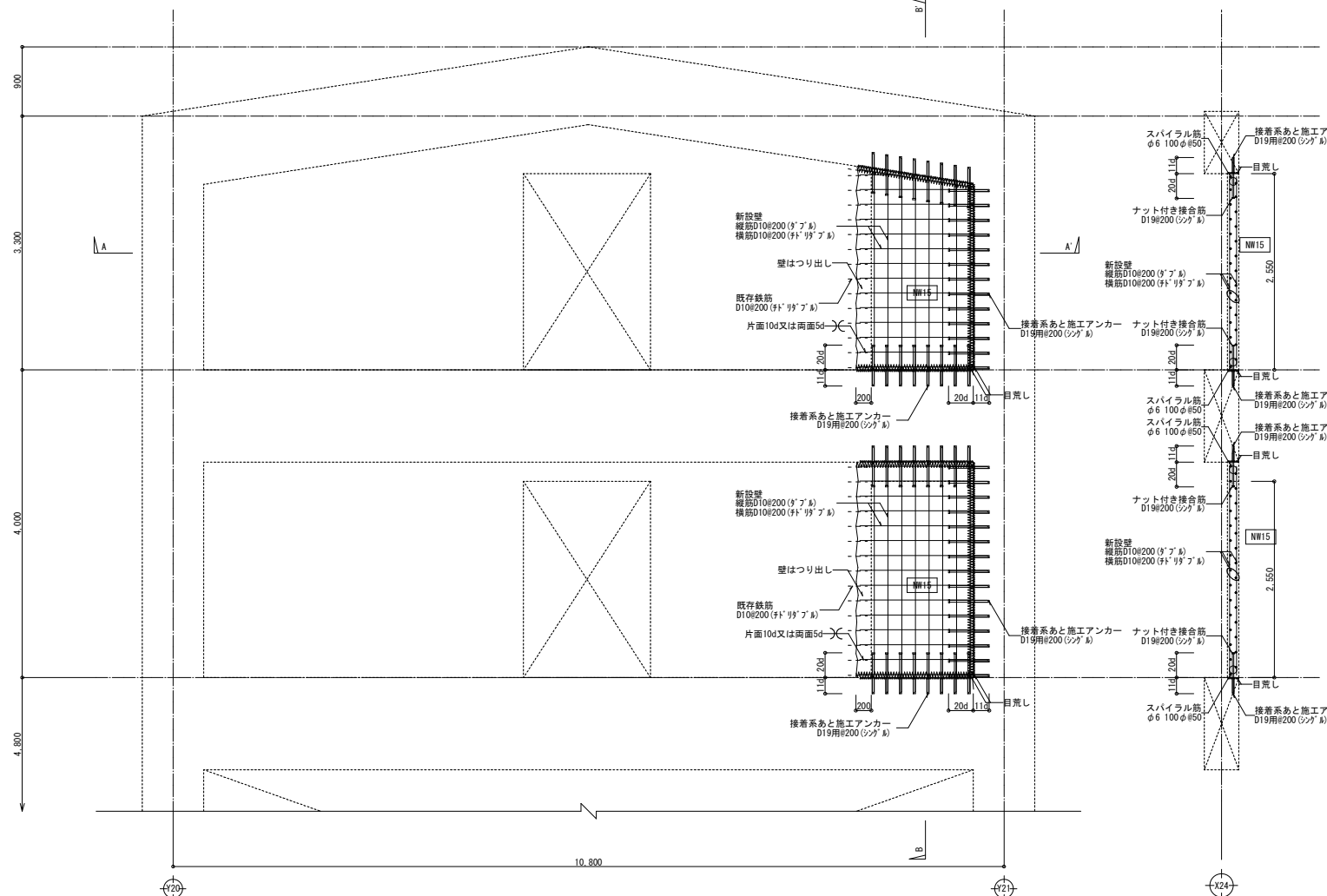


一級建築士事務所  
株式会社 有限 3 郡 建築事務所  
〒900-0001 石川市 1-1-1

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修事業設計その他業務  
C棟 3階柱壁・R階梁床伏図 (既存・改修) A1:1/100  
X24通軸組図 (既存・改修) A3:1/200



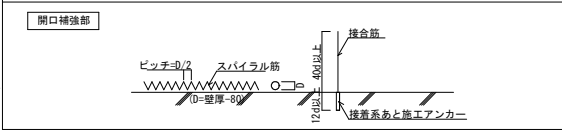
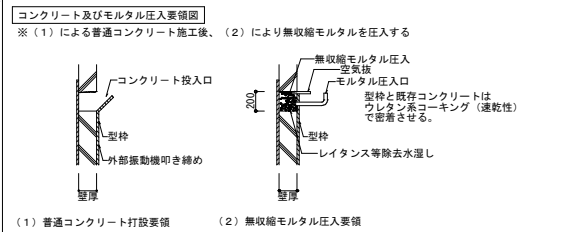
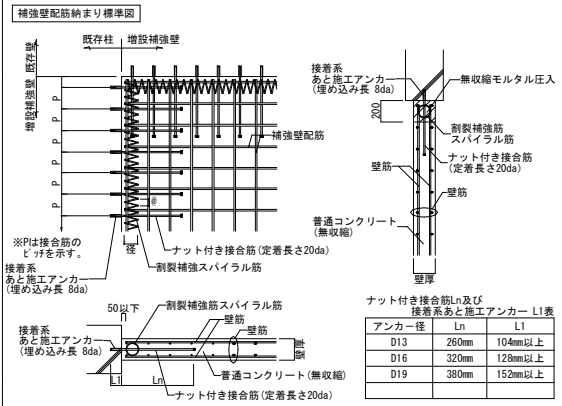
A-A' 断面図

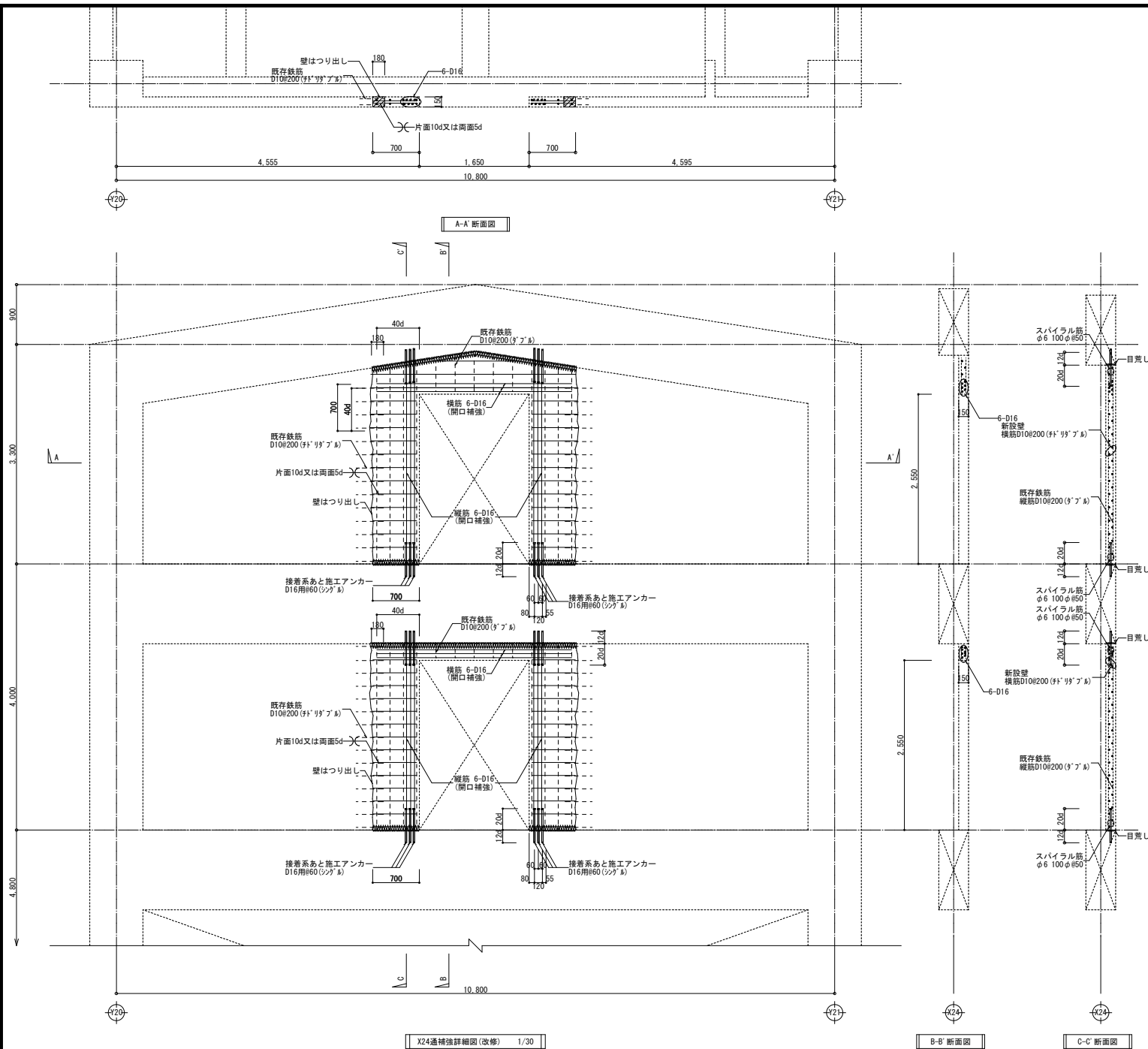


X24通り開口閉塞詳細図 (改修) 1/30

B-B' 断面図

- 一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)
- 特記なき構造詳細は (財) 日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート建造物の耐震改修設計指針 同解説」(2001年改訂版)による。
  - 使用鉄筋  
D6~D16: S295A (JIS規格品)  
D19以上: S3345 (JIS規格品)
  - 使用コンクリート設計基準強度  
F<sub>c</sub>=24N/mm<sup>2</sup> (普通コンクリート) スランプ: 15cm
  - (無収縮)モルタル設計基準強度  
F<sub>m</sub>=30N/mm<sup>2</sup>以上
  - あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体: スーパークーにより素材強度が確保されたもの
  - 注意事項  
1) スワイル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。  
2) 増設部材と既存コンクリート躯体と接合面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に十分な水遣しを行う。  
3) コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。  
4) 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。  
5) コンクリートの強度発現期間内は十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。  
6) グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート建造物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。  
7) 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。





X24通補強詳細図 (改修) 1/30

B-B 断面図

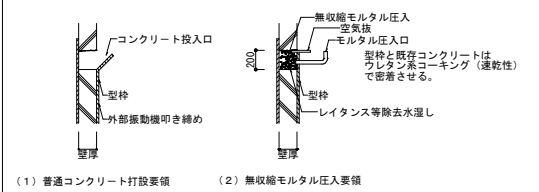
C-C 断面図

一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)

1. 特記なき構造詳細は (財) 日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針 同解説」(2001年改訂版)による。
2. 使用鉄筋  
D6~D16: S295A (JIS規格品)  
D19以上: S3345 (JIS規格品)
3. 使用コンクリート設計基準強度  
F<sub>c</sub>=24N/mm<sup>2</sup> (普通コンクリート) スランプ: 15cm
4. (無収縮)モルタル設計基準強度  
F<sub>m</sub>=30N/mm<sup>2</sup> 以上
5. あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体: メーカーにより素材強度が確保されたもの
6. 注意事項  
1) スライラ筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を測定し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。  
2) 増設部材と既存コンクリート躯体と接触面については既存コンクリート躯体面を目標とし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。  
3) コンクリート打設にはパイプレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。  
4) 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。  
5) コンクリートの強度発現期間内には十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。  
6) グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。  
7) 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。

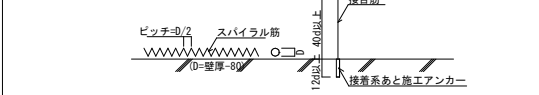
コンクリート及びモルタル圧入要領図

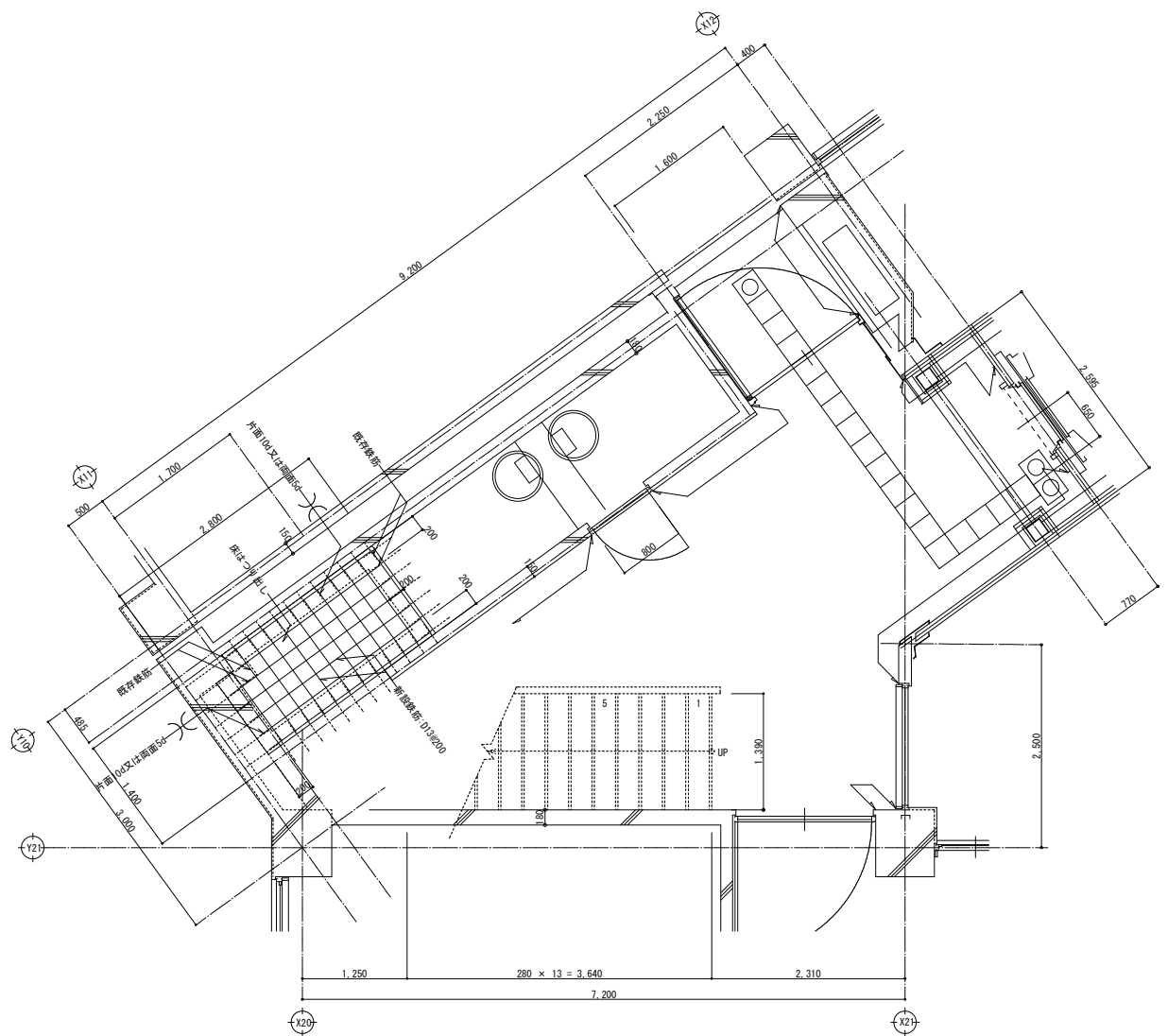
※ (1) による普通コンクリート施工後、(2) により無収縮モルタルを圧入する



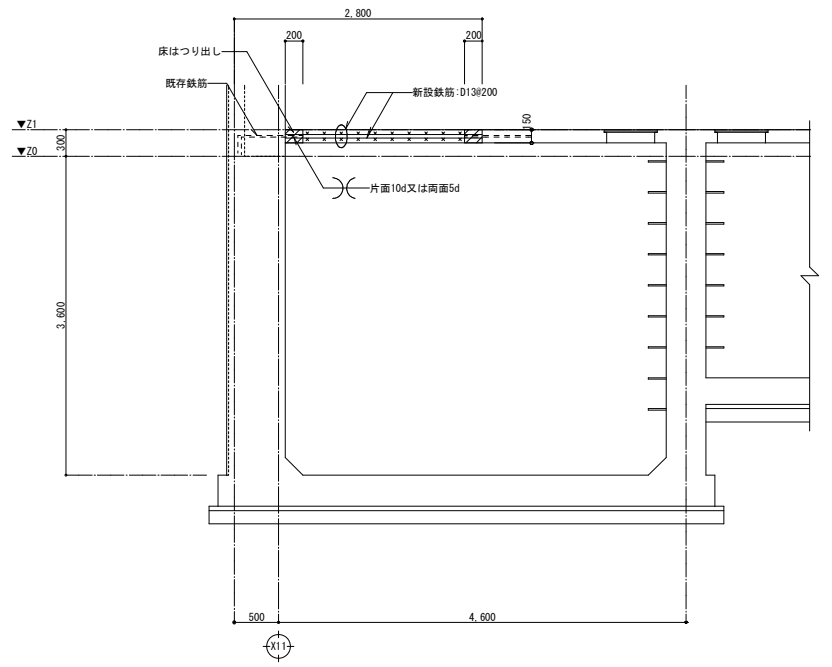
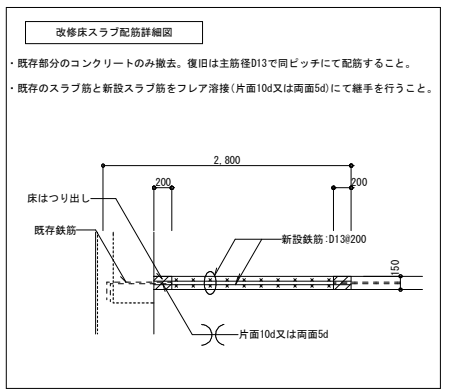
(1) 普通コンクリート打設要領 (2) 無収縮モルタル圧入要領

開口補強部






階段詳細図 (1階) S=1/30



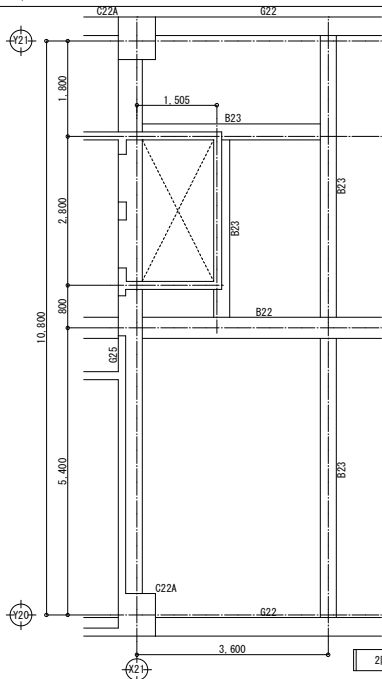
断面詳細図 S=1/30

□ : はつり範囲を示す。


 一級建築士事務所 株式会社 沖 3 郡 建築事務所 <small>沖縄県本部事務所 社務室 098-949-1100</small>	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修事業設計その他業務 改修床スラブ配筋詳細図	A1: 1/30 A3: 1/60	<b>107</b>  S-09

2階柱壁・3階梁床状図 (既存) S=1/50

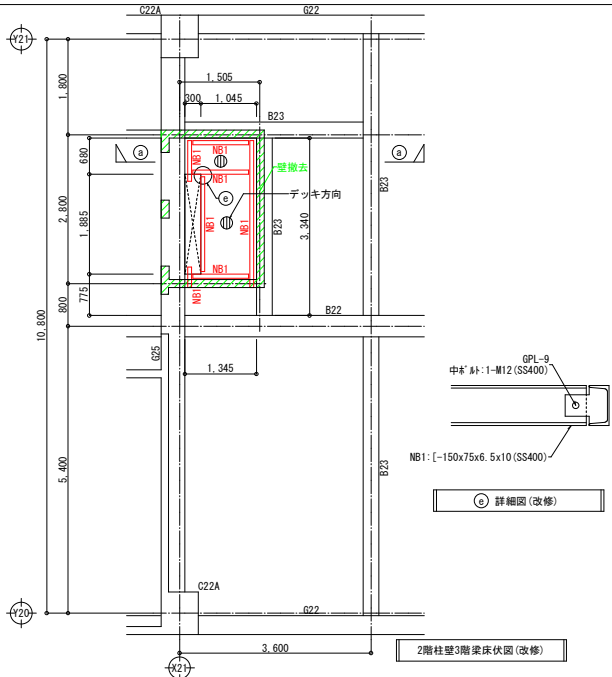
既存



2階柱壁3階梁床状図 (既存)

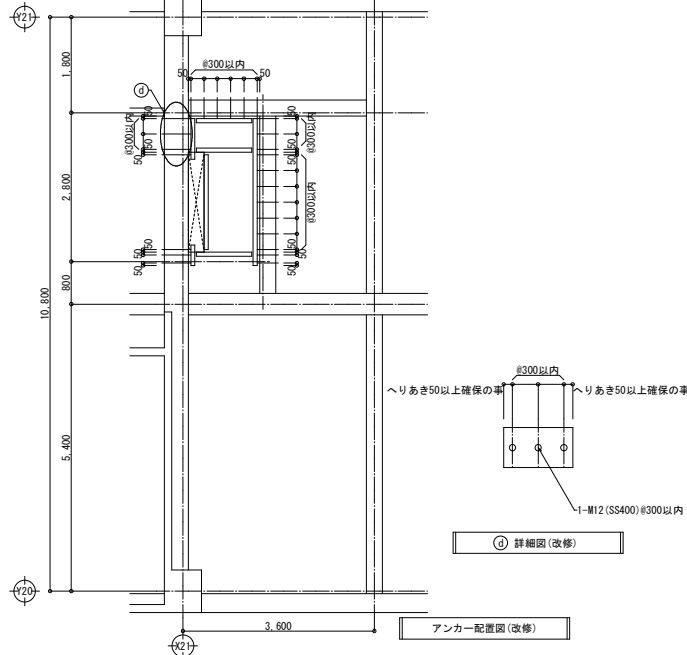
2階柱壁・3階梁床状図 (改修) S=1/10.50

改修



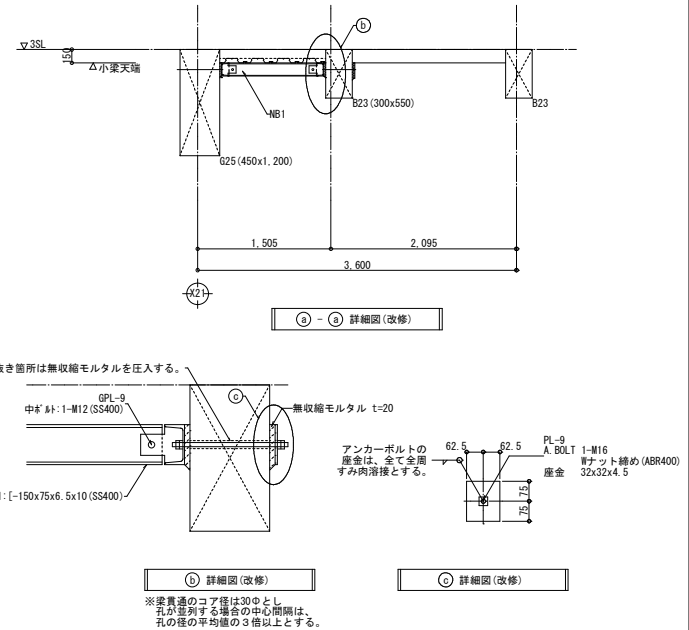
2階柱壁3階梁床状図 (改修)

アンカー配置図 (改修) S=1/30.50



アンカー配置図 (改修)

部分詳細図 (改修) S=1/10.30



① 詳細図 (改修)

② 詳細図 (改修)

※ (無収縮) モルタル設計基準強度:  $f_m=21N/mm^2$  以上  
 ※ グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート建造物  
 の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。

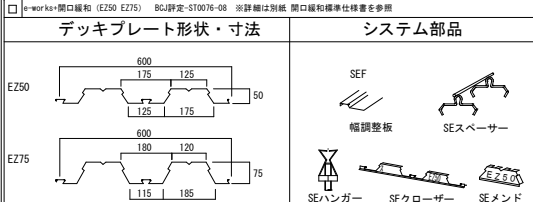


一級建築士事務所  
 株式会社 P+S 都市建築事務所  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修事業設計その他業務  
 C棟 2.3階スラブ開口閉塞 (既存・改修) A1:1/10.30, 50  
 A3:1/20.60, 100

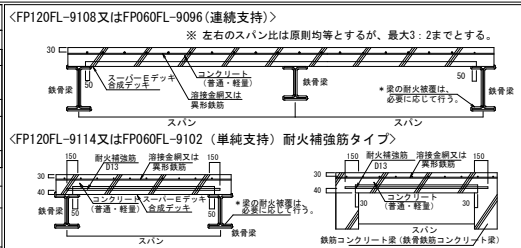
1. 設 計

Table with columns for Deck Plate, Concrete, Reinforcement, and System Components. Includes specifications for EZ50 and EZ75 models.

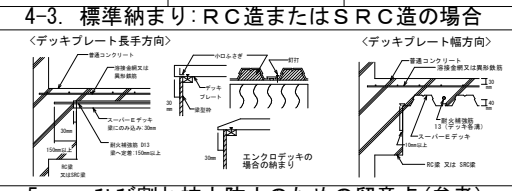
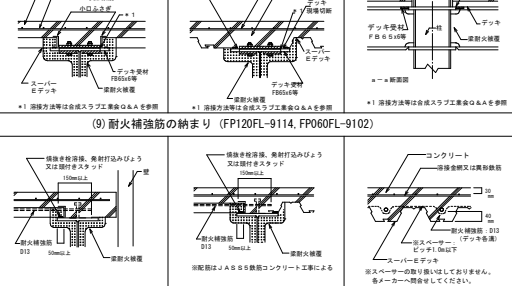
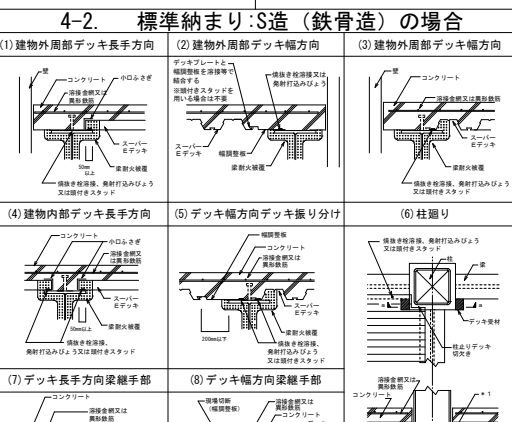
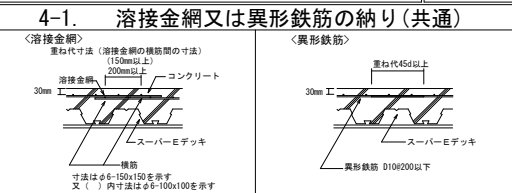
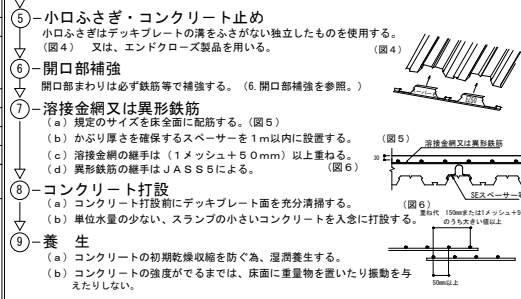
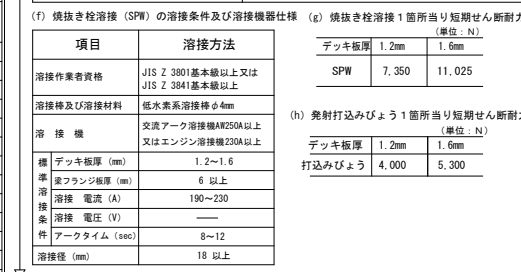
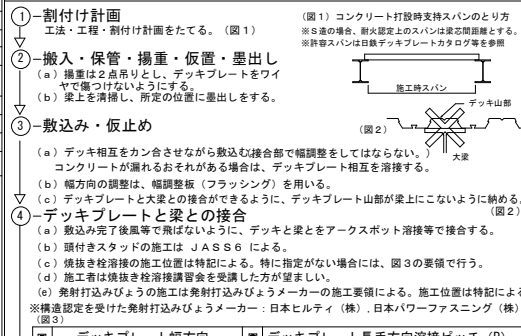


2. 耐火設計

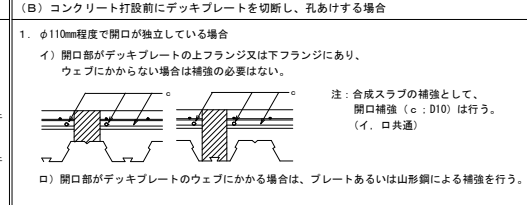
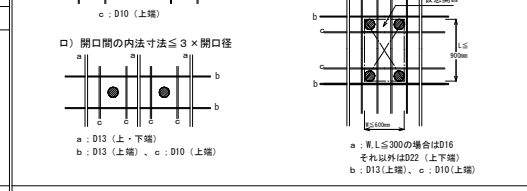
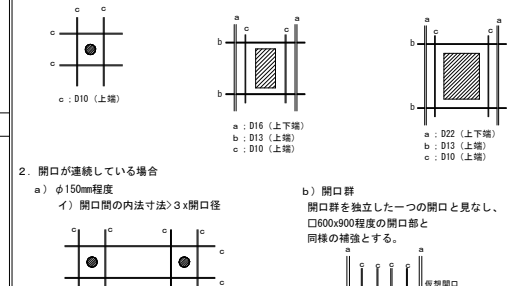
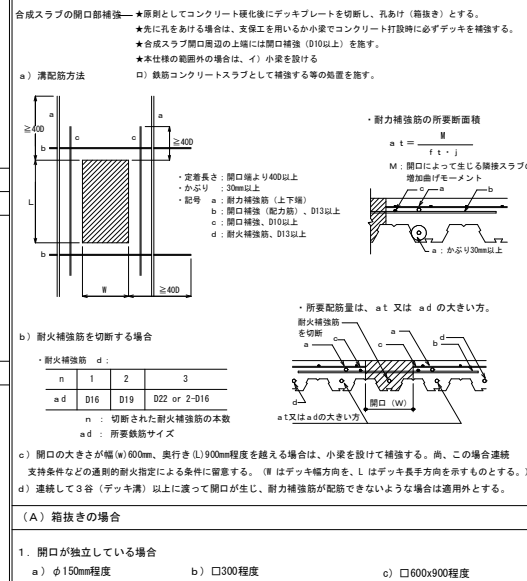
Fire Design Table (耐火設計仕様(詳細は下記の通り) 耐火要求なし). Includes a table for fire resistance conditions and a table for fire design specifications.

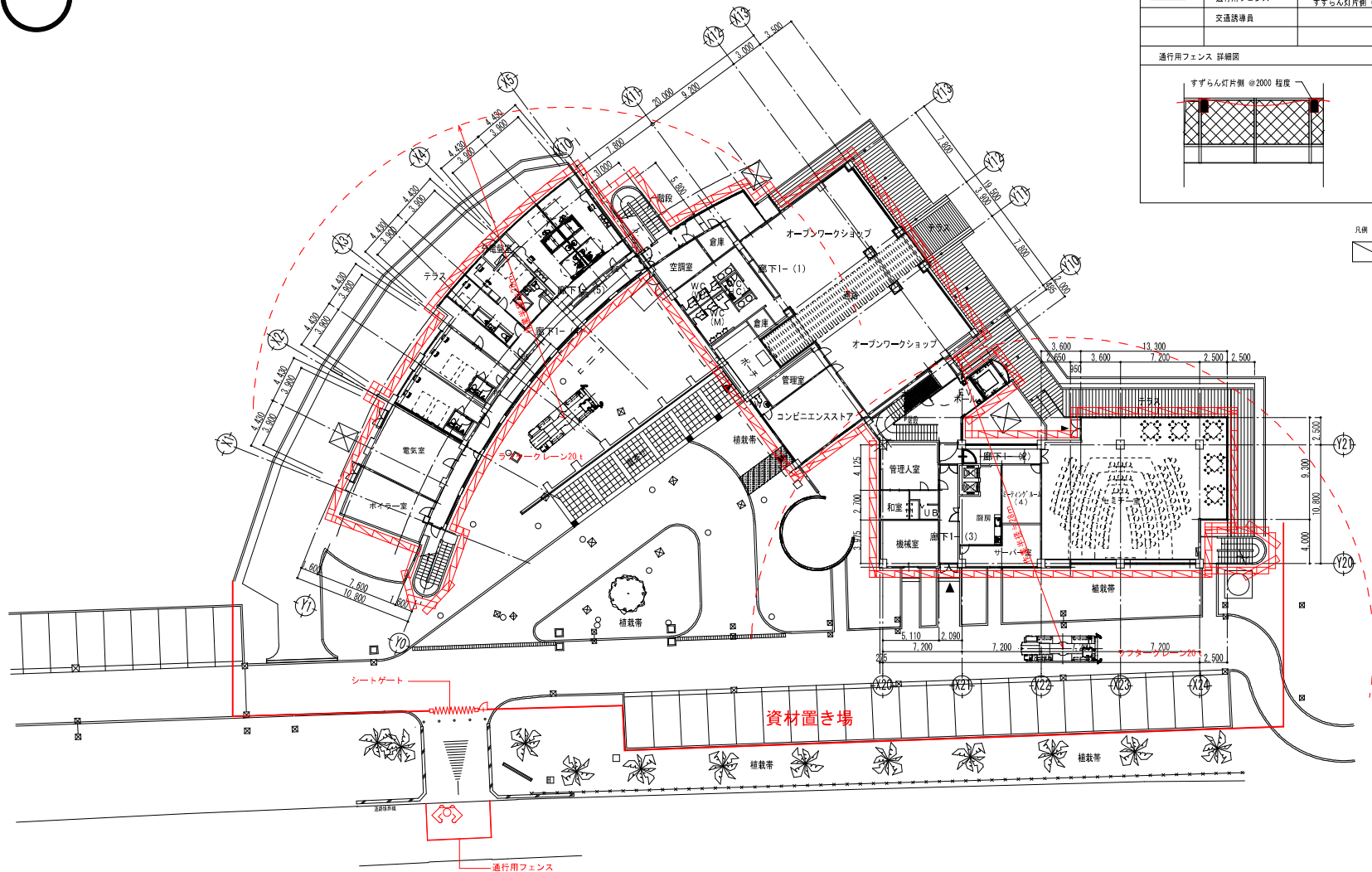


3. 施 工



6. 開口部補強(例)

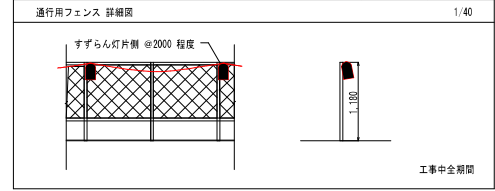




1階平面図 S=1/200

仮設リスト

記号	名称	仕様	数量	設置期間
□□□□□□	シートゲート	W=6.0 × H=4.5m	1	9か月
—	仮囲い(成形鋼板)	H=2.0m	125m	9か月
□	通風口	W=0.9 × H=2.0m 継付	1	9か月
—	通行用フェンス	(プラスチックフェンスH=1.80 すずらん灯片側 @2000 程度)	12.5m	9か月
—	交通誘導員		常時1名	6.5か月+4人



凡例  
 枠組本足場を示す  
 1階部分はW600、2~3階部分はW900とする

# 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

